

令和8年度第2回埼玉県地域医療構想推進会議(令和8年6月25日) 主な意見

令和7年度第3回地域医療構想調整会議の議論の状況について

○ 定量基準分析の結果等について、「現場の感覚と少しずれがあるのではないか」といったご意見をいただくことがある。定量基準に基づく評価は、客観的な分析として非常に重要であるが、例えば各地域における受け止めや、現場の実感をどのように反映できるのか、あるいは今後どのように進めていくのかといった点については、丁寧に確認していただけるとありがたい。

⇒(県回答) 定量基準分析については、調整会議の中で「少し肌感覚と合わない」といったご意見をいただいている。その要因の1つとして考えられるのが、対象年度と分析実施年度のタイムラグがどうしても生じてしまう点である。現在、約2年半程度のタイムラグが生じており、この点については改善したいと考えており、今年度の定量基準分析については、できれば半年程度前倒して実施したいと考えている。調整会議等でいただいたご意見も踏まえながら、委託事業者としっかり調整し、対応していきたい。

新たな地域医療構想について

○ 急性期拠点機能について、「20万人規模に1か所」とされている点については、相当議論になると考えている。各医療圏で決めるのか、この会議で決めるのか、あるいは医療審議会で決めるのかという点である。現時点ではガイドラインの骨子が示されていない以上、何とも言えないところではあるが、容易には決まらないのではないかと考えている。

⇒(県回答) 多くの急性期医療や救急医療を担っている病院にとって、急性期拠点機能に位置付けられるかどうかは、将来的に経営に大きな影響を及ぼす可能性がある。そのため、各病院が大変心配されていることは重々承知しているところであり、その決め方は非常に難しい問題と考えている。地域での協議は必要になるものと考えているが、埼玉県としての考え方や国の方針も踏まえながら、県として一定の提案を行うべきとの意見もいただいている。非常に難しい課題ではあるが、しっかり検討していきたい。

○ 地域医療構想の中では、診療報酬上も重点化されている急性期拠点病院の位置付けが大きく関わってくるものと考えている。各病院としては、急性期拠点病院としての機能を何とか維持したい、あるいは新たに取得していきたいという思いがあるのではないかと考えている。一方で、地域の会議で、急性期拠点病院を自分たちの地域の中で決めることは難しいため、行政が高所大所から決めてほしいという議論になった場合、本当にそれでよいのかという点である。そのような決め方で、関係者の皆さんが本当に納得するのかという懸念がある。

⇒(県回答) 国のスケジュール感としては、遅くとも2028年までには、方向性を決めることとされている。また、地域医療構想の中に病院名まで記載する必要があることについても、説明会等で聞いている。そのため、ある程度踏み込んだ議論になる可能性はあり、しっかり議論していかなければならないことは十分に認識している。

○ 急性期拠点機能をどこで担うのかという議論になった場合、民間病院も関わってくる。設立母体の違いなどを踏まえて、ああだこうだと議論が長引くと、かえってうまく進まない状況を生み出すのではないかと考える。また、上から一方的に調整するような進め方も、あまり好ましくないのではないかと考えている。

○ 地域医療構想は、基本的には二次医療圏の中で医療提供体制を考えていくものであり、三次医療機関はやや蚊帳の外に置かれているようにも理解している。しかしながら、三次医療機関もそれぞれ重要な医療機能を提供している。そのため、こうした三次医療機関の機能を、地域医療構想の議論の中でどのように扱っていくのかについても、並行して検討していただきたいと考えている。

令和6年度病床機能報告・定量基準分析結果について
令和7年度外来機能報告の結果及び紹介受診重点医療機関について

○ 今後、病床機能や病院機能は明らかに変わってくるものと考えられる。現在の定量基準分析には、基本的に届出や診療報酬上の視点が多く含まれているため、新たな地域医療構想の考え方が示されれば、前提が大きく変わってくる可能性がある。そのため、この定量基準分析を新たな地域医療構想に合わせてブラッシュアップできるのかについて、ご検討をいただきたい。

⇒(県回答)医療機関機能については、今後新たに指標が入ってくるものになるため、その内容を定量的に分析できるかどうかという点については、今後考えていかなければならない一つのハードルであると認識している。本年度もこれから分析を進めていくことになるため、事業者とも相談しながら、できることをしっかり行っていくきたい。

○ 新たな地域医療構想においては、在宅医療・介護連携の推進という論点もある。この分野の定量分析は難しい面があるが、今後、かかりつけ医機能報告などにより、関連するデータもさまざま出てくるものと考えられる。そのため、在宅医療に積極的に取り組む医療機関についても、一定の基準や視点を設けて評価・分析できるとよいのではないかと考えている。こうした点も含めて、今後の定量分析の在り方について検討いただきたい。

○ データに関する点について申し上げたい。病床を増やそうとする場合、二次医療圏において何が不足しているのかという点が論点になる。その際、単に不足しているから病床を増やすということではなく、既存病床の稼働状況も踏まえて議論する必要がある。病床稼働率を見ると、全県的に見ても75%程度であり、圏域や機能によっては大きく落ち込んでいるところがある。こうしたデータが示されるからこそ、具体的な議論が可能になる。仮に増床が認められたとしても、現在の状況では、新たに手を挙げることや新しい病院を作ることは、なかなか困難である。そのため、既存病床の利用度をどのように高めていくのか、そのために何が必要なのかを考えることが、今後の大きな論点になると考えている。ぜひ、こうした点については、各地域医療構想調整会議において議論していただきたい。

⇒(県回答)調整会議の場には地元の先生方が出席されているため、その場で、なぜこのような状況になっているのかについて、ご議論いただけると我々としても大変参考になる。ぜひ、そうした地域の実情に基づくご意見を伺いながら、今後の検討の参考にさせていただきたい。

かかりつけ医機能報告制度について

○ かかりつけ医機能報告について、一号機能の数値があまりにも低く、実態を十分に反映していないのではないかと気がなるところである。この点については、どのように考えているのか。

⇒(県回答)具体的な機能の揭示や、17の診療領域ごとの一次診療への対応、また診療に関する患者からの相談への対応という内容であるため、ほとんどの医療機関が基本的には対応しているのではないかと考えている。そのため、52.1%という数値については、実態とは少し異なる数字になっているのではないかと受け止めている。

○ 今後の議論において、一号機能と二号機能のどちらを中心に考えていくのか。また、一号機能の数値が少ない中で、その数値をもとに議論しようとしても、なかなか実のある議論にならないのではないかと考えている。

⇒(県回答)議論が難しくなるという課題があることは承知している。地域において建設的な議論が行われるよう、どのような工夫が可能か検討していきたい。

○ 例えば、患者に説明した上で、自院の専門外であるため他の医療機関を紹介するという対応を行えば、それだけで一号機能としては「あり」となるものと理解している。しかし、そうした考え方がまだ十分に浸透していないのではないかと感じている。むしろ、真面目に考えて報告されている先生方が多いのではないかと印象である。この制度は、確か5年間の中で進めていくものと認識している。まだ初年度であるため、今後、制度に慣れてくれば、先生方の考え方も少しずつ変わり、数値も上がってくるのではないかと考えている。

○ 患者が考える「かかりつけ医」と、医療側が考える「かかりつけ医」との間に、少し認識の違いがあるのではないかと感じている。その点が一つの課題になっているのではないかと考えている。また、かかりつけ医機能報告制度については、医療機関としてもしっかり対応していかなければならないと考えている。ただし、制度への対応については、時間が経つと忘れがちになってしまう面もあると思われる。そのため、可能であれば、行政から繰り返しアナウンスをしていただけるとありがたい。

⇒(県回答)来年度以降も同様の報告が予定されているため、機会を捉えて、来年も報告があることを含め、引き続き周知していきたいと考えている。

病床整備の進捗状況について

○ 病床整備を進める一方で、「病床数適正化事業」により、現在新たに病院整備を計画している地域の近隣において、同じ機能の病床を減らすという事例が実際にあることを承知している。そのため、病床整備と病床数適正化事業の両面から、必ず確認した方がよいと考えている。新たに病床を整備できたとしても、一方で、近隣において同じ機能の病床が減少してしまえば、結果として地域全体の医療提供体制の改善につながらない可能性がある。このような状況になれば本末転倒であるため、この点について確認しながら進めた方がよいと考えている。
⇒(県回答)地域のご意見を伺う際には、ご指摘いただいた点にも留意しながら、取り組んでまいりたい。

病床数適正化緊急支援事業について

○ 精神病床の削減についてであるが、精神科救急をしっかりと確保するため、昨年度、精神科救急を担う施設数を2施設から6施設に増やしたものと認識しているが、増やした病院が削減しているということになるのか。
⇒(県回答)現在精査中であるが、基本的な傾向としては、精神科救急を担っている病院からの申請はない状況である。

その他

○ 今回の地域医療構想においては、ぜひ、この地域包括ケアシステムとの接点でもあるという意識を持って議論していただきたい。介護分野については、医療機関との連携まで十分に話が進んでいない地域もあるのではないかと見受けられる。せっかくこの場に市町村の方々も出席されているため、その点について、ぜひ具体的に考え、議論していただきたいというのが一つである。また、精神科が今回新たに含まれた理由の一つは、今後、高齢者の増加と並行して、認知症の患者も増えていくことを踏まえ、そのケアをどうしていくのかという点にあるのではないかと考えている。
今後、認知症を含めた精神科医療や介護との連携をどうしていくのかについては、対象となるボリュームも非常に大きくなることが見込まれるため、具体的な道筋だけでも考えていかなければ、議論が行き詰まってしまう部分があるのではないかと考えている。

○ 現在の精神科の患者を見ていると、急性期病棟に3か月程度入院すれば、ほとんど元の状態に戻ることができるケースも多い。昔のように、長期に精神科で診なければならないという印象の患者は、ほとんどいないと感じている。介護保険で対応できる部分も相当程度ある。そう考えると、国が精神科を地域医療構想の議論に含めたのは、精神科病床を減らしても問題ないのではないかとこのことを、こうした会議の中で示したいのではないかと感じている。実際、現在の制度運用を見ても、精神科の入院については、急性期中心で対応せざるをえないような方向になっているように感じている。

○ アドバイザーの立場として非常に危惧しているのは、地域医療構想調整会議で議論しなければならない内容が、あまりにも多くなっている点である。すべてを調整会議で議論するのではなく、もう少し狭い圏域、すなわち実際に患者が通院できる範囲や、医師が往診できる範囲の中で議論した上で、調整会議に持ってきていただく必要があるのではないかと。そうしなければ、調整会議では議題が多くなり過ぎ、結果として何の議論も進まなくなる可能性があると考えている。
⇒(県回答)調整会議は二次医療圏単位で設置しているため、基本的には医療圏域単位での議論になるものと考えている。一方で、テーマによっては、より狭いエリアで議論することも考えられるのではないかとこの御意見をいただいたところである。そのため、必ずしも全てを調整会議で議論するという前提ではなく、議題やテーマに応じた議論の場の在り方について、我々としてもしっかりと検討していきたい。

新たな地域医療構想の策定について

埼玉県保健医療部保健医療政策課

新たな地域医療構想の策定について

1 国における検討状況

地域医療構想及び医療計画等に関する検討会とりまとめ (地域医療構想策定ガイドライン骨子)の概要

地域医療構想が目指す方向性

- ・85歳以上の高齢者の増加や人口減少が更に進む2040年とその先を見据え、全ての地域・世代の患者が、適切に医療・介護を受けながら生活し、必要に応じて入院し、日常生活に戻ることができ、同時に、医療従事者も持続可能な働き方を確保できるよう、住民を含め地域の関係者の理解を得ながら医療提供体制を構築する

入院医療

持続可能な急性期医療の確保

- ・医療機関機能を踏まえ、急性期の医療需要や、手術や救急搬送における医療機関ごとの役割分担等について地域ごとに協議

高齢者救急の受入体制の整備

- ・救急の実施基準において、高齢者救急の考え方を位置付け
- ・入院早期からのリハビリテーション等の提供の推進

外来・在宅医療

外来医療提供体制の維持

- ・診療所の減少が進む中、地域の病院を中心に提供体制を構築
- ・へき地や診療所の数が限られている地域等において、D to P with Nを含むオンライン診療の活用を推進

在宅医療の受け皿の整備

- ・在宅医療、介護施設、療養病床を一体的に捉え受け皿を整備
- ・医薬連携の推進
- ・D to P with Nを含むオンライン診療等による効率化や病院による実施体制の強化、介護施設などの在宅医療以外の資源により受け皿を整備

介護との連携

医療と介護のニーズを有する者への対応の推進

- ・地域医療構想における市町村と介護関係者の役割を明確化
- ・慢性期の医療需要について、在宅医療等とあわせた体制整備
- ・医療と介護の相互理解の推進

人材確保

地域における医療人材の確保

- ・都道府県単位で、大学病院本院から急性期拠点機能を中心とした、地域医療構想全体を踏まえた人的協力のあり方について協議
- ・看護師等の将来の人材確保の方向性を反映

構想区域の見直し

医療機関の連携・再編・集約化など医療提供体制構築のための議論の単位や、必要病床数の運用が可能となる単位等を踏まえ、人口20万人以上を基本としつつ、地域の実情を踏まえ柔軟に設定

医療機関機能の新設

医療機関機能の確保の協議を通じて将来の提供体制の確保の取組を推進

急性期拠点機能

- ・構想区域毎に、人口20万～30万に1つを目安に確保
- ・手術等の急性期医療を集約して提供
- ・新興感染症等への対応
- ・地域の人口や医療需要等を踏まえた病床のダウンサイジング

在宅医療等連携機能

- ・地域での在宅医療の提供
- ・他の医療機関や介護施設、訪問看護、訪問介護等と連携した24時間の対応や入院対応を実施

高齢者救急・地域急性期機能

- ・誤嚥性肺炎等の高齢者救急を受入
- ・高齢者を中心に入院早期からのリハビリテーションを提供
- ・大都市等においては頻度の多い手術を提供

専門等機能

- ・集中的なリハビリ、中長期にわたる入院医療、有床診療所の担う地域に根ざした診療、一部の診療科に特化し地域ニーズに応じた診療を提供

医育及び広域診療機能（大学病院本院）

- ・都道府県と連携した人的協力
- ・症例数が少ない医療などの広域な観点での診療
- ・地域で多様な症例に対応する人材の育成

病床機能報告・必要病床数の見直し

これまでの地域医療構想の取組に加え、病床機能について回復期を包括期とするとともに、必要病床数について新たな地域医療構想の取組を踏まえた推計を実施し、病床機能の分化・連携を推進

※令和8年3月19日地域医療構想及び医療計画等に関する検討会とりまとめより作成

※なお、精神医療における地域医療構想のガイドラインの策定に向けて、2026年度（令和8年度）中を目途に結論を得るべく、検討を進める

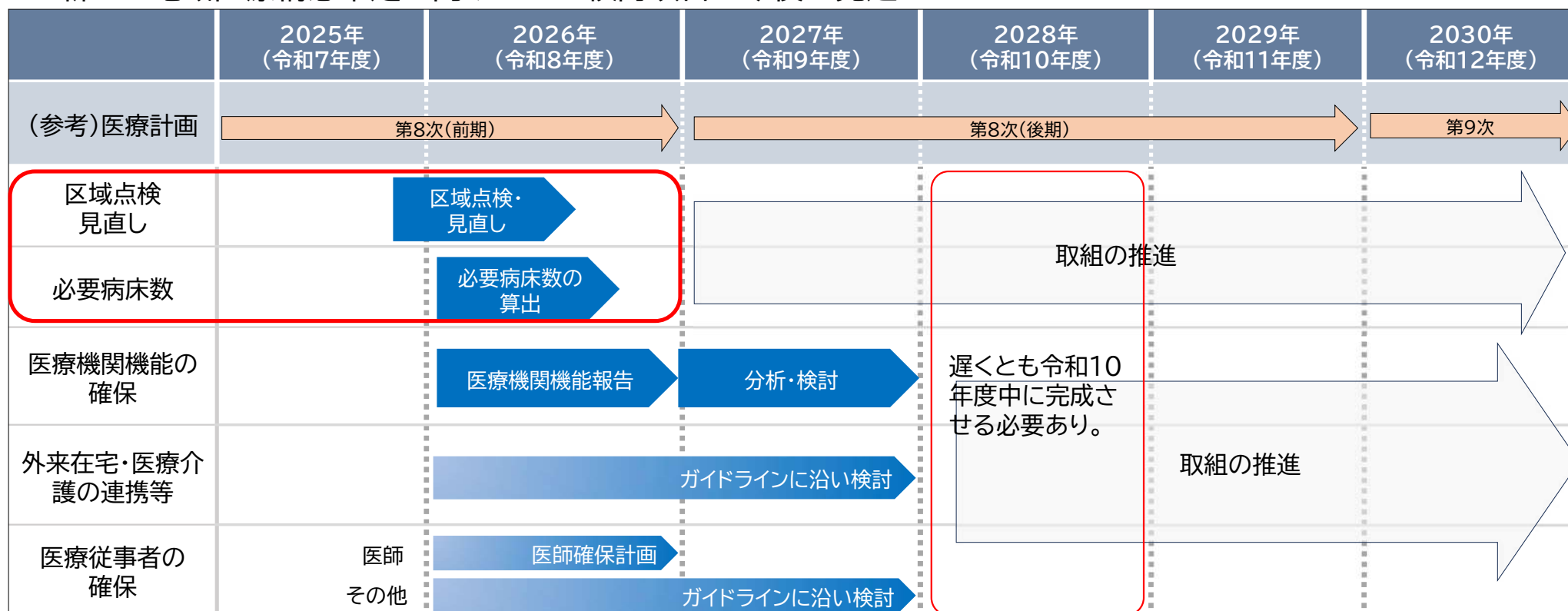
出典:第126回社会保障審議会医療部会資料抜粋

新たな地域医療構想の策定について

2 本県におけるスケジュール（今後5年度）

○ 令和8年度は、構想区域の点検・見直しや必要病床数の算定等から取り組んでいく。

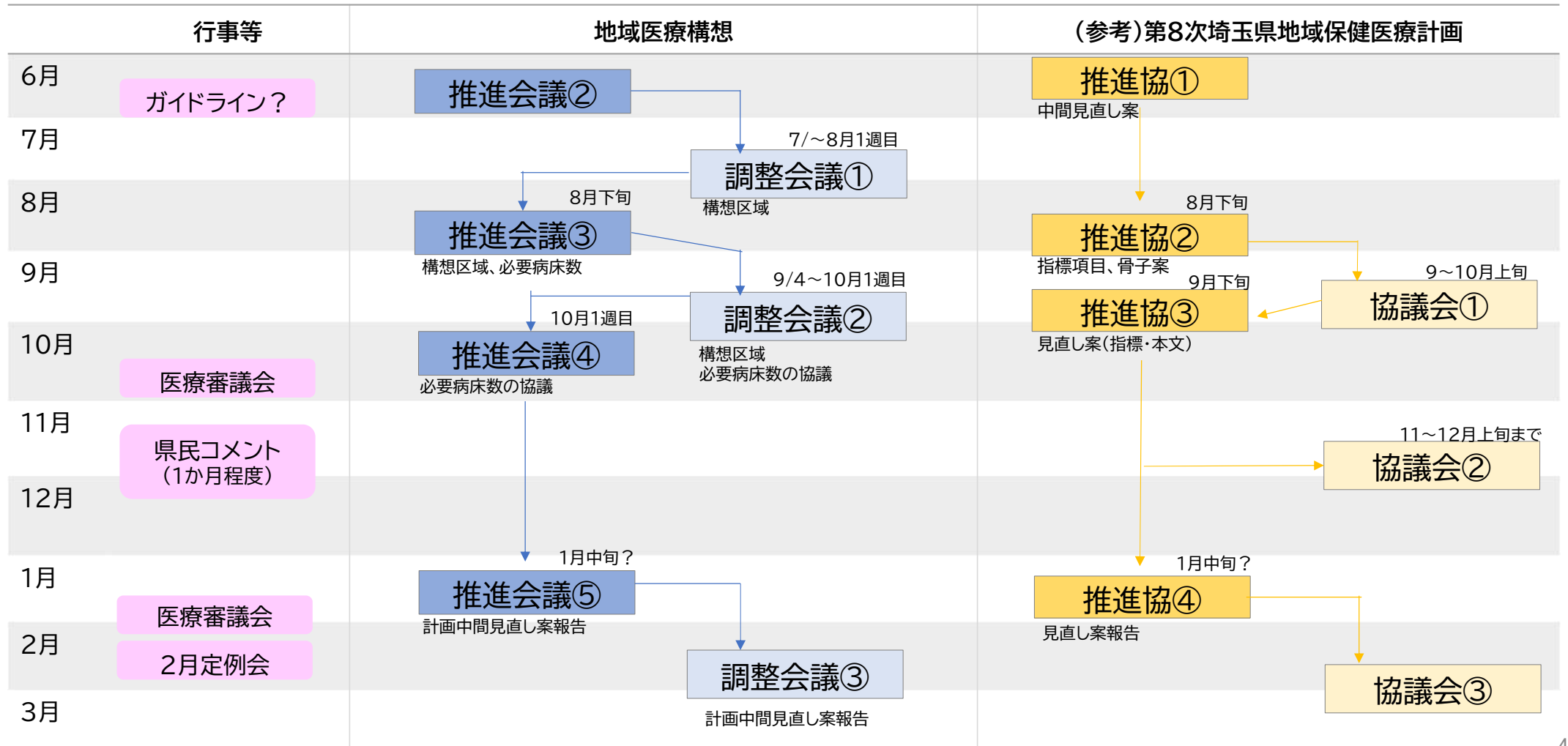
◆ 新たな地域医療構想策定に向けた主な検討項目と今後の見通し



新たな地域医療構想の策定について

3 本県におけるスケジュール（令和8年度）

※ 現時点における想定スケジュールであり、ガイドラインの内容等により、会議開催日程、議事内容等が変更される可能性があります。



地域医療構想の振り返りについて

埼玉県保健医療部保健医療政策課

1 本県における地域医療構想の取組経過

- 地域医療構想の推進のため、都道府県単位の会議体(地域医療構想推進会議)及び構想区域ごとの会議体(地域医療構想調整会議)を以下のとおり実施してきた。

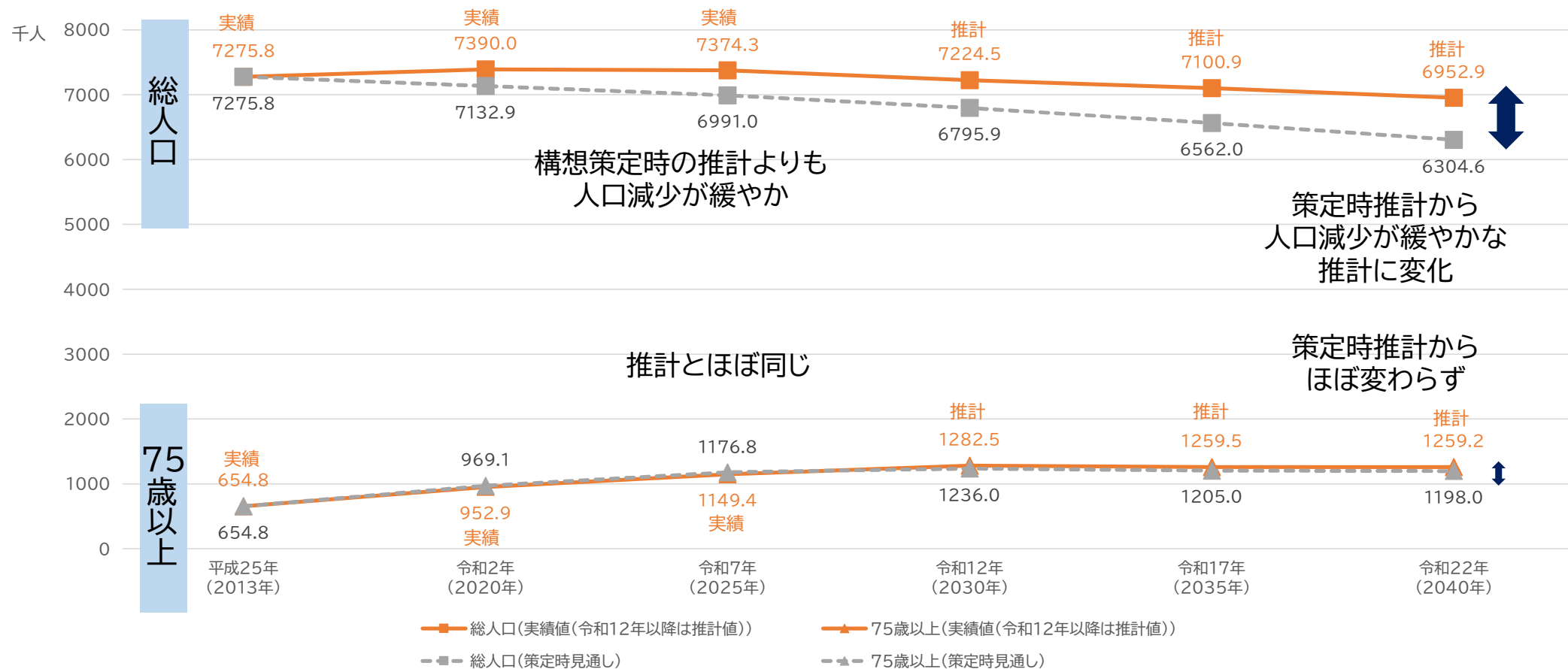
	埼玉県地域医療構想推進会議	【構想区域】地域保健医療・地域医療構想協議会	
H28 (2016)	【開催回数】1回 【議事】 ・地域保健医療・地域医療構想協議会における協議内容について ・データ分析について		・地域医療構想策定のため、埼玉県地域医療構想検討会は8月まで実施。その後、埼玉県地域医療構想推進会議へ移行。 ・地域保健医療協議会を地域保健医療・地域医療構想協議会へ。
H29 (2017)	【開催回数】2回 【議事】 ・平成28年度病床機能報告の結果について ・各区域における地域保健医療・地域医療構想協議会の開催状況について ・データ分析業務委託について ・地域医療介護総合確保基金について	【開催回数】1回 【議事】 ・埼玉県地域医療構想について ・埼玉県地域保健医療計画【第7次】(案)について	・定量基準分析の導入 導入以降、分析結果を毎年度共有
H30 (2018)	【開催回数】2回 【議事】 ・病床機能報告データを用いた調査分析の結果 ・第2回地域医療構想推進会議からの主な変更点 ・地域医療構想の進め方について ・平成30年度地域保健医療・地域医療構想協議会(地域医療構想調整会議)の開催状況 ・地域保健医療計画(第7次)に基づく病院整備計画について	【開催回数】3回 【議事】 ・平成29年度病床機能報告結果・定量基準分析結果 ・地域医療構想の進め方について	
R1 (2019)	【開催回数】3回 【議事】 ・今後の調整会議の議論内容 ・地域医療構想の進め方について(公立・公的) ・外来医療計画・病床整備の方針について ・地域保健医療計画(第7次)の一部変更について ・公立、公的医療機関等の具体的方針の再検証について ・病床機能報告 ・地域医療構想アドバイザーについて	【開催回数】3回 【議事】 概ね左記の議題のとおり	地域医療構想アドバイザーの導入
R2 (2020)	【開催回数】1回 【議事】 ・令和2年度の調整会議について ・公立、公的医療機関等の具体的方針の再検証について ・平成30年度病床機能報告 ・令和2年度以降の病床機能報告について ・地域保健医療計画(第7次)に基づく病床整備状況について ・第7次計画の中間見直しについて	【開催回数】2回(書面開催含む) 【議事】 概ね左記の議題のとおり	

1 本県における地域医療構想の取組経過

	埼玉県地域医療構想推進会議	【構想区域】地域医療構想調整会議	
R3 (2021)	【開催回数】2回 【議事】 ・令和3年度の地域保健医療・地域医療構想協議会について ・埼玉県地域保健医療計画の中間見直しについて ・今後の感染拡大に備えた新型コロナウイルス感染症の医療提供体制整備について ・公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証について ・病床整備の進捗状況について	【開催回数】3回 【議事】 左記の議題の他、以下の議題も協議。 ・圏域別フェイスシート(全圏域) ・圏域別取組中間見直し(全圏域)	
R4 (2022)	【開催回数】2回 【議事】 ・令和4年度の地域医療構想調整会議について ・公立・公的・民間医療機関における対応方針の策定・検証・見直しについて ・外来機能報告に基づく紹介受診重点医療機関の明確化について ・第7次埼玉県地域保健医療計画の一部変更について ・令和3年度病床機能報告結果について	【開催回数】3～4回(書面開催含む) 【議事】 概ね左記の議題のとおり。	・地域医療構想推進のため、地域保健医療・地域医療構想協議会を分離。 地域保健医療計画→保健医療協議会 地域医療構想→地域医療構想調整会議
R5 (2023)	【開催回数】2回 【議事】 ・令和5年度の主な予定議題の概要(対応方針の協議・検証、病院整備計画の公募、医師の働き方改革への対応) ・紹介受診重点医療機関に関する協議について ・病床機能報告・外来機能報告について ・第8次埼玉県地域保健医療計画(地域医療構想)について ・病院整備計画について	【開催回数】3～4回(書面開催含む) 【議事】 左記の議題の他、以下の議題も協議。 ・圏域別フェイスシート更新(全圏域)	
R6 (2024)	【開催回数】3回 【議事】 ・2025年に向けた各圏域の地域医療構想の進捗について ・新たな地域医療構想について ・令和6年度の地域医療構想の取組について ・第8次地域保健医療計画の策定及び同計画に基づく病院整備計画について ・令和6年度 埼玉県病床機能転換促進事業について ・外来機能報告の結果及び紹介受診重点医療機関について ・地域医療構想におけるアンケート調査結果と地域医療構想調整会議の進め方について ・令和6年度病院整備計画の公募について ・特例水準医療機関の指定について ・さいたま保健医療圏における医療提供体制の確保に向けた進め方	【開催回数】3～4回(書面開催含む) 【議事】 概ね左記の議題の他、以下の議題も協議。 ・区域対応方針(北部圏域)について(北部)	
R7 (2025)	【開催回数】3回 【議事】 ・新たな地域医療構想について ・病床整備計画の進捗について ・外来機能報告の結果及び紹介受診重点医療機関について ・さいたま保健医療圏におけるニーズ調査結果について ・病床数適正化支援事業について ・かかりつけ医機能報告制度について	【開催回数】3～4回(書面開催含む) 【議事】 概ね左記の議題の他、以下の議題も協議。 ・さいたま保健医療圏におけるニーズ調査・結果について(さいたま)	

2 人口の推計と実績値

- 総人口は、構想策定時の推計よりも人口減少が緩やかに変化しており、今後はその差が開く。
- 75歳以上人口は、おおむね構想策定時の推計どおりに変化しており、今後もその傾向が続く。



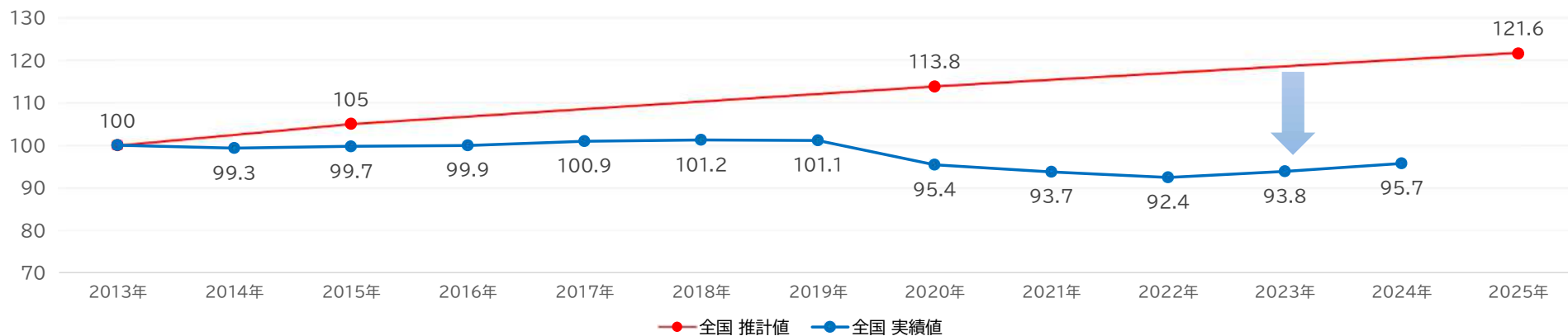
出典: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」、町(丁)字別人口調査

3 医療需要の推計と実績値

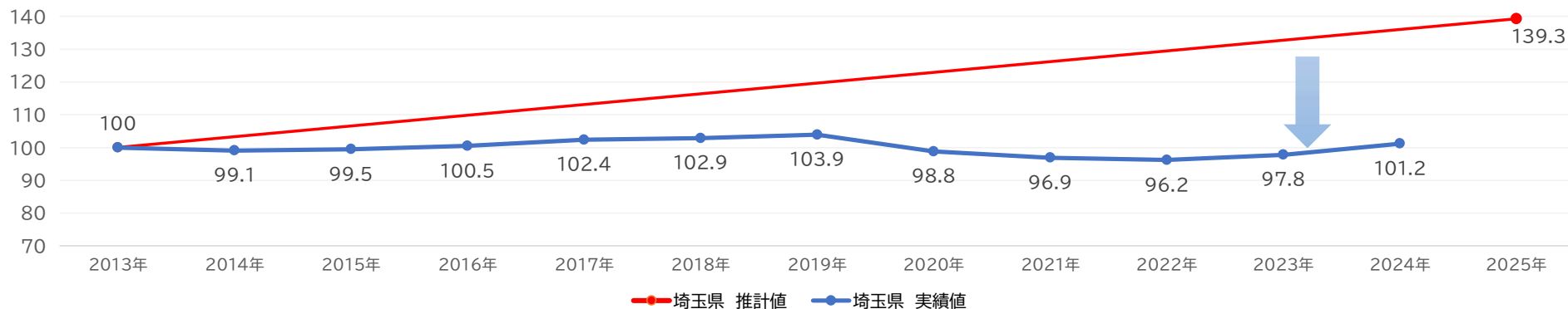
- 地域医療構想策定時には、入院患者数の増加が見込まれていたが、実績値は減少傾向で推移しており、当初推計と乖離が生じている。

入院患者数の推計と実績値の推移(2013年を100とした場合)

全国



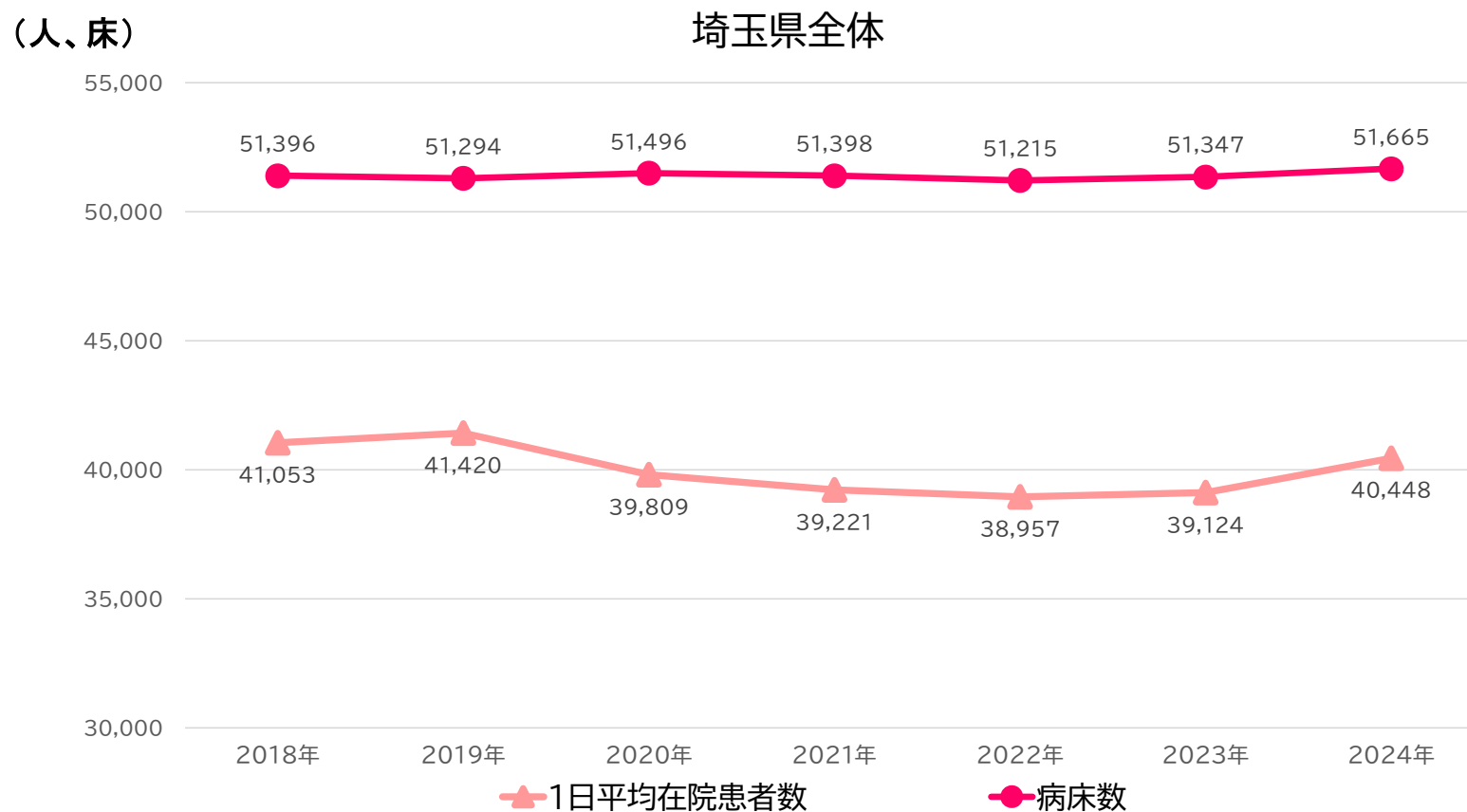
埼玉県



全国の数値等の出典:厚生労働省資料を一部改変、埼玉県の数値等の出典:地域医療構想策定支援ツール、病院報告

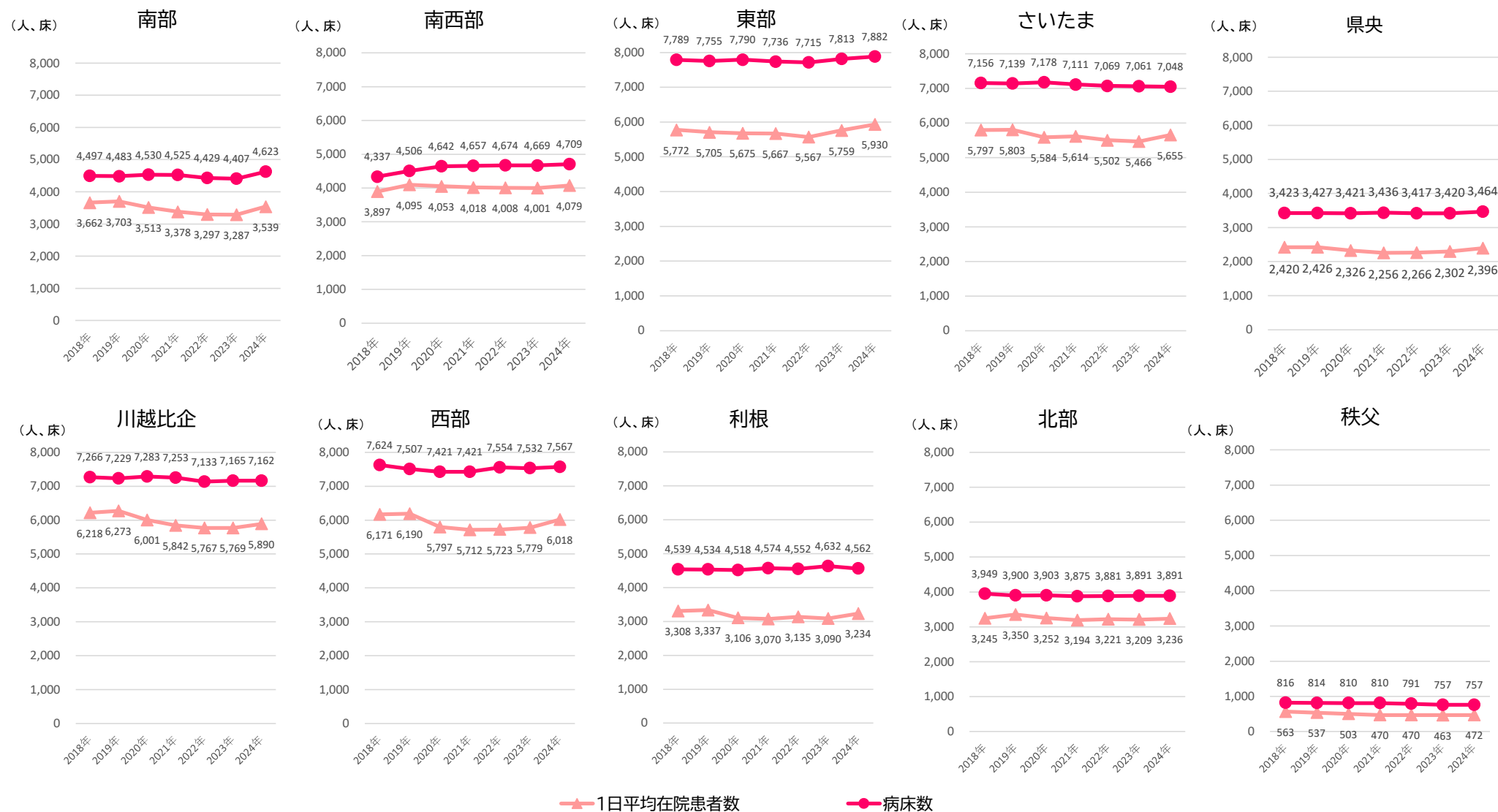
4 病床数・1日平均在院患者数(埼玉県全体)

- 病床数は、年ごとに変動はあるものの、増減は小さく、安定して推移している。
- 1日平均在院患者数の推移では、新型コロナウイルス感染症の流行期はやや落ち込んだが、その後は回復しつつある。



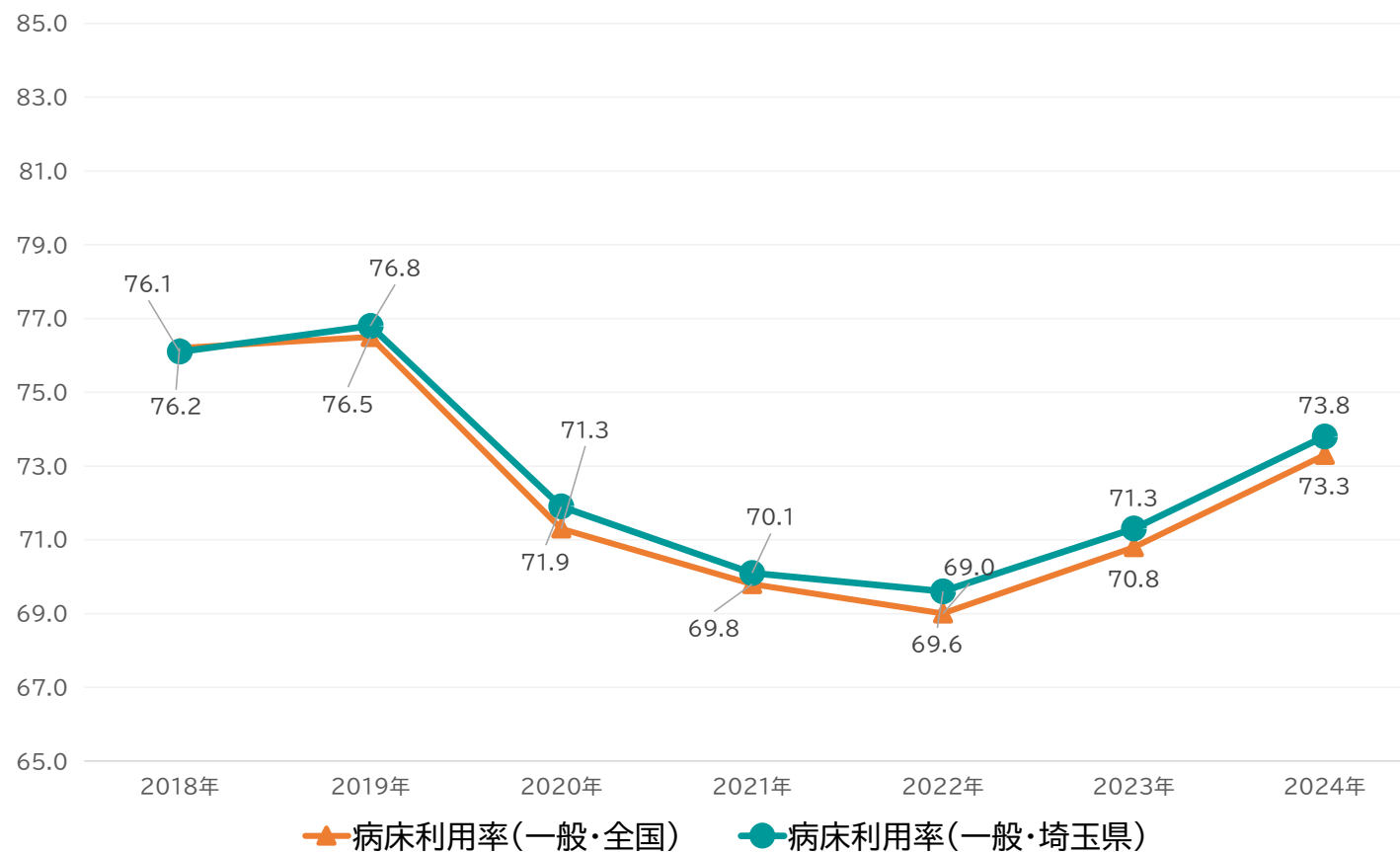
出典:病院報告第25表、第3表、病床機能報告

4 病床数・1日平均在院患者数(県内圏域別)



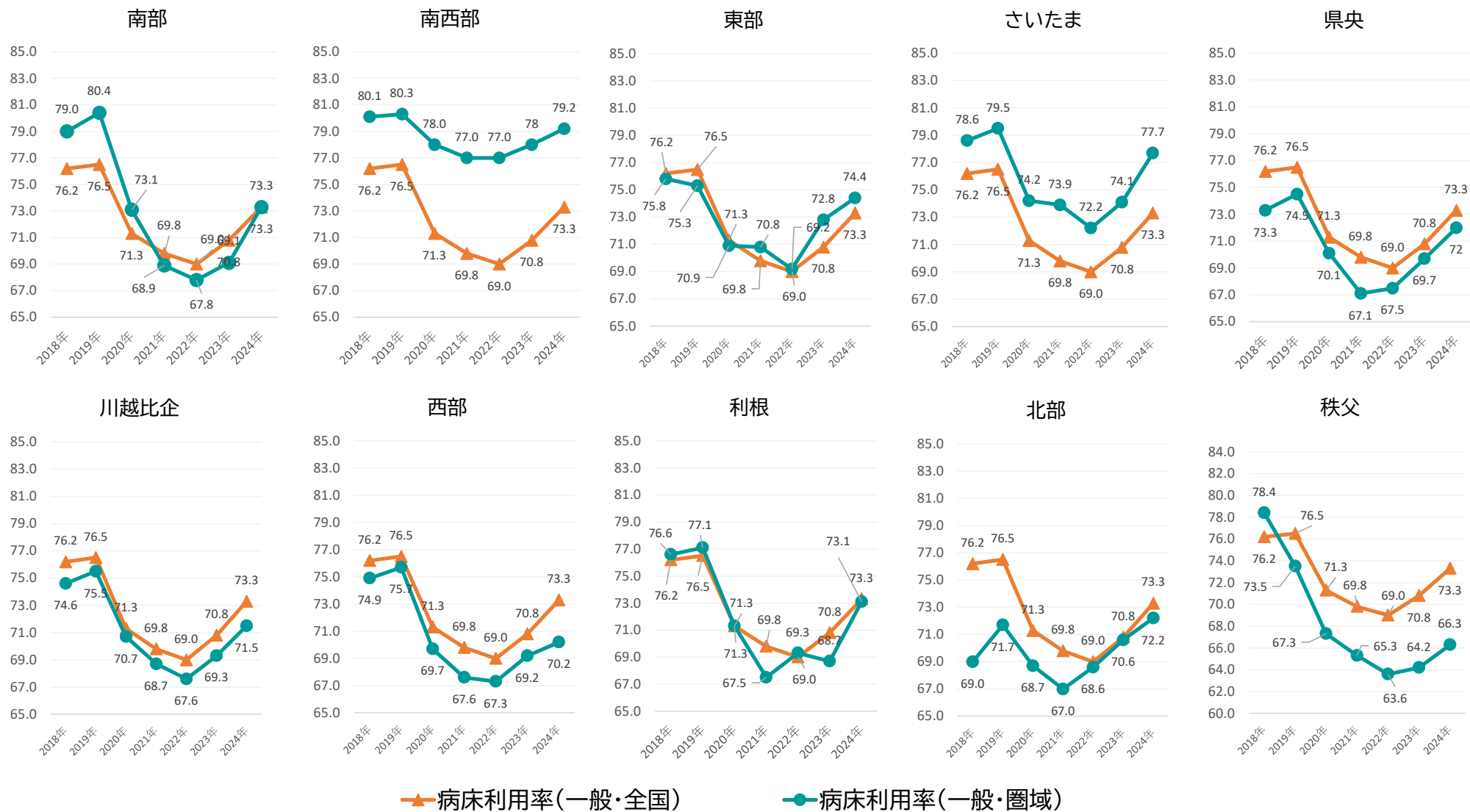
5 病床利用率(一般・埼玉県)

○ 一般病床の利用率は、コロナ禍において大きく低下し、その後回復傾向にある。特に埼玉県は全国と比較して低下幅が大きく、2020年以降は全国を下回る水準で推移したが、直近では全国と同程度まで回復している。しかし、いずれもコロナ前の水準には至っていない。



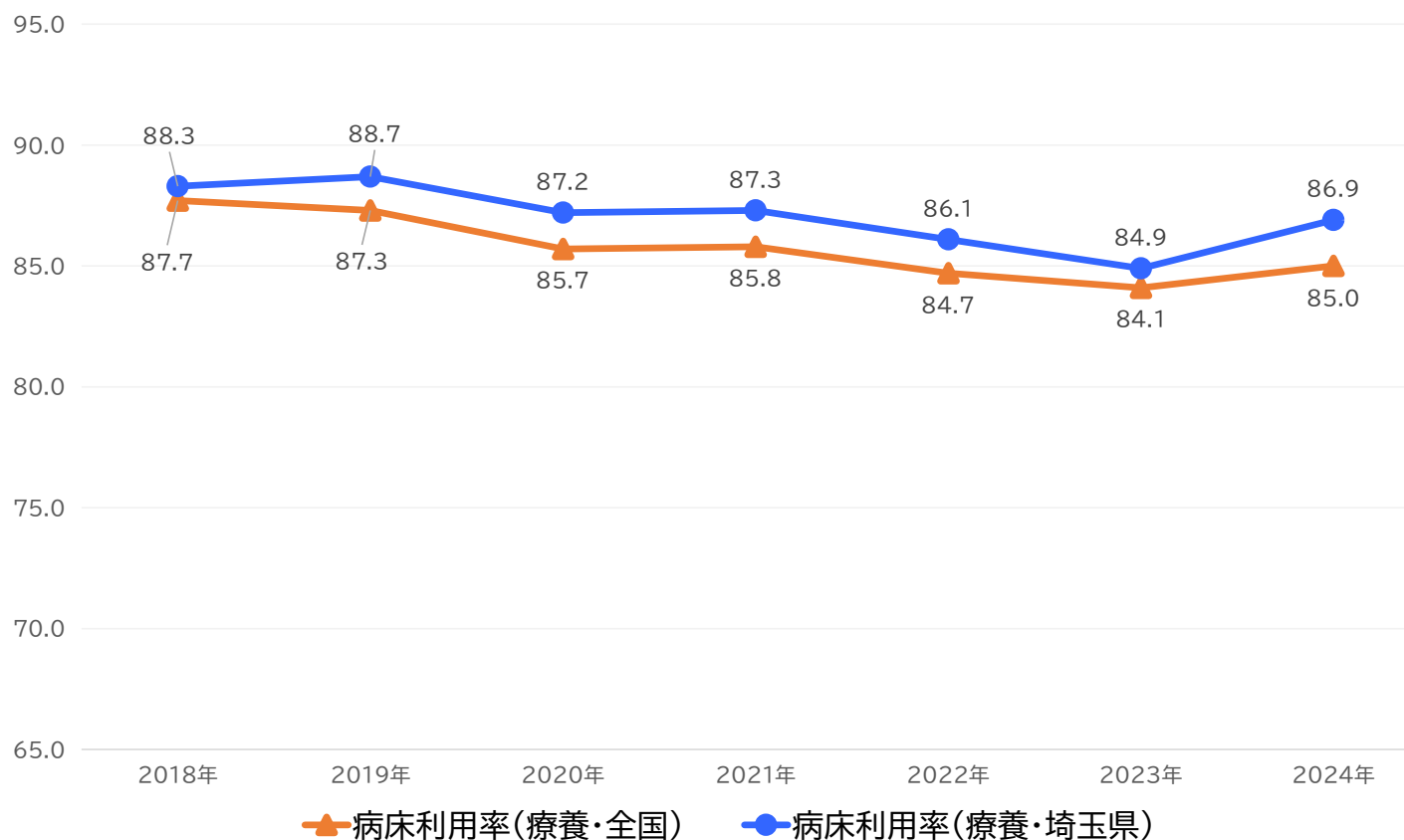
出典:病院報告第23表、第1表

5 病床利用率(一般・県内圏域別)



5 病床利用率(療養・埼玉県)

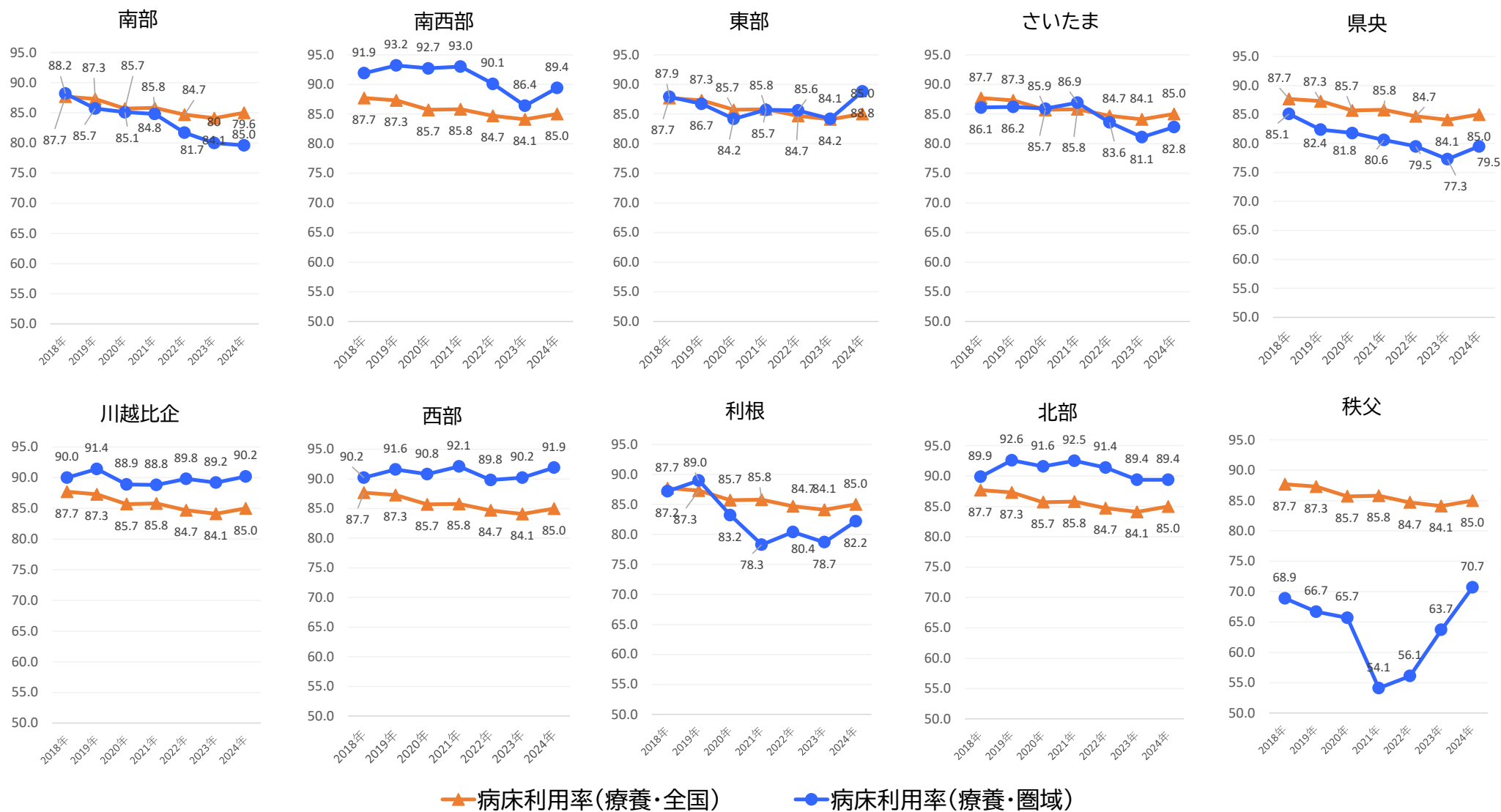
○ 病床利用率は2019年をピークに2022～2023年にかけて低下した。その後2024年にかけて回復傾向にあるものの、依然としてピーク水準には戻っていない。また、埼玉県は全国平均を一貫して上回る水準で推移している。



出典:病院報告第23表、第1表

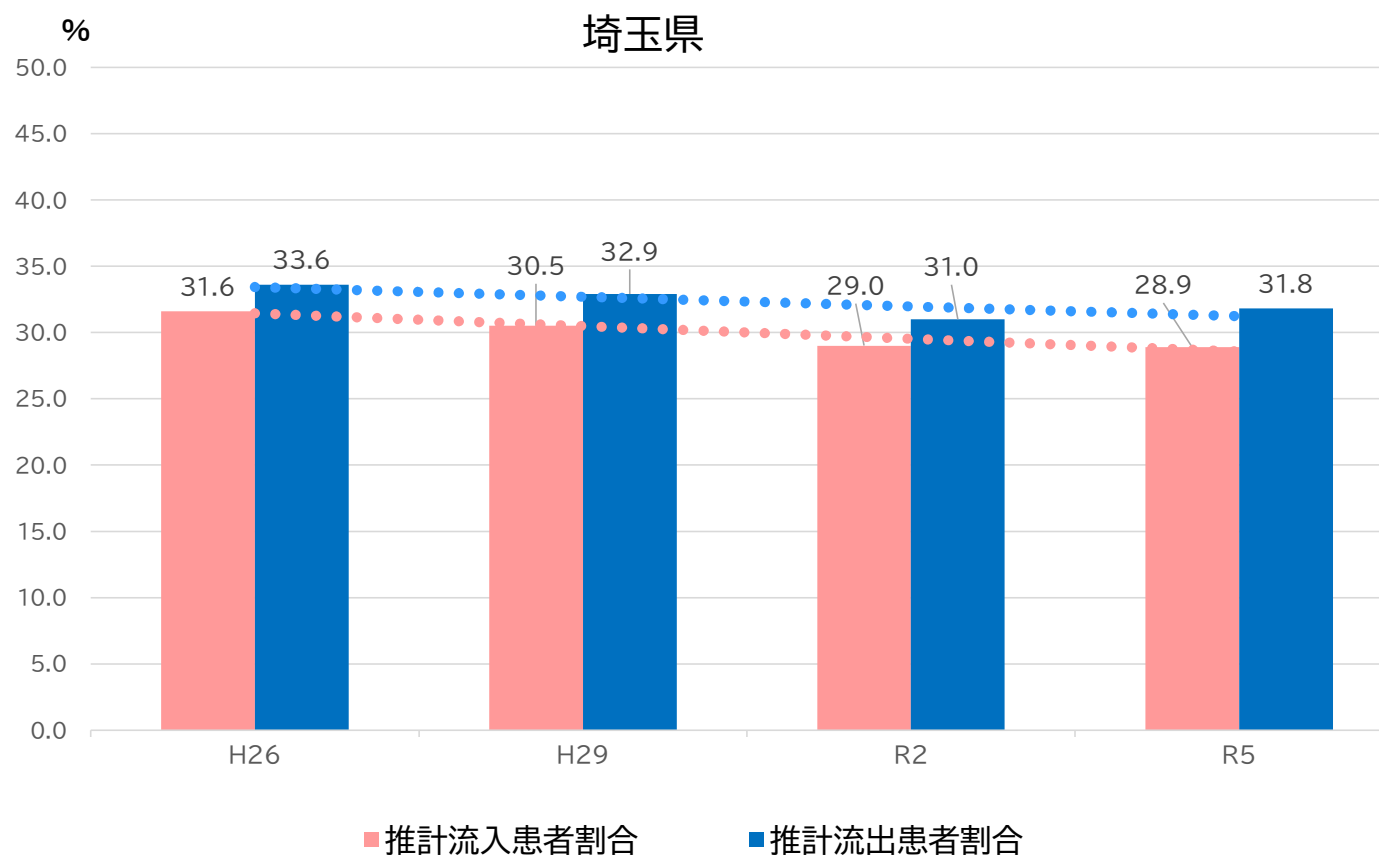
10

5 病床利用率(療養・県内圏域別)



6 患者の流入出割合(埼玉県)

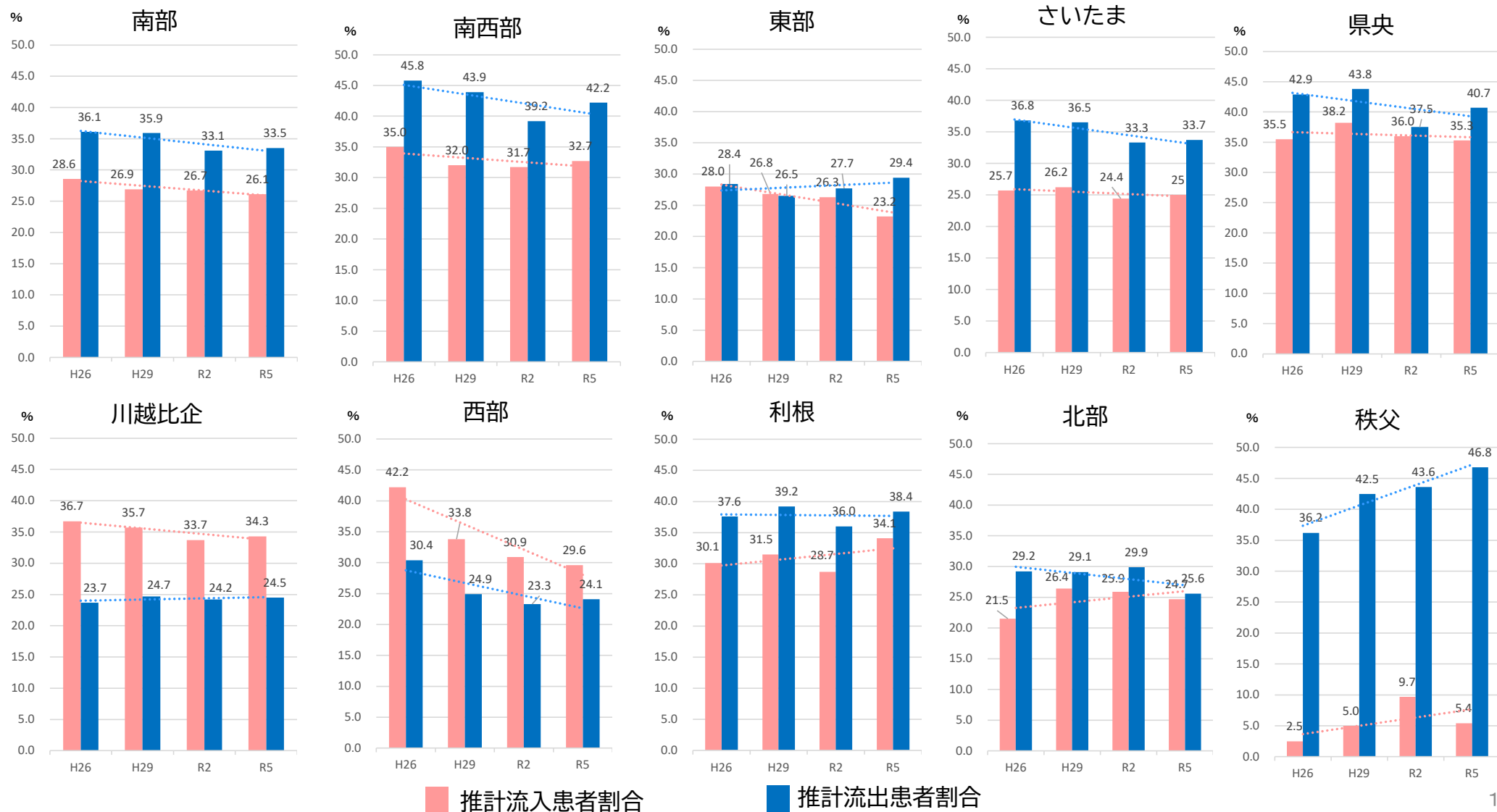
- 患者の流出割合および流入割合はいずれも長期的には減少傾向にあるが、全期間にわたり流出が流入を上回っており、県外受診(流出超過)の構造は継続している。



出典:患者調査より作成

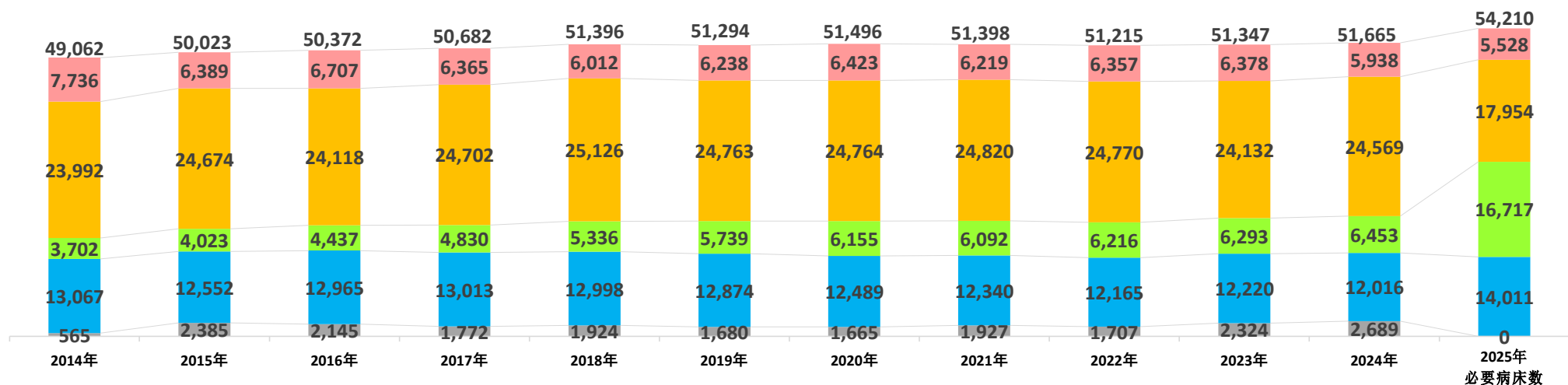
12

6 患者の流入出割合(県内圏域別)

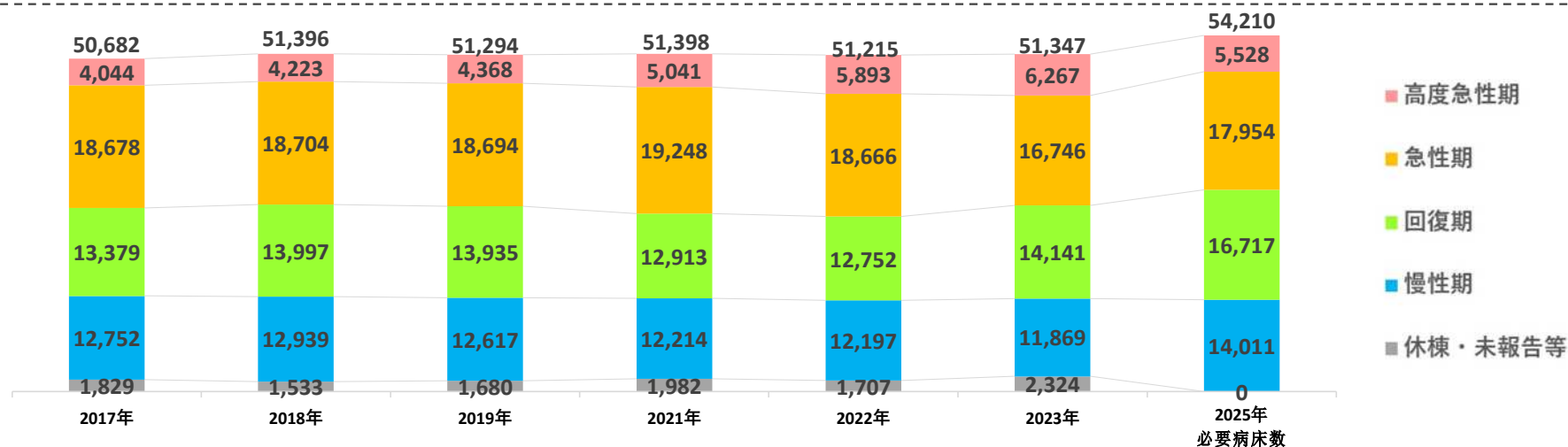


7 病床数(機能別)の推移

病床機能報告



定量基準分析



構想区域について

埼玉県保健医療部保健医療政策課

構想区域の役割について

- 構想区域については、①医療提供体制構築のため、②必要病床数運用のための、大きく2つの役割がある。
- それぞれ、医療提供体制構築のため、急性期拠点機能等が確保・維持できる単位であるか、必要病床数の議論等が可能な単位であるか等について、区域の人口や医療機関数、患者の流出入等を踏まえ、適切な規模で設定する必要がある。

構想区域 の 役割

① 医療機関の連携・再編・集約化など、 医療提供体制構築のための議論

- 区域内に所在する病院等が急性期、高齢者救急等について議論する単位
- 特に、急性期拠点機能の確保に係る議論のため、緊急手術等の急性期医療の需要が一定程度発生し、急性期拠点機能を確保・維持できるよう設定し、地域での議論や取組を推進できる必要

⇒人口20～30万人以上を目安としながら検討する必要

② 必要病床数の運用

- 入院医療の需要が減少することも踏まえながら、2040年に必要な病床数を確保するために設定する単位
- 特に、機能別に適切な病床数が確保できるよう、都道府県が適切に、調整会議や医療審議会での議論の進行や法令上の権限行使ができる必要

⇒都道府県が区域の人口や医療機関数、流出入等を踏まえて設定

38

出典：第6回地域医療構想及び医療計画等に関する検討会

構想区域について

地域医療構想及び医療計画等に関する検討会 新たな地域医療構想 とりまとめ R8.3.29

6. 策定について (2)構想区域

- 区域については、必要病床数の設定の観点や急性期拠点機能の確保等の提供体制を協議するための適切な範囲かといった観点を踏まえ、将来にわたって地域での医療提供に関する協議を行う場として設定するために、区域の設定や隣接する他都道府県の区域との連携体制の必要性について協議を行う。
- 構想区域の見直しに当たって、当該区域の人口規模等が大きく、交通等の整備状況によっては、区域内で病床数等の医療資源の偏在等の課題が生じる。また、人口規模等が小さすぎると、多くの医療が区域内で完結しなくなる。こうした点に留意しながら、都道府県ごとに地域の実態を踏まえながら検討することが必要となる。
- 構想区域は、現有する医療資源の状況や患者のアクセス等を踏まえながら設定することが必要である。このため、構想区域の見直しに当たっては、現在の人口や人口推計、医療機関数、機能区分別の病床数、必要病床数、建物・医療機器等の整備状況、医療従事者の医療資源や他の都道府県も含めた隣接する区域の医療資源、患者の流出入等について把握する必要がある。



令和7年度第3回本会議において、構想区域の現状について、各種データを情報提供。区域については、これらのデータその他、これまでの本会議や調整会議の意見等を踏まえ、2040年やその先の医療提供体制を検討する区域として、適切かどうかを協議してはどうか。

構想区域について

地域医療構想推進会議での主な意見

(令和7年度 第1回・第2回会議での主な意見)

- 基本である区域がこれで適切なのかは先に決めないと、医療機関機能、病床機能報告など議論がかみ合わない。
- 各々の病院の役割が医療圏と一致していないところが多分にあるのではないか。
- 近隣には大きな病院はないが、市町や医療圏の境界にあたりと、急性期拠点や地域支援系など病院の仕組みが医療機関機能で分かれてくると思われる。そこを勘案した上で、この区域で本当に良いのか、例えば救急医療がどのような形でどこで動いているのかというパターンが必要。
- 現在の2次医療圏を跨ぐような広域の圏域、在宅介護連携の圏域。在宅介護連携の圏域は県医師会を中心に拠点を設けて事業を行っており、職種の連携も進んでいる。
- 小児医療センターは、3次医療機関で広い範囲から患者が来ており、本来見るべき3次医療の課題のみならず2.5次を普段診療している状況である。構想区域を見つめ直すとき、小児、周産期、一部の領域の区域のあり方を一緒に考えていただきたい。

(令和7年度 第3回会議での主な意見)

- 埼玉県は10医療圏あり、秩父を除けば一番小さい県北部でも50万近い人口がある。国が想定している地域の医療とは基本ベースで乖離があるので、都道府県は自分たちの特性に合わせた構想をしっかりと掲げていかなくてはならない。
- 患者の流出入のデータは、2次医療圏の構想区域を流出流入のデータを見ながら変えようかということか。構想区域の変更をするのであれば、医療圏単位ではなく医療圏の縁の市町村の患者が急性期・回復期・慢性期でどう動いているのかが分かれば検討しやすくなると思う。
- 秩父を除けば、構想区域にはそれほど手を入れなくてもいいのではないか。

(参考) 構想区域と二次医療圏について

	構想区域	二次医療圏
埼玉県	10圏域。以下の関連計画等との整合が図られている。 ・埼玉県5か年計画における、地域特性の共通性や日常生活圏の一体性を考慮した「地域区分」 ・埼玉県高齢者支援計画における「老人福祉圏域」 ・埼玉県障害者支援計画における「障害保健福祉圏域」	第8次埼玉県地域保健医療計画における二次医療圏。 人口や面積の大きい二次保健医療圏に副次圏(東部、川越比企、利根、北部)を設定している。
根拠法	医療法第30条の4第2項第7号 医療法施行規則第30条の28の2	医療法第30条の4第2項第14号、15号 医療法施行規則第30条の29
法令による記載	● 地域における病床の機能の分化及び連携を推進するための基準として厚生労働省令で定める基準に従い定める区域。(医療法) ● 現行の二次医療圏を基本として、人口構造の見通し、医療需要の動向、医療従事者及び医療提供施設の配置の状況の見通し等を考慮して設定。(施行規則)	● 主として病院の病床及び診療所の病床の整備を図るべき地域的単位として区分する区域。 ● 主として厚生労働省令で定める特殊な医療を提供する病院の療養病床又は一般病床であつて当該医療に係るものの整備を図るべき地域的単位としての区域。(医療法) ● 設定にあたっては、地理的条件、日常生活の需要の充足状況や交通状況等の社会的条件等を考慮。(施行規則)
通知、ガイドラインによる記載	● 構想区域の設定に当たっては、現行の二次医療圏を原則としつつ、あらかじめ、人口規模、患者の受療動向、疾病構造の変化、基幹病院までのアクセス時間の变化など将来における要素を勘案して検討する必要がある。(地域医療構想策定ガイドライン) ● 地域医療構想は2025年のあるべき医療提供体制を目指すものであるが、設定した構想区域が現行の医療計画における二次医療圏と異なっている場合は、2024年3月が周期となる、次期医療計画の策定において、最終的には二次医療圏を構想区域と一致させることが適当である。(地域医療構想策定ガイドライン) ● 新たな地域医療構想における構想区域については、人口規模、医療需要の変化、医療従事者の確保、医療機関の維持等の観点から、医療提供体制上の課題がある場合には、必要に応じて構想区域の見直しを検討することが求められる。(新たな地域医療構想に関するとりまとめ)	● 地理的条件等の自然的条件及び日常生活の需要の充足状態、交通事情等の社会的条件を考慮して一体の区域として病院における入院に係る医療を提供する体制の確保を図ることが相当であると認められる区域。 ● 100万人以上の二次医療圏は、必要に応じて見直しを検討、構想区域内を細分化、地域の医療課題等の協議項目ごとに分けて開催するなどの工夫。 ● ①人口規模が20万人未満、②流入患者割合が20%未満、③流出患者割合が20%以上の全てに当てはまる場合は、圏域の設定を見直す。見直しを行わないこととする場合には、その理由(地理的条件、当該圏域の面積、地理的アクセス等)を明記すること。(医療計画について(R5.3.31医政局長通知))

構想区域について

現在の構想区域

○ 本県の構想区域は、地域医療構想ガイドライン及び関連計画との整合性等を考慮し、10ある二次保健医療圏と一致させている。

区域	区域内市町村	市町村数	総人口 ¹⁾	面積km ² ₂₎	区域内保健所
南部	川口市・蕨市・戸田市	3	825,859	85.25	南部・川口市
南西部	朝霞市・志木市・和光市・新座市・富士見市 ふじみ野市・三芳町	7	738,733	110.95	朝霞
東部	春日部市・草加市・越谷市・八潮市・三郷市 吉川市・松伏町	7	1,160,009	249.71	春日部・草加 越谷市
さいたま	さいたま市	1	1,350,500	217.43	さいたま市
県央	鴻巣市・上尾市・桶川市・北本市・伊奈町	5	532,118	172.91	鴻巣
川越比企	川越市・東松山市・坂戸市・鶴ヶ島市 毛呂山町・越生町・滑川町・嵐山町・小川町 川島町・吉見町・鳩山町・ときがわ町・東秩父村	14	782,570	626.53	東松山・坂戸 川越市
西部	所沢市・飯能市・狭山市・入間市・日高市	5	766,312	406.32	狭山
利根	行田市・加須市・羽生市・久喜市・蓮田市 幸手市・白岡市・宮代町・杉戸町	9	633,887	473.95	加須・幸手
北部	熊谷市・本庄市・深谷市・美里町・神川町 上里町・寄居町	7	494,191	562.12	熊谷・本庄
秩父	秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町	5	90,119	892.62	秩父
		63	7,374,298	3,797.75	



1)町(丁)字別人口調査 令和7年1月1日現在 結果報告
2)令和7年全国都道府県市区町村別面積調(7月1日時点)

(参考) 地域保健医療計画 疾病・事業ごとの区域

○ 本県の地域保健医療計画においては、疾病の種類や事業の特性に応じて、広域的な区域または各事業ごとに設定された区域において施策を実施している。

	がん	脳卒中・心筋 梗塞等の心 血管疾患	糖尿病	精神医療 (精神科救急)	救急	災害	周産期	小児	感染症	在宅医療
南部				第1	戸田・蕨 川口					
南西部				第2	朝霞 川越					
東部					東部南					
さいたま				第1	さいたま					
県央					中央					
川越比企					川越・比企 坂戸・飯能					
西部				第2	所沢 坂戸・飯能					
利根				第1	熊谷・深谷 東部北					
北部				第2	熊谷・深谷 児玉					
秩父					秩父					

拠点病院を中心に
原則二次医療圏で対応

医療圏の設定はないが、急性期は救急の医療圏で対応

圏域の設定はなし

第1

第2

第1

第2

第1

第2

災害拠点病院・災害時連携病院を中心に、
原則二次医療圏で対応

周産期母子医療センターの各担当区域を中心に対応

第二次救急医療圏で対応

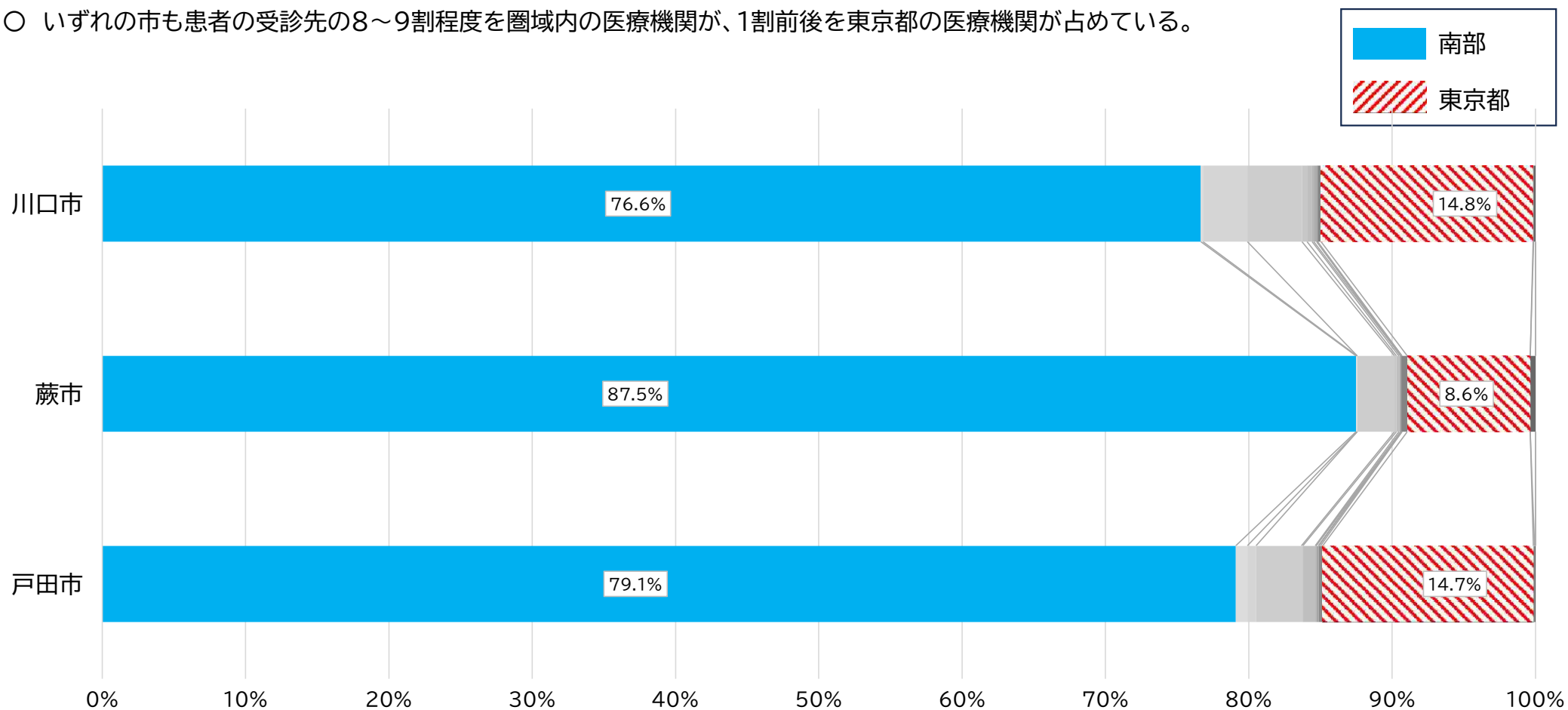
第一種感染症指定医療機関は全県で、
第二種は二次医療圏で対応 ※感染症病床

二次医療圏で対応

構想区域について（精神除く）

患者住所地ごとの受診医療機関所在地割合（南部・入院レセプト件数）

○ いずれの市も患者の受診先の8～9割程度を圏域内の医療機関が、1割前後を東京都の医療機関が占めている。

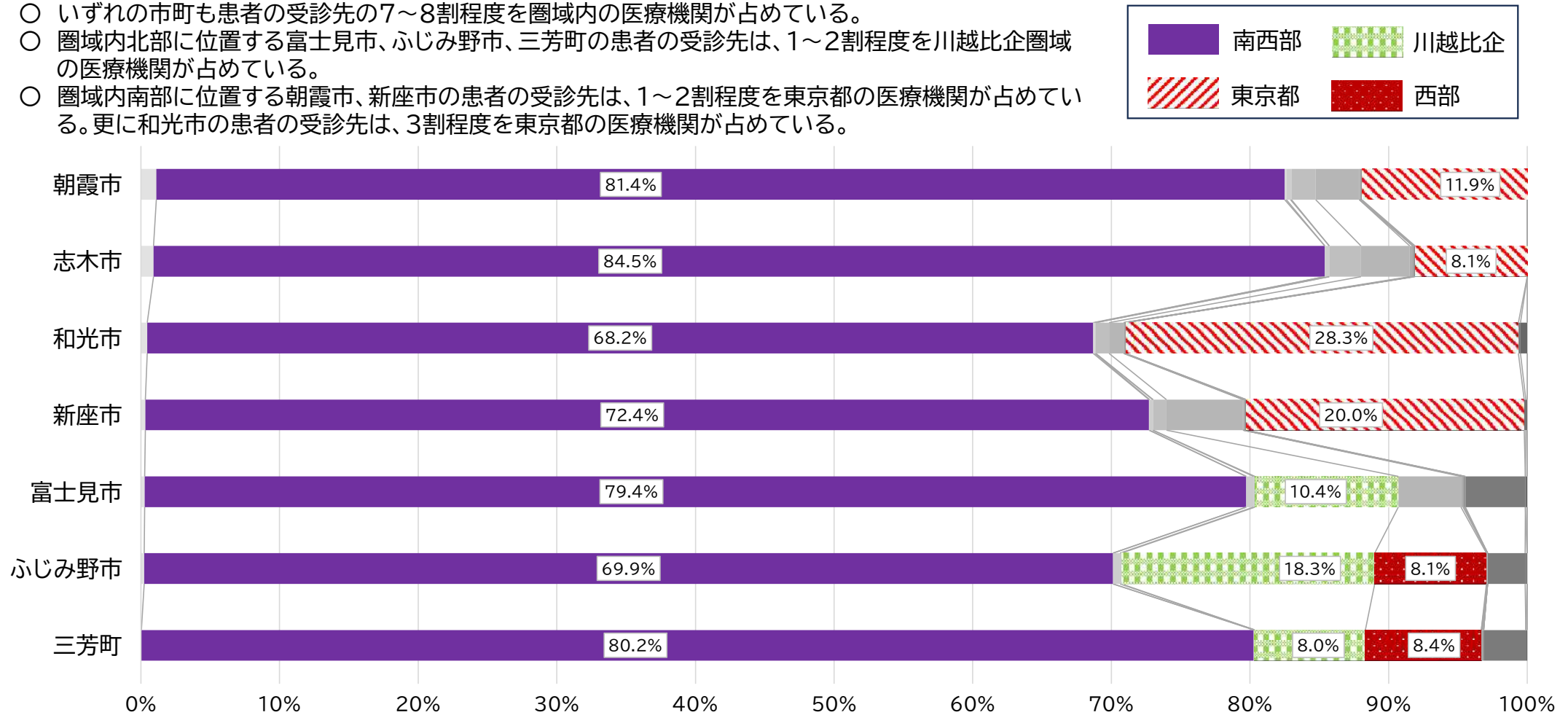


出典：医療計画策定支援データブック 数値は令和5年度

構想区域について（精神除く）

患者住所地ごとの受診医療機関所在地割合（南西部・入院レセプト件数）

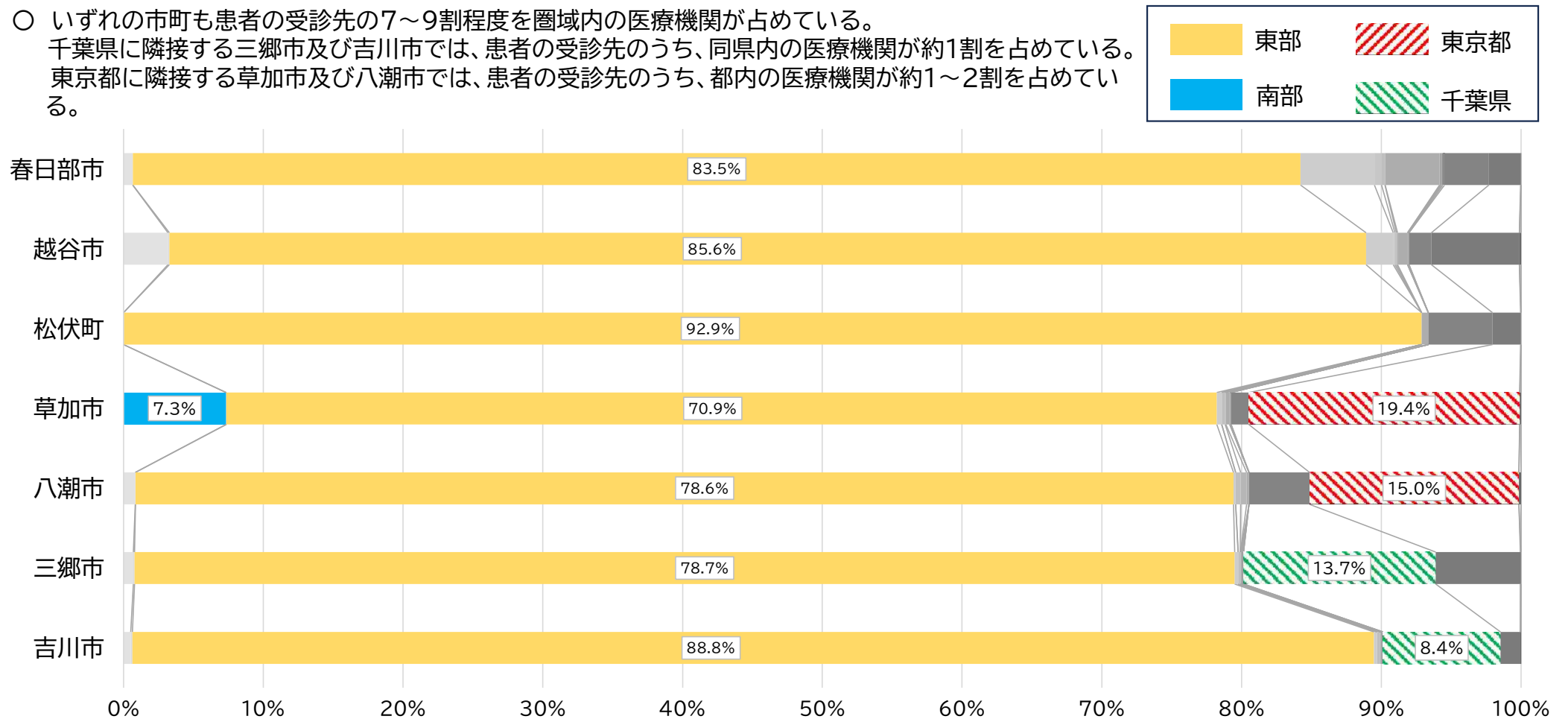
- いずれの市町も患者の受診先の7～8割程度を圏域内の医療機関が占めている。
- 圏域内北部に位置する富士見市、ふじみ野市、三芳町の患者の受診先は、1～2割程度を川越比企圏域の医療機関が占めている。
- 圏域内南部に位置する朝霞市、新座市の患者の受診先は、1～2割程度を東京都の医療機関が占めている。更に和光市の患者の受診先は、3割程度を東京都の医療機関が占めている。



構想区域について（精神除く）

患者住所地ごとの受診医療機関所在地割合（東部・入院レセプト件数）

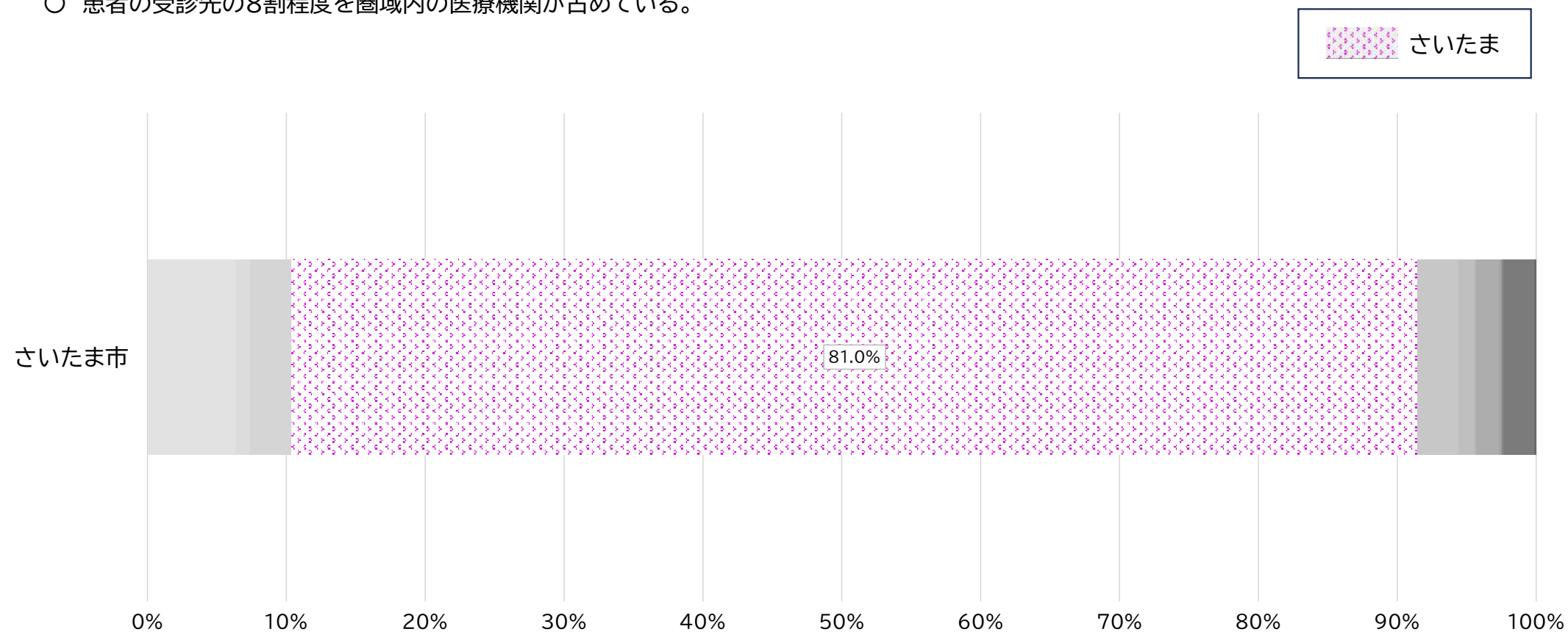
- いずれの市町も患者の受診先の7～9割程度を圏域内の医療機関が占めている。
 千葉県に隣接する三郷市及び吉川市では、患者の受診先のうち、同県内の医療機関が約1割を占めている。
 東京都に隣接する草加市及び八潮市では、患者の受診先のうち、都内の医療機関が約1～2割を占めている。



構想区域について（精神除く）

患者住所地ごとの受診医療機関所在地割合（さいたま・入院レセプト件数）

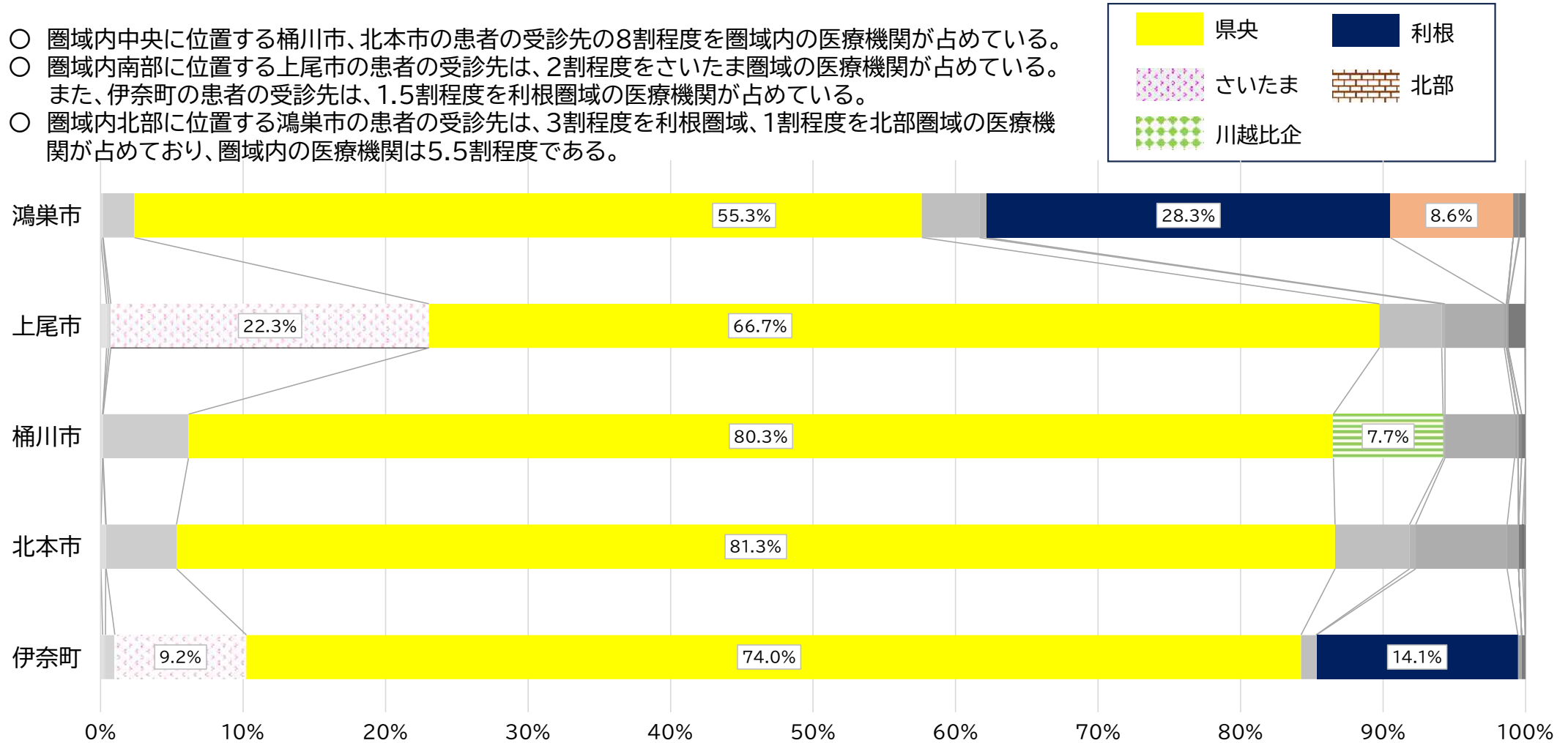
○ 患者の受診先の8割程度を圏域内の医療機関が占めている。



構想区域について（精神除く）

患者住所地ごとの受診医療機関所在地割合（県央・入院レセプト件数）

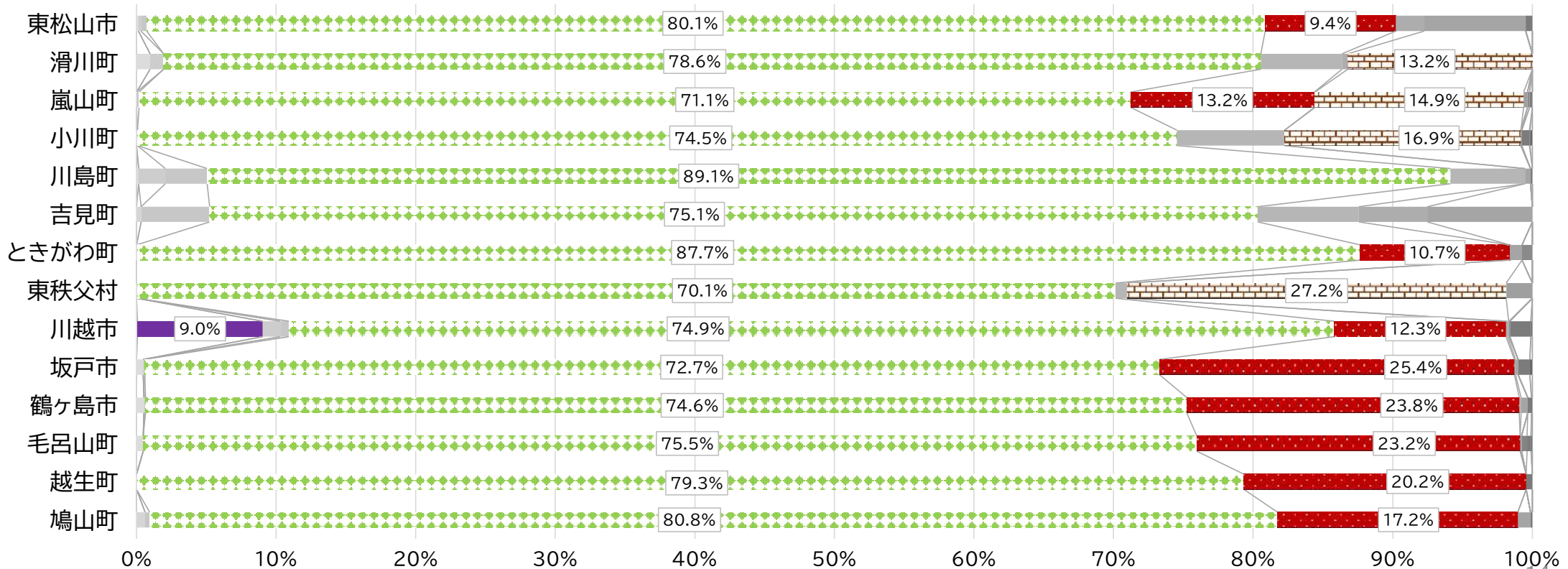
- 圏域内中央に位置する桶川市、北本市の患者の受診先の8割程度を圏域内の医療機関が占めている。
- 圏域内南部に位置する上尾市の患者の受診先は、2割程度をさいたま圏域の医療機関が占めている。
また、伊奈町の患者の受診先は、1.5割程度を利根圏域の医療機関が占めている。
- 圏域内北部に位置する鴻巣市の患者の受診先は、3割程度を利根圏域、1割程度を北部圏域の医療機関が占めており、圏域内の医療機関は5.5割程度である。



構想区域について（精神除く）

患者住所地ごとの受診医療機関所在地割合（川越比企・入院レセプト件数）

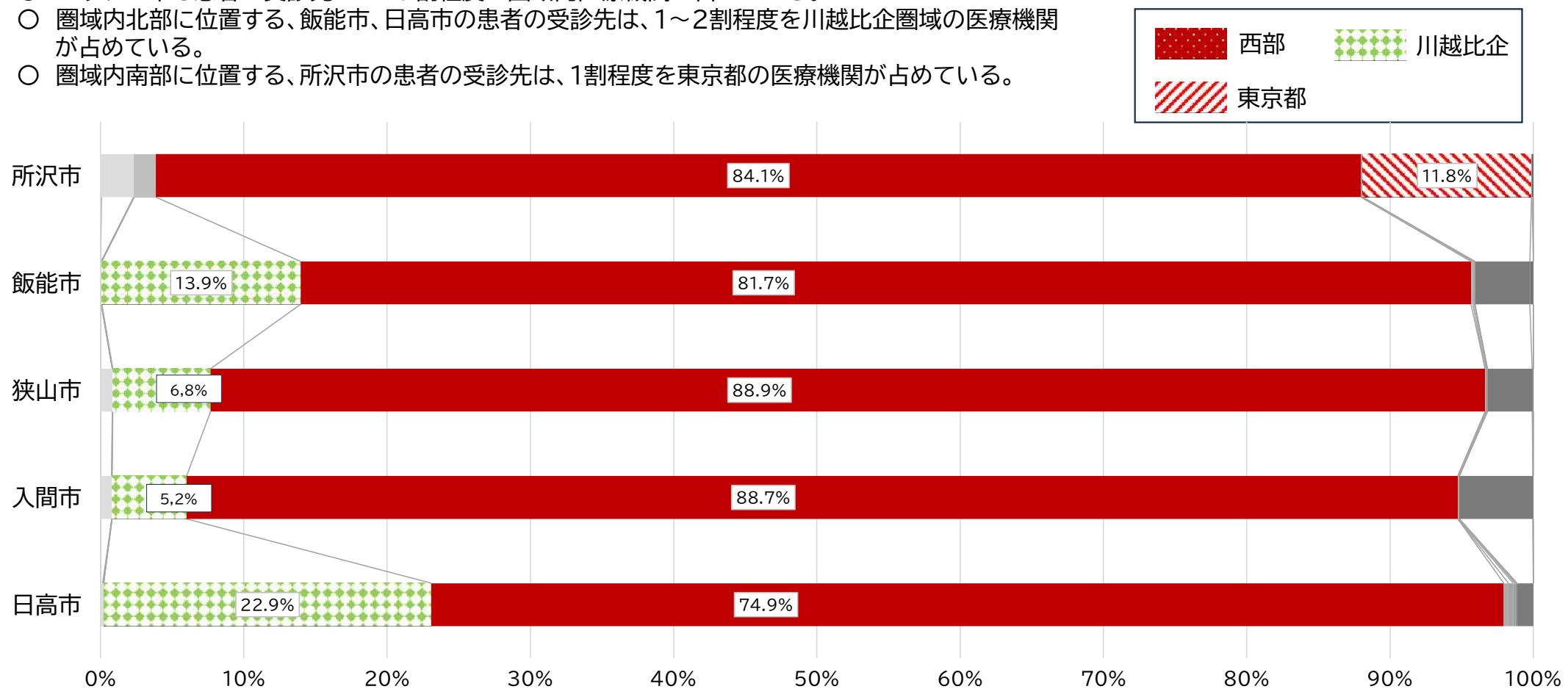
- いずれの市町村も患者の受診先の7～9割程度を圏域内医療機関が占めている。
- 圏域内西～中央に位置する、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、鳩山町の患者の受診先は、2割程度を西部圏域の医療機関が占めている。
- 圏域内北部に位置する、滑川町、嵐山町、小川町の患者の受診先は、1～2割程度を北部圏域の医療機関が占めている。更に東秩父村の患者の受診先は3割程度を北部圏域の医療機関が占めている。



構想区域について（精神除く）

患者住所地ごとの受診医療機関所在地割合（西部・入院レセプト件数）

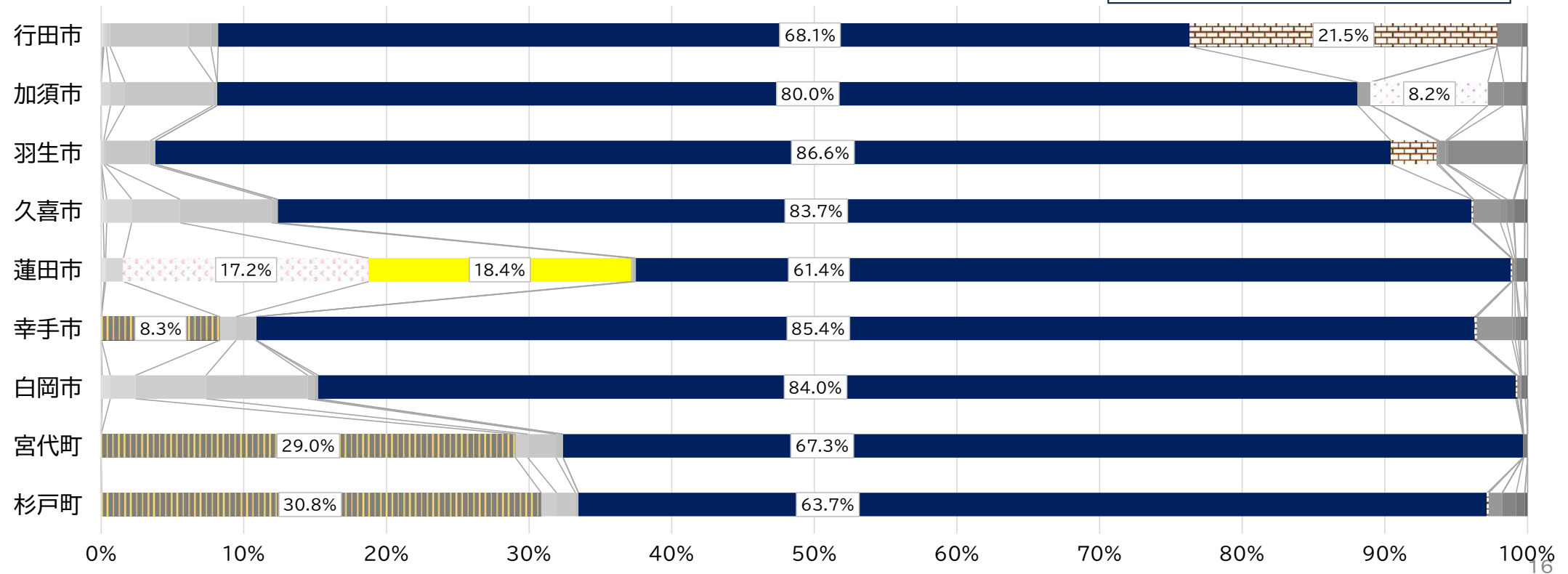
- いずれの市も患者の受診先の7～9割程度を圏域内医療機関が占めている。
- 圏域内北部に位置する、飯能市、日高市の患者の受診先は、1～2割程度を川越比企圏域の医療機関が占めている。
- 圏域内南部に位置する、所沢市の患者の受診先は、1割程度を東京都の医療機関が占めている。



構想区域について（精神除く）

患者住所地ごとの受診医療機関所在地割合（利根・入院レセプト件数）

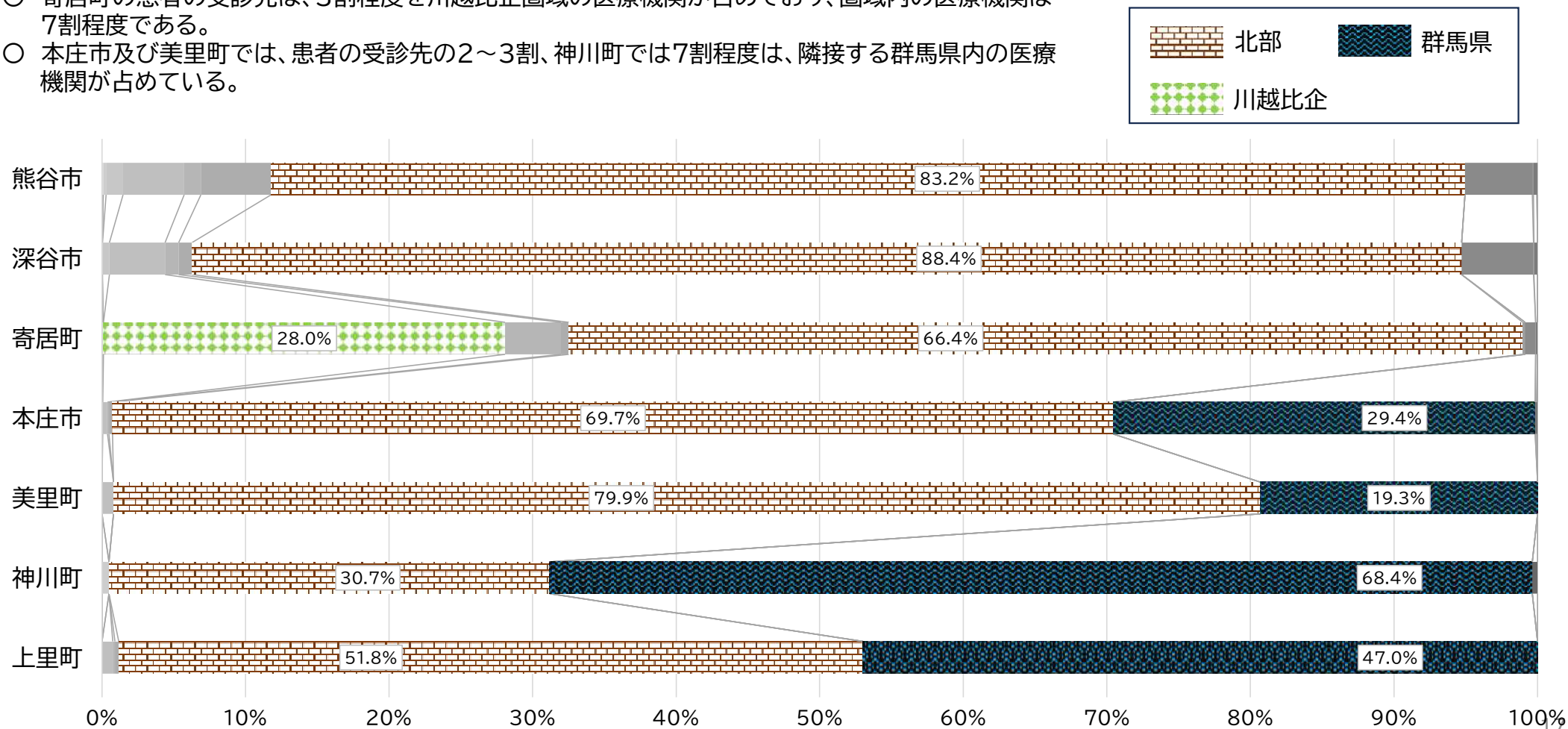
- 圏域北部に位置する行田市、加須市の患者の受診先は、2割程度を北部圏域の医療機関が占めており、圏域内の医療機関は7割程度である。
- 圏域南部に位置する蓮田市の患者の受診先は、計3～4割程度をさいたま圏域と県央圏域の医療機関が、宮代町、杉戸町は、3割程度を東部圏域の医療機関が占めており、圏域内の医療機関は6～7割程度である。



構想区域について（精神除く）

患者住所地ごとの受診医療機関所在地割合（北部・入院レセプト件数）

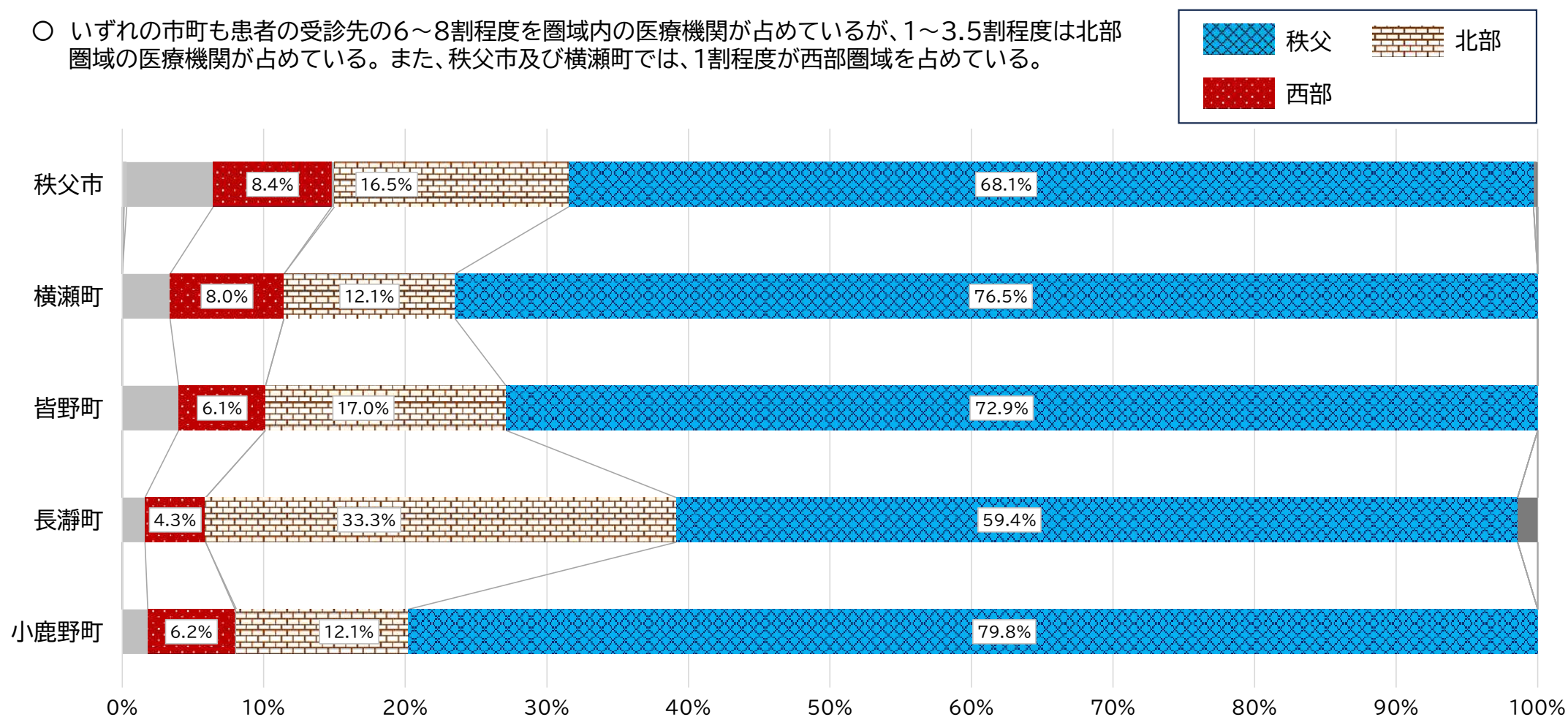
- 寄居町の患者の受診先は、3割程度を川越比企圏域の医療機関が占めており、圏域内の医療機関は7割程度である。
- 本庄市及び美里町では、患者の受診先の2～3割、神川町では7割程度は、隣接する群馬県内の医療機関が占めている。



構想区域について（精神除く）

患者住所地ごとの受診医療機関所在地割合（秩父・入院レセプト件数）

○ いずれの市町も患者の受診先の6～8割程度を圏域内の医療機関が占めているが、1～3.5割程度は北部圏域の医療機関が占めている。また、秩父市及び横瀬町では、1割程度が西部圏域を占めている。



構想区域について

区域の人口規模を踏まえた医療機関機能の考え方（案）



区域	現在の人口規模の目安	急性期拠点機能	高齢者救急・地域急性期機能	在宅医療等連携機能	専門等機能
大都市型	100万人以上 ※東京などの人口の極めて多い地域においては、個性が高く、地域偏在等の観点も踏まえつつ別途整理	- 将来の手術等の医療需要を踏まえ、区域内に複数医療機関を確保 - 都道府県からの依頼等を踏まえ、地域の医療機関へ医師を派遣する ※人口20万人～30万人毎に1拠点を確保することを目安とする。	高齢者救急の対応の他、骨折の手術など、頻度の多い一部の手術についても対応	- 診療所による在宅医療の実施が多い場合、そうした診療所や訪問ステーション等の支援 - 高齢者施設等からの患者受入等の連携	- 特定の診療科に特化した手術等を提供 - 有床診療所の担う地域に根ざした診療機能 - 集中的な回復期リハビリテーション - 高齢者等の中長期にわたる入院医療等
地方都市型	50万人程度	- 将来の手術等の医療需要を踏まえ、区域内に1～複数医療機関を確保 - 都道府県からの依頼等を踏まえ、地域の医療機関へ医師を派遣する ※人口20万人～30万人毎に1拠点を確保することを目安とする	- 高齢者救急の対応 - 手術等が必要な症例については地域の医療資源に応じて、急性期拠点機能を有する医療機関へ搬送	- 地域の在宅医療の提供状況に応じて、在宅医療・訪問看護の提供や後方支援を実施 - 高齢者施設等からの患者受入れ等の連携	
人口の少ない地域	～30万人 ※20万人未満の地域については、急性期拠点機能の確保が可能かどうか等について特に点検し、圏域を設定	- 手術等の医療資源を多く投入する医療行為について集約化し区域内に1医療機関を確保する - 地域の医療資源に応じて、高齢者救急・地域急性期機能や在宅医療等連携機能をあわせて選択することも考えられる ※大学病院本院が区域内にある場合、大学が担う医療の内容等を踏まえた上で、必要に応じて大学病院本院と別に医療機関を確保しうる	- 地域の医療資源の範囲内で高齢者救急の対応 - 手術等が必要な症例については急性期拠点機能を有する医療機関へ搬送	- 診療所による在宅医療の実施が少ない場合、自らが在宅医療や訪問看護を提供 - 高齢者施設等からの患者受入れ等の連携	

※ 地域の実情に応じて、複数の医療機関機能の選択が可能

※ 区域の人口規模については、現在の人口規模に加えて、必要に応じて、2040年の人口等も踏まえながら、どの区域に該当するか等を地域で検討

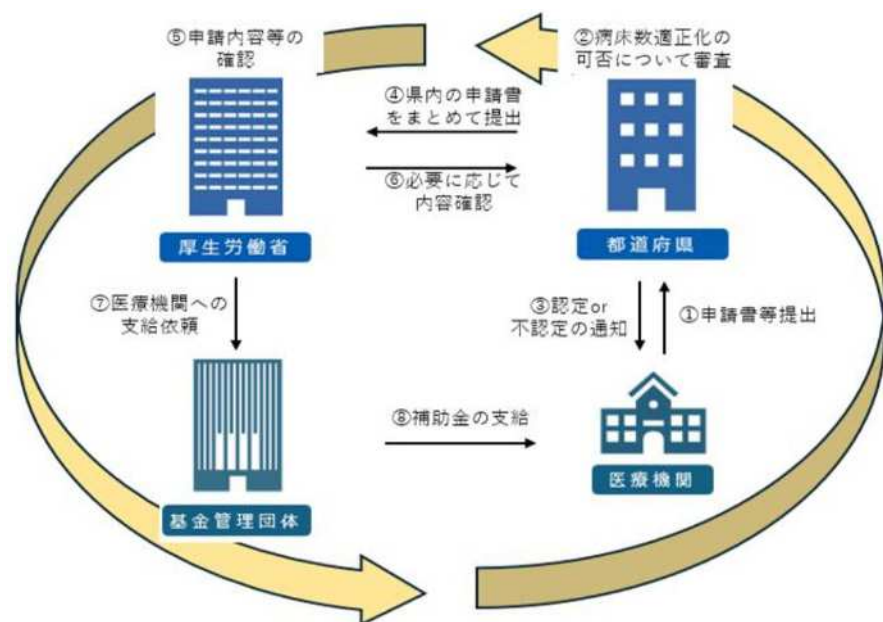
41

出典：第3回地域医療構想及び医療計画等に関する検討会

19

病床数適正化緊急支援事業について

- 概要 医療機関がその経営の安定を図るために緊急に病床数を削減することを支援するもの
- 対象病床 病院・有床診療所の一般病床・療養病床・精神病床で令和9年3月31日までに削減する病床
- 国の予算額 3,490億円（国の基金管理団体が医療機関に直接給付するため、県予算なし）
- 支給額単価 4,104千円／床（休床病床 2,052千円／床）



【スケジュール】

- ・7月14日 医療機関から県へ申請
(取りまとめ結果は次頁以下のとおり)
- ・7月下旬 地域医療構想調整会議
～8月上旬
- ・8月24日 埼玉県から厚生労働省へ申請

※国の交付決定及び基金管理団体からの支援金給付時期は未定。

病床数適正化緊急支援事業 第1回申請まとめ

【概要】

- ・ 65医療機関(46病院、19有床診療所)から、1,621床の削減の申請があった。半数以上が休床中の病床。
- ・ 削減病床が既存病床に占める割合は、一般・療養病床2.2%、精神病床4.7%にとどまった。

(※既存病床数 一般・療養49,651、精神12,831)

医療機関数	申請病床数	一般・療養			精神		
			稼働病床	休床		稼働病床	休床
65機関	1,621床	1,061床	522床	539床	560床	272床	288床

【地域の意見聴取】

- ・ 病床削減による医療提供体制への影響について、7月下旬～8月上旬に各二次医療圏で開催する「地域医療構想調整会議」で、地域の意見を伺う(一般・療養病床を30床以上削減予定の病院には、会議で直接説明していただく)。
- ・ 地域で病床削減の了承が得られた医療機関については、給付金の対象として国に申請する。
- ・ 地域の医療提供体制に支障が生じるとの懸念が解消されない場合は、当該医療機関に再検討をお願いする。

二次保健医療圏別の申請病床数等

二次保健医療圏	医療 機関数	申請 病床数	稼働病床	休床				既存病床数 に占める 申請病床数 の割合	精神			既存病床数 に占める 申請病床数 の割合
					一般・療養	稼働病床	休床			稼働病床	休床	
県全体	65	1,621	794	827	1,061	522	539	2.2%	560	272	288	4.7%
南部	2	29	29	0	29	29	0	0.6%	0	0	0	
南西部	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	
東部	10	246	49	197	170	49	121	2.1%	76	0	76	
さいたま	8	79	63	16	66	50	16	1.0%	13	13	0	
県央	4	166	129	37	157	120	37	4.8%	9	9	0	
川越比企	12	248	156	92	84	32	52	1.2%	164	124	40	
西部	11	241	73	168	103	30	73	1.5%	138	43	95	
利根	8	297	88	209	274	78	196	6.9%	23	10	13	
北部	9	270	162	108	133	89	44	3.7%	137	73	64	
秩父	1	45	45	0	45	45	0	6.5%	0	0	0	

川越比企保健医療圏 病床数適正化緊急支援事業 申請医療機関(一般・療養)

NO.	医療機関の名称	区分	市町村名	入院医療を中止する診療科	削減時期	削減前許可病床数	削減予定病床数【一般・療養】			削減予定病床の医療機能（R7病床機能報告）				
								稼働病床	休床	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
1	埼玉医科大学病院	病院	毛呂山町	—	R9.3.31	952	30	0	30					30
2	埼玉医科大学総合医療センター	病院	川越市	—	R9.3.31	1,057	22	0	22					22
3	武蔵野総合病院	病院	川越市	—	R8.12.31	185	17	17	0		3	13	1	
4	清水病院	病院	坂戸市	産婦人科 (産科)(婦人科)	R8.12.31	32	10	10	0		10			
5	東松山医師会病院	病院	東松山市	内科	R9.3.31	202	2	2	0		2			
6	伊佐沼クリニック耳鼻咽喉科診療所	診療所	川越市	耳鼻いんこう科	R8.8.1	4	2	2	0		2			
7	中村産婦人科	診療所	小川町	—	R9.3.31	18	1	1	0		1			
川越比企 合計							84	32	52	0	18	13	1	52

R6病床機能報告 医療圏全体	7,016	1,774	2,028	1,124	1,918	172
R6病床機能報告 医療圏全体 (定量基準適用時)	7,016	807	1,933	1,992	1,853	431

二次保健医療圏別の申請病床数（精神）

二次保健医療圏		申請 予定 医療 機関 数	申請予定(削除)病床数				既存病床数 (R8.3.31)	削減後 既存 病床数	既存病床数 に占める 申請予定病 床数の割合	基準病床数	削減後 基準病床数	基準病床 数に占め る申請予 定病床数 の割合	
			R7削減済病床		稼働 病床	休床							
			稼働病床	休床									
		(A)	(B)	(C)			(D)	(D)-(A-B-C)	(A)／(D)	(E)	(E)－(A)	(A)／(E)	
県全体		17	560	65	26	207	262	12,831	12,362	4.4%	12,003	11,352	4.7%
南部	0	0	0	0	0	0	0	988	988	0%	精神病床の基準病床数は、 医療法施行規則に規定する 算定式に基づき、 県の区域(三次保健医療圏) で定めることとされている。		
南西部	0	0	0	0	0	0	0	1,041	1,041	0%			
東部	1	76	0	0	0	76	1,780	1,704	4.3%				
さいたま	1	13	13	0	0	0	1,134	1,134	1.1%				
県央	1	9	0	0	9	0	644	635	1.4%				
川越比企	5	164	48	0	76	40	2,157	2,041	7.6%				
西部	5	138	0	0	43	95	2,319	2,181	6.0%				
利根	2	23	0	0	10	13	1,182	1,159	1.9%				
北部	2	137	4	26	69	38	1,586	1,479	8.6%				
秩父	0	0	0	0	0	0	0	0	0%				

川越比企保健医療圏 病床数適正化緊急支援事業 申請医療機関(精神)

No.	医療機関の名称	区分	市町村名	R7削減済病床数			削減前許可病床数	削減予定病床数			削減時期
					稼働病床	休床			稼働病床	休床	
1	川越同仁会病院	病院	川越市	0	0	0	257	12	12	0	R8.10.1
2	医療法人山口病院	病院	川越市	48	48	0	225	0	0	0	R7.3.24
3	医療法人社団ゆうしん 西川病院	病院	川越市	0	0	0	68	34	34	0	R8.12.1
4	小川赤十字病院	病院	小川町	0	0	0	40	40	0	40	R8.10.1
5	丸木記念福祉メディカル センター	病院	毛呂山町	0	0	0	388	30	30	0	R9.2.1
	合 計			48	48	0		116	76	40	

川越市における 地域包括ケアシステムの 推進に向けた取組

川越市の概要

(令和8年4月1日現在)

- 人口 : 352,637人 (172,420世帯)
- 高齢化率 : 27.16%
- 高齢者人口 : 65歳以上 95,781人
 - 《内訳》 65歳～74歳人口 37,086人
 - 75歳以上人口 58,695人

令和8年7月30日 (木)

埼玉県川越比企地域医療構想調整会議

川越市福祉部地域包括ケア推進課

電話 : 049 (224) 6087 (直通)

E-mail : hokatsucare@city.kawagoe.lg.jp

新型コロナウイルス
感染症の流行

事業見直し
オンライン活用
活動再開に向けて

さらなる有機的連動
「つながり」を重視し実効性を高める



第9期計画

構成要素の有機的連動
関係機関等とのネットワーク構築

第8期計画

5つの構成要素※を整備

※住まい、医療、介護、生活支援、介護予防

第7期計画

川越市の地域包括ケアシステム推進状況

すこやかプラン・川越

- 川越市高齢者保健福祉計画・川越市介護保険事業計画 - より

地域包括ケアシステム構築・推進に向けた取組

地域包括ケアシステムの5つの構成要素「住まい」「医療」「介護」「生活支援」「介護予防」の有機的連動をはかる。

第9期介護保険事業計画

基本方針

住み慣れた地域で、見守りながら、
支え合いながら、
健幸で安心して暮らせるまちの
実現をめざします

重点取組

- 社会参加の機会にめぐまれ、一人ひとりが役割を持ち活躍できること
- 誰もが気軽に集まれる場があること
- 誰もが安心して外出できること
- 医療・介護の専門職が関与し、本人主体の生活を送ることができること

【川越市の地域包括ケアシステムの推進における主な取組状況】（令和6年9月1日現在）

第9期川越市介護保険等事業計画の
キーワードは「つながり」

医療・介護（在宅医療・介護連携推進事業）

- コミュニティケアネットワークかわごえ（事務局・川越市医師会）と連携し、医療・介護関係者等のネットワークづくり及び同職種・多職種の資質向上を行い、在宅療養を選択できる環境づくりを実施
- 在宅医療拠点センター機能の拡充（医療と介護の連携拠点、在宅医療に関する相談支援、在宅療養支援ベッドの入院調整、地域住民への普及啓発）
- 研修会、エリアミーティング、医療介護フォーラムの開催
- 在宅療養支援ベッド（在宅療養の後方支援ベッド）の協力医療機関
- 川越市在宅医療・介護保険事業者検索システム（定期的に情報更新された医療・介護サービス情報の提供）

認知症支援対策 （認知症総合支援推進事業）（任意事業）

- 認知症地域支援推進員を配置し、認知症の方及び家族の支援体制を推進
- 認知症に対する理解の促進
- 認知症サポーター養成講座の開催
- 認知症ガイドブックの配布
- 認知症ケアバスや相談可能な関係機関等掲載
- 本人ミーティング
- 認知症の予防と早期発見・早期対応
- 認知症初期集中支援チームの設置（多職種による初期の包括的支援）
- 認知症相談会、認知症ケア専門相談の開催（専門医や作業療法士等による相談会）
- 認知症伴走型支援事業
- 認知症バリアフリーの推進
- 介護者への支援等ケアラー支援
- オレンジカフェ
- 認知症サポーターステップアップ講座の開催
- チームオレンジ
- 認知症家族介護教室の開催
- 介護マーク配布事業
- 徘徊高齢者家族支援サービス事業（徘徊高齢者の早期発見・事故の未然防止）
- 「お帰り安心ステッカー」の配布
- 「徘徊防止システム（GPS）」の利用料の助成
- 成年後見制度における中核機関の設置（制度の周知、各種相談への対応等）
- 成年後見制度利用支援事業（市民生活での実施、後見人等に対する情報の提供）

川越市が目指す地域包括ケアシステム（イメージ）



地域ケア会議の推進

- 地域包括ケアシステムの推進において、個別事例の課題及び地域課題について検討し、各事業の政策形成を行う。
- 地域ケア個別会議
- 自立支援型ケア会議
- 担当圏域ケア会議
- 地域ケア推進会議

地域包括支援センター

- 地域包括ケアシステムの中核となり、本人・家族等への相談支援を行い、すべての事業において主体的または後方的な支援を行う
- 総合相談事業
- 権利擁護事業
- 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業
- 福祉相談センターとの連携
- （福祉総合相談窓口との連携・多機能協働による支援）

生活支援・介護予防（介護予防・日常生活支援総合事業）（生活支援体制整備推進事業）

- 介護予防・日常生活支援総合事業を実施（平成28年3月より）
- 訪問型サービス（旧介護予防訪問介護相当）及び通所型サービス（旧介護予防通所介護相当）、多様なサービスのうち、短期集中予防サービス（ときどき運動教室、いさいさ米後訪問）を実施、他事業との有機的連携を図る
- 地域で介護予防の実践の先導となるボランティア（介護予防サポーター）を養成し、自治会館等で介護予防に取り組み「自主グループ」が市内約190箇所、活動中、そのほか、「自主グループ」に対し、専門職による出前講座を実施
- 生活支援体制整備推進事業
- 第1層及び第2層生活支援コーディネーター（SC）を配置し、介護予防・生活支援サービスの提供体制の構築に向け以下の取組を実施
- 第1層（市内全域）、第2層（支会単位）協議体を設置（地域で高齢者を支援する関係者間のネットワークづくりや資源創出を目的とした、連携・協働の場）
- 市民フォーラムの開催（地域の支え合いにおける普及啓発）
- 「めぐり逢えるかわごえ」の開催（分野を越えた活動団体のマッチング）
- 社会資源の把握、担い手の育成、困りごとに対する情報提供等

※新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年は一時休止した事業もあったが、動画配信やオンライン等で工夫し実施。

■ 第9期計画における位置づけ

施策の柱Ⅴ

持続可能な介護サービス提供の推進

施策の方向性1

本人を主体としたサービスが提供できている

ウ) 地域リハビリテーション提供体制の充実

介護予防に関する機能強化型地域包括支援センターの機能を、市内すべての地域包括支援センターに拡充を図るため、リハビリテーション専門職を配置し、必要に応じてケアマネジャーと同行訪問するなど、各圏域の核となり、住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らし続けられるよう、地域リハビリテーション活動支援事業をさらに進めていきます。（略）

■ 経過

平成27年 4月	機能強化型地域包括支援センターを設置（介護予防事業の強化を図るため、市内1か所の地域包括支援センターに理学療法士を配置）
令和5年 1月	第9期計画策定に向けた現場の声を聴く会で下記の意見が聞かれた（一部抜粋） ✓ 訪看・訪リハなど専門職からの支援は有効であるが、利用するには単価が高い。 ✓ ケアマネへの支援として、支援の最初の部分で、専門職（リハ職など）にピンポイントに相談でき、必要に応じて同行訪問してもらった方がいい。
令和5年度 ～ 令和6年度	川越市地域包括支援センター等運営協議会にて「地域包括支援センターの体制強化について」の1つの取組として検討を重ねる
令和7年 3月	機能強化型地域包括支援センターを廃止
令和7年 4月	各地域包括支援センターにリハビリテーション専門職を配置

■ 配置後のヒアリングから聞かれた声

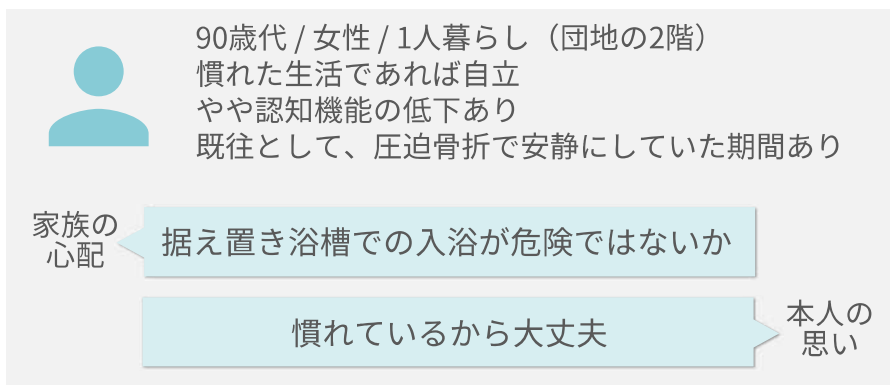
小江戸ケアマネジャー協会に協力いただき、ケアマネジャー3名から意見聴取

主な意見

- ✓ 訪問リハを導入するには、主治医の意見書が必要。導入前に、見立てをした上で導入の可否について助言をもらえることで適切なサービスの導入につながっている。
- ✓ 急に動けなくなった高齢者に対し、同行訪問し、予後予測をしてもらった。本人・ご家族と話をしてもらい、訪問リハの導入に至った。その際、家族に対して、介助方法のアドバイスもあり、介護者の負担軽減につながった。
- ✓ 自宅内の環境を確認した上での福祉用具の提案をもらえるので助かっている。最初から福祉用具を導入すると、以降福祉用具ありきのサービス利用になり、途中からサービス利用をやめることがなかなかできない。
- ✓ 家族としては、訪問リハや通所リハについて、「効果があれば使うけど」といった反応が多い。ケアマネとして断言できない中、リハ職が根拠をもって話をしてもらおうと、家族も納得してくれる。
- ✓ 機能強化型地域包括支援センターのときと比べ、すべての包括に配置されたので気軽に頼めるようになり、心強い。

■ 同行訪問事例

住宅改修や福祉用具の提案



自宅訪問（本人/家族/ケアマネ/福祉用具事業者/訪問介護/包括PT）

- ✓ 普段の暮らし方や本人の希望を共有
- ✓ メモを活用でき、宅配の手配や服薬管理も自立していることを確認
- ✓ PTが運動や認知機能のアセスメントを行った
 - 転倒リスクが低く、体力は回復傾向
 - 踏み台と手すりを設置することで入浴可能と判断

大きな改修はせず、慣れた生活を継続することを決め、引き続き多職種で支援をしながら在宅生活を継続

■ 第9期計画における位置づけ

施策の柱Ⅲ 地域の協力体制の強化

施策の方向性 1

地域で支え合いながら不安なく生活できている

ア) 地域住民と共に支え合う地域づくりの推進

多様な主体による多様なサービスの創出に向けて、第1層および第2層の生活支援コーディネーターが、各地域のニーズを把握し、住民主体に限らず民間事業者等を含めた資源の把握に努め、（途中省略）進めていきます。

住民相互の助け合いの重要性を認識し、高齢者自身が就労的活動等を通じて、生活支援の担い手として社会参加できるようなしくみづくりもあわせて検討していきます。

■ 取組概要

- ✓生活支援コーディネーターが把握／発掘／立ち上げ支援をしてきたインフォーマルサービス等が、お互いエール（応援）しあい、困りごとの解決につなげるためめぐり逢う場所として、年2～3回開催（令和6年1月～）
- ✓1回あたり4～5団体が活動報告を実施
- ✓インフォーマルサービスや民間企業の取組紹介を行うだけでなく、紹介された事例同士がマッチングし、新たな取組につながった事例もみられている



<マッチング例>

就労継続支援
B型事業所



自治会役員運営の
学習支援教室

コミュニケーション能力トレーニングの一環でボードゲームを活用している事業所と、夏休みのメニューを増やしたい学習支援教室がめぐり逢い、子どもたちの休憩時間にアイスブレイクとしてボードゲームを活用

認知症支援 本人ミーティング

■ 第9期計画における位置づけ

施策の柱Ⅱ 認知症にやさしいまちづくりの推進

施策の方向性1

認知症の人とその家族が不安なく生活できている

ア) 本人ミーティングの開催

認知症の本人が、自身の希望や必要としていることなどを本人同士で語り合うなど、認知症の本人自らが発信できる場として、認知症地域支援推進員等と連携しながら本人ミーティングを定期的に開催していきます。

また、本人ミーティングの場を通じて本人の意見を把握し、認知症の人自身の視点を認知症施策に反映するよう努めていきます。

■ 経緯

令和2年度	認知症地域支援推進員会議で本人ミーティングについて検討
令和3年度	埼玉県・さいたま市若年性認知症サポートセンターの協力を得て、認知症のある方と関わる関係者向けに「本人ミーティング～当事者の思いを聴く～」を開催
令和4年度	認知症地域支援推進員会議にてワーキンググループを結成し、日時や実施時のルールについて検討
令和5年度～	定期的に開催（令和7年度開催回数：11回）

医療介護フォーラム（令和7年10月26日開催）

- ✓ 講師（堀田聡子氏）とともに、本人ミーティングに参加しているご本人が登壇。診断を受けた時の葛藤や日常生活での工夫について語るとともに、趣味の編み物や歌を披露した。
- ✓ 来場者にとって認知症への理解を深める機会となり、認知症になっても地域や仲間とのつながりの中で、適切な支援や工夫により希望を持って暮らせることを伝える場となった。また、「認知症になったら何もできなくなる」という古いイメージの払拭にもつながる機会となった。
- ✓ 登壇者本人にとっても、フォーラムへの参加が大きな自信となり、その後のボランティア活動への挑戦など、新たな社会参加のきっかけとなっている。



顔の見える
関係づくりの強化

“つながり”を重視し、地域包括ケアシステムに関係する各種取組が高齢者の生活の質の向上に繋がるよう、行政だけでなく、地域、関係機関、市民が一丸となって引き続き推進していきます。

ご清聴ありがとうございました

地域包括ケアシステムの推進に 向けた取り組み～坂戸市～

坂戸市の概要（令和8年4月1日現在）

人 口：99,081人

高 齢 化 率：30.2%

高齢者人口：29,922人

うち 65歳～74歳人口：11,401人

75歳以上人口：18,521人

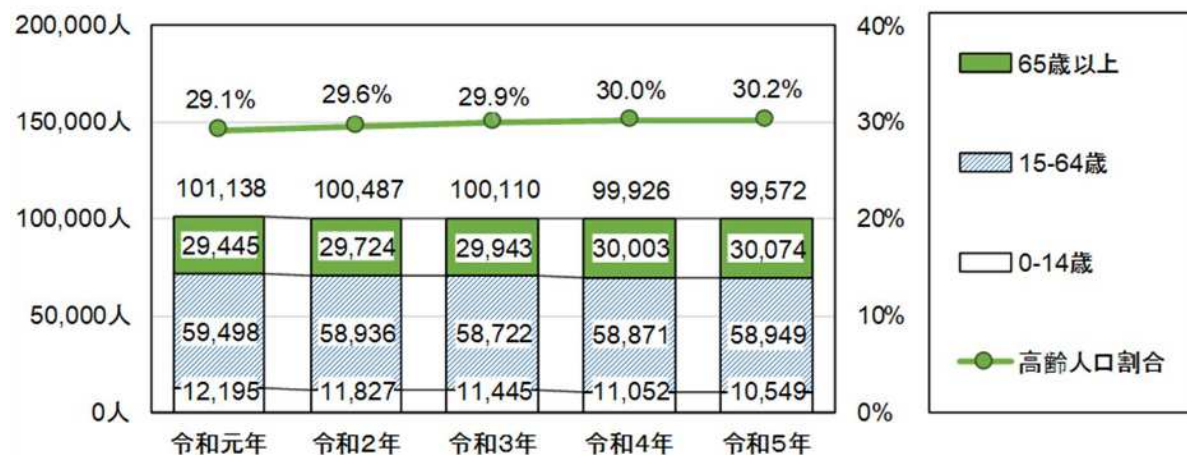
坂戸市福祉部高齢者福祉課

電話 049-283-1331（内線464）

こども健康部市民健康センター

電話 049-284-1621（直通）

人口の状況



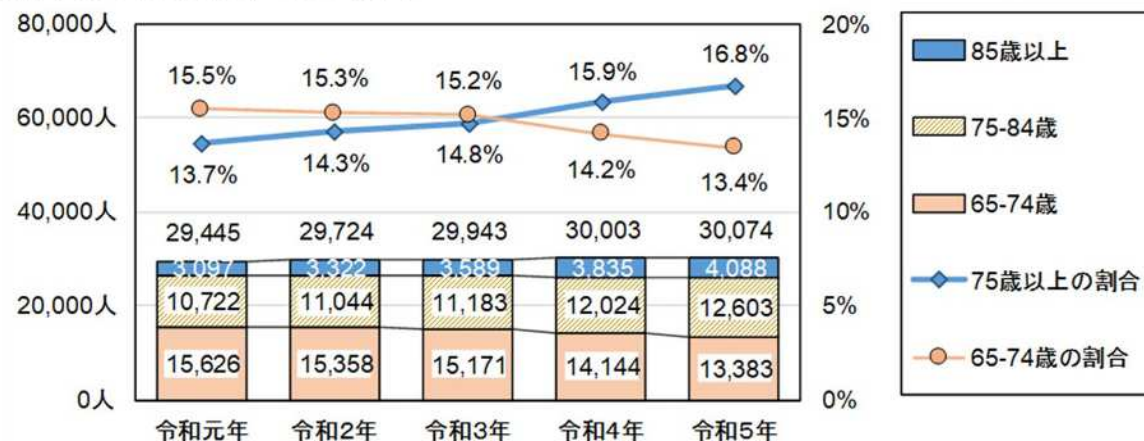
■人口推移

令和元(2019)年の101,138人から令和5(2023)年の99,572人へ1,566人減少しており、高齢化率は30.2%となっています。

■年齢区分別の高齢者数の推移

高齢者数は年々増加しているとともに、令和4(2022)年以降は75歳以上高齢者数が65歳以上高齢者数を上回っています。

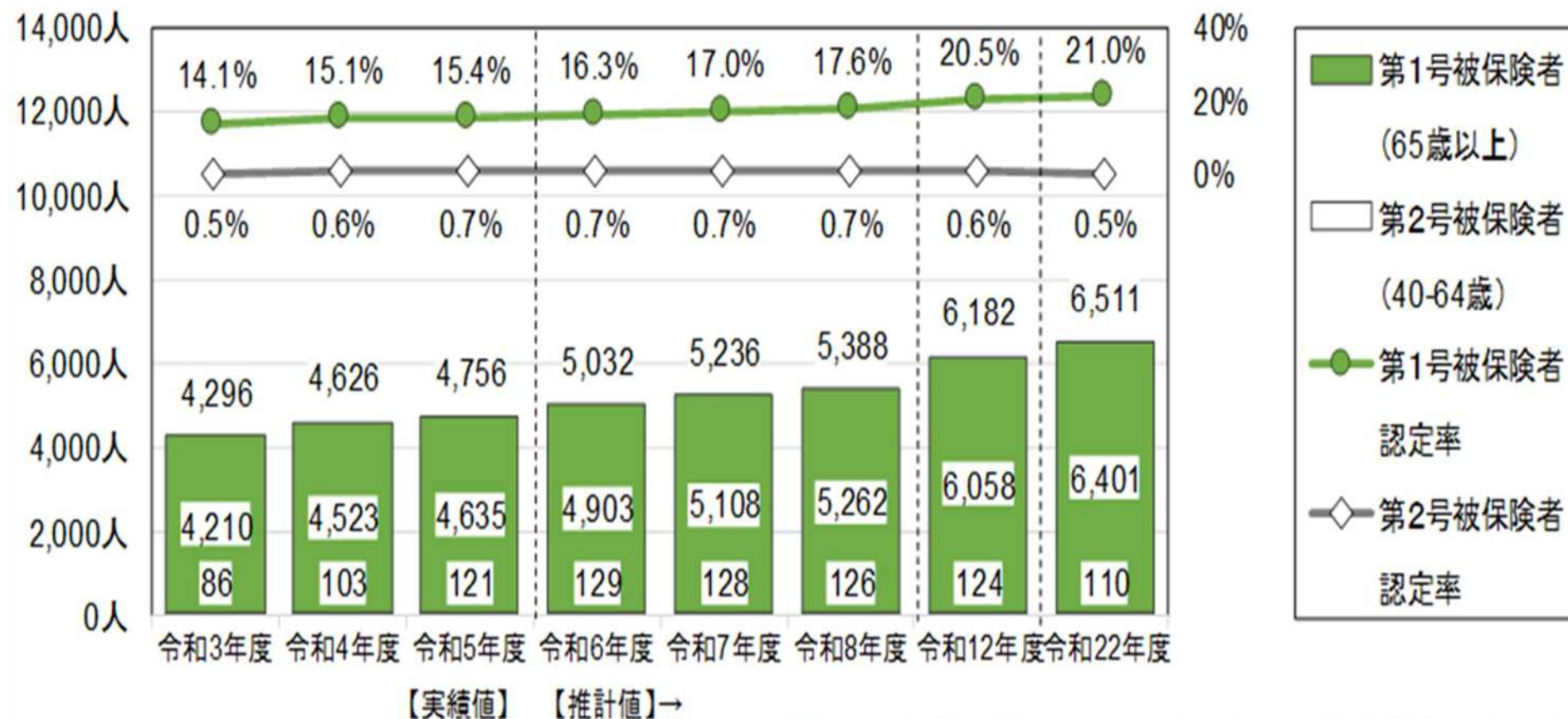
資料:住民基本台帳(各年10月1日現在)



資料:住民基本台帳(各年10月1日現在)

要支援・介護認定者の推計

令和12年(2030)年には6,182人、
令和22(2040)年には6,511人になると
見込まれます。



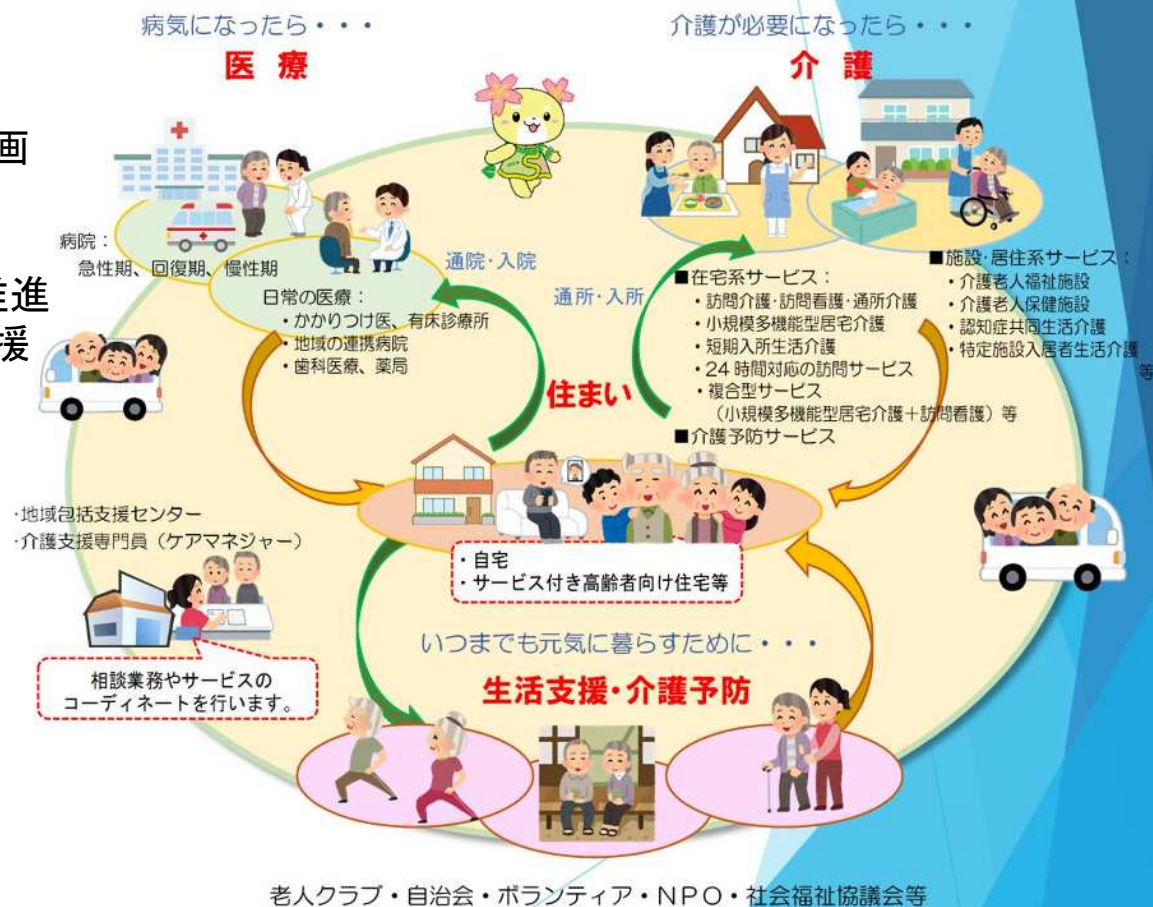
資料:地域包括ケア「見える化」システムによる推計(各年9月末現在)

地域包括ケアシステムの推進に向けた取り組み

第9期坂戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
～健康長生きプラン～より

基本目標 2 地域包括ケアシステムの深化・推進

- (1) 地域包括支援センターを核とした相談支援の充実
- (2) 地域で高齢者を支援する体制の整備
- (3) 高齢者の在宅生活を見守る取組の充実
- (4) 高齢者の在宅生活の支援
- (5) 医療と介護の連携の推進
- (6) 家族介護に対する支援
- (7) 高齢者が暮らしやすい地域づくり
- (8) 災害・感染症対策に係る体制整備



地域包括ケアシステム推進協議会

事業の概要

坂戸市・鶴ヶ島市・坂戸鶴ヶ島医師会を中心として、医療・介護・地域で地域包括ケアシステムの実現に向けた施策や体制整備、介護予防及び生活支援、認知症施策の推進等について協議するものです。

構成メンバー

医療・保健：医師会、歯科医師会、薬剤師会、在宅医療相談室、保健所、病院ほか

介護：地域包括支援センター、訪問介護事業所、介護事業所連絡会ほか

住まい：独立行政法人都市再生機構

生活支援・介護予防：社会福祉協議会、地域住民

行政：高齢者福祉、障害者福祉、市民生活、健康保険、保健衛生

今後の主な取組み

今後の方針

出前講座による市民への普及啓発を行いながら、地域包括ケアシステムの実現に向け、鶴ヶ島市、坂戸鶴ヶ島医師会、市民や関係機関と連携し、在宅医療や介護、生活支援など多岐にわたる地域の課題抽出やその解決に向けた体制の整備について協議していきます。

人生会議（ACP）について

7月に第1回会議において在宅診療をされている医師会の先生に講話をいただきました。今後、市民に対して、ACPに関するアンケートを実施する予定です。



市民公開講座について

毎年テーマを決めて、市民公開講座を実施しています。今年度は10月3日、鶴ヶ島市ハーモニーにおいて認知症に関する映画の上映を予定しています。



参考（令和7年度）

かかりつけ医 リーフレットについて

かかりつけ医・歯科医・薬剤師の推進を図るためこれまでのリーフレットを見直し、新たなものを作成しました。今後、広く周知していきます。



東松山市における地域包括ケアシステム の推進に向けた取組



令和8年7月30日

東松山市健康福祉部高齢介護課

東松山市の現状

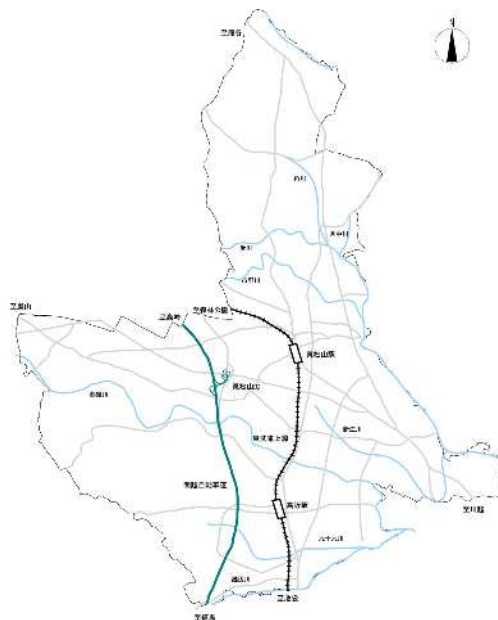
1 高齢化率（令和7年度末時点）

総人口：90,942人

65歳以上人口：27,653人

高齢化率：30.4%

2 高齢化率等の推移（各年度末時点）



	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
65歳以上人口	26,817	27,029	27,314	27,511	27,653
高齢化率	29.7%	29.8%	30.1%	30.2%	30.4%
認定者数	4,169	4,305	4,477	4,686	4,904
利用者数	3,461	3,541	3,671	3,843	4,068

1 介護予防と社会参加の促進

1-1 いきがいづくり・社会参加の支援

(1) いきいきパス・ポイント事業

特定検診や健康づくりなどの市が指定した事業に参加してポイントを貯めると地域通貨「ぼたん圓」と交換できる。

令和7年度にぼたん圓と交換した人数は1,525人

(2) シニアボランティア支援事業

1-2 健康づくりや介護予防の推進

(1) みんなきらめけ！！ハッピー体操

いきいきパス・ポイント事業の対象事業の一つ。

令和7年度の延べ参加人数は50,105人

(2) 介護予防教室

「いきいき生活教室」「かんたん料理教室」「にこにこ健康教室」



2 相談・支援体制の充実

2-1 地域包括支援センターの機能強化

(1) 地域包括支援センター運営事業

基幹型センター 市直営 1 力所

圏域センター 委託 5 力所

(2) 地域ケア会議の開催

市直営包括 自立支援型地域ケア会議

委託包括 地域ケア個別会議

2-2 安心・安全に暮らせる地域づくり

(1) 高齢者世帯調査

(2) あんしん見守りネットワーク事業

2-3 認知症施策

(1) 認知症サポーター養成講座

(2) 認知症検診事業

(3) 認知症機能維持・向上事業

脳と体のげんき教室なばな

「東松山市とまち・ひと・しごと創生に関する協定」締結企業との協働

3 生活支援サービスの充実

3-1 介護予防・生活支援サービスの充実

(1) 通所型サービスC（短期集中型）

短期集中的な機能回復訓練を通所にて行うサービスで、運動・口腔・栄養等の各種プログラムを実施

3-2 福祉サービス

(1) 寝具類洗濯等サービス (2) 緊急通報システム (3) 配食サービス

(4) 訪問理美容サービス (5) 徘徊高齢者等家族支援サービス

3-3 生活支援体制の整備

(1) 生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーター

第1層協議体（たすけあい推進協議会）

第2層協議体

移動販売 デマンドタクシー体験利用 スマホ教室 健康マージャン

4 医療と介護の連携強化

4-1 地域の医療・介護サービス資源の把握

(1) 地域の医療・介護資源検索システムの構築・活用

「比企地区在宅医療・介護情報検索システム」

4-2 医療・介護の連携体制強化

(1) 比企地区在宅医療・介護連携推進協議会

比企地域9市町村で共同実施

(2) 医療・介護関係者の情報共有支援

比企医師会MCS（メディカル・ケア・ステーション）

(3) 情報共有シートの普及・活用

埼玉県比企地区版連携シート

(4) 在宅医療・介護に関する相談支援

在宅医療連携拠点



令和 6 年度病床機能報告の定量基準分析結果について

定量基準分析（埼玉方式）のあゆみ

平成29年度

- 7月 委託業者の公募・業者決定（みずほ情報総研）
- 8月～10月 データ分析方針の検討
- 11月・2月 「埼玉県地域医療構想推進会議」での分析方針説明・中間報告・意見聴取

平成30年度

- 4月 「埼玉県地域医療構想推進会議」での分析結果報告・意見聴取
- 5月 厚労省主催「地域医療構想に関するワーキンググループ」で事例発表
- 6月 厚労省主催「都道府県医療政策研修」で事例発表
- 8月 「地域医療構想調整会議の活性化のための地域の実情に応じた定量的な基準の導入について」通知 ※厚労省が各都道府県に埼玉方式の分析ツールを提供

令和元年度

- 2～3月 平成30年度診療報酬改定を踏まえた分析業務の委託（みずほ情報総研）

令和2年度

- 2～3月 分析業務の委託（みずほ情報総研）

令和4年度

- 1～3月 分析業務の委託（みずほリサーチ&テクノロジーズ）

令和5～7年度

- 1～3月 分析業務の委託（健康保険医療情報総合研究所）

※令和3年度は病床機能報告様式2の報告が実施されず、分析の元データが得られなかったため実施していない。

埼玉県病床機能報告定量基準分析の枠組み

- 「ICU→高度急性期」「回復期リハ病棟→回復期」「療養病棟→慢性期」など、**どの医療機能と見なすのかが明らかな入院料の病棟**は、当該医療機能として扱う。
- 特定の医療機能と結びついていない**一般病棟・有床診療所の一般病床・地域包括ケア病棟（周産期・小児以外）**を対象に、具体的な機能の内容に応じて客観的に設定した**区分線1・区分線2**によって、高度急性期/急性期/回復期を区分する。
- 特殊性の強い周産期・小児・緩和ケアは切り分けて考える。

4 機能	大区分				
	主に成人	周産期	小児		緩和ケア
高度急性期	救命救急 ICU SCU HCU	MFICU NICU GCU	PICU	小児入院医療 管理料1	
急性期	一般病棟 有床診療所の一般病床 地域包括ケア病棟	産科の一般病棟 産科の有床診療所	小児入院医療管理料2,3 小児科の急性期一般入院料1 特定機能病院一般病棟 7:1 入院基本料 専門病院 7:1 入院基本料		緩和ケア病棟 (放射線治療あり)
回復期	回復期 リハビリ病棟		小児入院医療管理料4,5 小児科の急性期一般1・ 特定機能病院一般病棟 7:1 入院基本料・ 専門病院 7:1 入院基本料 以外 小児科の有床診療所		
慢性期	療養病棟 特殊疾患病棟 障害者施設等				緩和ケア病棟 (放射線治療なし)

具体的な機能に応じて区分線を引く — 69 —

機能区分基準の考え方

- ① 病床機能報告のうち、主に「具体的な医療の内容に関する項目」のデータの中から、外科的治療・内科的治療・全身管理等の幅広い診療内容を加味して基準を構成。
- ② 区分線 1 のしきい値は、救命救急入院料やICUの大半が、高度急性期に区分される程度とする。
- ③ 区分線 2 のしきい値は、急性期一般入院料 1 の大半が、高度急性期・急性期に区分される程度とする。
- ④ 区分線 1・2 を設定した結果、高度急性期・急性期・回復期の 1 日あたり入院患者数が、「埼玉県地域医療構想における現在（2013年）の需要推計」との間に大きな齟齬がないか確認する。

ただし、実際には各病棟にはさまざまな病期の患者が混在する中で、病棟単位での集計結果に応じて区分するため、ある病棟が、わずかな機能の差によって、「急性期の病棟」に区分されたり「回復期の病棟」に区分されたりし、それに応じて「急性期の病棟の病床数」も大きく変わる。
区分線には「絶対の閾値」があるわけではなく、ある程度の幅をもたせて考えることが必要。

高度急性期・急性期の区分（区分線1）の指標

○救命救急やICU等で特に多く提供されている医療

- A：【手術】全身麻酔下手術
- B：【手術】胸腔鏡・腹腔鏡下手術
- C：【がん】悪性腫瘍手術
- D：【脳卒中】超急性期脳卒中加算
- E：【脳卒中】脳血管内手術
- F：【心血管疾患】経皮的冠動脈形成術（※）
- G：【救急】救急搬送診療料
- H：【救急】救急医療に係る諸項目（☆）
- I：【救急】重症患者への対応に係る諸項目（☆）
- J：【全身管理】全身管理への対応に係る諸項目（☆）

※...診療報酬上の入院料ではなくデータから特定がしにくいCCUへの置き換えができなかったこと、
経皮的冠動脈形成術の算定が一般病棟7:1よりもICU等に集中していることによる。

☆...機能報告のデータ項目のうち、救命救急やICU等で算定が集中しているものに限定。

→ これらの医療内容に関する稼働病床数当たりの算定回数を指標に用い、しきい値を設定。

区分線 1 で高度急性期に分類される病棟の割合（令和 6 年度報告）

区分線1で高度急性期に分類する要件			しきい値		該当する病棟の割合				
			最大使用病床1床当たりの 月間の回数	40床の病棟 に換算した場合	救命・ICU・ SCU・HCU	急性期一般 病棟1,一般 病棟7:1 (※)	左記以外の 病院一般病 棟 (※)	有床診の一 般病床 (※)	地域包括ケア 病棟
手術	A	全身麻酔下手術	2.0回/月・床以上	80回/月以上	43.5%	4.2%	0.9%	5.3%	0.0%
	B	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	28.7%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%
がん	C	悪性腫瘍手術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	23.1%	3.7%	0.0%	0.8%	0.0%
脳卒中	D	超急性期脳卒中加算	あり	あり	26.9%	1.1%	0.3%	0.8%	算定不可
	E	脳血管内手術	あり	あり	29.6%	2.1%	0.0%	0.8%	0.0%
心血管疾患	F	経皮的冠動脈形成術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	20.4%	2.1%	0.3%	1.5%	0.0%
救急	G	救急搬送診療料	あり	あり	13.0%	3.2%	0.0%	0.0%	算定不可
	H	救急医療に係る諸項目（下記の合計） ・救命のための気管内挿管 ・体表面・食道ペーシング法 ・非開胸的心マッサージ ・カウンターショック ・心膜穿刺 ・食道圧迫止血チューブ挿入	0.2回/月・床以上	8回/月以上	57.4%	1.6%	0.3%	1.5%	0.0%
	I	重症患者への対応に係る諸項目（下記の合計） ・観血的肺動脈圧測定 ・持続緩徐式血液濾過 ・大動脈バルーンパンピング法 ・経皮的心肺補助法 ・人工心臓 ・頭蓋内圧持続測定(3時間超) ・人工心肺 ・血漿交換療法 ・吸着式血液浄化法 ・血球成分除去療法	0.2回/月・床以上	8回/月以上	52.8%	2.1%	0.3%	0.8%	0.0%
全身管理	J	全身管理への対応に係る諸項目（下記の合計） ・観血的動脈圧測定(1時間超) ・ドレーン法 ・胸腔穿刺 ・人工呼吸(5時間超)	8.0回/月・床以上	320回/月以上	59.3%	2.9%	0.6%	0.0%	0.0%
上記A～Jのうち1つ以上を満たす					82.4%	24.3%	2.5%	9.2%	0.0%

※…主たる診療科が産科・産婦人科・小児科・小児外科であるものを除く。

急性期・回復期の区分（区分線2）の指標

○急性期一般入院料1（従前の一般病棟7:1）にて多く提供されている医療

- K：【手術】手術
- L：【手術】胸腔鏡・腹腔鏡下手術
- M：【がん】放射線治療
- N：【がん】化学療法
- O：【救急】救急搬送による予定外の入院

○一般病棟や地域包括ケア病棟で共通して用いられている指標

- P：【重症度、医療・看護必要度】

基準（「A得点2点以上かつB得点3点以上」「B14又はB15に該当する患者であって、A得点が1点以上かつB得点が3点以上」「A得点3点以上」「C得点1点以上」）を満たす患者割合

→これらの医療内容に関する稼働病床数当たりの算定回数を指標に用い、しきい値を設定。

区分線2で急性期に分類される病棟の割合（令和6年度報告）

区分線2で急性期に分類する要件				しきい値		該当する病棟の割合				
				最大使用病床1床当たりの 月間の回数		40床の病棟 に換算した場合		急性期一般 病棟1,一般 病棟7:1 (※)	急性期一般 病棟2-7,一 般病棟10:1 (※)	その他 一般病棟 (※)
手術	K	手術		2.0回/月・床以上	80回/月以上	15.8%	4.4%	1.4%	26.0%	0.0%
	L	胸腔鏡・腹腔鏡下手術		0.1回/月・床以上	4回/月以上	21.9%	17.5%	0.0%	2.3%	1.3%
がん	M	放射線治療（レセプト枚数）		0.1枚/月・床以上	4枚/月以上	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	N	化学療法（日数）		1.0日/月・床以上	40日/月以上	15.8%	2.6%	1.9%	0.8%	0.0%
救急	O	予定外の救急医療入院の人数		10人/年・床以上	33.3人/月以上	23.0%	23.7%	0.5%	0.0%	1.3%
重症度等	P	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす	200床以上	I:31%以上	Ⅱ:28%以上	69.7%	40.4%	0.5%	0.0%	5.3%
			200床未満	I:28%以上	Ⅱ:25%以上					
上記K～Pのうち1つ以上を満たす						79.9%	53.5%	3.8%	26.0%	6.7%

※…主たる診療科が産科・産婦人科・小児科・小児外科であるものを除く。

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【埼玉県全体】

4機能区分別の病床稼働率について、「(国の基準による)地域医療構想における想定%」と「今回の区分結果の%」との比較表示をしている。

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	105病床	914人/日	1,203床	67.8%	4.0日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病床・地域包括ケア病床等	高度急性期	109病床	3,436人/日	4,368床	77.8%	9.7日	
		急性期	297病床	10,137人/日	12,927床	77.9%	11.5日	
		回復期	224病床	6,523人/日	9,251床	72.7%	17.8日	
	回復期リハビリ病床	回復期	83病床	3,544人/日	4,034床	86.7%	58.9日	
	特殊疾患病床・障害者施設等	慢性期	64病床	2,464人/日	3,007床	81.9%	115.9日	
	医療療養病床	慢性期	178病床	7,099人/日	8,770床	82.0%	189.1日	
	介護療養病床	慢性期	0病床	0人/日	0床	-	-	令和6年度より無し
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	27病床	283人/日	451床	67.4%	15.2日	
	産科の一般病床	急性期	79病床	1,243人/日	1,855床	72.4%	6.0日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病床等	高度急性期	16病床	326人/日	440床	74.4%	6.0日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	15病床	245人/日	477床	51.4%	5.2日	
		回復期	3病床	27人/日	87床	32.4%	4.5日	
緩和ケア	緩和ケア病床	急性期	3病床	55人/日	70床	79.0%	21.3日	放射線治療の実施がある病床を急性期、ない病床を慢性期とする
		慢性期	16病床	244人/日	369床	70.4%	25.5日	
その他	不明	不明/休棟	86病床	1,023人/日	2,193床	46.8%	15.8日	
	休棟・休床中	不明/休棟	43病床	38人/日	971床	0.7%	10.0日	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	4,959人/日	75.0%	75.1%
急性期	11,681人/日	78.0%	76.3%
回復期	10,093人/日	90.0%	77.1%
慢性期	9,807人/日	92.0%	81.6%
不明	1,061人/日	—	30.8%
合計	37,600人/日	—	75.0%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病床	86.7%
うち産科・小児科を除く急性期一般病床1、一般病床7:1	78.0%
うち産科・小児科を除くその他の一般病床	65.7%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病床等	78.6%
うち産科・小児科を除く有床診療所	52.2%
うち小児科の一般病床・有床診療所	32.4%

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	257病床	4,959人/日	6,462床	5,942床	5,528床	75.1%	7.7日
急性期 計	394病床	11,681人/日	15,329床	24,615床	17,954床	76.3%	10.2日
回復期 計	310病床	10,093人/日	13,372床	6,484床	16,717床	77.1%	23.6日
慢性期 計	258病床	9,807人/日	12,146床	12,461床	14,011床	81.6%	139.3日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	129病床	1,061人/日	3,164床	971床☆		30.8%	15.8日
全体	1,348病床	37,600人/日	50,473床	50,473床	54,210床	75.0%	15.6日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病床等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	51床
急性期	1,449床
回復期	385床
慢性期	308床
休棟中・無回答	971床
	3,164床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病床を除いて算出。

4機能区分別の病床数について、「今回の区分結果」「病床機能報告」「地域医療構想の必要病床数」の3つを比較表示している。

回復期については、入院料や診療科の種類によって、より細分化する形で、病床稼働率を表示している。

(参考) 令和5年度病床機能報告 定量基準分析結果【埼玉県全体】

大区分	入院科・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	108病棟	781人/日	1,126床	63.6%	3.9日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	103病棟	3,304人/日	4,253床	76.3%	9.7日	
		急性期	296病棟	9,896人/日	12,820床	74.4%	11.6日	
		回復期	228病棟	6,736人/日	9,659床	71.3%	18.0日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	84病棟	3,336人/日	4,163床	83.0%	65.6日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	64病棟	2,455人/日	2,991床	80.5%	126.5日	
	医療療養病床	慢性期	173病棟	6,855人/日	8,362床	83.0%	167.1日	
周産期	介護療養病床	慢性期	3病棟	70人/日	144床	48.8%	121.0日	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	29病棟	288人/日	457床	65.0%	14.6日	
	産科の一般病棟	急性期	78病棟	1,190人/日	1,948床	66.0%	5.6日	
小児	小児入院管理科・小児科の一般病棟等	高度急性期	15病棟	269人/日	398床	67.9%	5.6日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	17病棟	288人/日	557床	51.6%	6.5日	
		回復期	5病棟	82人/日	156床	53.3%	7.3日	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	6病棟	89人/日	130床	68.1%	20.2日	
		慢性期	11病棟	172人/日	261床	66.0%	26.3日	
その他	不明	不明/休棟	97病棟	1,115人/日	2,254床	46.4%	19.6日	
	休棟・休床中	不明/休棟	41病棟	19人/日	853床	2.2%	7.3日	

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	255病棟	4,642人/日	6,234床	6,384床	5,528床	72.8%	7.8日
急性期 計	397病棟	11,462人/日	15,455床	24,194床	17,954床	72.5%	10.3日
回復期 計	317病棟	10,154人/日	13,978床	6,468床	16,717床	74.7%	23.6日
慢性期 計	251病棟	9,552人/日	11,758床	12,633床	14,011床	81.5%	140.0日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	138病棟	1,135人/日	3,107床	853床☆		32.7%	18.9日
全体	1,358病棟	36,945人/日	50,532床	50,532床	54,210床	72.8%	16.4日

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入棟患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	4,642人/日	75.0%	72.8%
急性期	11,462人/日	78.0%	72.5%
回復期	10,154人/日	90.0%	74.7%
慢性期	9,552人/日	92.0%	81.5%
不明	1,135人/日	—	32.7%
合計	36,945人/日	—	72.8%

回復期の内訳		病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟		83.0%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1		77.1%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟		63.7%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等		76.7%
うち産科・小児科を除く有床診療所		56.1%
うち小児科の一般病棟・有床診療所		53.3%

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	39床
急性期	1,353床
回復期	338床
慢性期	524床
休棟中・無回答	853床
	3,107床

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【南部圏域①】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	11病床	105人/日	137床	71.9%	4.2日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	9病床	252人/日	363床	70.4%	9.7日	
		急性期	28病床	1,039人/日	1,329床	77.2%	10.5日	
		回復期	17病床	523人/日	708床	71.0%	19.3日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	9病床	380人/日	431床	88.3%	38.2日	令和6年度より無し
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	1病床	43人/日	45床	95.3%	75.1日	
	医療療養病床	慢性期	16病床	515人/日	845床	58.1%	130.9日	
	介護療養病床	慢性期	0病床	0人/日	0床	-	-	
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	4病床	24人/日	42床	58.2%	14.1日	
	産科の一般病床	急性期	8病床	157人/日	226床	72.3%	6.0日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	1病床	18人/日	28床	65.7%	4.5日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	1病床	15人/日	25床	59.1%	6.6日	
		回復期	1病床	8人/日	25床	32.4%	4.5日	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	3病床	36人/日	56床	64.2%	18.8日	
その他	不明	不明/休棟	8病床	108人/日	269床	49.6%	15.1日	
	休棟・休床中	不明/休棟	2病床	0人/日	31床	0.0%	-	

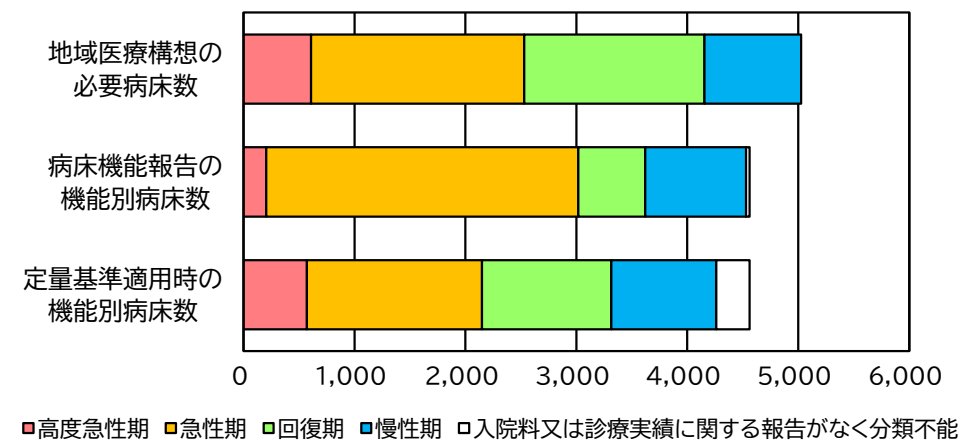
4機能ごとに集計

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	25病床	400人/日	570床	205床	609床	69.6%	7.2日
急性期 計	37病床	1,211人/日	1,580床	2,813床	1,922床	76.2%	9.5日
回復期 計	27病床	911人/日	1,164床	602床	1,623床	76.8%	23.7日
慢性期 計	20病床	594人/日	946床	909床	871床	60.5%	88.0日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	10病床	108人/日	300床	31床☆		43.4%	15.1日
全体	119病床	3,223人/日	4,560床	4,560床	5,025床	70.5%	13.4日

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	400人/日	75.0%	69.6%
急性期	1,211人/日	78.0%	76.2%
回復期	911人/日	90.0%	76.8%
慢性期	594人/日	92.0%	60.5%
不明	108人/日	—	43.4%
合計	3,223人/日	—	70.5%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	88.3%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	80.7%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	58.9%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	72.2%
うち産科・小児科を除く有床診療所	-
うち小児科の一般病棟・有床診療所	32.4%

【集計分析結果から想定される課題】

- 「回復期リハビリテーション病棟」については、今後開設が予定されている病床もあり、整備が進んでいくことが推測される。また、「医療療養病床」においての病床稼働率は低水準のため一定の余裕が見受けられる。そのため、今後は急性期から回復期・慢性期への患者の流れをより円滑にし、病床の有効活用を図ることが望ましいと考える。病床の有効活用と同時にICT活用等も進め、地域包括ケアシステムの深化を図ることで、誰もが安心して自分らしく暮らせる医療提供体制の構築を進めていくことが求められる。
- なお、本圏域の地域特性を踏まえると、東京都との連携強化は不可欠な視点である。ただし、東京都との情報共有やシステム連携には制度面の課題があるため、慎重な検討が必要である。

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【南部圏域②】

地域特性

- 総人口約80万人・面積85km² の大都市型二次医療圏 である。
- [南西部]・[東部]・[さいたま]の3つの大都市型二次医療圏と隣接している。
- 荒川を挟み東京都と接しており、交通網も整備されている。

令和6年度調査における状況把握

- 回復期は、定量基準適用時の病床（1,164床）が必要病床数（1,623床）を下回っている。なお、病床稼働率については、「回復期リハビリテーション病棟（88.3%）」及び、区分線により回復期に区分される「産科・小児科を除く急性期一般病棟1又は一般病棟7対1（80.7%）」が高水準である。
- 慢性期は、定量基準適用時の病床（946床）が必要病床数（871床）を上回っている。また、慢性期病床全体の病床稼働率（60.5%）が埼玉県全体（81.6%）を大きく下回っている。一方で、1病棟のみの「特殊疾患病棟・障害者施設等」の病床稼働率（95.3%）は高水準である。

人口推計との関係・課題

- 2050年には65歳以上の人口が約22万人に達する。また、他圏域と比べ、0-64歳人口の減少幅が小さく、2040年までは総人口が増加すると見込まれている。そのため4機能すべてのバランスの取れた整備が求められる。
- 東京都と隣接し、約8%の住民が県外で受療している状況にあることから、東京都との連携が重要であるが、医療情報システム等の連携には課題がある。

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【南西部圏域①】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	13病床	144人/日	97床	68.4%	3.1日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	12病床	301人/日	413床	78.7%	8.1日	
		急性期	26病床	767人/日	1,090床	72.6%	11.3日	
		回復期	23病床	820人/日	1,031床	83.8%	18.3日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	10病床	306人/日	442床	69.2%	50.9日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	11病床	400人/日	453床	88.6%	118.4日	
	医療療養病床	慢性期	15病床	594人/日	662床	89.7%	270.8日	
	介護療養病床	慢性期	0病床	0人/日	0床	-	-	令和6年度より無し
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	2病床	16人/日	27床	59.9%	16.1日	
	産科の一般病床	急性期	9病床	139人/日	188床	82.9%	5.3日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	2病床	40人/日	85床	47.6%	3.7日	
		回復期	0病床	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	1病床	19人/日	20床	94.4%	25.1日	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	1病床	55人/日	59床	93.5%	39.4日	
その他	不明	不明/休棟	6病床	57人/日	133床	43.6%	45.1日	
	休棟・休床中	不明/休棟	1病床	0人/日	6床	7.1%	2.0日	

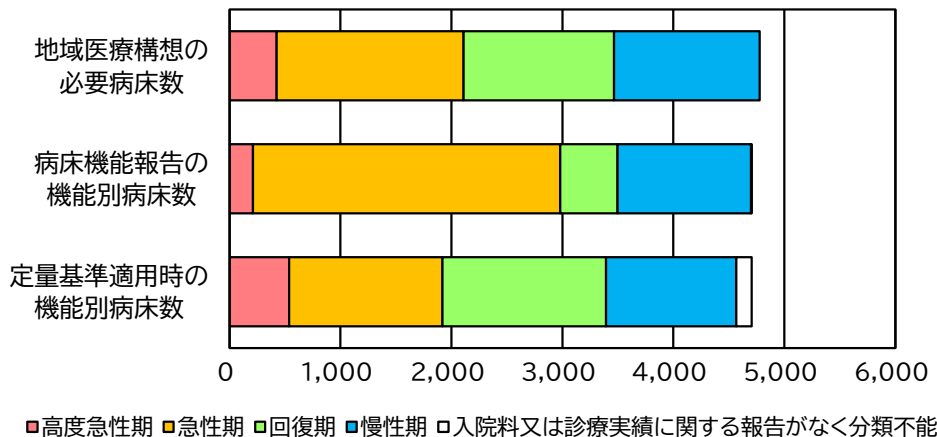
4機能ごとに集計

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	27病床	461人/日	537床	211床	425床	75.8%	6.6日
急性期 計	38病床	965人/日	1,383床	2,769床	1,685床	72.6%	9.1日
回復期 計	33病床	1,126人/日	1,473床	518床	1,356床	79.1%	22.4日
慢性期 計	27病床	1,049人/日	1,174床	1,202床	1,311床	89.5%	151.8日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	7病床	57人/日	139床	6床☆		42.0%	38.8日
全体	132病床	3,659人/日	4,706床	4,706床	4,777床	78.3%	16.0日

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	461人/日	75.0%	75.8%
急性期	965人/日	78.0%	72.6%
回復期	1,126人/日	90.0%	79.1%
慢性期	1,049人/日	92.0%	89.5%
不明	57人/日	—	42.0%
合計	3,659人/日	—	78.3%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	69.2%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	86.8%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	79.5%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	88.8%
うち産科・小児科を除く有床診療所	-
うち小児科の一般病棟・有床診療所	-

【集計分析結果から想定される課題】

- 65歳以上人口は増加する一方で総人口減少は緩やかであるため、医療需要は全体として底堅く推移すると考えられる。したがって、4機能区分すべてでバランスの取れた医療提供体制を構築が求められる圏域である。
- 全体の病床数は必要病床数の全体数に近似しており、病床稼働率も地域医療構想の想定に近くなっているが、「回復期リハビリテーション病棟」等、一定の余裕がある病床も存在している。一方で、区分線により回復期機能と区分された病床の中では、「産科・小児科を除く急性期1・一般病棟7:1」といった充実した看護体制を有する病棟における病床稼働率が他圏域と比べて高い点が見受けられる。
- そのため、有効的かつ柔軟な病床活用を推進し、例えば区分線により回復期とされた病棟から「回復期リハビリテーション病棟」への患者の円滑な移行を図る等により、地域内における医療提供体制の完結性を高める取り組みが求められる。

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果 【南西部圏域②】

地域特性

- 総人口約73万人・111km²の大都市型二次医療圏である。
- 広範囲で東京都と隣接し、ベッドタウンとして近年人口が増加傾向にある。
- 富士見市・ふじみ野市・三芳町は川越地区と救急医療圏が同一である。

令和6年度調査における状況把握

- 回復期は、1日当たり入院患者数（1,126人）が全体の患者数（3,659人）に対して30.8%を占めており、埼玉県全体における割合（26.8%）を上回っていることから、高い需要が確認できる。なお、定量基準適用時の病床（1,473床）が、圏域内の病床数（4,706床）に対して、31.3%を占めており、埼玉県全体における割合（26.4%）と比較しても多い。こうした状況から、高まる需要に対して医療提供体制を整備することで応じている様子が窺える。病床稼働率の内訳を見ると、特に「産科・小児科を除く急性期1・一般病棟7：1（86.8%）」及び「産科・小児科を除く地域包括ケア病棟（88.8%）」の病床稼働率が埼玉県全体と比較して高く、一方で「回復期リハビリテーション病棟」の病床稼働率（69.2%）は、埼玉県全体（86.7%）を大きく下回っている。
- 慢性期は、定量基準適用時の病床（1,174床）が必要病床数（1,311床）を約150床下回っている。一方で、病床稼働率（89.5%）は、埼玉県全体（81.6%）を上回っている。

人口推計との関係・課題

- 総人口及び構成比率は今後2030年くらいまでは大きな変化はみられない予測となっているが、65歳以上高齢者人口はその後2045年頃までの約15年で急に増加する見込みになっており、2050年の65歳以上高齢者率は約33%と予測されている。
- 1日入院患者数の大幅な増加の原因究明が求められると考える。高度急性期の増加理由と回復期・慢性期の増加理由が何に由来しているのかについても検討の余地がある。病床の規模は相対的に縮小傾向にあったことと、他圏域で同様の動きが見られないことから、新型コロナウイルス感染症に関連するものではないと推測される。

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【東部圏域①】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	12病床	81人/日	132床	60.1%	8.1日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	22病床	686人/日	913床	75.4%	11.0日	
		急性期	44病床	1,545人/日	1,973床	78.6%	11.6日	
		回復期	27病床	766人/日	1,117床	69.6%	16.3日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	14病床	733人/日	748床	94.2%	66.4日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	15病床	585人/日	671床	90.5%	111.9日	
	医療療養病床	慢性期	19病床	705人/日	943床	89.1%	230.1日	
	介護療養病床	慢性期	0病床	0人/日	0床	-	-	令和6年度より無し
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	6病床	23人/日	58床	-	-	
	産科の一般病床	急性期	11病床	160人/日	252床	70.0%	5.2日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	1病床	30人/日	42床	72.0%	7.2日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	2病床	26人/日	75床	34.6%	4.8日	
		回復期	0病床	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	5病床	69人/日	109床	63.4%	23.2日	
その他	不明	不明/休棟	21病床	270人/日	492床	58.4%	14.3日	
	休棟・休床中	不明/休棟	6病床	32人/日	145床	0.0%	-	

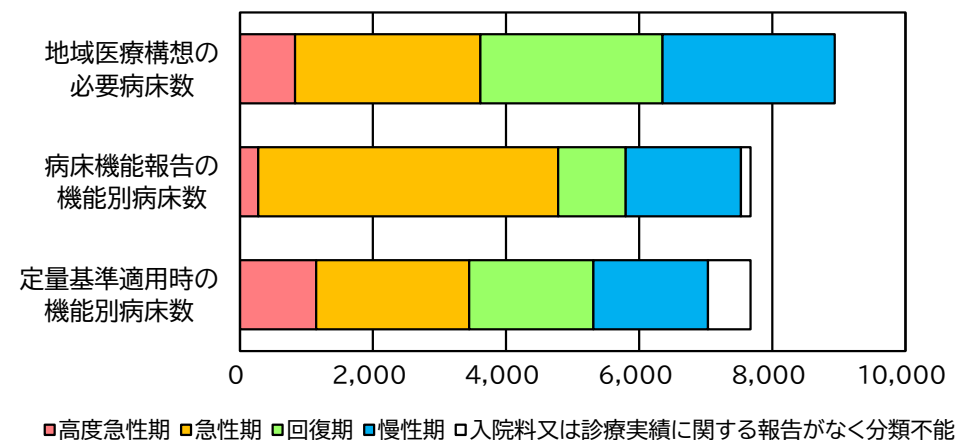
4機能ごとに集計

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	41病床	821人/日	1,145床	275床	831床	73.5%	10.4日
急性期 計	57病床	1,732人/日	2,300床	4,508床	2,783床	76.2%	10.2日
回復期 計	41病床	1,499人/日	1,865床	1,015床	2,734床	77.7%	23.4日
慢性期 計	39病床	1,359人/日	1,723床	1,727床	2,587床	87.7%	113.8日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	27病床	301人/日	637床	145床☆		41.7%	14.3日
全体	205病床	5,712人/日	7,670床	7,670床	8,935床	76.6%	16.2日

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	821人/日	75.0%	73.5%
急性期	1,732人/日	78.0%	76.2%
回復期	1,499人/日	90.0%	77.7%
慢性期	1,359人/日	92.0%	87.7%
不明	301人/日	—	41.7%
合計	5,712人/日	—	76.6%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	94.2%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	70.9%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	62.1%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	77.7%
うち産科・小児科を除く有床診療所	50.8%
うち小児科の一般病棟・有床診療所	-

【集計分析結果から想定される課題】

- 令和5年度と比較して、1日当たり入院患者数が大幅に増えた圏域である。それに伴い、4機能区分すべてにおける病床稼働率が上昇し、地域医療構想の想定に近づく結果となった。区分線1/区分線2によって機能区分が変わる病棟においては、より高度な医療を提供する病棟が増え、高度急性期相当の病床が増床となった。今回の調査において、入院医療の需要と供給の両面で最も顕著な変化が見られた圏域であるといえる。
- 東部圏域を各保健所管轄ごとの3区分で分けた場合、春日部地区は特に慢性期入院医療を、越谷地区は特に高度急性期入院医療を、草加地区は特に回復期入院医療を担う区域であるといえる。それぞれに独立して医療を完結させるよりは、各区域の特長を生かして機能を分担し、相互に補完しあう体制を構築することが効率的であると考えられる。

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【東部圏域②】

地域特性

- 人口約115万人、面積250km²の、大都市型二次医療圏である。
- [さいたま]に次ぐ人口規模の大きい医療圏である。
- 若年世代人口・生産人口が減少傾向にあるが、高齢者人口は2030年頃まで大きくは増えない予測となっている。

令和6年度調査における状況把握

- 圏域における必要病床の総数（8,915床）に対し、全体の病床数（7,670床）は14.2%不足している。10圏域別にみると1000床以上不足しているのは当圏域のみである。
- 高度急性期について、定量基準適用時の病床（1,145床）が必要病床数（831床）を上回っている。なお、区分線によって機能区分が変わる「一般病棟・地域包括ケア病床等」における高度急性期に相当する病床（913床）のみで必要病床数（831床）を上回っており、病床稼働率も想定（75%）を超えている。そのため、多数の病棟において区分線1を上回る高度な医療が提供されている状況が窺える。
- 高度急性期以外の入院料別の病床稼働率については、区分線によって機能区分が変わる「一般病棟・地域包括ケア病床等」における急性期に相当する病床（78.6%）、「回復期リハビリテーション病棟（94.2%）」、「特殊疾患病棟・障害者施設等（90.5%）」、「医療療養病床（89.1%）」の稼働率が高いのが特徴となっている。

人口推計との関係・課題

- 2050年には65歳以上の人口が約22.2万人（総人口構成比30.3%）と増加が推計されているが、0-64歳の人口減少が他圏域と比べて緩やかであり、総人口の減少傾向も限定的である。
- 全体の病床数は必要病床数の全体数に近似しており、病床稼働率も地域医療構想の想定に近くなっているが、「回復期リハビリテーション病棟」等、一定の余裕がある病床も存在している。一方で、区分線により回復期機能と区分された病床の中では、「産科・小児科を除く急性期1・一般病棟7：1」といった充実した看護体制を有する病棟における病床稼働率が他圏域と比べても高い点が見受けられる。
- そのため、有効的かつ柔軟な病床活用を推進し、例えば区分線により回復期とされた病棟から「回復期リハビリテーション病棟」への患者の円滑な移行を図る等により、地域内における医療提供体制の完結性を高める取り組みが求められる。

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【さいたま圏域①】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	21病床	152人/日	212床	70.8%	3.2日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病床・地域包括ケア病床等	高度急性期	20病床	651人/日	780床	84.7%	8.7日	
		急性期	52病床	1,607人/日	2,017床	80.0%	10.7日	
		回復期	27病床	804人/日	1,100床	75.3%	16.8日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	9病床	389人/日	432床	90.1%	59.5日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	7病床	207人/日	300床	66.5%	293.7日	
	医療療養病床	慢性期	19病床	760人/日	987床	75.7%	144.6日	
	介護療養病床	慢性期	0病床	0人/日	0床	-	-	令和6年度より無し
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	8病床	115人/日	144床	86.9%	16.1日	
	産科の一般病床	急性期	15病床	200人/日	291床	75.4%	6.4日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病床等	高度急性期	11病床	206人/日	276床	75.0%	5.9日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	4病床	59人/日	100床	59.0%	5.0日	
		回復期	0病床	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	1病床	8人/日	22床	35.0%	16.9日	
その他	不明	不明/休棟	4病床	46人/日	98床	92.7%	508.7日	
	休棟・休床中	不明/休棟	2病床	0人/日	46床	0.0%	-	

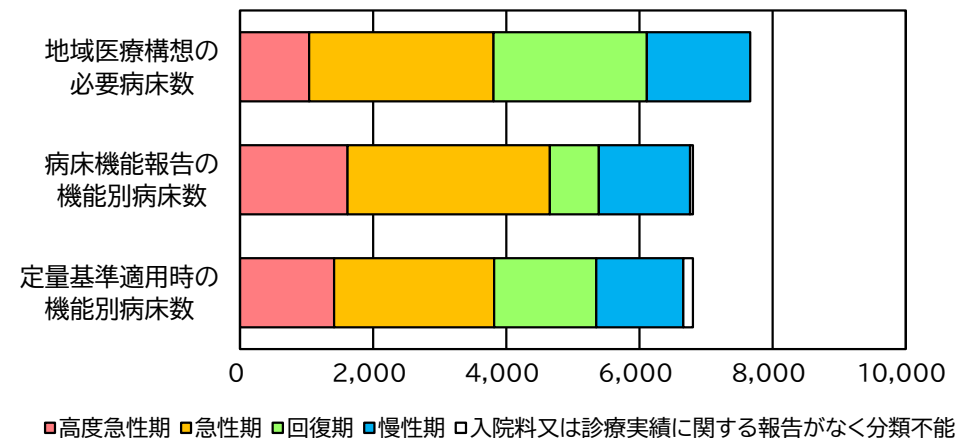
4機能ごとに集計

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	60病床	1,124人/日	1,412床	1,616床	1,039床	80.7%	6.8日
急性期 計	71病床	1,867人/日	2,408床	3,039床	2,770床	78.6%	9.7日
回復期 計	36病床	1,193人/日	1,532床	736床	2,301床	80.0%	22.6日
慢性期 計	27病床	976人/日	1,309床	1,368床	1,554床	73.1%	149.0日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	6病床	46人/日	144床	46床☆		47.3%	508.7日
全体	200病床	5,205人/日	6,805床	6,805床	7,664床	77.8%	12.4日

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	1,124人/日	75.0%	80.7%
急性期	1,867人/日	78.0%	78.6%
回復期	1,193人/日	90.0%	80.0%
慢性期	976人/日	92.0%	73.1%
不明	46人/日	—	47.3%
合計	5,205人/日	—	77.8%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	90.1%
うち産科・小児科を除く急性期一般病床1、一般病床7:1	77.6%
うち産科・小児科を除くその他の一般病床	75.0%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	78.5%
うち産科・小児科を除く有床診療所	3.3%
うち小児科の一般病床・有床診療所	-

【集計分析結果から想定される課題】

- 高度な医療が受けられる施設が集中している地域であり、高度急性期と急性期の病床数・1日当たり入院患者数・病床稼働率が高い水準で推移している。
- 回復期について、現時点で病床数が不足しているが病床稼働率は「回復期リハビリテーション病棟」を中心に上昇しつつある。そのため、今後のさらなる需要増を見据え、病床の拡充によって受入れ体制を拡大していくのか、あるいは、在宅復帰支援を含め、高度急性期・急性期からの円滑な移行を軸とした連携体制をさらに強化していくのか。地域の特性に即した効率的な提供体制の在り方について、方向性を検討していくことが期待される。

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【さいたま圏域②】

地域特性

- 総人口約132万人・面積217km²の大都市型二次医療圏である。
- 若年世代人口・生産人口比率が高く、10圏域の中では高齢化の進行が最も遅い。大規模医療機関が集中するエリアであり、県内でもより高度な医療の需要が高い地域である。

令和6年度調査における状況把握

- 高度急性期に関しては、必要病床数（1,039床）に対して現在の定量基準適用時の病床（1,412床）は約1.36倍である。このことから、地域医療構想の想定より多くの高度急性期医療が求められており、需要に対応していることが窺える。
- 全体の病床数（6,805床）は、必要病床数の合計（7,664床）に対し約860床下回っている。4機能区分で分けると、特に回復期の定量基準適用時の病床（1,532床）が必要病床数（2,301床）に対して少ない結果となっている。
- 病床稼働率は、高度急性期（80.7%）・急性期（78.6%）が地域医療構想の想定を上回っている。内訳をみると、区分線によって機能区分が変わる「一般病棟・地域包括ケア病床等」において、病床稼働率（高度急性期（84.7%）・急性期（80.0%））が他圏域と比較しても高い数値である。

人口推計との関係・課題

- 2050年頃になっても総人口は増え続ける予測2であるため、将来的に病床数は現在の必要病床数よりも多く必要になる可能性がある。しかし圏域内の病床数の総計は、前回調査から今回調査にかけて約130床減床した。人口構成としては0～64歳人口は今後ほぼ横這いで、人口増加分は65歳以上高齢者人数の増加とほぼ一致する見通しとなっている。現時点で回復期病床が少なく、病床稼働率が上昇傾向にあることから、将来的な需要が高まると考えられる。
- また、地域特性や前回と今回の調査の傾向からも、高度急性期及び急性期の医療の充実がさらに望まれていることが窺える。今後の動向に十分注意が必要である。

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【県央圏域①】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	8病床	68人/日	98床	69.4%	2.9日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病床・地域包括ケア病床等	高度急性期	8病床	355人/日	383床	87.4%	9.6日	
		急性期	22病床	718人/日	974床	73.0%	11.9日	
		回復期	12病床	286人/日	452床	64.8%	17.2日	
	回復期リハビリ病床	回復期	5病床	214人/日	245床	87.5%	81.6日	
	特殊疾患病床・障害者施設等	慢性期	2病床	83人/日	91床	90.7%	65.9日	
	医療療養病床	慢性期	15病床	480人/日	623床	85.0%	245.9日	令和6年度より無し
	介護療養病床	慢性期	0病床	0人/日	0床	-	-	
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	
	産科の一般病床	急性期	5病床	77人/日	94床	82.4%	5.6日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
小児	小児入院管理料・小児科の一般病床等	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	
		急性期	1病床	17人/日	17床	97.1%	4.2日	
		回復期	1病床	0人/日	2床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病床	急性期	1病床	28人/日	36床	77.6%	20.5日	放射線治療の実施がある病床を急性期、ない病床を慢性期とする
		慢性期	2病床	29人/日	35床	83.7%	25.4日	
その他	不明	不明/休棟	7病床	96人/日	148床	61.6%	18.9日	
	休棟・休床中	不明/休棟	5病床	0人/日	136床	0.0%	-	

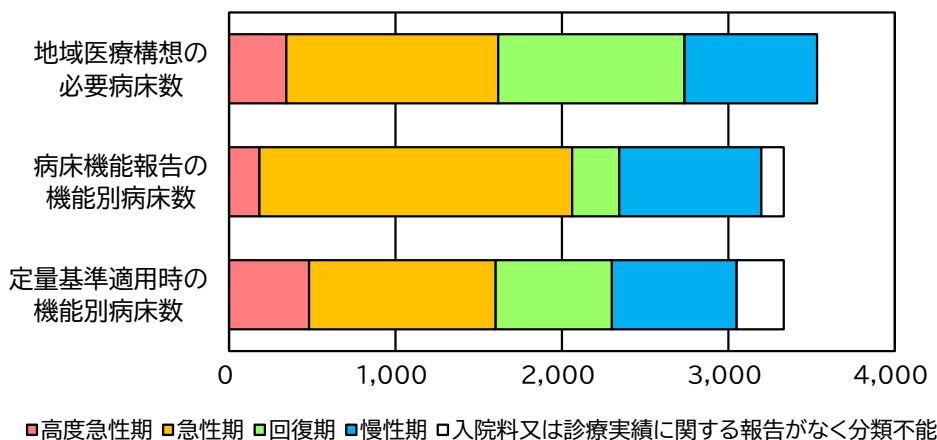
4機能ごとに集計

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	16病床	423人/日	481床	183床	344床	82.7%	6.4日
急性期 計	29病床	840人/日	1,121床	1,878床	1,273床	74.3%	10.5日
回復期 計	18病床	500人/日	699床	284床	1,120床	74.1%	27.7日
慢性期 計	19病床	592人/日	749床	853床	797床	85.8%	124.9日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	12病床	96人/日	284床	136床☆		28.9%	18.9日
全体	94病床	2,451人/日	3,334床	3,334床	3,534床	73.6%	14.3日

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病床を除いて算出。



	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	423人/日	75.0%	82.7%
急性期	840人/日	78.0%	74.3%
回復期	500人/日	90.0%	74.1%
慢性期	592人/日	92.0%	85.8%
不明	96人/日	—	28.9%
合計	2,451人/日	—	73.6%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病床	87.5%
うち産科・小児科を除く急性期一般病床1、一般病床7:1	71.4%
うち産科・小児科を除くその他の一般病床	49.4%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病床等	74.6%
うち産科・小児科を除く有床診療所	53.5%
うち小児科の一般病床・有床診療所	-

【集計分析結果から想定される課題】

- 前回調査では1日当たり入院患者数が高度急性期と急性期で減少し、回復期と慢性期で増加していたことから、入院医療の需要が短期入院から長期入院へと移行しつつある傾向が示唆された。しかし、今回の調査では逆に、高度急性期及び急性期で増加、回復期及び慢性期で減少する結果となった。この変動が当圏域における一時的な傾向なのか、あるいは前回調査が特異な結果であったのか、新型コロナウイルス感染症以外に要因が存在するのか等については、現時点では判断が困難である。
- 将来的に高齢者率が高くなる圏域であり、これから人口構成が変化していく。それに従って入院医療の需要も変化していくと考えられる。今後の動向を注視しながら柔軟に対応していく必要がある。

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【県央圏域②】

地域特性

- 総人口約52万人・面積173km²の大都市型二次医療圏である。
- 人口構成における小児人口比率は県平均よりも少ない。しかし、令和4年度から依然として「小児入院管理料・小児科の一般病棟等」の急性期である1病棟の病床稼働率（97.1%）が高い。

令和6年度調査における状況把握

- 高度急性期について、病床稼働率（82.7%）が高く、定量基準適用時の病床（481床）も必要病床数（344床）の約1.4倍であるという特徴を有する。このことから、隣接する[さいたま]と同様に、地域医療構想の想定よりも多くの高度急性期医療が求められていることが窺える。特に区分線によって機能区分が変わる「一般病棟・地域包括ケア病床等」において区分線1を上回った病床の稼働率（87.4%）が高い。
- 回復期について、定量基準適用時の病床（699床）は必要病床数（1,120床）の約62%となっており、病床稼働率も「回復期リハビリテーション病棟」を除いて、埼玉県全体の数値と比較して高くはない。区分線によって機能区分が変わる「一般病棟・地域包括ケア病床等」の中でも特に看護配置10対1以下の一般病棟において病床稼働率が低い。

人口推計との関係・課題

- 既に人口は減少傾向にあるが、2040年頃までは65歳以上の人口は増加していく。2050年の65歳以上高齢者比率は約39%と予測されており、県全体よりも高齢者率は高くなるとみられている。
- 圏域内の病床数が必要病床数に対し大きく不足していることもなく、入院患者総数が急に増減していることもない。令和5年度調査と今回調査において求められる医療の傾向が変わったように、あらゆる入院医療需要の変動に対して柔軟に対応できる環境を構築することが求められる。

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【川越比企圏域①】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	7病床	74人/日	105床	72.2%	5.0日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	11病床	293人/日	428床	66.8%	10.4日	
		急性期	39病床	1,284人/日	1,619床	79.0%	12.2日	
		回復期	34病床	1,031人/日	1,434床	73.9%	18.3日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	11病床	501人/日	558床	89.8%	73.3日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	7病床	318人/日	360床	88.2%	72.4日	
	医療療養病床	慢性期	31病床	1,298人/日	1,443床	87.7%	241.4日	
	介護療養病床	慢性期	0病床	0人/日	0床	-	-	令和6年度より無し
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	7病床	104人/日	180床	58.0%	14.6日	
	産科の一般病床	急性期	11病床	230人/日	314床	75.4%	6.1日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	3病床	71人/日	94床	76.9%	6.4日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	
		回復期	0病床	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	2病床	37人/日	50床	74.0%	32.3日	
その他	不明	不明/休棟	10病床	148人/日	259床	57.3%	20.2日	
	休棟・休床中	不明/休棟	8病床	1人/日	172床	0.7%	19.7日	

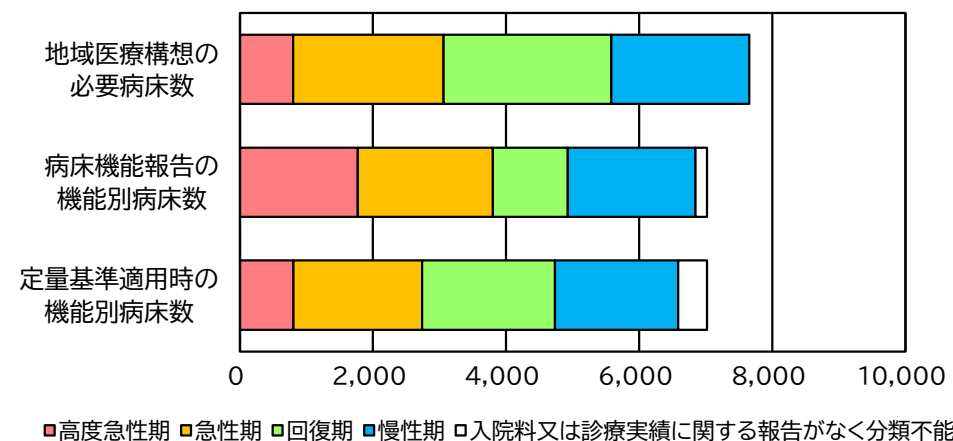
4機能ごとに集計

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	28病床	543人/日	807床	1,774床	802床	66.1%	9.5日
急性期 計	50病床	1,514人/日	1,933床	2,028床	2,260床	78.4%	10.5日
回復期 計	45病床	1,532人/日	1,992床	1,124床	2,518床	78.8%	24.8日
慢性期 計	40病床	1,653人/日	1,853床	1,918床	2,072床	87.2%	147.2日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	18病床	149人/日	431床	172床☆		30.8%	20.2日
全体	181病床	5,390人/日	7,016床	7,016床	7,652床	76.1%	17.7日

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	543人/日	75.0%	66.1%
急性期	1,514人/日	78.0%	78.4%
回復期	1,532人/日	90.0%	78.8%
慢性期	1,653人/日	92.0%	87.2%
不明	149人/日	—	30.8%
合計	5,390人/日	—	76.1%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	89.8%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	78.6%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	65.9%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	79.7%
うち産科・小児科を除く有床診療所	63.4%
うち小児科の一般病棟・有床診療所	-

【集計分析結果から想定される課題】

- 回復期・慢性期では、1日当たり入院患者数が比較的多く、病床稼働率も高い水準にあるため、両機能には一定の需要が存在すると考えられる。これは、今後のポストアキュート・サブアキュートの需要が伸びるとする人口推計とも方向性が一致している。そのため、両機能の病床拡充が求められる。ただし、新規病床整備には、時間的制約が大きいため、急性期から回復期・慢性期への病床機能転換を進めることも選択肢となる。一方で、急性期でも1日当たり入院患者数が多く、病床稼働率も比較的高いことから、一定の需要が存在している点には留意が必要である。
- 限られた医療資源の中で将来需要に対応するためには、地理的に広く、多くの圏域と隣接する地域特性を踏まえ、圏域の東部から南部にかけては他圏域との医療・介護分野での連携をより一層強化していく等の広域的かつ大局的な視点での体制構築が重要であるとする。同時に、圏域内においても地域ごとに医療需要が異なると考えられるため、区域それぞれの特色に目を向ける等のきめ細かな視点も求められる。

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【川越比企圏域②】

地域特性

- 総人口約79万人・627km²の地方都市型二次医療圏である。
- 埼玉県 of 中央に位置し、[南西部]・[さいたま]・[県央]・[西部]・[北部]・[秩父]の6つの医療圏と隣接している。
- 北西から南東にかけて広がり、14市町村で構成されており、県内で2番目に広い面積を有する。
- 高度急性期医療は、埼玉医科大学総合医療センターが中心的な役割を担っている。

令和6年度調査における状況把握

- 必要病床数における全体数（7,652床）に対し、実際の病床数（7,016床）が約600床下回っている。
- 急性期は、病床稼働率（78.4%）が地域医療構想の想定（78.0%）と近似しており、一定の需要があることが見受けられる。一方で、定量基準適用時の病床（1,933床）については、必要病床数（2,260床）を約300床下回っている。
- 回復期は、定量基準適用時の病床（1,992床）が必要病床数（2,518床）を約500床下回っており、病床稼働率（78.8%）は埼玉県全体の稼働率（77.1%）を上回っている。特に「回復期リハビリテーション病棟」の病床稼働率（89.8%）が高水準となっている。
- 慢性期は、定量基準適用時の病床（1,853床）が必要病床数（2,072床）を約200床下回っているが、1日当たり入院患者数が1,600人を超え、病床稼働率（87.2%）も比較的高水準である。

人口推計との関係・課題

- 2050年には65歳以上人口が約24万人に達すると推計されており、2050年には構成比は40%を超えることが見込まれている。
- 高度急性期については、災害拠点病院の一つである埼玉医科大学総合医療センターが所在しているため、圏域内のみならず県内の高度急性期医療の在り方を含めて総合的に検討していく必要がある。
- 今後、ポストアキュート・サブアキュートに対する需要の増加が見込まれる中、回復期・慢性期病床の不足にどう対応していくかが重要な課題である。地域の実情に即した医療体制の構築が求められる。
- 医療圏が広域にわたるという地域特性を踏まえ、広域的な視点での体制整備も検討する必要がある。

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【西部圏域①】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	17病床	155人/日	183床	81.1%	4.4日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	14病床	477人/日	589床	77.4%	9.1日	
		急性期	36病床	1,320人/日	1,593床	78.3%	12.7日	
		回復期	32病床	824人/日	1,256床	72.7%	17.3日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	13病床	521人/日	613床	85.0%	67.7日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	9病床	374人/日	493床	75.9%	354.0日	
	医療療養病床	慢性期	28病床	1,291人/日	1,476床	93.8%	213.7日	
	介護療養病床	慢性期	0病床	0人/日	0床	-	-	令和6年度より無し
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	
	産科の一般病床	急性期	11病床	128人/日	222床	64.1%	6.4日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	3病床	50人/日	93床	53.6%	9.8日	
		回復期	0病床	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	0病床	0人/日	0床	-	-	
その他	不明	不明/休棟	12病床	105人/日	367床	26.1%	12.8日	
	休棟・休床中	不明/休棟	6病床	0人/日	148床	0.0%	-	

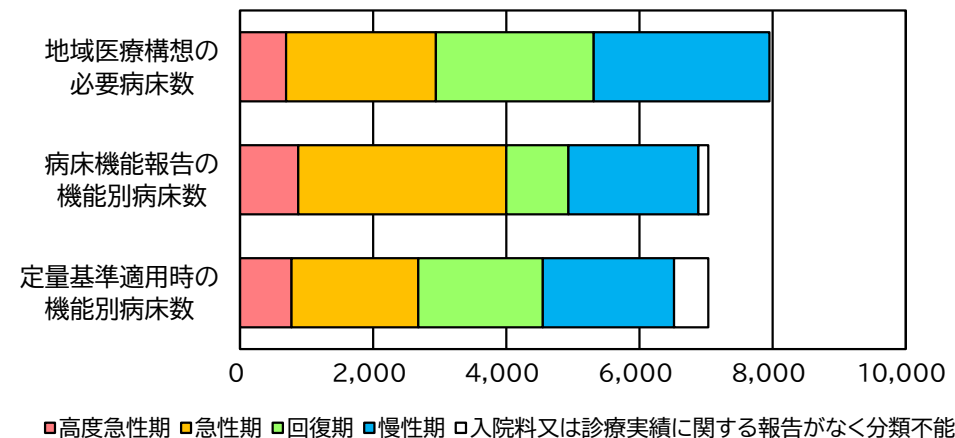
4機能ごとに集計

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	31病床	632人/日	772床	874床	694床	78.3%	7.2日
急性期 計	50病床	1,498人/日	1,908床	3,127床	2,249床	74.9%	11.3日
回復期 計	45病床	1,345人/日	1,869床	931床	2,370床	77.5%	25.4日
慢性期 計	37病床	1,665人/日	1,969床	1,953床	2,638床	88.7%	236.9日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	18病床	105人/日	515床	148床☆	20.0%	12.8日	
全体	181病床	5,246人/日	7,033床	7,033床	7,951床	76.1%	19.2日

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	632人/日	75.0%	78.3%
急性期	1,498人/日	78.0%	74.9%
回復期	1,345人/日	90.0%	77.5%
慢性期	1,665人/日	92.0%	88.7%
不明	105人/日	—	20.0%
合計	5,246人/日	—	76.1%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	85.0%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	76.4%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	62.0%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	81.4%
うち産科・小児科を除く有床診療所	87.2%
うち小児科の一般病棟・有床診療所	-

【集計分析結果から想定される課題】

- 令和5年度調査と比べ4機能区分すべてにおいて、定量基準適用時の病床数が増加し、病床稼働率も上昇した。また、1日当たり入院患者数について、高度急性期・急性期・回復期では増加した。これらから全体として医療需要の増加が窺える。特に慢性期では、病床稼働率が依然として高く推移しており、医療提供体制の拡充・整備が重要である。
- 必要病床数全体に対して、現在の病床数が約920床不足しており、現行病床の機能再編のみでは将来の医療需要に十分対応できない可能性がある。そのため、病床拡充による圏内での医療提供完結を基本としつつも、医療従事者不足等の制約を踏まえ、圏内において、在宅・介護への連携移行及び隣接する医療圏との広域連携を補完的に活用することが現実的かつ有効な対応策の一つになり得る。

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【西部圏域②】

地域特性

- 総人口約77万人・406km²の地方都市型二次医療圏である。
- 東京都の北多摩北部・北多摩西部・西多摩の一部医療圏と隣接している。
- 東西に広がる圏域で、[南西部]・[川越比企]・[秩父]の3つの医療圏と隣接しており、都市部と中山間地域を併せ持つ多様な地域構成となっている。

令和6年度調査における状況把握

- 全体病床数（7,033床）が必要病床数における全体数（7,951床）に対して約920床不足している。
- 高度急性期は、定量基準適用時の病床（772床）が必要病床数（694床）を約80床上回っており、病床稼働率（78.3%）も比較的高水準である。
- 急性期は、定量基準適用時の病床（1,908床）が必要病床数（2,249床）を約300床下回っているが、「入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数」に分類される急性期病床が276床ある点には留意が必要である。
- 回復期は、定量基準適用時の病床（1,869床）が必要病床数（2,370床）を約500床下回っている。なお、1日あたり入院患者数（1,345人）が[川越比企圏域]・[東部圏域]に次いで3番目に多い。
- 慢性期は、定量基準適用時の病床（1,969床）が必要病床数（2,638床）を約700床下回っており、病床稼働率（88.7%）は埼玉県全体の病床稼働率（81.6%）を約7ポイント上回っている。なお、1日当たり入院患者数（1,665人）は埼玉県内で一番多い。

人口推計との関係・課題

- 2050年の65歳以上の人口は約23.5万人、人口構成比として約40%に達すると推計されている。また、総人口は、2010年をピークに減少傾向にあるため、回復期・慢性期の確保が引き続き求められていくことが想定される。ただし、都市部では現役世代も多く、高度急性期及び急性期への需要も併存している。
- 周辺には、南西部（大都市型）、川越比企（地方都市型）、秩父（過疎地域型）といった特性の異なる医療圏が隣接しており、それぞれ需要に応じた医療提供体制が求められている。このため、自医療圏内での完結を基本としつつも、他医療圏との連携を図ることが、適切な医療体制整備の一つである。

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【利根圏域①】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	10病床	82人/日	148床	55.3%	4.4日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病床・地域包括ケア病床等	高度急性期	8病床	284人/日	349床	80.1%	10.7日	
		急性期	25病床	988人/日	1,269床	77.2%	11.2日	
		回復期	24病床	637人/日	998床	62.4%	17.5日	
	回復期リハビリ病床	回復期	8病床	316人/日	370床	85.3%	55.5日	
	特殊疾患病床・障害者施設等	慢性期	8病床	294人/日	413床	69.4%	74.1日	
	医療療養病床	慢性期	11病床	534人/日	526床	90.6%	122.9日	
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	令和6年度より無し
	産科の一般病床	急性期	5病床	79人/日	141床	69.6%	5.6日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病床等	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	1病床	24人/日	40床	59.2%	4.5日	
		回復期	0病床	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病床	急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病床を急性期、ない病床を慢性期とする
		慢性期	1病床	9人/日	14床	61.4%	18.0日	
その他	不明	不明/休棟	9病床	95人/日	183床	40.3%	10.9日	
	休棟・休床中	不明/休棟	6病床	4人/日	120床	3.3%	16.1日	

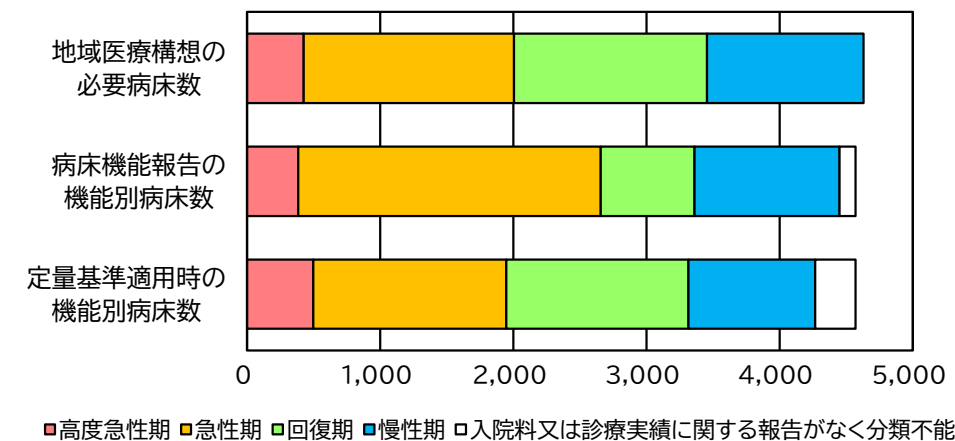
4機能ごとに集計

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	18病床	366人/日	497床	384床	426床	72.4%	8.0日
急性期 計	31病床	1,091人/日	1,450床	2,272床	1,580床	76.0%	10.1日
回復期 計	32病床	953人/日	1,368床	704床	1,448床	69.4%	23.6日
慢性期 計	20病床	836人/日	953床	1,091床	1,176床	79.0%	88.2日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	15病床	99人/日	303床	120床☆	23.2%	11.2日	
全体	116病床	3,345人/日	4,571床	4,571床	4,630床	70.5%	14.7日

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病床を除いて算出。



	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	366人/日	75.0%	72.4%
急性期	1,091人/日	78.0%	76.0%
回復期	953人/日	90.0%	69.4%
慢性期	836人/日	92.0%	79.0%
不明	99人/日	—	23.2%
合計	3,345人/日	—	70.5%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病床	85.3%
うち産科・小児科を除く急性期一般病床1、一般病床7:1	87.8%
うち産科・小児科を除くその他の一般病床	56.2%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病床等	68.5%
うち産科・小児科を除く有床診療所	32.8%
うち小児科の一般病床・有床診療所	-

【集計分析結果から想定される課題】

- 高度急性期では、病床稼働率が令和5年度には地域医療構想の想定を上回っていたが、令和6年度は病床稼働率が低下し、地域医療構想の想定を下回った。これは、「救命救急・ICU等」の病床数が増加したことが要因の一つとして考えられる。また、本圏域における回復期の病床稼働率が県内で2番目に低い水準である。ただし、令和5年度と比較すると上昇しており、上昇幅が大きかったのは「回復期リハビリテーション病床」及び「産科・小児科を除く急性期1、一般病床7:1病床」であった。
- 今後は、医療需要に即した病床確保とともに、各医療機能の役割分担を明確にし、看護配置が手厚い病床が本来担うべき機能に専念できる環境を整える等、最適な医療資源の活用をしていくことで、必要な医療を必要なときに提供できる、効率的かつ持続可能な体制の構築していくことが望ましいと考えられる。

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【利根圏域②】

地域特性

- 総人口約63万人・面積474km²の地方都市型二次医療圏である。
- 茨城県・群馬県・栃木県等の他県と接しており、県内では4つの医療圏と隣接している。
- 都市部に比べて人口密度が低く、広域的な医療連携の必要性が高い地域である。

令和6年度調査における状況把握

- 高度急性期は、定量基準適用時の病床（497床）が必要病床数（426床）を上回っている。全体の病床稼働率は72.4%であるが、「救命救急・ICU等」では55.3%と低水準である。そのため、隣接している他県への提供等も含め検討の余地があると思われる。
- 急性期は、定量基準適用時の病床（1,450床）が必要病床数（1,580床）を約130床下回っている。ただし、「入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数」における急性期病床の116床を含めると近似した数になる点には留意が必要である。
- 回復期は、定量基準適用時の病床（1,368床）が必要病床数（1,448床）を約100床下回り、病床稼働率は70%を下回っている。なお、70%未満の圏域は本医療圏と[秩父]のみである。
- 慢性期は、定量基準適用時の病床（953床）が必要病床数（1,176床）を約220床下回っている。特に「特殊疾患・障害者施設等」における病床稼働率（69.4%）が埼玉県全体（81.9%）と比べて低水準となっている。

人口推計との関係・課題

- 65歳以上人口は2025年に約20万人でピークを迎えた後、2050年には約18万人に減少する見込みだが、人口構成比では65歳以上が40%を超えると見込まれている。
- 高齢化の進行により、医療需要は回復期・慢性期に偏重していくと考えられる。また、地域医療構想におけるアンケートでも「回復期機能や療養機能病床が少ない」との自由記述があり、これら回復期・慢性期病床の確保と適正な配置が求められる。

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【北部圏域①】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	6病床	54人/日	91床	59.5%	4.1日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病床・地域包括ケア病床等	高度急性期	5病床	135人/日	150床	88.0%	11.5日	
		急性期	21病床	756人/日	896床	84.3%	12.0日	
		回復期	25病床	757人/日	1,024床	76.3%	18.8日	
	回復期リハビリ病床	回復期	3病床	148人/日	155床	95.5%	52.6日	
	特殊疾患病床・障害者施設等	慢性期	3病床	107人/日	121床	84.7%	6094.0日	
	医療療養病床	慢性期	20病床	774人/日	1,035床	74.7%	179.0日	
	介護療養病床	慢性期	0病床	0人/日	0床	-	-	令和6年度より無し
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	
	産科の一般病床	急性期	4病床	73人/日	127床	57.3%	8.2日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病床等	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	1病床	15人/日	42床	35.5%	6.5日	
		回復期	1病床	19人/日	60床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病床	急性期	1病床	8人/日	14床	60.5%	17.8日	放射線治療の実施がある病床を急性期、ない病床を慢性期とする
		慢性期	1病床	2人/日	24床	-	-	
その他	不明	不明/休棟	7病床	53人/日	173床	27.7%	7.4日	
	休棟・休床中	不明/休棟	5病床	0人/日	108床	0.0%	-	

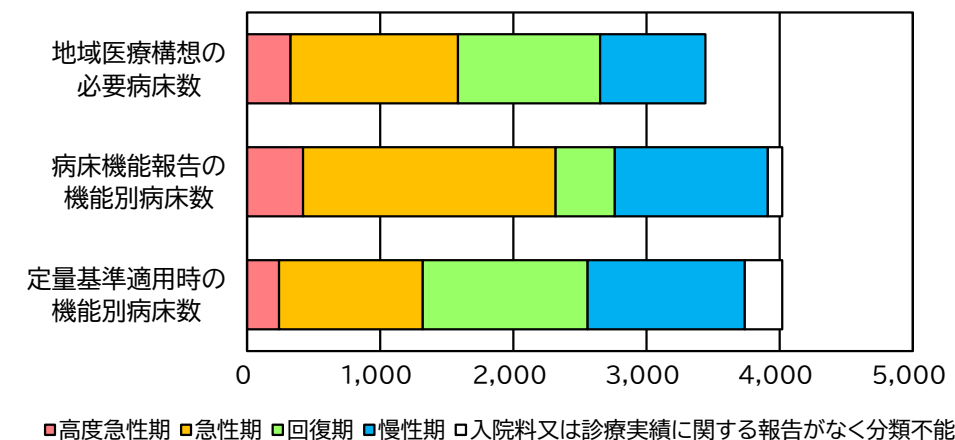
4機能ごとに集計

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	11病床	190人/日	241床	420床	327床	76.1%	7.3日
急性期 計	27病床	852人/日	1,079床	1,898床	1,258床	78.9%	11.4日
回復期 計	29病床	923人/日	1,239床	444床	1,066床	78.9%	21.0日
慢性期 計	24病床	883人/日	1,180床	1,150床	791床	75.4%	192.5日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	12病床	53人/日	281床	108床☆		16.3%	7.4日
全体	103病床	2,901人/日	4,020床	4,020床	3,442床	73.3%	17.7日

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病床を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- 全体病床数が、必要病床数における全体数を上回っている圏域である。しかし、「回復期リハビリテーション病床」の病床稼働率は非常に高く、実需としては依然として不足している状況が窺える。また、圏域内には「回復期リハビリテーション病床」を有する病院が3病院にとどまっており、実需と提供体制との乖離が見られる。また、本圏域では、医療人材確保が容易ではないことも、医療提供体制に影響を及ぼしていると指摘されている。
- 特に不足が顕著な「回復期リハビリテーション病床」については、既存病床の機能転換等を通じて、地域の実情に応じた医療提供体制の最適化を図る必要がある。また、圏域内での医療提供の完結を基本としつつ、高度急性期・急性期については、既存の「救急医療情報システム」連携等を活用することは、地域の医療体制を充実させる上で有効であると考えられる。

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	190人/日	75.0%	76.1%
急性期	852人/日	78.0%	78.9%
回復期	923人/日	90.0%	78.9%
慢性期	883人/日	92.0%	75.4%
不明	53人/日	—	16.3%
合計	2,901人/日	—	73.3%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病床	95.5%
うち産科・小児科を除く急性期一般病床1、一般病床7:1	78.2%
うち産科・小児科を除くその他の一般病床	68.7%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病床等	83.7%
うち産科・小児科を除く有床診療所	49.1%
うち小児科の一般病床・有床診療所	-

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【北部圏域②】

地域特性

- 総人口約50万人・面積562km²の地方都市型二次医療圏である。
- 秩父圏域に次いで人口規模が小さく、医療機関数も限られている。
- 県内では[県央]・[川越比企]・[利根]・[秩父]の4つの医療圏と隣接している。
- 構成市町の大半が群馬県との県境に位置しており、救急搬送の約3割が群馬県に向かうとされている。

令和6年度調査における状況把握

- 病床全体数（4,020床）が必要病床数の全体数（3,442床）を上回っており、該当するのは本医療圏と[秩父]のみである。
- 高度急性期は、「救命救急・ICU等」の病床稼働率（59.5%）は低水準である一方で、区分線により区分される「一般病棟・地域包括ケア病棟」の病床稼働率（88.0%）が埼玉県全体（77.8%）と比べ高水準である。
- 回復期は、定量基準適用時の病床（1,239床）が、必要病床数（1,066床）を上回っている数少ない圏域である。特に「回復期リハビリテーション病棟」の病床稼働率（95.5%）は県内で最も高く、病棟数は3棟（155床）のみと限られている。
- 慢性期は、定量基準適用時の病床（1,180床）が必要病床数（791床）の約1.5倍である。

人口推計との関係・課題

- 総人口は2000年の約53万人以降は減少傾向にあり、2050年には約36万人にまで減少する。また、2050年には65歳以上人口構成比が40%に迫ると見込まれている。
- 人口規模が小さく、医療機関数も限られていることから、「小児・周産期、特殊疾患、回復期リハビリテーション病棟」等の専門的な機能を有する病床が不足している。
- 災害時対応等、群馬県との協力体制を強化し、広域的な視点での医療提供体制の構築が求められる。

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【秩父圏域①】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	
		急性期	4病床	111人/日	167床	66.8%	14.3日	
		回復期	3病床	75人/日	131床	57.1%	20.5日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	1病床	35人/日	40床	88.2%	78.0日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	1病床	51人/日	60床	85.4%	64.7日	
	医療療養病床	慢性期	4病床	149人/日	230床	64.6%	115.1日	
	介護療養病床	慢性期	0病床	0人/日	0床	-	-	令和6年度より無し
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	
	産科の一般病床	急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	
		回復期	0病床	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	0病床	0人/日	0床	-	-	
その他	不明	不明/休棟	2病床	47人/日	71床	65.6%	15.7日	
	休棟・休床中	不明/休棟	2病床	1人/日	59床	1.2%	6.7日	

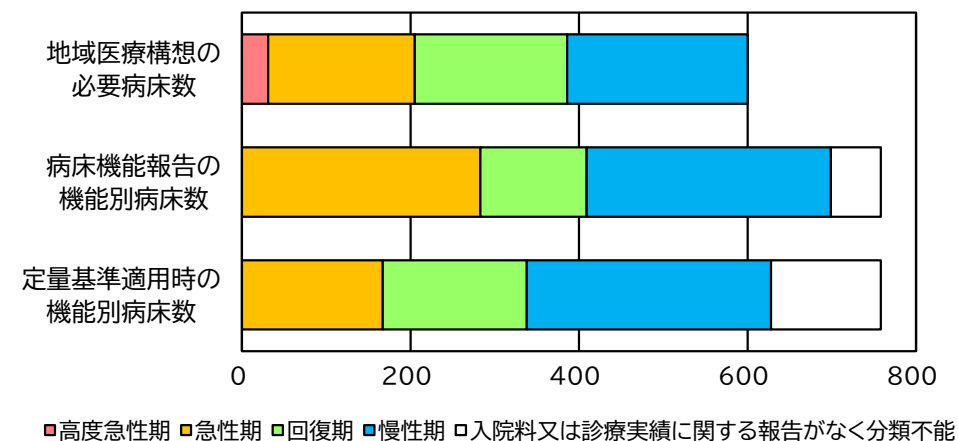
4機能ごとに集計

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	0病床	0人/日	0床	0床	31床	-	-
急性期 計	4病床	111人/日	167床	283床	174床	66.8%	14.3日
回復期 計	4病床	110人/日	171床	126床	181床	64.4%	26.9日
慢性期 計	5病床	200人/日	290床	290床	214床	68.9%	95.9日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	4病床	47人/日	130床	59床☆	36.4%	15.3日	
全体	17病床	469人/日	758床	758床	600床	61.8%	27.5日

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- 全体病床数が、必要病床数における全体数を上回っている圏域である。一方で4機能区分すべての病床稼働率が70%を下回っており、これは圏域内の総人口の少なさや急速な減少に伴う医療需要の縮小傾向を反映していると考えられる。
- 圏域内には高度急性期病床が存在しない上、「回復期リハビリテーション病棟」や「特殊疾患病棟・障害者施設等病棟」もそれぞれ1病棟のみと、医療機能の偏在が見られる。加えて、山間地域という地理的特性も相まって、医療従事者をはじめとする医療資源が限られている。
- このような状況を踏まえ、人口動態に応じた病床機能の適正化を進めるとともに、ICTの活用やオンライン診療の推進等を通じて、効率的かつ持続可能な医療提供体制の構築を図ることが求められる。また、医師、看護師、助産師等の医療人材不足に対しては、D to P with Nといった適切な支援策を講じ、安定的な医療提供体制を維持していくことが重要である。

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	0人/日	75.0%	-
急性期	111人/日	78.0%	66.8%
回復期	110人/日	90.0%	64.4%
慢性期	200人/日	92.0%	68.9%
不明	47人/日	—	36.4%
合計	469人/日	—	61.8%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	88.2%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	-
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	49.8%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	60.9%
うち産科・小児科を除く有床診療所	-
うち小児科の一般病棟・有床診療所	-

令和6年度病床機能報告 定量基準分析結果【秩父圏域②】

地域特性

- 総人口約9万人、面積893km²と、面積に比べ、総人口が少ない過疎地域型二次医療圏である。
- 群馬県・長野県・山梨県・東京都と接しているが、接しているのは主に山間部であり、交通アクセスに制約がある。
- 県内では[川越比企]・[西部]・[北部]の3つの医療圏と隣接している。
- 山間地域かつ広域であるため、病棟間の機能分化が不明瞭である可能性がある。

令和6年度調査における状況把握

- 高度急性期病床を有する病床が圏域内に存在しない。
- 急性期・回復期は、いずれも必要病床数に近い病床数を有しているが、病床稼働率は70%を下回っている。また、「回復期リハビリテーション病棟」は1病棟のみの設置にとどまっている。
- 慢性期は、定量基準適用時の病床（290床）が必要病床数（214床）を上回っており、病床稼働率は70%を下回っている。また、「特殊疾患・障害者施設等病棟」も1病棟のみの設置にとどまっている。

人口推計との関係・課題

- 総人口は1960年の約13万人をピークに減少を続けており、2050年には5万人を下回ると推計されている。65歳以上人口は2050年に約2.4万人となり、人口構成比は50%に迫る見込みである。
- 圏域内に高度急性期病床が存在しないが、隣接する[西部]に所在する埼玉医科大学国際医療センターと連携することで対応している可能性があり、今後も他圏域との連携が重要となると考えられる。
- 医療需要に即した病床整備が求められる一方で、医療資源が限定的であるという地域特性を踏まえ、住民が安心して医療を受けられる安定的な体制の維持が重要である。
- そのため、圏域内の医療資源を集約・有効活用し、ICTやオンライン診療の積極的な活用を通じて、地理的制約を補完しながら、効率的な医療提供体制を構築していくことが有効である。

各圏域の定量基準による機能別病床稼働率（令和6年度報告）

	4機能区分まとめ					合計
4機能区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	不明	
埼玉県全体	75.1%	76.3%	77.1%	81.6%	30.8%	75.0%
南部	69.6%	76.2%	76.8%	60.5%	43.4%	70.5%
南西部	75.8%	72.6%	79.1%	89.5%	42.0%	78.3%
東部	73.5%	76.2%	77.7%	87.7%	41.7%	76.6%
さいたま	80.7%	78.6%	80.0%	73.1%	47.3%	77.8%
県央	82.7%	74.3%	74.1%	85.8%	28.9%	73.6%
川越比企	66.1%	78.4%	78.8%	87.2%	30.8%	76.1%
西部	78.3%	74.9%	77.5%	88.7%	20.0%	76.1%
利根	72.4%	76.0%	69.4%	79.0%	23.2%	70.5%
北部	76.1%	78.9%	78.9%	75.4%	16.3%	73.3%
秩父	-	66.8%	64.4%	68.9%	36.4%	61.8%

各圏域の定量基準による機能別平均在棟日数（令和6年度報告）

	4機能区分まとめ						合計
4機能区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	不明		
埼玉県全体	7.7日	10.2日	23.6日	139.3日	15.8日	15.6日	
南部	7.2日	9.5日	23.7日	88.0日	15.1日	13.4日	
南西部	6.6日	9.1日	22.4日	151.8日	38.8日	16.0日	
東部	10.4日	10.2日	23.4日	113.8日	14.3日	16.2日	
さいたま	6.8日	9.7日	22.6日	149.0日	508.7日	12.4日	
県央	6.4日	10.5日	27.7日	124.9日	18.9日	14.3日	
川越比企	9.5日	10.5日	24.8日	147.2日	20.2日	17.7日	
西部	7.2日	11.3日	25.4日	236.9日	12.8日	19.2日	
利根	8.0日	10.1日	23.6日	88.2日	11.2日	14.7日	
北部	7.3日	11.4日	21.0日	192.5日	7.4日	17.7日	
秩父	-	14.3日	26.9日	95.9日	15.3日	27.5日	

令和6年度病床機能報告結果について(2025年必要病床数との比較等)

資料5-2

(単位:床)

圏域	医療機能	令和6年度 報告結果 (A)	令和6年度 定量基準分析結果 (A')	R6.7.2以降 整備(予定)病床 (B)	A+B 報告ベース (C)	A'+B 定量基準分析ベース (C')	2025年 必要病床数 (D)	比較	
								C-D	C'-D
県計	高度急性期	5,938	6,509	30	5,968	6,539	5,528	440	1,011
	急性期	24,569	16,732	215	24,784	16,947	17,954	6,830	△1,007
	回復期	6,453	13,726	623	7,076	14,349	16,717	△9,641	△2,368
	慢性期	12,016	12,009	245	12,261	12,254	14,011	△1,750	△1,757
	休棟・未報告等	2,689	2,689	-	2,689	2,689	-	-	-
	計	51,665	51,665	1,263	52,928	52,928	54,210	△1,282	△1,282
南部	高度急性期	205	570	20	225	590	609	△384	△19
	急性期	2,812	1,751	0	2,812	1,751	1,922	890	△171
	回復期	602	1,261	110	712	1,371	1,623	△911	△252
	慢性期	777	814	0	777	814	871	△94	△57
	休棟・未報告等	227	227	-	227	227	-	-	-
	計	4,623	4,623	130	4,753	4,753	5,025	△272	△272
南西部	高度急性期	211	537	0	211	537	425	△214	112
	急性期	2,765	1,512	0	2,765	1,512	1,685	1,080	△173
	回復期	518	1,473	43	561	1,516	1,356	△795	160
	慢性期	1,202	1,174	0	1,202	1,174	1,311	△109	△137
	休棟・未報告等	13	13	-	13	13	-	-	-
	計	4,709	4,709	43	4,752	4,752	4,777	△25	△25
東部	高度急性期	275	1,145	6	281	1,151	831	△550	320
	急性期	4,508	2,661	161	4,669	2,822	2,783	1,886	39
	回復期	1,015	1,931	177	1,192	2,108	2,734	△1,542	△626
	慢性期	1,668	1,729	33	1,701	1,762	2,587	△886	△825
	休棟・未報告等	416	416	-	416	416	-	-	-
	計	7,882	7,882	527	8,409	8,409	8,935	△526	△526
さいたま	高度急性期	1,616	1,412	0	1,616	1,412	1,039	577	373
	急性期	3,027	2,399	0	3,027	2,399	2,770	257	△371
	回復期	736	1,533	0	736	1,533	2,301	△1,565	△768
	慢性期	1,324	1,359	0	1,324	1,359	1,554	△230	△195
	休棟・未報告等	345	345	-	345	345	-	-	-
	計	7,048	7,048	0	7,048	7,048	7,664	△616	△616
県央	高度急性期	181	479	0	181	479	344	△163	135
	急性期	1,871	1,179	8	1,879	1,187	1,273	606	△86
	回復期	284	738	0	284	738	1,120	△836	△382
	慢性期	853	793	0	853	793	797	56	△4
	休棟・未報告等	275	275	-	275	275	-	-	-
	計	3,464	3,464	8	3,472	3,472	3,534	△62	△62

令和6年度病床機能報告結果について(2025年必要病床数との比較等)

資料5-2

(単位:床)

圏域	医療機能	令和6年度 報告結果 (A)	令和6年度 定量基準分析結果 (A')	R6.7.2以降 整備(予定)病床 (B)	A+B 報告ベース (C)	A'+B 定量基準分析ベース (C')	2025年 必要病床数 (D)	比較	
								C-D	C'-D
川越比企	高度急性期	1,774	807	0	1,774	807	802	972	5
	急性期	2,028	2,118	0	2,028	2,118	2,260	△232	△142
	回復期	1,124	2,021	114	1,238	2,135	2,518	△1,280	△383
	慢性期	1,918	1,898	146	2,064	2,044	2,072	△8	△28
	休棟・未報告等	318	318	-	318	318	-	-	-
	計	7,162	7,162	260	7,422	7,422	7,652	△230	△230
西部	高度急性期	872	821	4	876	825	694	182	131
	急性期	3,117	2,174	46	3,163	2,220	2,249	914	△29
	回復期	900	1,878	179	1,079	2,057	2,370	△1,291	△313
	慢性期	1,953	1,969	66	2,019	2,035	2,638	△619	△603
	休棟・未報告等	725	725	-	725	725	-	-	-
	計	7,567	7,567	295	7,862	7,862	7,951	△89	△89
利根	高度急性期	384	497	0	384	497	426	△42	71
	急性期	2,260	1,554	0	2,260	1,554	1,580	680	△26
	回復期	704	1,388	0	704	1,388	1,448	△744	△60
	慢性期	1,055	964	0	1,055	964	1,176	△121	△212
	休棟・未報告等	159	159	-	159	159	-	-	-
	計	4,562	4,562	0	4,562	4,562	4,630	△68	△68
北部	高度急性期	420	241	0	420	241	327	93	△86
	急性期	1,898	1,146	0	1,898	1,146	1,258	640	△112
	回復期	444	1,332	0	444	1,332	1,066	△622	266
	慢性期	1,011	1,054	0	1,011	1,054	791	220	263
	休棟・未報告等	118	118	-	118	118	-	-	-
	計	3,891	3,891	0	3,891	3,891	3,442	449	449
秩父	高度急性期	0	0	0	0	0	31	△31	△31
	急性期	283	238	0	283	238	174	109	64
	回復期	126	171	0	126	171	181	△55	△10
	慢性期	255	255	0	255	255	214	41	41
	休棟・未報告等	93	93	-	93	93	-	-	-
	計	757	757	0	757	757	600	157	157

※(A')令和6年度定量基準分析結果においては、入院料に関する報告がない病棟等について便宜的に病床機能報告で報告のあった病床機能で集計している。

※「R6.7.2以降整備(予定)病床(B)」は、埼玉県地域保健医療計画(第6次から第8次)に基づく病床整備の公募により整備を進めるものとされた病床のうち、R6.7.2以降に許可を受けて整備された病床及び未整備の病床の数

定量基準分析 年度別集計結果

資料5-3

区域	医療機能	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度※	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	R6における R5との比較	2025年 必要病床数
県計	高度急性期	4,044	4,223	4,368		5,041	5,893	6,267	6,509	242	5,528
	急性期	18,678	18,704	18,694		19,248	18,666	16,746	16,732	△14	17,954
	回復期	13,379	13,997	13,935		12,913	12,752	14,141	13,726	△415	16,717
	慢性期	12,752	12,939	12,617		12,214	12,197	11,869	12,009	140	14,011
	休棟・未報告等	1,829	1,533	1,680		1,982	1,707	2,324	2,689	365	-
	計	50,682	51,396	51,294		51,398	51,215	51,347	51,665	318	54,210
南部	高度急性期	290	457	376		360	527	573	570	△3	609
	急性期	2,173	1,935	2,088		1,944	1,754	1,663	1,751	88	1,922
	回復期	1,114	1,148	1,111		1,342	1,329	1,364	1,261	△103	1,623
	慢性期	729	837	819		840	756	733	814	81	871
	休棟・未報告等	146	120	89		39	63	74	227	153	-
	計	4,452	4,497	4,483		4,525	4,429	4,407	4,623	216	5,025
南西部	高度急性期	491	410	344		371	378	495	537	42	425
	急性期	1,282	1,360	1,680		1,745	1,739	1,435	1,512	77	1,685
	回復期	1,168	1,386	1,296		1,259	1,339	1,546	1,473	△73	1,356
	慢性期	1,115	1,120	1,155		1,224	1,212	1,174	1,174	0	1,311
	休棟・未報告等	14	61	31		58	6	19	13	△6	-
	計	4,070	4,337	4,506		4,657	4,674	4,669	4,709	40	4,777
東部	高度急性期	503	420	583		739	732	942	1,145	203	831
	急性期	2,848	3,110	2,743		3,172	3,118	2,809	2,661	△148	2,783
	回復期	2,170	2,086	2,407		1,816	1,975	2,032	1,931	△101	2,734
	慢性期	1,786	1,784	1,679		1,742	1,727	1,711	1,729	18	2,587
	休棟・未報告等	264	389	343		267	163	319	416	97	-
	計	7,571	7,789	7,755		7,736	7,715	7,813	7,882	69	8,935
さいたま	高度急性期	1,090	1,113	1,005		1,352	1,238	1,546	1,412	△134	1,039
	急性期	2,954	2,986	3,350		2,734	3,081	2,202	2,399	197	2,770
	回復期	1,440	1,494	1,156		1,456	1,151	1,820	1,533	△287	2,301
	慢性期	1,436	1,408	1,438		1,397	1,390	1,314	1,359	45	1,554
	休棟・未報告等	216	155	190		172	209	179	345	166	-
	計	7,136	7,156	7,139		7,111	7,069	7,061	7,048	△13	7,664
県央	高度急性期	232	223	289		345	401	366	479	113	344
	急性期	1,407	1,290	1,173		1,529	1,239	1,314	1,179	△135	1,273
	回復期	905	1,028	972		663	801	809	738	△71	1,120
	慢性期	812	812	810		793	851	830	793	△37	797
	休棟・未報告等	74	70	183		106	125	101	275	174	-
	計	3,430	3,423	3,427		3,436	3,417	3,420	3,464	44	3,534

定量基準分析 年度別集計結果

資料5-3

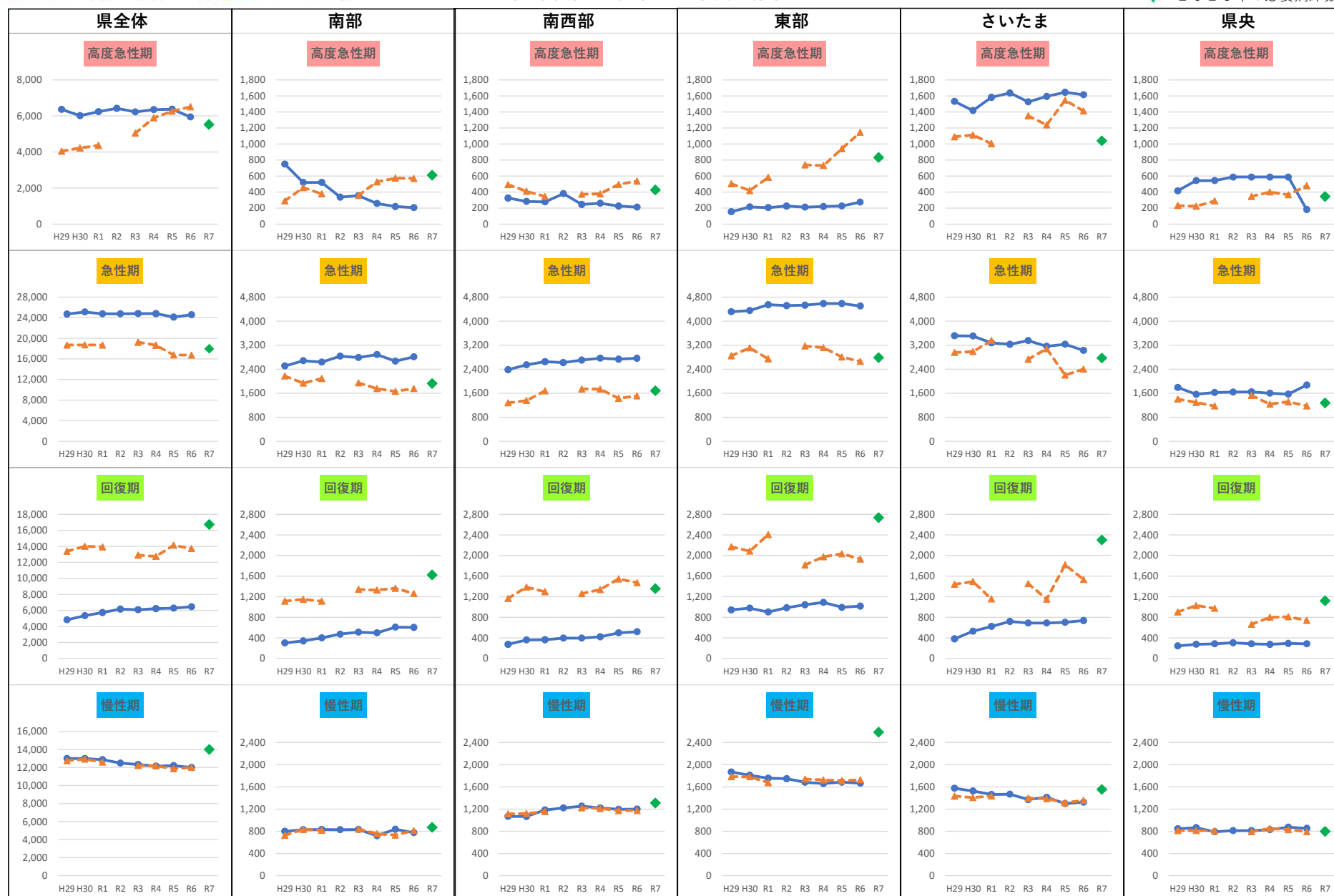
区域	医療機能	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度※	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	R6における R5との比較	2025年 必要病床数
川越比企	高度急性期	654	581	809		777	1,021	801	807	6	802
	急性期	2,361	2,509	2,124		2,345	2,082	2,236	2,118	△118	2,260
	回復期	1,988	2,069	2,183		1,890	1,881	1,895	2,021	126	2,518
	慢性期	1,905	1,918	1,908		1,940	1,979	1,901	1,898	△3	2,072
	休棟・未報告等	396	189	205		301	170	332	318	△14	-
	計	7,304	7,266	7,229		7,253	7,133	7,165	7,162	△3	7,652
西部	高度急性期	421	558	465		439	793	685	821	136	694
	急性期	2,232	2,036	2,081		2,488	2,320	1,946	2,174	228	2,249
	回復期	1,897	2,091	2,078		1,848	1,769	1,987	1,878	△109	2,370
	慢性期	2,542	2,602	2,412		2,157	2,037	2,037	1,969	△68	2,638
	休棟・未報告等	348	337	471		489	635	877	725	△152	-
	計	7,440	7,624	7,507		7,421	7,554	7,532	7,567	35	7,951
利根	高度急性期	223	282	228		525	557	489	497	8	426
	急性期	1,593	1,648	1,833		1,549	1,596	1,728	1,554	△174	1,580
	回復期	1,396	1,487	1,383		1,337	1,271	1,277	1,388	111	1,448
	慢性期	1,023	1,047	1,015		914	957	888	964	76	1,176
	休棟・未報告等	275	75	75		249	171	250	159	△91	-
	計	4,510	4,539	4,534		4,574	4,552	4,632	4,562	△70	4,630
北部	高度急性期	140	179	269		133	246	370	241	△129	327
	急性期	1,580	1,598	1,329		1,501	1,470	1,161	1,146	△15	1,258
	回復期	1,088	993	1,145		1,064	1,024	1,235	1,332	97	1,066
	慢性期	1,052	1,059	1,109		970	991	996	1,054	58	791
	休棟・未報告等	79	120	48		207	150	129	118	△11	-
	計	3,939	3,949	3,900		3,875	3,881	3,891	3,891	0	3,442
秩父	高度急性期	0	0	0		0	0	0	0	0	31
	急性期	248	232	293		241	267	252	238	△14	174
	回復期	213	215	204		238	212	176	171	△5	181
	慢性期	352	352	272		237	297	285	255	△30	214
	休棟・未報告等	17	17	45		94	15	44	93	49	-
	計	830	816	814		810	791	757	757	0	600

※令和2年度の病床機能報告では新型コロナウイルス感染症の影響等により「報告様式2」の提出を求めなかった経緯があり、その結果、定量基準分析も実施していない。

● 病床機能報告 ▲ 定量基準分析

医療機能別病床数の年度別推移について

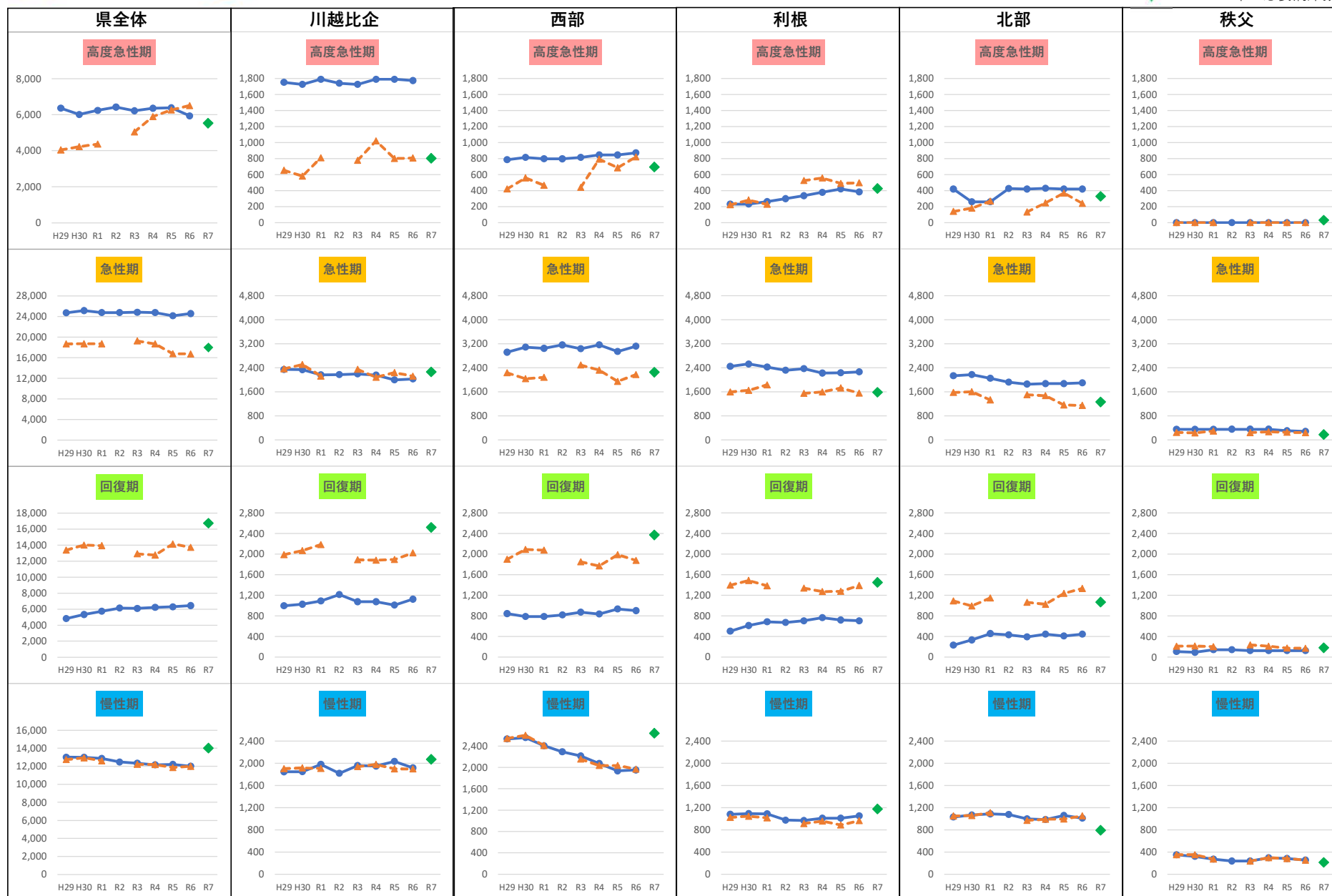
◆ : 2025年の必要病床数



● 病床機能報告 ▲ 定量基準分析

医療機能別病床数の年度別推移について

◆ : 2025年の必要病床数



令和6年度病床機能報告 各医療機関からの報告内容と定量基準分析結果について

注 ① 「病床数（一般＋療養）」、「稼働病床数」、「入院基本料・特定入院料」は、各医療機関から様式1により報告された令和6年7月1日時点のデータ
② 区分指標ごとの各医療機関の診療実績は、各医療機関から様式2により報告された令和5年6月診療分かつ7月審査分のデータを基に計算
（但し、「OJ」「P」は様式1により報告された令和5年4月1日～令和6年3月31日のデータを基に計算）

参考資料1

※報告内容に差異のある病床のパターン A：報告内容「高度急性期」→「回復期」 B：報告内容「高度急性期」→定量基準「急性期」 C：報告内容「急性期」→定量基準「回復期」

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準分析結果（再掲）	
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚）	化学療法（日数）	予定外の救急医療入院の人数	一般病棟中の重症度、重症・軽症・軽微な患者を共にする重症割合		
2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%													
南部	川口市	病院	社会福祉法人聖陽財団済生会友部埼玉南済生会川口総合病院	ICU	高度急性期	高度急性期		14	14	特定集中治療室管理料 5	5.50	1.64	1.57	0.14	0.43	0.29		0.71	1.64	21.36	7.21	1.64				40.25		高度急性期
南部	川口市	病院	社会福祉法人聖陽財団済生会友部埼玉南済生会川口総合病院	NICU	高度急性期	高度急性期		6	6	新生児特定集中治療室管理料 2								0.17		1.00	0.33							高度急性期
南部	川口市	病院	社会福祉法人聖陽財団済生会友部埼玉南済生会川口総合病院	GCU	高度急性期	高度急性期		6	0	新生児集中治療室入院医療管理料																		高度急性期
南部	川口市	病院	社会福祉法人聖陽財団済生会友部埼玉南済生会川口総合病院	3A	急性期	急性期		28	28	急性期一般入院料 1	0.64		0.07								0.21	2.00			0.11	1.39	49.0	急性期
南部	川口市	病院	社会福祉法人聖陽財団済生会友部埼玉南済生会川口総合病院	3B	急性期	急性期		25	24	小児入院医療管理料 3	0.33											0.38				0.17	30.8	急性期
南部	川口市	病院	社会福祉法人聖陽財団済生会友部埼玉南済生会川口総合病院	4A	急性期	急性期		48	48	急性期一般入院料 1	0.77	0.44	0.15							2.21	1.35	0.44	0.06	0.46	7.75	40.2	急性期	
南部	川口市	病院	社会福祉法人聖陽財団済生会友部埼玉南済生会川口総合病院	4B	急性期	急性期		60	60	急性期一般入院料 1	0.02		0.10							0.10	1.13		0.08	1.08	9.87	34.6	急性期	
南部	川口市	病院	社会福祉法人聖陽財団済生会友部埼玉南済生会川口総合病院	5A	急性期	回復期	C	42	42	急性期一般入院料 1	0.07									0.79	1.64		0.02	0.02	7.48	23.8	回復期	
南部	川口市	病院	社会福祉法人聖陽財団済生会友部埼玉南済生会川口総合病院	5B	急性期	急性期		57	57	急性期一般入院料 1	1.75									4.88	1.86					2.40	42.4	急性期
南部	川口市	病院	社会福祉法人聖陽財団済生会友部埼玉南済生会川口総合病院	6A	急性期	急性期		53	51	急性期一般入院料 1	0.20		0.02			0.10	0.04			0.67	0.78		0.02			5.18	28.9	急性期
南部	川口市	病院	社会福祉法人聖陽財団済生会友部埼玉南済生会川口総合病院	6B	急性期	不明/休床		39	9	急性期一般入院料 1																0.66	19.1	不明/休床
南部	川口市	病院	社会福祉法人聖陽財団済生会友部埼玉南済生会川口総合病院	7A	急性期	急性期		46	46	急性期一般入院料 1	0.74	0.02	0.37					0.02		0.33	1.09	0.02		0.72	5.03	29.5	急性期	
南部	川口市	病院	医療法人安東病院	一般病棟	急性期	回復期	C	31	28	急性期一般入院料 2	0.07	0.04	0.04							0.04	0.18	0.04			9.44	12.3	回復期	
南部	川口市	病院	医療法人安東病院		回復期	不明/休床		43	41	地域包括ケア病棟入院料 1															6.98		不明/休床	
南部	川口市	病院	医療法人安東病院	療養病棟	慢性期	慢性期		30	30	療養病棟入院料 1										0.50	0.10							慢性期
南部	川口市	病院	医療法人健仁会益子病院	A棟5階6階病棟	急性期	急性期		48	48	急性期一般入院料 4	0.04					0.27				0.44	1.15				7.67	25.2	急性期	
南部	川口市	病院	医療法人健仁会益子病院	C棟2階3階病棟	急性期	急性期		45	45	急性期一般入院料 4	0.13									0.04	0.44				7.73	26.0	急性期	
南部	川口市	病院	医療法人健仁会益子病院	C棟4階地域包括ケア病棟	回復期	回復期		22	22	地域包括ケア病棟入院料 1											0.05			0.05	1.22	2.1	回復期	
南部	川口市	病院	医療法人刀水会齋藤記念病院	療養病棟	慢性期	慢性期		60	40	療養病棟入院料 1										0.78	0.28			0.10	1.05			慢性期
南部	川口市	病院	埼玉協同病院		高度急性期	高度急性期		8	7	A(97)2121入院医療管理料 1																		高度急性期
南部	川口市	病院	埼玉協同病院	南2病棟	急性期	高度急性期		58	22	急性期一般入院料 1	7.27									0.64	7.50			1.18	15.19	25.1	高度急性期	
南部	川口市	病院	埼玉協同病院	南3病棟	急性期	急性期		57	57	急性期一般入院料 1	1.19	0.46	0.21							4.68	1.75	0.46		0.56	6.49	30.1	急性期	
南部	川口市	病院	埼玉協同病院	南4病棟	急性期	急性期		42	42	急性期一般入院料 1	0.07									0.79	0.67			0.57	20.63	22.6	急性期	
南部	川口市	病院	埼玉協同病院	東2病棟	急性期	急性期		52	52	急性期一般入院料 1															1.04	54.5	急性期	
南部	川口市	病院	埼玉協同病院	東3病棟	急性期	急性期		32	30	急性期一般入院料 1															6.55	53.6	急性期	
南部	川口市	病院	埼玉協同病院	東4病棟	急性期	高度急性期		58	57	A(97)2121入院医療管理料 1															14.31	30.1	高度急性期	
南部	川口市	病院	埼玉協同病院	東5病棟	急性期	慢性期		20	20	緩和ケア病棟入院料 1																		慢性期
南部	川口市	病院	埼玉協同病院	南5病棟	回復期	回復期		50	50	回復期IIC(97-98)病棟入院料 3									0.18	0.04							回復期	
南部	川口市	病院	社会医療法人社団大成会武南病院	2F病棟	急性期	急性期		28	28	急性期一般入院料 4	0.18									0.07	0.86				14.42	46.7	急性期	
南部	川口市	病院	社会医療法人社団大成会武南病院	3F病棟	急性期	回復期	C	36	36	急性期一般入院料 4											0.08				0.33	17.6	回復期	
南部	川口市	病院	社会医療法人社団大成会武南病院	8F病棟	急性期	急性期		28	28	急性期一般入院料 4											0.07				12.36	37.9	急性期	
南部	川口市	病院	社会医療法人社団大成会武南病院	4F病棟	急性期	回復期	C	33	33	回復期IIC(97-98)病棟入院料 3																		回復期
南部	川口市	病院	社会医療法人社団大成会武南病院	5F病棟	慢性期	慢性期		72	36	療養病棟入院料 1											0.03							慢性期
南部	川口市	病院	社会医療法人社団大成会武南病院	6F病棟	慢性期	慢性期		72	36	療養病棟入院料 1															0.03			慢性期
南部	川口市	病院	寿康会病院	一般病棟	急性期	回復期	C	40	33	急性期一般入院料 5									0.21	0.15					4.20	17.7	回復期	
南部	川口市	病院	寿康会病院	療養病棟	慢性期	慢性期		42	41	療養病棟入院料 1																		慢性期
南部	川口市	病院	医療法人社団協友会東川口病院	2B病棟	急性期	急性期		48	46	急性期一般入院料 1	1.26	0.09	0.02							1.43	1.48	0.09			9.99	53.4	急性期	
南部	川口市	病院	医療法人社団協友会東川口病院	3A病棟	急性期	回復期	C	55	50	急性期一般入院料 1			0.06							0.10	0.42			0.04	8.40	18.5	回復期	

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年 7月 1日時点の機能 報告	定量基準 分析結果	差異の パターン ※	病床数 (一般＋ 療養)	最大使用 病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準 分析結果 (再掲)		
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線 1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線 2】 ※基準を満たす項目を着色								
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P			
											全身麻酔 下手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	悪性腫瘍 手術	超急性期 脳卒中加 算	脳血管内 手術	経皮的冠 動脈形成 術	救急搬送 診療料	救急医療 に係る諸 項目	重症患者 の対応に係 る諸項目	全身管理への 対応に係る諸 項目	手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	放射線治 療（レセ プト枚）	化学療法 （日数）	予定外の救 急医療入院 の人数	一般診療用の重 症度、重症・稀 少疾患患者の 必要医療を満た す割合割合			
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%			
南部	川口市	病院	医療法人社団協会会東川口病院	3B病棟	回復期	回復期		50	50	回復期3B「胃・十二指腸」病棟入院料 1															0.04		回復期		
南部	川口市	病院	医療法人社団協会会東川口病院	2A病棟	慢性期	慢性期		45	44	療養病棟等10時 1 入院基本料										0.68	0.07					0.05	0.02	慢性期	
南部	川口市	病院	医療法人誠朗会上野病院	療養病棟	慢性期	慢性期		51	34	療養病棟入院料 1																		慢性期	
南部	川口市	病院	医療法人厚和会河合病院	一般病棟	急性期	回復期	C	52	17	地域一般入院料 2	0.06										2.82	0.24					2.82		回復期
南部	川口市	病院	医療法人厚和会河合病院		慢性期	慢性期		56	25	療養病棟入院料 1																		慢性期	
南部	川口市	病院	川口市立医療センター	新生児特定集中治療室	高度急性期	高度急性期		9	8	新生児特定集中治療室管理料 1	1.50							0.88		3.00	1.00						3.49	高度急性期	
南部	川口市	病院	川口市立医療センター	新生児治療回復室	高度急性期	高度急性期		21	18	新生児治療回復室入院診療料																		高度急性期	
南部	川口市	病院	川口市立医療センター	3A	高度急性期	高度急性期		28	27	小児入院医療管理料 1	0.70	0.30								2.52	0.70	0.30				27.15		高度急性期	
南部	川口市	病院	川口市立医療センター	4B	高度急性期	高度急性期		56	55	急性期一般入院料 1	1.42	0.51	0.25					0.04		4.13	2.00	0.51	0.04	0.35	5.77	43.4		高度急性期	
南部	川口市	病院	川口市立医療センター	救命救急センター	高度急性期	高度急性期		8	8	救命救急入院料 2	0.63			0.13	0.63		0.13	6.13	1.75	32.75	3.25					181.00		高度急性期	
南部	川口市	病院	川口市立医療センター	特定集中治療室	高度急性期	高度急性期		8	8	特定集中治療室管理料 5	4.75	1.75	1.13	0.63	1.00	0.75		0.50	1.75	17.50	7.38	1.75				51.61		高度急性期	
南部	川口市	病院	川口市立医療センター	3B	急性期	急性期		30	29	急性期一般入院料 1	0.10									0.14	2.00					2.03	24.7	急性期	
南部	川口市	病院	川口市立医療センター	4A	急性期	回復期	C	54	51	急性期一般入院料 1	0.20		0.02					0.04		4.16	0.94				0.02	2.17	21.7	回復期	
南部	川口市	病院	川口市立医療センター	5A	急性期	不明/休床		54	54	急性期一般入院料 1	0.02		0.02			0.07		0.07		1.26	1.19				0.02	7.65	28.1	不明/休床	
南部	川口市	病院	川口市立医療センター	5B	急性期	急性期		56	53	急性期一般入院料 1	0.94	0.13	0.34							3.75	1.64	0.13	0.06	0.36	12.02	41.8	急性期		
南部	川口市	病院	川口市立医療センター	6A	急性期	急性期		54	40	急性期一般入院料 1			0.05							2.35	1.73		0.15	2.83	8.20	27.9	急性期		
南部	川口市	病院	川口市立医療センター	6B	急性期	急性期		56	50	急性期一般入院料 1	0.02		0.20							0.96	1.16		0.08	1.12	7.68	31.7	急性期		
南部	川口市	病院	川口市立医療センター	7B	急性期	高度急性期		58	58	急性期一般入院料 1	2.09		0.07							2.03	2.59		0.02	0.16	5.85	43.7	高度急性期		
南部	川口市	病院	川口市立医療センター	PCU	急性期	慢性期		18	10	緩和ケア病棟入院料 2																9.08	慢性期		
南部	川口市	病院	医療法人社団桐和会 タムスくら病院川口	C 2 病棟	急性期	急性期		45	30	急性期一般入院料 2											1.03	0.07					13.46	27.5	急性期
南部	川口市	病院	医療法人社団桐和会 タムスくら病院川口	C 3 病棟	回復期	回復期		45	30	地域包括ケア病棟入院料 2																		回復期	
南部	川口市	病院	医療法人社団桐和会 タムスくら5病院川口	B 1 病棟	回復期	回復期		60	46	回復期3B「胃・十二指腸」病棟入院料 1																		回復期	
南部	川口市	病院	医療法人三誠会川口誠和病院	一般病棟	急性期	急性期		60	60	地域包括ケア入院医療管理料 2																14.78	24.3	急性期	
南部	川口市	病院	医療法人三誠会川口誠和病院	療養病棟	慢性期	慢性期		40	40	療養病棟入院料 1																		慢性期	
南部	川口市	病院	医療法人新青会川口工業総合病院	HCU病棟	高度急性期	高度急性期		8	8	特定集中治療室管理料 5	3.88	0.50	0.13			0.13			0.25	5.25	4.25	0.50				16.70		高度急性期	
南部	川口市	病院	医療法人新青会川口工業総合病院	3F病棟	急性期	高度急性期		45	45	急性期一般入院料 1	2.00									0.47	2.24					2.08	61.5	高度急性期	
南部	川口市	病院	医療法人新青会川口工業総合病院	4F病棟	急性期	急性期		42	42	急性期一般入院料 1	0.67	0.05	0.48							5.74	1.50	0.05			0.02	4.08	39.3	急性期	
南部	川口市	病院	医療法人新青会川口工業総合病院	5F病棟	急性期	回復期	C	39	39	急性期一般入院料 1						0.13				0.03	0.26				0.10	4.50	20.1	回復期	
南部	川口市	病院	医療法人新青会川口工業総合病院	6F病棟	急性期	急性期		27	27	急性期一般入院料 1	0.07	0.04								0.44	0.11	0.04				9.16	26.5	急性期	
南部	川口市	病院	医療法人新青会川口工業総合病院	2F病棟	回復期	回復期		38	38	回復期3B「胃・十二指腸」病棟入院料 2		0.13									1.95				0.03		3.2	回復期	
南部	川口市	病院	かわぐち心臓呼吸器病院	ICU	高度急性期	高度急性期		7	7	特定集中治療室管理料 1	13.00	1.14				2.00		3.29	9.29	32.71	24.00	1.14				71.09		高度急性期	
南部	川口市	病院	かわぐち心臓呼吸器病院	HCU	高度急性期	高度急性期		4	4	169722入院医療管理料 1	1.00					1.75		1.00	1.50	21.50	3.00					122.66		高度急性期	
南部	川口市	病院	かわぐち心臓呼吸器病院	3階病棟	急性期	急性期		53	53	急性期一般入院料 1	0.08					0.47		0.04		2.30	1.75						17.97	44.6	急性期
南部	川口市	病院	かわぐち心臓呼吸器病院	4階病棟	急性期	高度急性期		44	44	急性期一般入院料 1	0.09					0.20	0.02	0.14		3.73	0.43				0.07	35.49	42.5	高度急性期	
南部	川口市	病院	ふれあい生協病院	北 2 病棟	回復期	不明/休床		54	51	地域包括ケア病棟入院料 1																	0.0	不明/休床	
南部	蕨市	病院	蕨市立病院	2 階病棟	急性期	急性期		25	15	急性期一般入院料 6	0.27	0.13								0.07	1.67	0.13			1.06	71.6	急性期		
南部	蕨市	病院	蕨市立病院	3階病棟	急性期	急性期		53	44	急性期一般入院料 6	0.20	0.11								0.09	1.16	0.11		0.05	2.95	11.1	急性期		
南部	蕨市	病院	蕨市立病院	5階病棟	急性期	回復期	C	52	45	急性期一般入院料 6										0.07	0.04					6.56	9.4	回復期	
南部	蕨市	病院	医療法人今井病院	療養病棟	慢性期	慢性期		46	39	療養病棟入院料 1																0.05		慢性期	
南部	蕨市	病院	医療法人社団敬寿会わらび北町病院	療養病棟	慢性期	慢性期		60	60	療養病棟入院料 1																		慢性期	
南部	戸田市	病院	医療法人社団東光会戸田中央総合病院	A1	急性期	高度急性期		5	3	急性期一般入院料 1							5.67		0.33							49.53	59.6	高度急性期	
南部	戸田市	病院	医療法人社団東光会戸田中央総合病院	ICU	高度急性期	高度急性期		10	10	特定集中治療室管理料 6	4.40	0.30	0.30	0.10	0.60	0.40		0.50	2.90	29.10	6.70	0.30				45.58		高度急性期	
南部	戸田市	病院	医療法人社団東光会戸田中央総合病院	SCU	高度急性期	高度急性期		6	6	169722入院医療管理料 1																4.49		高度急性期	

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																		定量基準分析結果（再掲）
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A		B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚）	化学療法（日数）	予定外の救急医療入院の人数	一般診療用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者割合		
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%		
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	5C病棟	高度急性期	高度急性期		42	42	急性期一般入院料1	3.88	1.90	0.02						0.86	4.29	1.90			2.28	42.0	高度急性期		
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	5D病棟	高度急性期	高度急性期		42	42	急性期一般入院料1	2.95								2.88	3.02				1.00	50.8	高度急性期		
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	ICU	高度急性期	高度急性期		10	10	特定集中治療室管理料5	1.60				0.70			1.00	1.30	25.50	2.70				22.54		高度急性期	
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	SCU	高度急性期	高度急性期		8	8	脳卒中71才以上入院医療管理料				0.25						0.88					31.41	28.7	高度急性期	
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	4A病棟	急性期	回復期	C	46	46	急性期一般入院料1	0.11									0.89	0.24		0.02	0.89	5.31	15.7	回復期	
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	4B病棟	急性期	急性期		35	35	急性期一般入院料1			0.03			0.06		0.06		0.57	0.31				8.43	28.1	急性期	
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	4C病棟	急性期	高度急性期		27	27	急性期一般入院料1	0.07		0.04							8.41	0.22				4.17	50.9	高度急性期	
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	4D病棟	急性期	急性期		32	32	急性期一般入院料1	0.72	0.09								0.06	0.72	0.09			8.26	28.3	急性期	
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	5A病棟	急性期	回復期	C	42	42	急性期一般入院料1								0.10		0.05	0.24		0.02	0.02	3.80	14.3	回復期	
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	5B病棟	急性期	高度急性期		42	42	急性期一般入院料1	2.38		0.12							0.57	3.88			0.14	5.18	24.2	高度急性期	
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	6A病棟	急性期	回復期	C	47	47	急性期一般入院料1			0.13					0.02		0.47	1.66			0.04	9.68	24.7	回復期	
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	6B病棟	急性期	急性期		45	45	急性期一般入院料1										0.64	0.36		0.11	7.78	7.09	31.3	急性期	
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	6C病棟	慢性期	急性期		20	20	緩和ケア病棟入院料1										1.25			0.05		0.10		急性期	
南西部	志木市	病院	医療法人社団浅野病院	2F病棟	慢性期	慢性期		48	48	療養病棟入院料1										4.06	0.04						慢性期	
南西部	志木市	病院	医療法人社団浅野病院	3F病棟	慢性期	慢性期		50	48	療養病棟入院料1								0.02		4.13	0.02						慢性期	
南西部	志木市	病院	医療法人社団武蔵野会TMG宗岡中央病院	3階病棟	急性期	回復期	C	60	60	急性期一般入院料2	0.05							0.15		0.20	0.23				8.36	15.9	回復期	
南西部	志木市	病院	医療法人社団武蔵野会TMG宗岡中央病院	2階病棟	回復期	回復期		40	40	回復期16才以下病棟入院料1																	回復期	
南西部	和光市	病院	医療法人寿鶴会菅野病院	本館4階病棟	慢性期	慢性期		25	22	療養病棟入院料1											0.09				0.27		慢性期	
南西部	和光市	病院	医療法人寿鶴会菅野病院	本館5階病棟	慢性期	回復期		28	27	回復期16才以下病棟入院料3											0.04				2.51		回復期	
南西部	和光市	病院	医療法人寿鶴会菅野病院	本館6階病棟	慢性期	慢性期		30	27	療養病棟入院料1									1.00	0.11					0.04		慢性期	
南西部	和光市	病院	医療法人寿鶴会菅野病院	本館7階病棟	慢性期	慢性期		37	32	療養病棟入院料1									0.22	0.16					0.03		慢性期	
南西部	和光市	病院	坪田和光病院	一般病棟	急性期	不明/休床		51	51	無回答											0.04			0.53	18.2	不明/休床		
南西部	和光市	病院	医療法人泰一会和光リハビリテーション病院	回復期	回復期	回復期		79	60	回復期16才以下病棟入院料1																	回復期	
南西部	三芳町	病院	医療法人財団明理会埼玉セントラル病院	※施設情報参照（特別応接病棟）	回復期	回復期		49	49	回復期16才以下病棟入院料1																	回復期	
南西部	三芳町	病院	医療法人財団明理会埼玉セントラル病院	本館4階病棟（療養病棟）	慢性期	慢性期		56	55	療養病棟入院料1								0.04		10.15							慢性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人財団明理会埼玉セントラル病院	※施設情報参照（特別応接病棟）	慢性期	慢性期		48	48	特殊疾患病棟入院料1																	慢性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人財団明理会埼玉セントラル病院	本館5階病棟（療養病棟）	慢性期	慢性期		56	56	療養病棟入院料1																	慢性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人財団明理会埼玉セントラル病院	本館3階病棟（療養病棟）	慢性期	慢性期		54	54	療養病棟入院料1																	慢性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団草芳会三芳野病院	2F	急性期	急性期		43	43	急性期一般入院料4	1.30							0.05		1.02	1.37				1.18	37.6	急性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団草芳会三芳野病院	3F	急性期	急性期		43	43	急性期一般入院料4										0.28	0.02			0.07	0.86	46.7	急性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団草芳会三芳野病院	4F	急性期	回復期	C	23	23	地域包括ケア入院医療管理料4															0.17	26.9	回復期	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	4階HCU病棟	高度急性期	高度急性期		10	10	16才以下入院医療管理料1	3.60	0.80	0.80		0.50	0.10		0.40		15.90	4.70	0.80			27.92		高度急性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	6階病棟	急性期	回復期	C	48	48	急性期一般入院料1	0.58		0.15			0.02		0.02		0.40	0.81			0.17	8.21	25.0	回復期	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	7階病棟	急性期	急性期		48	48	急性期一般入院料1								0.02		0.73	0.04				16.12	28.1	急性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	8階病棟	急性期	急性期		48	48	急性期一般入院料1	0.65	0.46	0.06					0.02		5.88	1.33	0.46		0.40	15.67	38.6	急性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	9階病棟	急性期	急性期		48	48	急性期一般入院料1	0.67							0.02		0.38	1.79			0.08	10.45	38.7	急性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	4階病棟	急性期	高度急性期		25	25	急性期一般入院料1						0.52		0.08	0.16	0.12	1.20			0.16	9.97	37.5	高度急性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	5階病棟	慢性期	慢性期		46	46	療養病棟等10才以上入院基本料										1.20							慢性期	
南西部	三芳町	病院	ふじみの救急病院	一般病棟	急性期	急性期		20	20	急性期一般入院料1						0.10		0.05		0.55	0.15				40.49	29.1	急性期	
南西部	富士見市	病院	みずほ台病院	一般病棟	急性期	急性期		60	48	急性期一般入院料4	0.27	0.17	0.06					0.02		3.52	0.67	0.17		0.19	4.03		急性期	
南西部	富士見市	病院	医療法人恵愛会恵愛病院	産婦人科病棟	急性期	急性期		60	60	急性期一般入院料6											2.85						急性期	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	HCU(A5)	高度急性期	高度急性期		7	5	16才以下入院医療管理料1															18.95		高度急性期	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	SCU	高度急性期	高度急性期		5	5	16才以下入院医療管理料1	4.20							0.40		1.40	4.20				25.73		高度急性期	

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年 7月 1日時点の機能報告	定量基準 分析結果	差異の パターン ※	病床数 (一般＋療養)	最大使用 病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準 分析結果 (再掲)	
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線 1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線 2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔 下手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	悪性腫瘍 手術	超急性期 脳卒中加 算	脳血管内 手術	経皮的冠 動脈形成 術	救急搬送 診療料	救急医療 に係る諸 項目	重症患者 の対応に係 る諸項目	全身管理への 対応に係る諸 項目	手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	放射線治療 (レセプト枚)	化学療法 (日数)	予定外の救 急医療入院 の人数	一般診療中の重 症度、重症・希 少な要援も満た す患者割合		
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I :31% II :29%		
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	ICU	休棟中（今後廃止）	不明/休床		6	4	小付7121入院医療管理料 1	4.00	1.00	0.25				1.50		16.00	4.00	1.00			9.97		不明/休床		
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	B館3階	急性期	急性期		35	35	急性期一般入院料 1					0.37				1.60	1.17			0.06	7.24	30.7	急性期		
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	CCU	高度急性期	高度急性期		5	5	小付7121入院医療管理料 1					2.80		0.80	1.60	13.60	3.60				102.52		高度急性期		
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	A館4階	急性期	高度急性期		33	33	急性期一般入院料 1							0.52		1.39					16.59	30.9	高度急性期		
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	A館5階	急性期	急性期		29	20	急性期一般入院料 1														7.88	37.6	急性期		
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	A館6階	急性期	急性期		43	39	急性期一般入院料 1					0.03				0.41	0.03			0.10	16.72	31.7	急性期		
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	A館7階	急性期	高度急性期		42	40	急性期一般入院料 1	0.95	0.50	0.20						3.03	1.25	0.50		0.08	11.54	37.3	高度急性期		
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	B館5階	急性期	急性期		37	36	急性期一般入院料 1	0.86								0.33	1.39				12.38	50.4	急性期		
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	B館6階	急性期	急性期		45	37	小児入院医療管理料 2	0.35	0.08							0.05	0.38	0.08			35.90		急性期		
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	周産期	急性期	急性期		20	1	急性期一般入院料 1																急性期		
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	B館4階	回復期	回復期		40	40	回復期1日1回1回病棟入院料 1														0.05		回復期		
南西部	富士見市	病院	医療法人さくらさくら記念病院	2階一般	急性期	回復期	C	40	40	急性期一般入院料 4	0.08							0.03		0.03	0.25			7.58	19.3	回復期		
南西部	富士見市	病院	医療法人さくらさくら記念病院	3階一般	急性期	回復期	C	48	48	急性期一般入院料 4	0.02									0.63	0.21			3.32	22.7	回復期		
南西部	富士見市	病院	医療法人さくらさくら記念病院	地域包括	急性期	回復期	C	48	48	地域包括ケア病棟入院料 1											0.35			1.77	6.2	回復期		
南西部	富士見市	病院	医療法人社団サンゼリヤ三浦病院	緩和ケア	慢性期	慢性期		59	59	緩和ケア病棟入院料 1														3.48		慢性期		
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人誠壽会上福岡総合病院	2B病棟	急性期	回復期	C	58	42	急性期一般入院料 4									0.88	0.52			0.69	6.27	20.9	回復期		
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人誠壽会上福岡総合病院	3A病棟	急性期	急性期		53	44	急性期一般入院料 4	0.27	0.18	0.07					0.02		0.91	1.05	0.18		1.48	2.33	38.3	急性期	
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人誠壽会上福岡総合病院	4A病棟	急性期	急性期		52	39	急性期一般入院料 4	0.82		0.15							0.69	1.36			0.38	0.41	35.3	急性期	
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人誠壽会上福岡総合病院	4B病棟	急性期	急性期		31	22	急性期一般入院料 4								0.05		1.05	0.68			2.36	0.54	25.8	急性期	
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人誠壽会上福岡総合病院	3C病棟	慢性期	慢性期		45	40	療養病棟等15日1入院基本料										0.75	0.03			4.10		慢性期		
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人誠壽会上福岡総合病院	3B病棟	慢性期	慢性期		45	40	療養病棟入院料 1																慢性期		
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	別館3階 回復期F2/F3病棟	回復期	回復期		29	29	回復期1日1回1回病棟入院料 2																回復期		
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	別館2階 地域包括ケア病棟	回復期	回復期		30	30	地域包括ケア病棟入院料 2																回復期		
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	新館2階 療養病棟	慢性期	慢性期		39	39	療養病棟入院料 1									1.54							慢性期		
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	本館2階 障害者病棟	慢性期	慢性期		60	60	療養病棟等10日1入院基本料									23.07	0.02						慢性期		
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	本館3階南 障害者病棟	慢性期	慢性期		29	29	特殊疾患病棟入院料 1																慢性期		
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	本館5階 療養病棟	慢性期	慢性期		46	46	療養病棟入院料 1									0.93	0.02						慢性期		
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	本館3階北 療養病棟	慢性期	慢性期		28	28	療養病棟入院料 1																慢性期		
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人社団草芳会三芳野第2病院	一般病棟	急性期	回復期	C	45	30	急性期一般入院料 4										0.33	0.07				22.1	回復期		
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	HCU	高度急性期	高度急性期		8	8	小付7121入院医療管理料 1					0.38		0.63	0.88	1.88	1.38				26.80		高度急性期		
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	A4病棟	急性期	急性期		32	32	急性期一般入院料 1			0.03				0.06		0.31	0.81			0.84	17.27	32.5	急性期		
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	C2病棟	急性期	高度急性期		57	57	急性期一般入院料 1	0.47		0.19		0.16		0.05		1.00	0.96			0.61	9.43	27.7	高度急性期		
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	F2病棟	急性期	急性期		52	52	急性期一般入院料 1	0.81	0.40	0.12					0.12	4.79	1.10	0.40	0.06	0.65	10.28	35.5	急性期		
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	F3病棟	急性期	回復期	C	46	46	急性期一般入院料 1	0.04					0.24		0.04		0.17	0.67			7.76	25.2	回復期		
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	F4病棟	急性期	急性期		55	55	急性期一般入院料 1	1.07								0.89	1.35			0.15	5.11	50.5	急性期		
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	A5病棟	急性期	高度急性期		32	32	急性期一般入院料 1	0.13		0.03					0.22		0.19	0.53		0.91	16.21	30.6	高度急性期		
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	C3 病棟	回復期	回復期		48	48	回復期1日1回1回病棟入院料 1																回復期		
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	A6病棟	慢性期	慢性期		34	34	療養病棟等10日1入院基本料									1.21	0.06			0.88		慢性期			
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	A7病棟	急性期	回復期	C	38	38	地域包括ケア病棟入院料 2	0.29								0.16	1.50			0.32		9.0	回復期		
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座病院	2階病棟	回復期	回復期		48	48	回復期1日1回1回病棟入院料 1																回復期		
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座病院	3階病棟	回復期	回復期		48	48	回復期1日1回1回病棟入院料 1																回復期		
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座病院	4階病棟	回復期	回復期		32	32	地域包括ケア病棟入院料 1										0.16					0.2	回復期		
南西部	新座市	病院	医療法人向英会高田整形外科病院	一般	急性期	回復期	C	40	30	地域一般入院料 3	0.63								1.10	0.63			0.07	0.40		回復期		

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年 7月 1日時点の機能 報告	定量基準 分析結果	差異の パターン ※	病床数 (一般＋ 療養)	最大使用 病床数	「埼玉方式」で用いる項目																		定量基準 分析結果 (再掲)
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔 下手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	悪性腫瘍 手術	超急性期 脳卒中加 算	脳血管内 手術	経皮的冠 動脈形成 術	救急搬送 診療料	救急医療 に係る諸 項目	重症患者 の対応に係 る諸項目	全身管理への 対応に係る諸 項目	手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	放射線治 療（レセ プト枚）	化学療法 （日数）	予定外の救 急医療入院 の人数	一般診療用の重 症症、重症、稀 少疾患を患った 患者割合		
	2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%												
南西部	新座市	病院	静風荘病院	3階病棟	慢性期	慢性期		48	41	障害者施設等特定入院基本料																	慢性期	
南西部	新座市	病院	静風荘病院	4階病棟	慢性期	慢性期		38	37	障害者施設等13対1入院基本料									5.03	0.08				0.49			慢性期	
南西部	新座市	病院	静風荘病院	5階病棟	慢性期	慢性期		38	37	障害者施設等13対1入院基本料																	慢性期	
南西部	新座市	病院	堀ノ内病院	2号館2階	急性期	回復期	C	56	56	地域一般入院料1	0.02								0.63	0.27				0.05	4.81	14.4	回復期	
南西部	新座市	病院	堀ノ内病院	本館2階	急性期	回復期	C	49	49	地域一般入院料1										0.04					6.25	1.5	回復期	
南西部	新座市	病院	堀ノ内病院	本館3階	急性期	回復期	C	52	52	地域一般入院料1	0.27	0.02					0.02		1.38	0.73	0.02			0.21	5.33	26.3	回復期	
南西部	新座市	病院	堀ノ内病院	2号館3階	回復期	回復期		42	42	地域包括ケア入院医療管理料1	0.02						0.14		4.14	0.33				2.18	0.0	回復期		
南西部	新座市	病院	北野病院	11	慢性期	慢性期		28	28	療養病棟入院料1									0.89								慢性期	
南西部	新座市	病院	北野病院	22	慢性期	慢性期		60	59	療養病棟入院料1									0.07	0.02							慢性期	
南西部	新座市	病院	北野病院	33	慢性期	慢性期		60	60	療養病棟入院料1									0.15	0.02							慢性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	3A病棟NICU	高度急性期	高度急性期		12	12	新生児特定集中治療管理料2							0.08		1.00	0.42							高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	3B病棟MFICU	高度急性期	急性期	B	3	3	急性期一般入院料1														1.66			急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	5N病棟HCU	高度急性期	高度急性期		4	4	16対1集中入院医療管理料1	8.75	5.25	1.50					1.50	10.75	9.00	5.25			54.85			高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	3A病棟GCU	高度急性期	高度急性期		15	11	新生児包括集中治療管理料																	高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	4B病棟HCU	高度急性期	高度急性期		4	4	16対1集中入院医療管理料1	0.75								16.75	0.75				25.93			高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	救命ICU・CCU病棟	高度急性期	高度急性期		8	8	救命救急入院料2	0.38				1.13		0.75	2.38	28.75	2.50				37.15			高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	救命HCU病棟	高度急性期	高度急性期		16	16	救命救急入院料1	0.38	0.25			0.06		1.44	0.38	3.00	1.31	0.25			110.76			高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	ICU病棟	高度急性期	高度急性期		4	4	特定集中治療室管理料5	7.00	0.75	0.50		0.50				4.00	27.00	7.50	0.75		2.49			高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	4N病棟	急性期	急性期		40	40	急性期一般入院料1	0.95								6.85	1.08				3.59	29.0		急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	4S病棟	急性期	回復期	C	51	51	急性期一般入院料1	0.29		0.20						1.22	1.14				0.33	4.79	23.7	回復期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	5N病棟	急性期	急性期		46	46	急性期一般入院料1	1.15	0.28	0.35					5.89	1.85	0.28	0.09	0.35	4.77	44.3		急性期		
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	5S病棟	急性期	急性期		55	55	急性期一般入院料1	0.84	0.36	0.15					2.33	1.69	0.36	0.04	0.33	7.51	35.9		急性期		
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	6N病棟	急性期	高度急性期		50	50	急性期一般入院料1	2.36	0.04	0.22				0.04		2.84	4.00	0.04	0.10	0.52	4.89	28.1		高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	6S病棟	急性期	急性期		52	52	急性期一般入院料1	1.10								0.35	1.25				0.06	5.25	35.9	急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	3B病棟	急性期	急性期		40	37	急性期一般入院料1	0.08	0.08							0.03	0.78	0.08			4.69	48.0		急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	4B病棟	急性期	急性期		44	44	急性期一般入院料1	0.32				0.27		0.05		0.34	1.18			0.02	2.36	32.3		急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	5A病棟	急性期	急性期		40	37	小児入院医療管理料2	0.35	0.14							1.08	0.38	0.14			1.35			急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	5B病棟	急性期	回復期	C	46	46	急性期一般入院料1	0.13	0.02	0.02						0.46	0.33	0.02	0.02	0.09	7.00	25.4		回復期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	6B病棟	急性期	慢性期		20	20	特殊疾患病棟入院料2																	慢性期	
南西部	朝霞市	診療所	阿部レディースクリニック		急性期	急性期		8	5	有床診療所入院基本料										0.60							急性期	
南西部	朝霞市	診療所	あさか産婦人科		急性期	急性期		19	19	有床診療所入院基本料																	急性期	
南西部	朝霞市	診療所	医療法人社団宏友会 栗原整形外科		急性期	不明/休床		2	0	有床診療所入院基本料																	不明/休床	
南西部	朝霞市	診療所	朝霞台駅前みなみ耳鼻咽喉科		急性期	高度急性期		3	3	有床診療所入院基本料	28.67									29.00							高度急性期	
南西部	志木市	診療所	志木呼吸器科クリニック		急性期	不明/休床		4	4	有床診療所入院基本料																	不明/休床	
南西部	富士見市	診療所	医療法人根本外科整形外科		急性期	高度急性期		18	11	有床診療所入院基本料	3.55								1.27	3.91							高度急性期	
南西部	富士見市	診療所	医療法人美幸会栗原医院		急性期	不明/休床		19	10	有床診療所入院基本料																	不明/休床	
南西部	富士見市	診療所	にしきクリニック		急性期	急性期		18	18	有床診療所入院基本料										3.11							急性期	
南西部	富士見市	診療所	医療法人社団かいしん会ますなが医院		急性期	不明/休床		19	1	有床診療所入院基本料																	不明/休床	
南西部	ふじみ野市	診療所	医療法人久治会せきや眼科		急性期	急性期		12	9	有床診療所入院基本料										8.44							急性期	
南西部	ふじみ野市	診療所	ミューズレディスクリニック		急性期	急性期		1	1	有床診療所入院基本料										1.00							急性期	
南西部	新座市	診療所	医療法人慶友会大塚産婦人科小児科医院		急性期	急性期		19	19	有床診療所入院基本料								0.16	2.47				0.16				急性期	
東部	春日部市	病院	医療法人梅原病院	一般病棟	急性期	回復期	C	59	59	急性期一般入院料5	0.08	0.08					0.05		2.85	0.31	0.08		0.63				回復期	
東部	春日部市	病院	医療法人梅原病院	療養病棟	慢性期	慢性期		126	50	療養病棟入院料2																	慢性期	

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																		定量基準分析結果（再掲）
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚）	化学療法（日数）	予定外の救急医療入院の人数	一般病棟用の重症医療入院の必要度を満たす患者割合		
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%		
東部	春日部市	病院	医療法人財団明理会春日部中央総合病院	HCU(C 2)	高度急性期	高度急性期		8	8	小けつ121入院医療管理料1	6.88				0.13	1.25		1.38	4.38	30.13	10.38				38.89		高度急性期	
東部	春日部市	病院	医療法人財団明理会春日部中央総合病院	C3	高度急性期	急性期	B	40	40	急性期一般入院料1	0.05	0.03	0.03			0.43				1.50	2.00	0.03		0.08	11.94	45.6	急性期	
東部	春日部市	病院	医療法人財団明理会春日部中央総合病院	A3	急性期	急性期		42	42	急性期一般入院料1	0.93	0.33	0.40				0.07			2.74	2.10	0.33		0.45	14.60	37.3	急性期	
東部	春日部市	病院	医療法人財団明理会春日部中央総合病院	A4	急性期	高度急性期		42	42	急性期一般入院料1	0.76	0.02	0.07	0.02						0.90	1.17	0.02		0.17	12.25	37.0	高度急性期	
東部	春日部市	病院	医療法人財団明理会春日部中央総合病院	A5	急性期	急性期		38	38	急性期一般入院料1	1.05									0.89	1.18				9.76	36.6	急性期	
東部	春日部市	病院	医療法人財団明理会春日部中央総合病院	C4	急性期	急性期		54	54	急性期一般入院料1							0.17			2.00	1.26			0.02	8.38	40.6	急性期	
東部	春日部市	病院	医療法人財団明理会春日部中央総合病院	C5	急性期	急性期		48	48	急性期一般入院料1	0.42		0.02							0.94	1.00			0.13	8.95	34.2	急性期	
東部	春日部市	病院	医療法人財団明理会春日部中央総合病院	B3	慢性期	慢性期		45	45	療養病棟等10対1入院基本料								0.02		0.51	0.60						慢性期	
東部	春日部市	病院	医療法人財団明理会春日部中央総合病院	B4	慢性期	慢性期		47	47	療養病棟等10対1入院基本料										0.34	0.02			0.11			慢性期	
東部	春日部市	病院	医療法人財団明理会春日部中央総合病院	B5	慢性期	慢性期		40	40	療養病棟等10対1入院基本料	0.03									1.33	0.13						慢性期	
東部	春日部市	病院	医療法人社団嬉泉会春日部嬉泉病院	急性期一般病棟	急性期	急性期		60	55	急性期一般入院料1								0.04	0.27	1.05			0.04	6.96	31.6	急性期		
東部	春日部市	病院	武里病院	1階病棟	慢性期	慢性期		46	46	療養病棟入院料1																	慢性期	
東部	春日部市	病院	秀和総合病院	2階西	急性期	急性期		52	42	急性期一般入院料1						0.21		0.02	0.14	1.69	0.57				9.71	32.5	急性期	
東部	春日部市	病院	秀和総合病院	3階西	急性期	急性期		52	49	急性期一般入院料1	1.24	0.45	0.20					0.06		4.92	1.86	0.45		0.35	13.76	44.8	急性期	
東部	春日部市	病院	秀和総合病院	3階東	急性期	急性期		52	45	急性期一般入院料1	0.73							0.02		2.18	0.84			0.40	11.81	39.0	急性期	
東部	春日部市	病院	秀和総合病院	4階東	急性期	高度急性期		52	45	急性期一般入院料1	0.24			0.07	0.09			0.11		1.56	0.56				12.06	25.5	高度急性期	
東部	春日部市	病院	秀和総合病院	5階東	急性期	不明/休床		52	48	地域包括ケア病棟入院料2														8.37	14.5	不明/休床		
東部	春日部市	病院	秀和総合病院	4階西	慢性期	慢性期		50	38	療養病棟入院料1																	慢性期	
東部	春日部市	病院	秀和総合病院	5階西	休床中（今後再開）	不明/休床		40	0	無回答																	不明/休床	
東部	春日部市	病院	医療法人社団庄和会庄和中央病院	2F病棟	急性期	回復期	C	47	38	地域包括ケア入院医療管理料1										0.11	0.50				5.90	7.5	回復期	
東部	春日部市	病院	医療法人社団春日部さくら病院	療養病棟1	慢性期	慢性期		50	48	療養病棟入院料1										1.25	0.04						慢性期	
東部	春日部市	病院	みくに病院	急性期機能病棟01	急性期	回復期	C	48	39	急性期一般入院料5										0.21	0.41				7.59	19.6	回復期	
東部	春日部市	病院	医療法人光仁会南部厚生病院	緩和ケア病棟2F5人	急性期	慢性期		30	30	緩和ケア病棟入院料2																	慢性期	
東部	春日部市	病院	医療法人光仁会南部厚生病院	2Fむわり	慢性期	慢性期		54	54	療養病棟入院料1																	慢性期	
東部	春日部市	病院	医療法人光仁会南部厚生病院		慢性期	慢性期		54	54	療養病棟入院料1																	慢性期	
東部	春日部市	病院	医療法人社団全仁会東都春日部病院		急性期	不明/休床		38	38	急性期一般入院料1														2.60			不明/休床	
東部	春日部市	病院	医療法人社団全仁会東都春日部病院		急性期	不明/休床		38	38	急性期一般入院料1														1.55			不明/休床	
東部	春日部市	病院	医療法人社団全仁会東都春日部病院		慢性期	慢性期		54	54	療養病棟入院料1																	慢性期	
東部	春日部市	病院	医療法人社団全仁会東都春日部病院		慢性期	慢性期		54	54	特殊疾患入院医療管理料																	慢性期	
東部	春日部市	病院	春日部市立医療センター	ICU・CCU	高度急性期	高度急性期		9	9	小けつ121入院医療管理料1	5.44	3.44	2.67			0.44		0.44	0.11	5.22	6.11	3.44			25.26		高度急性期	
東部	春日部市	病院	春日部市立医療センター	NICU	高度急性期	高度急性期		7	6	新生児特定重篤中治療管理料2										11.50							高度急性期	
東部	春日部市	病院	春日部市立医療センター	GU	高度急性期	高度急性期		6	6	新生児胎児重症入院医療管理料										5.50							高度急性期	
東部	春日部市	病院	春日部市立医療センター	4階北	急性期	急性期		32	28	急性期一般入院料1	0.07									0.79	0.61		0.04	0.04	7.55	28.2	急性期	
東部	春日部市	病院	春日部市立医療センター	4階南	急性期	急性期		34	34	急性期一般入院料1	0.38	0.03								0.06	1.00	0.03		0.06	4.99	34.5	急性期	
東部	春日部市	病院	春日部市立医療センター	5階北	急性期	急性期		36	35	急性期一般入院料1								0.03		1.66	0.06		0.03	2.46	6.87	31.9	急性期	
東部	春日部市	病院	春日部市立医療センター	5階南	急性期	急性期		51	44	急性期一般入院料1						0.20		0.07		0.16	0.36			0.30	10.40	42.6	急性期	
東部	春日部市	病院	春日部市立医療センター	6階北	急性期	急性期		45	45	急性期一般入院料1								0.04		1.56	0.04		0.16	2.04	3.88	25.5	急性期	
東部	春日部市	病院	春日部市立医療センター	6階南	急性期	急性期		47	45	急性期一般入院料1	0.84	0.29	0.11							3.22	0.93	0.29	0.11	2.18	3.59	35.5	急性期	
東部	春日部市	病院	春日部市立医療センター	7階北	急性期	高度急性期		47	46	急性期一般入院料1	0.93	0.54	0.33					0.02		4.63	1.22	0.54	0.04	0.20	8.28	43.2	高度急性期	
東部	春日部市	病院	春日部市立医療センター	7階南	急性期	急性期		47	46	急性期一般入院料1	0.41		0.24							0.59	2.41			0.87	4.66	33.9	急性期	
東部	越谷市	病院	越谷市立病院	NICU	高度急性期	高度急性期		3	3	新生児特定重篤中治療管理料2								0.33		5.67	0.67						高度急性期	
東部	越谷市	病院	越谷市立病院		高度急性期	高度急性期		3	0	小けつ121入院医療管理料1																	高度急性期	
東部	越谷市	病院	越谷市立病院	3-1病棟	急性期	急性期		51	42	急性期一般入院料1	0.21	0.05				0.10		0.05		0.05	1.17	0.05		0.17	6.13	32.1	急性期	

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年 7月 1日時点の機能報告	定量基準 分析結果	差異の パターン ※	病床数 (一般＋療養)	最大使用 病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準 分析結果 (再掲)	
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線 1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線 2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔 下手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	悪性腫瘍 手術	超急性期 脳卒中加 算	脳血管内 手術	経皮的冠 動脈形成 術	救急搬送 診療料	救急医療 に係る諸 項目	重症患者 の対応に係 る諸項目	全身管理への 対応に係る諸 項目	手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	放射線治療 (レセプト枚)	化学療法 (日数)	予定外の救 急医療入院 の人数	一般病棟中の重 症度、重症・希 少症必要を満た す患者割合		
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I :31% II :29%		
東部	越谷市	病院	越谷市立病院	4-1病棟	急性期	高度急性期		50	42	急性期一般入院料 1	1.98	1.02	0.31						2.69	2.29	1.02	0.05	0.64	2.35	43.8	高度急性期		
東部	越谷市	病院	越谷市立病院	4-2病棟	急性期	急性期		46	26	急性期一般入院料 1	0.92	0.69							0.50	1.96	0.69			0.35	61.5	急性期		
東部	越谷市	病院	越谷市立病院	5-1病棟	急性期	急性期		50	48	急性期一般入院料 1			0.06				0.02		1.19	0.96		0.02	1.21	4.61	21.9	急性期		
東部	越谷市	病院	越谷市立病院	5-2病棟	急性期	高度急性期		50	44	急性期一般入院料 1	1.23	0.75	0.30				0.07		6.00	1.80	0.75	0.02	1.39	5.03	49.7	高度急性期		
東部	越谷市	病院	越谷市立病院	6-1病棟	急性期	急性期		50	48	急性期一般入院料 1	0.88								1.33	1.52			0.46	7.29	42.1	急性期		
東部	越谷市	病院	越谷市立病院	6-2病棟	急性期	急性期		38	34	急性期一般入院料 1	0.15								2.32	0.59		0.03	0.62	14.67	33.2	急性期		
東部	越谷市	病院	越谷市立病院	7-1病棟	急性期	回復期	C	50	46	急性期一般入院料 1									1.67			0.02	0.96	4.42	24.4	回復期		
東部	越谷市	病院	越谷市立病院	7-2病棟	急性期	急性期		40	23	小児入院医療管理料 3	0.78						0.04		0.17	0.96				1.43	28.3	急性期		
東部	越谷市	病院	越谷市立病院	8-1病棟	急性期	回復期	C	50	43	急性期一般入院料 1														5.33	25.6	回復期		
東部	越谷市	病院	医療法人財団明理会新越谷病院	2A病棟	回復期	回復期		50	50	回復期ⅡC「リ」病棟入院料 1																回復期		
東部	越谷市	病院	医療法人財団明理会新越谷病院	2B病棟	慢性期	慢性期		44	44	療養病棟等ⅠD時 1 入院基本料									0.77							慢性期		
東部	越谷市	病院	医療法人財団明理会新越谷病院	3A病棟	慢性期	慢性期		47	47	療養病棟入院料 1									18.13							慢性期		
東部	越谷市	病院	医療法人財団明理会新越谷病院	3B病棟	慢性期	慢性期		47	47	療養病棟等ⅠD時 1 入院基本料									6.74							慢性期		
東部	越谷市	病院	リハビリテーション天草病院	A 病棟	回復期	回復期		59	59	回復期ⅡC「リ」病棟入院料 1																回復期		
東部	越谷市	病院	リハビリテーション天草病院	B 病棟	回復期	回復期		60	60	回復期ⅡC「リ」病棟入院料 1																回復期		
東部	越谷市	病院	リハビリテーション天草病院	C 病棟	回復期	回復期		56	56	回復期ⅡC「リ」病棟入院料 1																回復期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	A2	高度急性期	高度急性期		24	24	救命救急入院料 1	0.17							1.50		5.21	0.33			15.50		高度急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	ERICU	高度急性期	高度急性期		18	18	救命救急入院料 4	0.39	0.06	0.06			0.33		2.00	2.83	23.28	2.50	0.06		34.24		高度急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	HCU	高度急性期	高度急性期		8	8	小児ICU入院医療管理料 1	10.75	1.63	2.25					0.50	4.13	52.63	16.75	1.63		0.75	1.25		高度急性期	
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	SCU	高度急性期	高度急性期		18	18	脳卒中ICU入院医療管理料	0.78			0.06					0.28	1.78	0.89			2.71		高度急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	NICU	高度急性期	高度急性期		9	9	新生児特定集中治療室管理料 2									0.89	0.22				1.55		高度急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	MFICU	高度急性期	高度急性期		9	3	小児ICU入院医療管理料 2(脳卒中ICU)														4.99		高度急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	GCU	高度急性期	高度急性期		24	12	新生児ICU病棟病室入院医療管理料																高度急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	GICU	高度急性期	高度急性期		10	10	特定集中治療室管理料 5								0.40		4.30				1.80		高度急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	C4	急性期	急性期		36	36	急性期一般入院料 1									0.94				0.08	6.09	28.8	急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	F3	急性期	高度急性期		33	33	急性期一般入院料 1	0.52	0.42	0.30						8.09	0.73	0.42		0.06	2.30	50.3	高度急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	B3	急性期	急性期		17	17	急性期一般入院料 1									0.06	0.82				2.87		急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	A6	急性期	回復期	C	54	53	急性期一般入院料 1			0.02			0.15		0.06	0.02	1.08	1.55			0.42	7.26	27.6	回復期	
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	B5	急性期	高度急性期		54	54	急性期一般入院料 1								0.02	0.20	0.96	0.33			0.57	4.69	10.3	高度急性期	
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	E4	高度急性期	急性期	B	45	45	急性期一般入院料 1	1.96		0.27						4.47	2.47		0.18	0.38	4.34	42.1	急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	A5	急性期	高度急性期		50	35	急性期一般入院料 1	0.20				0.11				1.43	0.34		0.11	2.03	5.10	29.5	高度急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	F4	急性期	急性期		45	42	急性期一般入院料 1	0.55	0.02	0.07						0.12	11.40	0.02		0.38	2.47	16.5	急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	E5	急性期	高度急性期		45	45	急性期一般入院料 1	1.27	0.80	0.38				0.02		9.96	1.49	0.80		0.93	3.30	43.4	高度急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	B6	急性期	急性期		54	54	急性期一般入院料 1			0.20				0.02		1.57	1.07			0.56	6.70	37.5	急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	A7	急性期	急性期		51	51	急性期一般入院料 1			0.02						1.16	0.10		0.08	2.49	5.77	23.1	急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	F7	急性期	高度急性期		45	45	急性期一般入院料 1	1.22	0.42	0.67						4.24	1.51	0.42	0.04	1.38	1.68	33.8	高度急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	B7	急性期	急性期		52	52	急性期一般入院料 1									0.52	0.06			2.48	3.53	23.5	急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	F6	急性期	急性期		45	45	急性期一般入院料 1	1.71		0.02						1.87	1.78			0.51	1.44	51.3	急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	F5	急性期	高度急性期		45	45	急性期一般入院料 1	1.24	0.33	0.76			0.02		0.02	9.98	1.78	0.33	0.07	1.42	3.59	44.2	高度急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	E6	急性期	急性期		45	45	急性期一般入院料 1	1.44		0.33					0.04	1.62	2.38		0.07	0.71	2.17	28.4	急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	E7	急性期	急性期		45	45	急性期一般入院料 1	1.96	0.47	0.33						5.11	2.42	0.47	0.02	1.22	3.86	41.2	急性期		
東部	越谷市	病院	獨協医科大学埼玉医療センター	A4	急性期	高度急性期		42	41	小児入院医療管理料 1	0.95	0.02							0.15	0.98	0.02			2.97		高度急性期		
東部	越谷市	病院	医療法人社団大和会慶和病院	1号棟2階病棟	急性期	回復期	C	38	38	地域包括ケア入院医療管理料 1	0.11							0.08		0.11				8.37	21.8	回復期		

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準分析結果（再掲）
										入院基本科・特定入院科	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色											急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色					
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚）	化学療法（日数）	予定外の救急医療入院の人数	一般病棟中の重症医療入院の人数（重症・看護必要度を満たす患者割合）	
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%	
東部	越谷市	病院	医療法人社団大和会慶和病院	1号棟3階病棟	回復期	回復期		36	34	地域包括ケア病棟入院科1							0.06		0.03	0.06				0.35		回復期	
東部	越谷市	病院	医療法人社団大和会慶和病院	3号棟2階3階病棟	慢性期	慢性期		42	40	療養病棟等13科1入院基本科								0.05	0.38	0.03				0.05		慢性期	
東部	越谷市	病院	医療法人社団協友会越谷誠和病院	2病棟	急性期	高度急性期		36	36	急性期一般入院科1	2.06	0.25	0.03						1.75	2.31	0.25		0.03	13.16	49.4	高度急性期	
東部	越谷市	病院	医療法人社団協友会越谷誠和病院	3病棟	急性期	急性期		36	36	急性期一般入院科1	0.42							0.03		0.42	0.56			0.06	16.98	34.7	急性期
東部	越谷市	病院	医療法人社団協友会越谷誠和病院	4病棟	急性期	急性期		36	36	急性期一般入院科1										0.33	0.03			0.03	17.84	36.1	急性期
東部	越谷市	病院	医療法人社団協友会越谷誠和病院	5病棟	慢性期	慢性期		40	40	療養病棟等10科1入院基本科										0.75					0.20		慢性期
東部	越谷市	病院	医療法人社団協友会越谷誠和病院	6病棟	慢性期	慢性期			47	47	療養病棟入院科1										0.04				0.08		慢性期
東部	越谷市	病院	医療法人社団南越谷病院	急性期機能病棟1	急性期	回復期	C	43	24	地域一般入院科3	0.08									0.17	1.04				1.70		回復期
東部	越谷市	病院	産婦人科菅原病院	産婦人科	回復期	急性期		50	50	地域一般入院科3															0.04		急性期
東部	越谷市	病院	市川胃腸科外科病院		急性期	不明/休床		46	29	急性期一般入院科6																	不明/休床
東部	越谷市	病院	医療法人道心会埼玉東部循環器病院	特定集中治療室	高度急性期	高度急性期		4	4	特定集中治療室管理科5	5.75					4.00	0.25	2.00	2.00	23.00	10.50				48.12		高度急性期
東部	越谷市	病院	医療法人道心会埼玉東部循環器病院	一般病棟	急性期	高度急性期		36	30	急性期一般入院科1	1.07					0.87	0.07	0.07		0.77	3.00				10.24	46.2	高度急性期
東部	越谷市	病院	レイクタウン整形外科病院	3階病棟	急性期	高度急性期		53	53	地域一般入院科1	3.51									1.09	3.75					43.1	高度急性期
東部	八潮市	病院	医療法人社団協友会埼玉回生病院	5A病棟	回復期	回復期		34	31	地域包括ケア病棟入院科4										0.13							回復期
東部	八潮市	病院	医療法人社団協友会埼玉回生病院	2A病棟	慢性期	慢性期		33	33	療養病棟入院科1										0.52							慢性期
東部	八潮市	病院	医療法人社団協友会埼玉回生病院	3A病棟	慢性期	慢性期		34	34	療養病棟入院科1										0.76							慢性期
東部	八潮市	病院	医療法人社団協友会埼玉回生病院	4A病棟	慢性期	慢性期		34	34	療養病棟入院科1									0.88								慢性期
東部	八潮市	病院	医療法人社団協友会埼玉回生病院	1C病棟	慢性期	慢性期		40	40	療養病棟入院科1																	慢性期
東部	八潮市	病院	医療法人社団協友会埼玉回生病院	2C病棟	慢性期	慢性期		40	40	療養病棟入院科1																	慢性期
東部	八潮市	病院	医療法人社団協友会埼玉回生病院	1D病棟	慢性期	慢性期		38	38	療養病棟入院科1																	慢性期
東部	八潮市	病院	医療法人社団協友会埼玉回生病院	2D病棟	慢性期	慢性期		58	49	療養病棟入院科1											0.02						慢性期
東部	八潮市	病院	医療法人社団協友会八潮中央総合病院	3A病棟	急性期	回復期	C	50	50	急性期一般入院科1											0.30					27.5	回復期
東部	八潮市	病院	医療法人社団協友会八潮中央総合病院	4A病棟	急性期	急性期		50	50	急性期一般入院科1	0.60	0.26	0.06							2.52	1.20	0.26		0.28		36.9	急性期
東部	八潮市	病院	医療法人社団協友会八潮中央総合病院	4B病棟	急性期	回復期	C	32	32	急性期一般入院科1										0.03	0.06					25.7	回復期
東部	八潮市	病院	医療法人社団協友会八潮中央総合病院	3B病棟	急性期	急性期		54	54	急性期一般入院科1	1.57									0.13	1.81			0.11		36.1	急性期
東部	八潮市	病院	医療法人社団協友会八潮中央総合病院	5A病棟	回復期	回復期		50	50	回復期1科「リハビリ」病棟入院科1																	回復期
東部	八潮市	病院	医療法人社団協友会八潮中央総合病院	4C病棟	慢性期	慢性期		14	14	緩和ケア病棟入院科2																	慢性期
東部	松伏町	病院	医療法人社団全仁会埼玉筑波病院	2A病棟	急性期	回復期	C	56	30	地域一般入院科3	0.07							0.10		0.50	0.20				2.79		回復期
東部	松伏町	病院	医療法人社団全仁会埼玉筑波病院	3A病棟	慢性期	慢性期		56	34	療養病棟入院科1										1.79	0.06				0.03		慢性期
東部	松伏町	病院	医療法人社団全仁会埼玉筑波病院	2B病棟	慢性期	慢性期		53	28	特殊疾患病棟入院科1																	慢性期
東部	松伏町	病院	中川の郷療育センター	A棟	慢性期	慢性期		36	35	療養病棟等10科1入院基本科										0.86							慢性期
東部	松伏町	病院	中川の郷療育センター	B棟	慢性期	慢性期		41	35	療養病棟等10科1入院基本科										1.71							慢性期
東部	松伏町	病院	医療法人社団明日佳埼玉あすか松伏病院	一般病棟	急性期	不明/休床		30	30	地域一般入院科1														0.96	12.3		不明/休床
東部	松伏町	病院	医療法人社団明日佳埼玉あすか松伏病院	療養病棟	慢性期	慢性期		52	52	療養病棟入院科1										0.13	0.06						慢性期
東部	三郷市	病院	埼玉みさと総合リハビリテーション病院	2F	回復期	回復期		60	60	回復期1科「リハビリ」病棟入院科1																	回復期
東部	三郷市	病院	埼玉みさと総合リハビリテーション病院	3F	回復期	回復期		55	55	回復期1科「リハビリ」病棟入院科1																	回復期
東部	三郷市	病院	埼玉みさと総合リハビリテーション病院	4F	回復期	回復期		60	60	回復期1科「リハビリ」病棟入院科1														0.03			回復期
東部	三郷市	病院	医療法人財団健和会みさと健和病院	集中治療部	高度急性期	高度急性期		10	10	小付F212入院医療管理科1	3.00	0.80	0.50			0.30		1.00	0.60	11.70	3.90	0.80		0.10	16.06		高度急性期
東部	三郷市	病院	医療法人財団健和会みさと健和病院	5南東病棟	急性期	急性期		38	35	急性期一般入院科1	0.60	0.20	0.17					0.06		3.94	1.20	0.20		0.14	2.91		急性期
東部	三郷市	病院	医療法人財団健和会みさと健和病院	5南西病棟	急性期	回復期	C	38	35	急性期一般入院科1	0.37									0.09	0.54				2.76		回復期
東部	三郷市	病院	医療法人財団健和会みさと健和病院	6南東病棟	急性期	回復期	C	38	35	急性期一般入院科1			0.11							0.54	1.54			0.06	3.36		回復期
東部	三郷市	病院	医療法人財団健和会みさと健和病院	6南西病棟	急性期	回復期	C	36	35	急性期一般入院科1						0.06				0.43	0.09				5.41		回復期
東部	三郷市	病院	医療法人財団健和会みさと健和病院	ER救急病棟	急性期	高度急性期		12	12	急性期一般入院科1								0.42		0.25	0.50				136.21		高度急性期

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年 7月 1日時点の機能 報告	定量基準 分析結果	差異の パターン ※	病床数 (一般＋ 療養)	最大使用 病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準 分析結果 (再掲)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線 1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線 2】 ※基準を満たす項目を着色																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
											全身麻酔 下手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	悪性腫瘍 手術	超急性期 脳卒中加 算	脳血管内 手術	経皮的冠 動脈形成 術	救急搬送 診療料	救急医療 に係る諸 項目	重症患者 の対応に係 る諸項目	全身管理への 対応に係る諸 項目	手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	放射線治 療（レセ プト枚）	化学療法 （日数）	予定外の救 急入院の 人数	一般診療用の重 症、医療、希 少疾患を患った 患者割合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準分析結果（再掲）	
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚）	化学療法（日数）	予定外の救急医療入院の人数	一般診療用の重症度、重症・稀難必須症を患った患者割合		
2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%													
東部	越谷市	病院	医療法人社団聖心会 湖街ホスピタル	5階病棟	回復期	不明/休床		47	42	地域包括ケア病棟入院料 1															0.29	2.8	不明/休床	
東部	越谷市	病院	医療法人社団聖心会 湖街ホスピタル	3階病棟	回復期	回復期		56	21	回復期3日以下一般療養入院料 5															0.29		回復期	
東部	春日部市	診療所	杉浦眼科		急性期	回復期	C	9	9	有床診療所入院基本料										1.00							回復期	
東部	春日部市	診療所	医療法人社団豊栄会さだまつ眼科クリニック		急性期	急性期		2	2	有床診療所入院基本料										59.00				2.00			急性期	
東部	春日部市	診療所	彩都レディースクリニック		急性期	急性期		19	19	有床診療所入院基本料										2.11							急性期	
東部	春日部市	診療所	医療法人福岡会守田内科医院		急性期	不明/休床		9	7	有床診療所入院基本料																	不明/休床	
東部	春日部市	診療所	医療法人悦省会 分苑館医院		急性期	急性期		10	10	有床診療所入院基本料										0.50							急性期	
東部	越谷市	診療所	江川整形外科医院		回復期	回復期		19	17	有床診療所入院基本料	0.24									0.35							回復期	
東部	越谷市	診療所	堀中医院		急性期	不明/休床		3	0	診療報酬上及び看護報酬上のみ入院料の算出なし																	不明/休床	
東部	越谷市	診療所	医療法人社団和会愛和クリニック		回復期	不明/休床		19	19	診療報酬上及び看護報酬上のみ入院料の算出なし																	不明/休床	
東部	越谷市	診療所	医療法人研整会松田整形外科		急性期	高度急性期		15	15	有床診療所入院基本料	2.13								1.67	2.40							高度急性期	
東部	越谷市	診療所	南越谷健身会クリニック		慢性期	不明/休床		8	4	有床診療所入院基本料																	不明/休床	
東部	越谷市	診療所	越谷あずみの診療所		休職中（今後再開）	不明/休床		18	0	診療報酬上及び看護報酬上のみ入院料の算出なし																	不明/休床	
東部	越谷市	診療所	越谷呼吸器クリニック		急性期	不明/休床		6	6	有床診療所入院基本料																	不明/休床	
東部	越谷市	診療所	佐藤産婦人科		急性期	急性期		12	12	有床診療所入院基本料										1.08							急性期	
東部	越谷市	診療所	医療法人燦英会宮本医院		急性期	急性期		8	8	有床診療所入院基本料										5.25							急性期	
東部	越谷市	診療所	埼玉クリニック		慢性期	不明/休床		19	19	有床診療所入院基本料																	不明/休床	
東部	越谷市	診療所	越谷泌尿器科・内科		慢性期	不明/休床		19	19	有床診療所入院基本料																	不明/休床	
東部	越谷市	診療所	医療法人社団仁心会 越谷ハートフルクリニック		休職中（今後再開）	不明/休床		19	0	診療報酬上及び看護報酬上のみ入院料の算出なし																	不明/休床	
東部	越谷市	診療所	医療法人EMS 酒井救急クリニック		急性期	不明/休床		4	4	有床診療所入院基本料																	不明/休床	
東部	松伏町	診療所	ねもとレディースクリニック		急性期	不明/休床		2	0	有床診療所入院基本料																	不明/休床	
東部	松伏町	診療所	宮里クリニック		急性期	不明/休床		7	0	診療報酬上及び看護報酬上のみ入院料の算出なし																	不明/休床	
東部	三郷市	診療所	永井ウイメンズクリニック		回復期	急性期		2	2	有床診療所入院基本料										2.00							急性期	
東部	三郷市	診療所	医療法人社団悠誠会高橋レディースクリニック		急性期	急性期		12	12	有床診療所入院基本料										0.42							急性期	
東部	草加市	診療所	医療法人社団蓮聖会レノファミリークリニック		急性期	回復期	C	19	19	有床診療所入院基本料									0.37	0.05							回復期	
東部	草加市	診療所	医療法人正務医院		急性期	回復期	C	16	10	有床診療所入院基本料									1.30	0.10							回復期	
東部	草加市	診療所	草加内科呼吸ケアクリニック		急性期	不明/休床		2	1	有床診療所入院基本料																	不明/休床	
東部	草加市	診療所	医療法人真幸会草加松原整形外科医院		急性期	高度急性期		19	19	有床診療所入院基本料	2.74								2.42	2.84							高度急性期	
東部	草加市	診療所	水上レディースクリニック		急性期	不明/休床		10	10	診療報酬上及び看護報酬上のみ入院料の算出なし																	不明/休床	
東部	吉川市	診療所	医療法人至誠会大久保クリニック		急性期	急性期		15	15	有床診療所入院基本料										1.80							急性期	
東部	吉川市	診療所	医療法人社団磯久クリニック		慢性期	不明/休床		19	0	有床診療所入院基本料																	不明/休床	
さいたま	さいたま市	病院	独立行政法人地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター	3階東病棟	高度急性期	高度急性期		14	8	診療報酬上及び看護報酬上のみ入院料の算出なし	10.50	0.75	0.50			0.50			0.88	12.25	0.75			20.94		高度急性期		
さいたま	さいたま市	病院	独立行政法人地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター	4階東病棟	急性期	回復期	C	29	29	急性期一般入院料 1	0.38		0.28						0.14	0.93				0.48	3.68	21.5	回復期	
さいたま	さいたま市	病院	独立行政法人地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター	5階東病棟	急性期	急性期		46	46	急性期一般入院料 1	0.43								1.15	0.85				2.10	48.4		急性期	
さいたま	さいたま市	病院	独立行政法人地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター	7階東病棟	急性期	回復期	C	46	46	急性期一般入院料 1	0.04		0.13					0.07	0.85	0.59		0.04	0.33	5.85	24.0		回復期	
さいたま	さいたま市	病院	独立行政法人地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター	8階東病棟	急性期	回復期	C	46	46	地域包括ケア病棟入院料 2										0.07			0.04			0.7	回復期	
さいたま	さいたま市	病院	独立行政法人地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター	4階西病棟	急性期	回復期	C	46	46	急性期一般入院料 1									0.61						9.17	25.5	回復期	
さいたま	さいたま市	病院	独立行政法人地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター	5階西病棟	急性期	高度急性期		46	46	急性期一般入院料 1						0.15	0.02	0.07	1.80	0.50		0.11	0.35	4.47	27.1	高度急性期		
さいたま	さいたま市	病院	独立行政法人地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター	7階西病棟	急性期	高度急性期		46	46	急性期一般入院料 1	1.26	0.63							3.80	1.83	0.63	0.02	0.35	4.23	39.1	高度急性期		
さいたま	さいたま市	病院	独立行政法人地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター	6階病棟	急性期	回復期	C	60	50	急性期一般入院料 1	0.14	0.02							0.10	1.86	0.02	0.02	0.24	7.12	21.0		回復期	
さいたま	さいたま市	病院	医療法人博仁会共済病院	3階病棟	急性期	急性期		40	35	急性期一般入院料 4	0.20	0.14	0.06				0.03		0.11	0.43	0.14		0.26	6.95	20.9		急性期	
さいたま	さいたま市	病院	医療法人博仁会共済病院	4階病棟	急性期	回復期	C	40	36	急性期一般入院料 4	0.33								0.50	0.69				5.07	20.8		回復期	
さいたま	さいたま市	病院	医療法人博仁会共済病院	2階病棟	慢性期	回復期		37	35	地域包括ケア入院医療管理料 1									0.43	0.03				1.82	2.6		回復期	

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年 7月 1日時点の機能 報告	定量基準 分析結果	差異の パターン ※	病床数 (一般＋ 療養)	最大使用 病床数	「埼玉方式」で用いる項目																		定量基準 分析結果 (再掲)		
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線 1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線 2】 ※基準を満たす項目を着色									
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P				
											全身麻酔 下手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	悪性腫瘍 手術	超急性期 脳卒中加 算	脳血管内 手術	経皮的冠 動脈形成 術	救急搬送 診療料	救急医療 に係る諸 項目	重症患者 の対応に係 る諸項目	全身管理への 対応に係る諸 項目	手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	放射線治 療（レセ プト枚）	化学療法 （日数）	予定外の救 急医療入院 の人数	一般病棟中の重 症度、医療・療 養必要度を満た す患者割合				
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%				
さいたま	さいたま市	病院	医療法人石川病院	一般病棟	急性期	急性期		23	23	一般病棟特別入院基本料										1.13									急性期	
さいたま	さいたま市	病院	医療法人有隣会わかさ病院	一般病棟	回復期	急性期		29	27	地域一般入院料 3										0.70	0.22			1.04	3.95				急性期	
さいたま	さいたま市	病院	医療法人秋葉病院	一般病棟	急性期	高度急性期		59	59	急性期一般入院料 4	0.02			0.02				0.03		0.24	0.25								高度急性期	
さいたま	さいたま市	病院	医療法人聖仁会西部総合病院	3階西病棟	急性期	急性期		44	39	急性期一般入院料 2	0.41		0.03							0.97	0.56				9.23	36.6				急性期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人聖仁会西部総合病院	3階南病棟	急性期	回復期	C	56	48	地域包括ケア病棟入院料 1											0.46					0.91	3.3			回復期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人聖仁会西部総合病院	2階東病棟	回復期	回復期		56	56	回復期別注「リハビリ」病棟入院料 1																				回復期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人聖仁会西部総合病院	2階西病棟	慢性期	慢性期		60	56	療養病棟入院料 1												0.02			0.04					慢性期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人聖仁会西部総合病院	3階東病棟	慢性期	慢性期		60	60	療養病棟入院料 1												0.02								慢性期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団望星会望星病院	病棟	慢性期	慢性期		58	35	療養病棟等10時1入院基本料	0.06											0.26				0.03				慢性期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団松弘会三愛病院	3階ハイケアユニット	高度急性期	高度急性期		4	4	ハイケアユニット入院医療管理料 1	1.50				0.50	0.75		1.75	4.25	21.75	4.75				31.91					高度急性期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団松弘会三愛病院	2A病棟	急性期	急性期		45	45	急性期一般入院料 1	0.51							0.02		0.09	0.64				8.16	31.4				急性期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団松弘会三愛病院	3A病棟	急性期	急性期		33	32	急性期一般入院料 1	0.13							0.03		1.78	0.34		0.03		6.20	31.5				急性期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団松弘会三愛病院	4A病棟	急性期	急性期		39	38	急性期一般入院料 1	0.16	0.05	0.05							0.53	0.50	0.05		0.08	10.47	30.6				急性期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団松弘会三愛病院	2B病棟	急性期	高度急性期		39	39	急性期一般入院料 1	0.36	0.03				0.59		0.05		0.31	1.46	0.03			9.69	31.6				高度急性期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団松弘会三愛病院	3B病棟	急性期	急性期		39	39	急性期一般入院料 1	0.90	0.44	0.13							2.95	2.03	0.44	0.03	0.36	14.45	39.7				急性期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人栄寿会林病院	2階病棟	慢性期	慢性期		57	23	療養病棟入院料 1																				慢性期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人栄寿会林病院	3階病棟	慢性期	慢性期		57	25	療養病棟入院料 1																				慢性期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人ヘブロン会大宮中央総合病院	東 2 階	急性期	急性期		37	37	急性期一般入院料 4									0.14	0.46	0.57			0.11	14.02	29.4				急性期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人ヘブロン会大宮中央総合病院	東 3 階	回復期	回復期		45	43	急性期一般入院料 4															6.40	26.9				回復期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人ヘブロン会大宮中央総合病院	東 4 階	急性期	急性期		33	33	急性期一般入院料 4	0.82	0.12							0.18	1.24	1.18	0.12		0.06	10.27	34.6				急性期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人ヘブロン会大宮中央総合病院	西 2 階	回復期	回復期		46	36	急性期一般入院料 4										0.25	0.72			0.06	7.34	15.0				回復期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人ヘブロン会大宮中央総合病院	西 4 階	回復期	回復期		47	47	回復期別注「リハビリ」病棟入院料 1																				回復期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人ヘブロン会大宮中央総合病院	西 3 階	慢性期	慢性期		47	47	療養病棟入院料 1										1.04	0.02				0.02					慢性期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人宇治病院	一般病棟	慢性期	不明/休床		47	30	地域一般入院料 3																				不明/休床
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団双愛会大宮双愛病院	3階病棟	急性期	回復期	C	56	56	急性期一般入院料 4										0.18	0.05				4.95	24.6				回復期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団双愛会大宮双愛病院	4・5階病棟	慢性期	慢性期		34	34	療養病棟入院料 1											0.06				0.38					慢性期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人明治会西大宮病院	本棟2階	急性期	急性期		55	55	急性期一般入院料 1	0.24	0.18	0.02					0.02		2.13	0.76	0.18		0.07	3.79	38.9				急性期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人明治会西大宮病院	本棟3階	急性期	急性期		52	52	急性期一般入院料 1	0.58									0.69	1.44			0.13	2.90	31.4				急性期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人明治会西大宮病院	リハビリ病棟2階	回復期	回復期		45	45	回復期別注「リハビリ」病棟入院料 1																				回復期
さいたま	さいたま市	病院	医療法人明治会西大宮病院	リハビリ病棟3階	回復期	回復期		46	46	回復期別注「リハビリ」病棟入院料 1																				回復期
さいたま	さいたま市	病院	大和田病院	本館	慢性期	慢性期		88	80	療養病棟入院料 1											0.01				0.01					慢性期
さいたま	さいたま市	病院	大和田病院	新館	慢性期	不明/休床		47	47	無回答																				不明/休床
さいたま	さいたま市	病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	ICU・CCU	高度急性期	高度急性期		22	22	特定集中治療室管理料 1	8.09	0.68	0.27		0.14	0.27	0.09	0.95	8.50	45.55	10.91	0.68		0.18	17.50					高度急性期
さいたま	さいたま市	病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	EICU	高度急性期	高度急性期		8	8	救命救急入院料 4	2.50	0.25		0.25	0.50	1.13	0.38	1.63	2.88	29.00	4.63	0.25			51.86					高度急性期
さいたま	さいたま市	病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	救命救急センター	高度急性期	高度急性期		20	20	救命救急入院料 1	0.25	0.10		0.20		0.05	0.05	2.55		7.40	1.75	0.10		0.10	131.84					高度急性期
さいたま	さいたま市	病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	2階A病棟	高度急性期	高度急性期		10	10	急性期一般入院料 1	14.00	9.70	6.30						0.10	18.50	14.70	9.70		0.10	3.89					高度急性期
さいたま	さいたま市	病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	GCU	高度急性期	高度急性期		18	11	新生児集中治療室入院医療管理料 1										0.55										高度急性期
さいたま	さいたま市	病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	NICU	高度急性期	高度急性期		9	9	新生児特定集中治療室管理料 1								0.78		12.22	0.44				7.76					高度急性期
さいたま	さいたま市	病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	5階A病棟	高度急性期	急性期	B	42	42	急性期一般入院料 1	1.05	0.02	0.07							2.55	1.17	0.02	0.05	1.10	2.73	37.6				急性期
さいたま	さいたま市	病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	5階B病棟	高度急性期	急性期	B	44	44	急性期一般入院料 1	1.18	0.02								1.02	5.00	0.02	0.02	0.48	2.92	21.7				急性期
さいたま	さいたま市	病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	6階A病棟	高度急性期	急性期	B	45	45	急性期一般入院料 1	0.07								0.18	0.69	0.36			2.64	1.53	44.1				急性期
さいたま	さいたま市	病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	HCU	高度急性期	高度急性期		20	20	ハイケアユニット入院医療管理料 1	0.55	0.10	0.20							16.65	4.50	0.10	0.20	2.35	12.17	44.3				高度急性期
さいたま	さいたま市	病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	4階西病棟	高度急性期	高度急性期		50	50	急性期一般入院料 1	0.10	0.02	0.58							4.30	1.72	0.02	0.02	0.14	3.65	44.3				高度急性期

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準分析結果（再掲）	
										入院基本科・特定入院科	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚）	化学療法（日数）	予定外の救急搬送入院の人数	一般病棟中の重症度、重症・希少疾患患者の必要看護士数を算出割合		
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%		
さいたま	さいたま市	病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	5階東病棟	高度急性期	高度急性期		49	49	急性期一般入院科1	2.33	0.18	0.43				0.02	3.71	2.76	0.18	0.08	0.43	4.50	43.7	高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	5階西病棟	高度急性期	急性期	B	50	50	急性期一般入院科1	0.50	0.28	0.18				0.02	7.16	0.54	0.28	0.14	2.42	4.45	42.2	急性期			
さいたま	さいたま市	病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	6階東病棟	高度急性期	高度急性期		50	50	急性期一般入院科1	0.06			0.78			0.60	0.80	3.00			0.24	3.61	37.9	高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	6階西病棟	高度急性期	急性期	B	50	50	急性期一般入院科1	0.04			0.24		0.06	0.02	2.46	0.56			0.14	3.31	35.8	急性期			
さいたま	さいたま市	病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	6階B病棟	高度急性期	回復期	A	44	41	急性期一般入院科2	0.05						0.39	0.22		0.02	0.17	2.70	22.6	回復期				
さいたま	さいたま市	病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	3階A病棟	急性期	急性期		34	33	小児入院医療管理科2	0.76	0.12					0.70	0.76	0.12			2.09		急性期				
さいたま	さいたま市	病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	4階B病棟	急性期	急性期		33	32	急性期一般入院科1	0.25	0.09					0.41	1.09	0.09			5.08	48.4	急性期				
さいたま	さいたま市	病院	大宮共立病院	C3病棟	回復期	回復期		52	50	回復期IⅨ（9）→Ⅹ病棟入院科1															回復期			
さいたま	さいたま市	病院	大宮共立病院	A3病棟	慢性期	慢性期		46	46	療養病棟入院科1							0.74	0.02			0.02	1.76		慢性期				
さいたま	さいたま市	病院	大宮共立病院	A4病棟	慢性期	慢性期		50	47	特殊疾患病棟入院科1												0.02		慢性期				
さいたま	さいたま市	病院	大宮共立病院	A5病棟	慢性期	慢性期		46	40	特殊疾患病棟入院科1															慢性期			
さいたま	さいたま市	病院	大宮共立病院	B3病棟	慢性期	慢性期		46	44	療養病棟入院科1								0.02							慢性期			
さいたま	さいたま市	病院	指扇療養病院	東3階病棟	慢性期	慢性期		48	48	療養病棟入院科1															慢性期			
さいたま	さいたま市	病院	指扇療養病院	東4階病棟	慢性期	慢性期		48	48	療養病棟入院科1															慢性期			
さいたま	さいたま市	病院	指扇療養病院	東5階病棟	慢性期	慢性期		48	48	療養病棟入院科1							1.21								慢性期			
さいたま	さいたま市	病院	指扇療養病院	東6階病棟	慢性期	慢性期		48	48	療養病棟入院科1															慢性期			
さいたま	さいたま市	病院	指扇療養病院	東7階病棟	慢性期	慢性期		48	48	療養病棟入院科1							0.33								慢性期			
さいたま	さいたま市	病院	丸山記念総合病院	新館2階病棟	急性期	急性期		28	27	急性期一般入院科1	1.56	0.63	0.11					0.04	3.44	0.63		0.22	6.72	56.6	急性期			
さいたま	さいたま市	病院	丸山記念総合病院	新館3階病棟	急性期	急性期		46	39	急性期一般入院科1	0.79	0.36	0.10					4.13	2.13	0.36		0.54	10.28	50.4	急性期			
さいたま	さいたま市	病院	丸山記念総合病院	新館4階病棟	急性期	急性期		42	38	急性期一般入院科1	0.68							1.21	0.95				8.29	41.2	急性期			
さいたま	さいたま市	病院	丸山記念総合病院	本館4階北病棟	急性期	急性期		33	33	急性期一般入院科1							0.27	0.15			0.21	14.99	34.3	急性期				
さいたま	さいたま市	病院	丸山記念総合病院	本館4階南病棟	回復期	回復期		38	37	地域包括ケア病棟入院科2								0.73			0.03	0.08	2.6	回復期				
さいたま	さいたま市	病院	丸山記念総合病院	本館5階病棟病棟	回復期	回復期		28	28	回復期IⅨ（9）→Ⅹ病棟入院科1															回復期			
さいたま	さいたま市	病院	丸山記念総合病院	本館3階病棟	休棟中（今後再開）	不明/休床		26	0	無回答															不明/休床			
さいたま	さいたま市	病院	岩槻中央病院	4階一般病棟	回復期	回復期		37	26	地域一般入院科3						0.04		0.04				0.77		回復期				
さいたま	さいたま市	病院	岩槻中央病院		慢性期	慢性期		40	34	療養病棟入院科2															慢性期			
さいたま	さいたま市	病院	岩槻中央病院		慢性期	慢性期		44	38	療養病棟入院科2															慢性期			
さいたま	さいたま市	病院	医療法人ひかり会クリニカル病院	第2病棟	慢性期	慢性期		48	47	療養病棟入院科1								0.02							慢性期			
さいたま	さいたま市	病院	医療法人ひかり会クリニカル病院	第3病棟	慢性期	慢性期		60	53	療養病棟入院科1															慢性期			
さいたま	さいたま市	病院	医療法人ひかり会クリニカル病院	第4病棟	慢性期	慢性期		60	58	療養病棟入院科1															慢性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市立病院	E H C U	高度急性期	高度急性期		14	14	649721→入院医療管理科1	0.14		0.07	0.07				0.29	8.86	0.57			52.64		高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市立病院	E I C U	高度急性期	高度急性期		6	6	救急救急入院科2	0.50						4.83	1.33	28.67	1.83			113.02		高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市立病院	G H C U	高度急性期	高度急性期		20	14	649721→入院医療管理科1	3.71	1.29	0.93	0.14	0.21	0.14		0.07	0.71	10.36	4.71	1.29	0.07	35.33		高度急性期		
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市立病院	G I C U	高度急性期	高度急性期		8	7	特定集中治療室管理科1	5.14	0.43	0.29		0.14			0.29	2.43	36.00	5.86	0.43		18.52		高度急性期		
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市立病院	5階D病棟	急性期	急性期		40	40	急性期一般入院科1	0.05									0.70			0.97		急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市立病院	G C U	高度急性期	高度急性期		18	18	新生児特別集中治療室入院医療管理科								1.22					11.19		高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市立病院	N I C U	高度急性期	高度急性期		15	15	新生児特定集中治療室管理科1							0.80		11.27	0.07			27.46		高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市立病院	6階A病棟	急性期	回復期	C	40	40	急性期一般入院科1					0.05		0.08	0.03	0.93	0.33			9.85	25.5	回復期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市立病院	6階B病棟	高度急性期	急性期	B	40	40	急性期一般入院科1	1.68	0.15					0.10		5.65	2.30	0.15	0.10	0.78	7.13	34.6	急性期		
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市立病院	6階C病棟	高度急性期	高度急性期		40	40	急性期一般入院科1	0.98	0.73						4.93	1.40	0.73		0.40	6.73	42.0	高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市立病院	6階D病棟	高度急性期	急性期	B	38	30	急性期一般入院科1	1.37	0.40	0.10					2.43	1.53	0.40	0.07	0.20	7.78	46.8	急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市立病院	8階C病棟	高度急性期	高度急性期		40	40	急性期一般入院科1	2.08	0.28	0.65					1.33	2.78	0.28	0.18	1.45	4.09	45.2	高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市立病院	8階D病棟	高度急性期	急性期	B	40	40	急性期一般入院科1	1.58							0.73	1.70			0.15	3.54	48.9	急性期			

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準分析結果（再掲）	
										入院基本科・特定入院科	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚）	化学療法（日数）	予定外の救急医療入院の人数	一般病棟用の重症度、医療・看護必要数をもとに算出割合		
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%		
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市立病院	7階A病棟	急性期	急性期			40	40	急性期一般入院科1								0.48	0.08					10.92	21.3	急性期	
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市立病院	7階B病棟	高度急性期	回復期	A		40	40	急性期一般入院科1								1.00	0.05		0.03	0.30	4.44	24.2	回復期		
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市立病院	7階C病棟	高度急性期	急性期	B		40	40	急性期一般入院科1			0.18					1.73	1.75			0.18	13.84	37.7	急性期		
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市立病院	7階D病棟	高度急性期	高度急性期			40	38	急性期一般入院科1			0.05		0.03			0.24	0.37		0.05	4.55	7.87	32.6	高度急性期		
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市立病院	緩和ケア病棟	休職中（今後再開）	不明/休床			20	0	緩和ケア病棟入院科2																不明/休床	
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市立病院	5階B病棟	高度急性期	高度急性期			38	31	小児入院医療管理科1	1.10	0.26						2.16	1.23	0.26		0.81	0.23			高度急性期	
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団弘象会東和病院	一般病棟217(4階)515(5階)7階B	急性期	回復期	C		48	48	急性期一般入院科4								0.29	0.02					5.42	4.3	回復期	
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団幸正会岩槻南病院	循環器病棟	急性期	高度急性期			30	24	急性期一般入院科1				0.79		0.25	0.25	1.63	1.75					16.16	44.5	高度急性期	
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市民医療センター	4階南HCU	高度急性期	高度急性期			4	4	4階FICU特入院医療管理科1				1.25		0.25	1.25	3.75	3.50					47.12		高度急性期	
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市民医療センター	5階北SCU	高度急性期	高度急性期			3	3	脳卒中ICU特入院医療管理科			0.67											55.51	31.0	高度急性期	
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市民医療センター	2階南病棟	急性期	高度急性期			51	44	急性期一般入院科1	1.59	0.91	0.41						5.07	1.98	0.91		0.20	10.79	43.9	高度急性期	
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市民医療センター	3階北病棟	急性期	急性期			54	39	小児入院医療管理科2	0.08									0.13				13.45	16.0	急性期	
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市民医療センター	3階南病棟	急性期	急性期			47	39	急性期一般入院科1						0.05		0.54	0.18			0.03	16.39	35.5	急性期		
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市民医療センター	4階北病棟	急性期	急性期			47	45	急性期一般入院科1	0.76								0.78	0.89			0.87	9.15	36.0	急性期	
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市民医療センター	4階南病棟	急性期	急性期			43	43	急性期一般入院科1				0.35				0.02	0.58			0.60	12.01	26.6	急性期		
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市民医療センター	5階北病棟	急性期	急性期			44	44	急性期一般入院科1			0.05					1.52	0.66			0.16	14.46	22.8	急性期		
さいたま	さいたま市	病院	さいたま市民医療センター	5階南病棟	回復期	回復期			47	47	回復期ICU(特)ICU病棟入院科1																回復期	
さいたま	さいたま市	病院	社会福祉法人シナプス埼玉精神神経センター	本館1階NICU病棟	急性期	回復期	C		20	20	急性期一般入院科6								5.25	0.05					1.15	14.0	回復期	
さいたま	さいたま市	病院	社会福祉法人シナプス埼玉精神神経センター	本館4階病棟	慢性期	慢性期			48	48	特殊疾患病棟入院科1																慢性期	
さいたま	さいたま市	病院	社会福祉法人シナプス埼玉精神神経センター	本館5階病棟	慢性期	慢性期			48	48	特殊疾患病棟入院科1																慢性期	
さいたま	さいたま市	病院	指扇病院	4階病棟	急性期	回復期	C		34	34	急性期一般入院科4	0.03					0.12		0.56	0.09				1.38	21.3	回復期		
さいたま	さいたま市	病院	指扇病院	5階病棟	急性期	回復期	C		47	47	急性期一般入院科4								0.23	0.13					1.25	14.7	回復期	
さいたま	さいたま市	病院	指扇病院	6階病棟	急性期	高度急性期			47	47	急性期一般入院科4	0.40	0.34	0.11				0.45	1.91	0.96	0.34		0.74	0.57	25.7	高度急性期		
さいたま	さいたま市	病院	指扇病院	7階病棟	急性期	急性期			47	47	急性期一般入院科4	1.02	0.02						1.02	1.43	0.02		0.15	0.64	28.5	急性期		
さいたま	さいたま市	病院	指扇病院	3階病棟	回復期	回復期			51	51	回復期ICU(特)ICU病棟入院科3														0.04		回復期	
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団協友会彰の国東大宮メディカルセンター	ICU	高度急性期	高度急性期			8	8	特定集中治療室管理科5	4.25	2.50	1.25	0.25		0.25		0.38	1.25	28.38	4.63	2.50		44.38		高度急性期	
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団協友会彰の国東大宮メディカルセンター	4A病棟	高度急性期	高度急性期			50	50	急性期一般入院科1	1.18	0.72	0.18				0.06		4.38	2.16	0.72	0.02	0.36	9.53	39.9	高度急性期	
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団協友会彰の国東大宮メディカルセンター		高度急性期	高度急性期			4	0	4階FICU特入院医療管理科1																高度急性期	
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団協友会彰の国東大宮メディカルセンター	5BHCU病棟	高度急性期	高度急性期			4	4	4階FICU特入院医療管理科1				0.25				10.50	0.50					38.89		高度急性期	
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団協友会彰の国東大宮メディカルセンター	6BHCU病棟	高度急性期	高度急性期			4	4	4階FICU特入院医療管理科1								1.50	1.50					55.60		高度急性期	
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団協友会彰の国東大宮メディカルセンター	6B病棟	高度急性期	回復期	A		49	49	急性期一般入院科1	0.33							0.37	0.86		0.02	0.04	7.94	18.2	回復期		
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団協友会彰の国東大宮メディカルセンター	4B病棟	急性期	回復期	C		47	42	急性期一般入院科1								0.02						7.98	20.1	回復期	
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団協友会彰の国東大宮メディカルセンター	5A病棟	急性期	急性期			51	51	急性期一般入院科1	0.69							0.53	1.63					12.01	46.5	急性期	
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団協友会彰の国東大宮メディカルセンター	5B病棟	急性期	急性期			47	47	急性期一般入院科1	0.11			0.06				0.09	0.40			0.09	10.95	20.0	急性期		
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団協友会彰の国東大宮メディカルセンター	6A病棟	急性期	急性期			51	51	急性期一般入院科1	0.04		0.06					1.22	0.98			1.08	11.63	28.9	急性期		
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団協友会彰の国東大宮メディカルセンター	4C病棟	急性期	慢性期			22	12	緩和ケア病棟入院科2														0.66		慢性期	
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	救急病棟A	高度急性期	高度急性期			16	13	救命救急入院科1	0.77	0.38	0.08		0.08		1.77	3.31	0.15	5.31	3.54	0.38		184.72		高度急性期	
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	救急病棟B	高度急性期	高度急性期			20	17	急性期一般入院科1	0.47						0.06		3.59	1.00			0.12	52.27	55.7	高度急性期	
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	HCU	高度急性期	高度急性期			8	5	4階FICU特入院医療管理科1	12.00	5.60	3.60				0.40	0.20	23.60	13.00	5.60		0.20	5.19		高度急性期	
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	ICU	高度急性期	高度急性期			8	5	特定集中治療室管理科2	5.40	0.40	0.20	0.40			1.00	4.20	5.60	54.60	7.00	0.40		1.40	72.00		高度急性期
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	MFICU	高度急性期	高度急性期			9	9	脳卒中ICU特入院医療管理科2	0.22							0.11	1.89					25.49		高度急性期	
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	NICU	高度急性期	高度急性期			3	3	新生児特定集中治療室管理科2									0.67					2.33		高度急性期	
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	GCU	高度急性期	急性期	B		6	6	急性期一般入院科1									0.17					0.17		急性期	

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																			定量基準分析結果（再掲）	
										入院基本科・特定入院科	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色									
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P				
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚）	化学療法（日数）	予定外の救急医療入院の人数	一般診療中の重症度、医療・看護必要度を満たす患者割合				
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%				
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	CCU	高度急性期	高度急性期		14	13	救命救急入院科1	4.54	0.15			1.00	0.46	0.54	5.46	25.54	7.31	0.15			35.29			高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	8階西病棟	高度急性期	急性期	B	41	40	急性期一般入院科1					0.08		0.03		1.45	3.53			0.15	3.24	42.8		急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	9階東病棟	高度急性期	急性期	B	41	41	急性期一般入院科1	0.44	0.32	0.44						3.34	1.71	0.32	0.02	0.98	5.98	50.1		急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	9階西病棟	高度急性期	高度急性期		40	39	急性期一般入院科1	0.56	0.44	0.51				0.05		1.79	2.41	0.44	0.05	1.33	7.72	46.0		高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	10階東病棟	高度急性期	急性期	B	41	35	急性期一般入院科1									1.17	0.09		0.03	0.51	6.38	36.0		急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	11階西病棟	高度急性期	急性期	B	41	40	急性期一般入院科1	1.53								0.73	1.78				3.71	47.1		急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	13階西病棟	高度急性期	高度急性期		41	36	急性期一般入院科1	1.67	0.11	1.36						5.83	2.06	0.11	0.08	1.72	4.21	44.0		高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	14階東病棟	高度急性期	高度急性期		30	29	急性期一般入院科1	1.79		0.07		0.03			0.10	0.79	2.45		0.03	0.10	4.26	33.4		高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	SCU	高度急性期	急性期	B	6	6	急性期一般入院科1	0.17								0.67	0.33				1.66	32.7		急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	14階西病棟	高度急性期	急性期	B	30	30	急性期一般入院科1														1.70	30.4		急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	5階西病棟	急性期	急性期		38	28	急性期一般入院科1	0.79	0.61	0.07		0.04				0.25	2.79	0.61			8.16	55.9		急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	10階西病棟	急性期	急性期		41	40	急性期一般入院科1	0.15	0.15	0.08						3.10	0.23	0.15	0.15	3.58	5.01	36.7		急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	11階東病棟	急性期	急性期		40	40	急性期一般入院科1	1.85								1.05	2.18				3.74	50.9		急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	12階東病棟	急性期	急性期		40	37	急性期一般入院科1	1.89	0.24	0.35						1.46	5.65	0.24	0.03	0.81	3.91	40.2		急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	12階西病棟	急性期	急性期		39	39	急性期一般入院科1	0.92	0.31	0.26		0.03				3.97	4.21	0.31		1.21	3.45	38.4		急性期			
さいたま	さいたま市	病院	さいたま赤十字病院	13階東病棟	急性期	急性期		39	38	急性期一般入院科1					0.11				0.84	0.39			7.50	2.20	31.7		急性期			
さいたま	さいたま市	病院	医療型障害児入所施設カリヨンの杜	そよかぜ病棟	回復期	慢性期		40	27	障害児施設等7対1入院基本科									15.56								慢性期			
さいたま	さいたま市	病院	医療型障害児入所施設カリヨンの杜	みどり病棟	回復期	慢性期		10	10	障害児施設等7対1入院基本科									15.40								慢性期			
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団医風会さいたま岩槻病院	SUC	高度急性期	高度急性期		3	3	脳卒中7対1入院医療管理科	1.00		0.33						3.00	1.00				21.94	66.3		高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団医風会さいたま岩槻病院	一般病棟	急性期	回復期	C	27	27	地域一般入院科1	0.04								0.11	0.30				1.07	16.8		回復期			
さいたま	さいたま市	病院	医療法人社団医風会さいたま岩槻病院	回復期病棟	回復期	回復期		60	60	回復期3対1リハビリ病棟入院科1												0.02					回復期			
さいたま	さいたま市	病院	独立行政法人地域医療機能推進機構さいたま北部医療センター	N4F	急性期	急性期		54	53	急性期一般入院科2	1.23	0.23	0.09						0.25	1.55	0.23		0.17	10.73	36.8		急性期			
さいたま	さいたま市	病院	独立行政法人地域医療機能推進機構さいたま北部医療センター	N6F	急性期	急性期		51	41	急性期一般入院科2									0.46	0.34			0.02	15.40	31.0		急性期			
さいたま	さいたま市	病院	独立行政法人地域医療機能推進機構さいたま北部医療センター	N5F	回復期	回復期		58	58	地域包括ケア病棟入院科1										0.41			0.09	7.38			回復期			
さいたま	さいたま市	病院	埼玉県立小児医療センター	5B（GCU）	高度急性期	高度急性期		42	42	新生児20対1入院医療管理科									5.38	0.05							高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	埼玉県立小児医療センター	4B（HCU1）	高度急性期	高度急性期		13	13	小児入院医療管理科1	0.69	0.23	0.08				0.23		7.69	0.85	0.23			27.92			高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	埼玉県立小児医療センター	5A（NICU）	高度急性期	高度急性期		30	30	新生児特定集中治療管理科1	0.40	0.07					0.30		20.30	0.60	0.07			10.31			高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	埼玉県立小児医療センター	4A（PICU）	高度急性期	高度急性期		14	14	小児特定集中治療管理科	3.14	0.57				0.86	3.00	0.71	28.29	3.50	0.57		0.07	16.81			高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	埼玉県立小児医療センター	4B（HCU2）	高度急性期	高度急性期		7	7	小児入院医療管理科1	8.57	0.14				0.57	0.14		2.29	8.57	0.14			60.55			高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	埼玉県立小児医療センター	9A	急性期	高度急性期		28	28	小児入院医療管理科1	2.14	0.29							2.07	2.14	0.29		0.04	1.07			高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	埼玉県立小児医療センター	9B	急性期	高度急性期		28	28	小児入院医療管理科1	1.89								0.68	1.96				0.53			高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	埼玉県立小児医療センター	10A	急性期	高度急性期		28	28	小児入院医療管理科1	0.18	0.07							1.14	0.29	0.07	0.04	4.29				高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	埼玉県立小児医療センター	10B	急性期	高度急性期		28	28	小児入院医療管理科1	0.32	0.04					0.07		0.54	0.32	0.04		0.11	0.43			高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	埼玉県立小児医療センター	11A	急性期	高度急性期		28	28	小児入院医療管理科1	0.32	0.04							1.96	0.36	0.04			1.21			高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	埼玉県立小児医療センター	11B	急性期	高度急性期		28	28	小児入院医療管理科1	0.43	0.04							0.04	0.43	0.04	0.07	3.39				高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	埼玉県立小児医療センター	12A	急性期	高度急性期		36	36	小児入院医療管理科1	0.81								0.36	0.81			0.03	0.50			高度急性期			
さいたま	さいたま市	病院	埼玉県立小児医療センター	5B（一般）	急性期	急性期		6	6	急性期一般入院科1																	急性期			
さいたま	さいたま市	病院	夢眠ホスピタルさいたま	内科病棟	急性期	回復期	C	28	28	地域一般入院科3							0.04		1.21	0.21				3.03			回復期			
さいたま	さいたま市	診療所	医療法人鎌田医院		急性期	回復期	C	17	17	有床診療所入院基本科										0.41							回復期			
さいたま	さいたま市	診療所	加藤クリニック		急性期	急性期		15	15	有床診療所入院基本科																	急性期			
さいたま	さいたま市	診療所	飯島医院		急性期	急性期		8	5	有床診療所入院基本科																	急性期			
さいたま	さいたま市	診療所	増田外科医院		急性期	回復期	C	19	19	有床診療所入院基本科	0.05									0.11							回復期			
さいたま	さいたま市	診療所	医療法人かしわ会かしわ産婦人科		急性期	急性期		19	16	有床診療所入院基本科	1.00	0.38							0.63	7.44	0.38						急性期			

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準分析結果（再掲）
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色						
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚）	化学療法（日数）	予定外の救急医療入院の人数	一般診療中の重症度、重症・希少疾患患者の必要医療を要する患者割合	
2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%												
さいたま	さいたま市	診療所	医療法人社団愛正会宇井レディスクリニック		急性期	急性期		14	8	有床診療所入院基本料	0.38										0.50						急性期
さいたま	さいたま市	診療所	宮坂産婦人科クリニック		急性期	急性期		8	8	有床診療所入院基本料											0.88						急性期
さいたま	さいたま市	診療所	医療法人大宮林医院		急性期	急性期		10	10	有床診療所入院基本料																	急性期
さいたま	さいたま市	診療所	大宮内科クリニック		急性期	不明/休床		3	2	有床診療所入院基本料																	不明/休床
さいたま	さいたま市	診療所	医療法人時任会ときとろクリニック		急性期	急性期		17	17	有床診療所入院基本料										0.12	8.94						急性期
さいたま	さいたま市	診療所	あきやま胃腸科肝臓科クリニック		急性期	急性期		2	2	有床診療所入院基本料	0.50										4.00						急性期
さいたま	さいたま市	診療所	服部外科胃腸科医院		急性期	急性期		19	10	有床診療所入院基本料	0.10	0.10									2.90	0.10					急性期
さいたま	さいたま市	診療所	さいたまつきの森クリニック		急性期	急性期		19	11	有床診療所入院基本料											3.36						急性期
さいたま	さいたま市	診療所	医療法人社団慶育会セントウィメンズクリニック		急性期	急性期		3	3	有床診療所入院基本料																	急性期
さいたま	さいたま市	診療所	さいたま新聞橋クリニック		急性期	急性期		18	18	有床診療所入院基本料	1.89									0.22	6.89			0.33			急性期
さいたま	さいたま市	診療所	木野産婦人科医院		急性期	急性期		19	13	有床診療所入院基本料	0.08										2.54						急性期
さいたま	さいたま市	診療所	秋山レディースクリニック		回復期	不明/休床		1	0	※療養病棟上及び回復期上へ入院料が算出あり																	不明/休床
さいたま	さいたま市	診療所	医療法人島田医院		急性期	急性期		14	14	有床診療所入院基本料											0.21						急性期
さいたま	さいたま市	診療所	新都心肛門クリニック		急性期	急性期		19	12	有床診療所入院基本料											12.50						急性期
さいたま	さいたま市	診療所	ほしあい眼科・内科		急性期	高度急性期		2	2	有床診療所入院基本料	2.50										24.00			0.50			高度急性期
さいたま	さいたま市	診療所	医療法人社団喜咲会 ローズマニクリニック		急性期	急性期		19	19	有床診療所入院基本料											0.21						急性期
県央	伊奈町	病院	のぞみリハビリテーション病院	回復期機能病棟01	回復期	回復期		57	54	回復期01病棟入院料2																	回復期
県央	伊奈町	病院	医療法人社団顕心会伊奈中央病院	2階病棟	慢性期	慢性期		31	31	療養病棟入院料1																	慢性期
県央	伊奈町	病院	医療法人社団顕心会伊奈中央病院	3階病棟	慢性期	慢性期		35	34	療養病棟入院料1																	慢性期
県央	伊奈町	病院	埼玉県立がんセンター	HCU	高度急性期	高度急性期		24	16	※付加入院医療管理料1	11.63	5.75	5.38				0.06			14.88	11.88	5.75			0.75		高度急性期
県央	伊奈町	病院	埼玉県立がんセンター	緩和ケア病棟	急性期	急性期		36	35	緩和ケア病棟入院料1													0.09		1.25		急性期
県央	伊奈町	病院	埼玉県立がんセンター	4階病棟	急性期	急性期		31	29	専門病院7対1入院基本料	0.28		0.17							2.10	0.66		0.38	1.97	2.10	37.7	急性期
県央	伊奈町	病院	埼玉県立がんセンター	5階東病棟	急性期	高度急性期		43	42	専門病院7対1入院基本料	0.17		0.55							0.24	1.40		0.14	3.14	1.66	35.4	高度急性期
県央	伊奈町	病院	埼玉県立がんセンター	5階西病棟	急性期	急性期		43	41	専門病院7対1入院基本料			0.07							5.90	0.37			0.05	1.07	40.1	急性期
県央	伊奈町	病院	埼玉県立がんセンター	6階東病棟	急性期	急性期		43	41	専門病院7対1入院基本料	0.73		0.34							1.80	1.02		0.24	0.76	0.75	30.6	急性期
県央	伊奈町	病院	埼玉県立がんセンター	6階西病棟	急性期	急性期		43	43	専門病院7対1入院基本料										3.56	0.33		0.37	3.05	0.83	33.2	急性期
県央	伊奈町	病院	埼玉県立がんセンター	7階東病棟	急性期	急性期		43	42	専門病院7対1入院基本料	0.29		0.29							2.36	0.50		0.21	1.52	0.90	37.1	急性期
県央	伊奈町	病院	埼玉県立がんセンター	7階西病棟	急性期	高度急性期		43	42	専門病院7対1入院基本料	0.88		0.69							4.00	1.19		0.26	1.76	1.04	42.1	高度急性期
県央	伊奈町	病院	埼玉県立がんセンター	8階東病棟	急性期	急性期		43	39	専門病院7対1入院基本料										0.95	0.08		0.41	2.13	1.18	31.9	急性期
県央	伊奈町	病院	埼玉県立がんセンター	8階西病棟	急性期	急性期		43	28	専門病院7対1入院基本料											0.25		0.18	1.04	1.96	28.3	急性期
県央	伊奈町	病院	埼玉県立がんセンター	9階東病棟	急性期	急性期		25	25	専門病院7対1入院基本料											0.08			7.04	0.08	35.3	急性期
県央	伊奈町	病院	埼玉県立がんセンター	9階西病棟	急性期	急性期		43	41	専門病院7対1入院基本料	0.41		0.07							1.49	0.59		0.20	3.37	0.32	29.6	急性期
県央	伊奈町	病院	医療法人社団愛友会伊奈病院	2A病棟	急性期	急性期		52	52	急性期一般入院料1	0.75	0.17	0.08							1.12	0.88	0.17		0.06	10.59	30.9	急性期
県央	伊奈町	病院	医療法人社団愛友会伊奈病院	2B病棟	急性期	急性期		50	50	急性期一般入院料1	1.02									1.62	1.04				7.26	47.7	急性期
県央	伊奈町	病院	医療法人社団愛友会伊奈病院	3B病棟	回復期	不明/休床		39	39	地域包括ケア病棟入院料1															6.80	9.2	不明/休床
県央	伊奈町	病院	医療法人社団愛友会伊奈病院	3A病棟	慢性期	慢性期		40	40	療養病棟入院料1																	慢性期
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	4A病棟	高度急性期	高度急性期		48	48	急性期一般入院料1	0.02					0.52	0.02			0.60	1.46				5.82	31.4	高度急性期
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	6AHCU	高度急性期	高度急性期		4	4	※付加入院医療管理料1	0.25									4.00	0.25				5.98		高度急性期
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	9AHCU	高度急性期	高度急性期		4	4	※付加入院医療管理料1											11.00				4.24		高度急性期
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	ICU、CCU病棟	高度急性期	高度急性期		22	20	特定集中治療室管理料6	3.50	0.45	0.35	0.20	0.45	0.80	0.10	0.75	0.55	21.90	5.05	0.45			40.64		高度急性期
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	4AHCU	高度急性期	高度急性期		4	4	特定集中治療室管理料6										2.00	0.25				14.21		高度急性期
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	1B病棟	高度急性期	高度急性期		18	18	※付加入院医療管理料1	0.11	0.11						0.06		2.11	0.44	0.11			116.07	70.9	高度急性期
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	HCU病棟	高度急性期	高度急性期		16	16	※付加入院医療管理料1	3.88	2.38	1.13					0.06		5.88	4.81	2.38			62.70		高度急性期

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	入院基本料・特定入院料	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準分析結果（再掲）
											高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚）	化学療法（日数）	予定外の救急医療入院の人数	一般病棟中の重症度、重症・重傷の患者数に占める割合		
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I：31% II：29%		
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	5B産科病棟	急性期	急性期		23	23	急性期一般入院料1	1.00	0.52						0.09			2.48	0.52			4.94	68.6	急性期	
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	6A病棟	急性期	回復期	C	48	48	急性期一般入院料1	0.04									0.50	0.15				0.04	2.89	11.0	回復期
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	7A病棟	急性期	急性期		52	52	急性期一般入院料1	1.56	0.17	0.29						0.04	2.35	2.04	0.17			0.15	8.00	39.8	急性期
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	7B病棟	急性期	急性期		50	50	急性期一般入院料1	1.32	0.16								0.52	1.84	0.16				5.94	44.5	急性期
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	8A病棟	急性期	高度急性期		52	52	急性期一般入院料1			0.27							8.44	2.29		0.06	0.69	9.78	36.9	高度急性期	
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	8B病棟	急性期	高度急性期		50	50	急性期一般入院料1	1.10	0.86	0.10							14.96	1.40	0.86	0.02	0.52	4.53	51.3	高度急性期	
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	9A病棟	急性期	高度急性期		48	48	急性期一般入院料1							0.31	1.04	0.23					0.04	5.98	15.9	高度急性期	
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	9B病棟	急性期	高度急性期		51	50	急性期一般入院料1	1.58	0.32	0.56							1.94	2.62	0.32		0.20	5.17	38.0	高度急性期	
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	10A病棟	急性期	急性期		53	53	急性期一般入院料1	0.02	0.02								1.47	0.11	0.02	0.15	0.77	5.55	22.5	急性期	
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	10B病棟	急性期	高度急性期		48	48	急性期一般入院料1	2.13		0.85							3.65	3.52		0.50	0.71	6.98	37.9	高度急性期	
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	13B病棟	急性期	慢性期		20	20	緩和ケア病棟入院料1																	慢性期	
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	5A病棟	急性期	回復期	C	52	39	急性期一般入院料1			0.03							2.44	0.38					6.52	23.6	回復期
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	5B小児病棟	急性期	急性期		17	17	急性期一般入院料1	0.53	0.06									0.53	0.06				41.30	21.9	急性期
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	6B病棟	回復期	回復期		53	53	回復期1日1割未満入院料1																	回復期	
県央	上尾市	病院	医療法人藤仁会藤村病院	3階	高度急性期	回復期	A	37	32	急性期一般入院料5	0.09	0.03	0.03							0.94	0.28	0.03				3.96		回復期
県央	上尾市	病院	医療法人藤仁会藤村病院	4階	急性期	回復期	C	35	32	急性期一般入院料5	0.34										0.19	0.78				2.62		回復期
県央	上尾市	病院	医療法人藤仁会藤村病院	5階	慢性期	慢性期		26	26	療養病棟入院料1																	慢性期	
県央	上尾市	病院	埼玉県総合リハビリテーションセンター	第1病棟	急性期	回復期	C	37	35	急性期一般入院料6	0.14										0.03	0.14				0.37		回復期
県央	上尾市	病院	埼玉県総合リハビリテーションセンター	第3病棟	回復期	回復期		43	43	回復期1日1割未満入院料1																	回復期	
県央	上尾市	病院	埼玉県総合リハビリテーションセンター	第2病棟	慢性期	慢性期		40	40	療養病棟1日1割未満入院料1												0.03			0.05			慢性期
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央第二病院	回復期機能病棟01	回復期	回復期		32	31	回復期1日1割未満入院料1																	回復期	
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央第二病院	慢性期機能病棟01	慢性期	慢性期		46	46	療養病棟入院料1										1.30							慢性期	
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央第二病院	慢性期機能病棟02	慢性期	慢性期		51	49	療養病棟1日1割未満入院料1										3.00							慢性期	
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央第二病院	慢性期機能病棟03	慢性期	慢性期		42	42	療養病棟入院料1										0.71							慢性期	
県央	上尾市	病院	医療法人社団愛友会上尾中央第二病院	慢性期機能病棟04	慢性期	慢性期		15	15	緩和ケア病棟入院料2															0.80		慢性期	
県央	鴻巣市	病院	医療法人財団ヘリオス会ヘリオス会病院	A病棟	慢性期	急性期		60	37	地域一般入院料3										3.24	0.08				1.62	1.62		急性期
県央	鴻巣市	病院	医療法人財団ヘリオス会ヘリオス会病院	B病棟	慢性期	慢性期		48	32	療養病棟入院料1																	慢性期	
県央	鴻巣市	病院	医療法人財団ヘリオス会ヘリオス会病院	C病棟	慢性期	慢性期		48	27	療養病棟入院料1																	慢性期	
県央	鴻巣市	病院	医療法人財団ヘリオス会ヘリオス会病院	E病棟	慢性期	慢性期		40	22	療養病棟入院料1																	慢性期	
県央	鴻巣市	病院	医療法人財団ヘリオス会ヘリオス会病院	F病棟	慢性期	慢性期		40	21	療養病棟入院料1											0.05				1.43			慢性期
県央	鴻巣市	病院	医療法人財団ヘリオス会ヘリオス会病院		休棟中（今後再開）	不明/休床		37	0	地域一般入院料3																	不明/休床	
県央	鴻巣市	病院	こうのす共生病院	3階病棟	急性期	急性期		50	50	急性期一般入院料4	0.96							0.06		0.52	1.12					7.56	33.7	急性期
県央	鴻巣市	病院	こうのす共生病院	4階病棟	急性期	回復期	C	58	58	地域包括ケア病棟入院料1	0.05										0.14					3.40	0.5	回復期
県央	桶川市	病院	医療法人壽亮会大谷記念病院		急性期	不明/休床		15	0	一般病棟特別入院基本料																	不明/休床	
県央	桶川市	病院	医療法人壽亮会大谷記念病院	療養病棟入院基本料1（2割未満）	慢性期	慢性期		36	31	療養病棟入院料1								0.13			0.13						慢性期	
県央	桶川市	病院	医療法人壽亮会大谷記念病院	療養病棟入院基本料1（2割未満）	慢性期	慢性期		52	41	療養病棟入院料1								0.05			0.02						慢性期	
県央	桶川市	病院	医療法人財団聖蹟会埼玉県中央病院	一般病棟 2階	急性期	急性期		53	44	急性期一般入院料4	0.39	0.16	0.02					0.02		2.20	0.89	0.16		0.09	0.95	22.9	急性期	
県央	桶川市	病院	医療法人財団聖蹟会埼玉県中央病院	一般病棟 3階	急性期	回復期	C	56	52	地域包括ケア入院医療管理料1								0.04		0.12	0.06				0.77	16.3	回復期	
県央	桶川市	病院	医療法人財団聖蹟会埼玉県中央病院	療養病棟 4階	慢性期	慢性期		48	47	療養病棟入院料1											0.02						慢性期	
県央	北本市	病院	北里大学メディカルセンター	2N	高度急性期	高度急性期		6	6	特定集中治療室管理料5	7.00	3.33	1.83	0.17		0.17		0.83	0.50	16.00	7.50	3.33			38.06		高度急性期	
県央	北本市	病院	北里大学メディカルセンター	3N	急性期	急性期		47	47	急性期一般入院料1	0.70		0.02							0.81	1.02				0.04	5.86	39.1	急性期
県央	北本市	病院	北里大学メディカルセンター	4A	急性期	急性期		57	41	急性期一般入院料1	0.39		0.12					0.05		0.56	1.44		0.02	0.39	20.94	37.6	急性期	
県央	北本市	病院	北里大学メディカルセンター	4B	急性期	急性期		41	41	急性期一般入院料1	0.80	0.49	0.20							4.10	2.34	0.49		0.17	9.92	40.5	急性期	

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年 7月 1日時点の機能 報告	定量基準 分析結果	差異の パターン ※	病床数 (一般＋ 療養)	最大使用 病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準 分析結果 (再掲)	
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線 1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線 2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔 下手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	悪性腫瘍 手術	超急性期 脳卒中加 算	脳血管内 手術	経皮的冠 動脈形成 術	救急搬送 診療料	救急医療 に係る諸 項目	重症患者 の対応に係 る諸項目	全身管理への 対応に係る諸 項目	手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	放射線治 療（レセ プト枚）	化学療法 （日数）	予定外の救 急医療入院 の人数	一般病棟用の重 症度、重症・希 少症を要した 手術数割合		
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%		
県央	北本市	病院	北里大学メディカルセンター	4N	急性期	急性期		47	47	急性期一般入院料 1	0.23		0.13				0.04	0.02	0.94	0.62			0.98	10.52	30.2	急性期		
県央	北本市	病院	北里大学メディカルセンター	5A	急性期	回復期	C	60	56	急性期一般入院料 1							0.02							7.62	25.9	回復期		
県央	北本市	病院	北里大学メディカルセンター	5N	急性期	急性期		23	22	急性期一般入院料 1	1.23	0.82							1.68	2.05	0.82			5.08	61.3	急性期		
県央	北本市	病院	北里大学メディカルセンター	6A	急性期	不明/休床		30	30	急性期一般入院料 1														1.76	27.7	不明/休床		
県央	北本市	病院	北里大学メディカルセンター	3A	休床中（今後再開）	不明/休床		38	0	無回答																不明/休床		
県央	北本市	病院	北里大学メディカルセンター	5B	休床中（今後再開）	不明/休床		23	0	無回答																不明/休床		
県央	北本市	病院	医療法人社団博翔会桃園園北本病院	2階病棟	回復期	回復期		60	60	回復期Ⅱは“付”の病棟入院料 2														0.02		回復期		
県央	北本市	病院	医療法人社団博翔会桃園園北本病院	3階病棟	慢性期	不明/休床		25	25	無回答									0.04					0.08		不明/休床		
県央	北本市	病院	医療法人社団博翔会桃園園北本病院	4階病棟	慢性期	慢性期		47	47	療養病棟入院料 1														0.57		慢性期		
県央	北本市	病院	医療法人社団博翔会桃園園北本病院	5階病棟	慢性期	慢性期		44	44	療養病棟入院料 1														0.16		慢性期		
県央	北本市	病院	医療法人社団博翔会桃園園北本病院	地域包括ケア	慢性期	回復期		20	20	地域包括ケア入院医療管理料 4	0.55									0.65				7.53	15.5	回復期		
県央	上尾市	診療所	医療法人社団順風会上尾の森診療所		慢性期	不明/休床		19	17	有床診療所入院基本料																不明/休床		
県央	上尾市	診療所	上尾ふじなみ診療所		急性期	回復期	C	11	7	有床診療所入院基本料										0.14						回復期		
県央	上尾市	診療所	よこづか眼科		急性期	急性期		5	5	有床診療所入院基本料										10.00						急性期		
県央	上尾市	診療所	ナラヤレディースクリニック		急性期	急性期		19	19	有床診療所入院基本料										2.32						急性期		
県央	上尾市	診療所	医療法人社団順信会上尾メディカルクリニック		休床中（今後再開）	不明/休床		19	0	有床診療所入院基本料																不明/休床		
県央	上尾市	診療所	医療法人社団由佑会さくらクリニック		急性期	回復期	C	2	2	有床診療所入院基本料																回復期		
県央	上尾市	診療所	葵ウィメンズクリニック		急性期	急性期		10	8	有床診療所入院基本料										0.25						急性期		
県央	鴻巣市	診療所	医療法人社団澤仁会鴻巣第一クリニック		休床中（今後廃止）	不明/休床		19	0	休床中Ⅱは2以上の看護職による入院料の算出なし																不明/休床		
県央	鴻巣市	診療所	はやしだ産婦人科医院		急性期	急性期		19	19	有床診療所入院基本料										1.37						急性期		
県央	鴻巣市	診療所	医療法人社団鴻飛会鴻巣外科胃腸科		急性期	回復期	C	19	19	有床診療所入院基本料	0.16								0.11	0.42			0.32			回復期		
県央	北本市	診療所	林田内科医院		急性期	不明/休床		17	17	有床診療所入院基本料																不明/休床		
県央	北本市	診療所	山田医院		急性期	回復期	C	19	19	有床診療所入院基本料							0.05	1.89								回復期		
県央	北本市	診療所	鈴木眼科		急性期	不明/休床		3	1	有床診療所入院基本料																不明/休床		
川越比企	川越市	病院	医療法人埼玉病院	医療療養病棟	慢性期	慢性期		21	16	療養病棟入院料 1										0.06						慢性期		
川越比企	川越市	病院	医療法人豊仁会三井病院	4階病棟	急性期	急性期		54	51	急性期一般入院料 2	1.45	0.33	0.27						3.55	2.00	0.33		0.02	14.14	40.3	急性期		
川越比企	川越市	病院	医療法人豊仁会三井病院	5階病棟	急性期	不明/休床		50	50	休床中Ⅱは2以上の看護職による入院料の算出なし	0.38	0.02							0.82	0.90	0.02		0.08	16.71	32.2	不明/休床		
川越比企	川越市	病院	医療法人刀圭会本川越病院	2・3階病棟	急性期	回復期	C	70	60	地域包括ケア病棟入院料 1	0.72									0.73				2.94		回復期		
川越比企	川越市	病院	武蔵野総合病院	2階病棟	急性期	急性期		41	39	急性期一般入院料 2	0.31	0.15	0.03						5.62	0.62	0.15		0.21	6.26	39.3	急性期		
川越比企	川越市	病院	武蔵野総合病院	3階A病棟	急性期	回復期	C	38	37	急性期一般入院料 2	0.57								0.30	0.68				2.78	18.4	回復期		
川越比企	川越市	病院	武蔵野総合病院	4階病棟	回復期	回復期		60	59	地域包括ケア病棟入院料 1	0.10								0.02	0.19			0.14	0.74	6.7	回復期		
川越比企	川越市	病院	武蔵野総合病院	3階B病棟	慢性期	慢性期		32	31	療養病棟入院料 1									2.90							慢性期		
川越比企	川越市	病院	社会医療法人社団尚馬会赤心堂病院	3階病棟	急性期	急性期		32	28	急性期一般入院料 1	2.32	0.54	0.36				0.11	2.21	2.89	0.54			5.66	54.9	急性期			
川越比企	川越市	病院	社会医療法人社団尚馬会赤心堂病院	4階病棟	急性期	急性期		41	34	急性期一般入院料 1	0.53	0.26	0.06			0.18		0.09	1.74	1.38	0.26		0.15	14.96	33.6	急性期		
川越比企	川越市	病院	社会医療法人社団尚馬会赤心堂病院	6階病棟	急性期	回復期	C	35	18	急性期一般入院料 1									0.06					9.92	26.7	回復期		
川越比企	川越市	病院	社会医療法人社団尚馬会赤心堂病院	7階病棟	急性期	急性期		48	42	急性期一般入院料 1	1.17		0.19							1.62			0.17	9.38	39.4	急性期		
川越比企	川越市	病院	社会医療法人社団尚馬会赤心堂病院	5階病棟	回復期	回復期		42	42	地域包括ケア病棟入院料 1										0.64			0.02	2.18		回復期		
川越比企	川越市	病院	城南中央病院	2階病棟	慢性期	慢性期		50	50	療養病棟入院料 1									2.38	0.02						慢性期		
川越比企	川越市	病院	城南中央病院	3階病棟	慢性期	慢性期		50	50	療養病棟入院料 1									2.24	0.02						慢性期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	10階東病棟	高度急性期	急性期	B	33	33	急性期一般入院料 1								0.03	3.09	0.06		0.61	3.79	1.87	22.4	急性期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	3階東病棟	高度急性期	高度急性期		36	36	小児入院医療管理料 1	0.61	0.06							3.06	0.64	0.06			1.41		高度急性期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	4階東病棟	高度急性期	急性期	B	42	42	急性期一般入院料 1	0.14	0.10	0.14					0.07	0.29	1.00	0.10	0.10		1.00	3.99	29.2	急性期	
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	5階東病棟	高度急性期	急性期	B	42	42	急性期一般入院料 1	0.29	0.02						0.02		0.83	3.24	0.02	0.05	0.55	6.13	26.7	急性期	

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	入院基本料・特定入院料	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準分析結果（再掲）
											高度急性期・急性期の区分指標【区分線１】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線２】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚）	化学療法（日数）	予定外の救急医療入院の人数	一般病棟利用の症例、医師・看護師の要員を満たす患者割合		
2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%													
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	6階東病棟	高度急性期	回復期	A	42	42	急性期一般入院料 1	0.76	0.02						0.17	0.33	1.45	0.02	0.02	0.48	6.53	27.7	回復期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	7階東病棟	高度急性期	回復期	A	42	42	急性期一般入院料 1	1.64		0.02					0.10	0.81	1.86		0.02	0.17	1.64	25.6	回復期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	8階東病棟	高度急性期	急性期	B	42	42	急性期一般入院料 1	0.40		0.05		0.10				1.57	0.83			0.26	1.71	29.1	急性期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	9階東病棟	高度急性期	急性期	B	42	42	急性期一般入院料 1			0.24				0.10	1.19	1.33		0.05	1.64	2.40	28.1	急性期			
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	北GCU病棟	高度急性期	高度急性期		48	27	新生児2000g超医療入院医療管理料									2.19					0.18		高度急性期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	南NICU病棟	高度急性期	高度急性期		60	44	小児高度急性期医療管理料（総合型）	0.05						0.11		17.52	0.23				4.87		高度急性期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	北MFICU病棟	高度急性期	高度急性期		8	8	小児高度急性期医療管理料（総合型）										1.25				1.99		高度急性期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	南MFICU病棟	高度急性期	高度急性期		22	22	小児高度急性期医療管理料（総合型）	0.27								1.36	1.32				5.67		高度急性期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	1階救命ICU病棟	高度急性期	高度急性期		20	16	救命救急入院料 4	4.81						0.69	0.88	0.56	17.38	8.63			55.54		高度急性期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	2階GICU病棟	高度急性期	高度急性期		20	18	特定集中治療室管理料 4	6.67	2.61	2.17	0.11	0.61	0.22	0.11	0.83	1.78	10.22	8.56	2.61		0.06	25.71		高度急性期	
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	2階救命HCU病棟	高度急性期	高度急性期		32	32	救命救急入院料 1	0.63	0.03							5.19	0.75	0.03			2.31		高度急性期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	3階PICU病棟	高度急性期	高度急性期		16	16	小児特定集中治療室管理料	1.19	0.13						0.94	0.44	1.44	19.81	1.38	0.13		20.13		高度急性期	
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	母子3階病棟	高度急性期	急性期	B	31	31	急性期一般入院料 1									0.71	1.16				0.51		急性期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	10階西病棟	高度急性期	急性期	B	35	35	急性期一般入院料 1	0.20	0.17	0.03					0.03		6.69	0.23	0.17	0.11	1.71	1.65	34.0	急性期	
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	3階西病棟	高度急性期	急性期	B	42	42	急性期一般入院料 1	1.43	0.81	0.17						3.93	1.81	0.81	0.17	3.14	1.90	35.8	急性期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	4階西病棟	高度急性期	急性期	B	42	42	急性期一般入院料 1	0.29	0.17	0.02						7.33	1.02	0.17	0.05	0.90	2.21	43.1	急性期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	5階西病棟	高度急性期	高度急性期		42	42	急性期一般入院料 1	0.57	0.38	0.19						10.29	1.14	0.38	0.26	2.00	2.04	44.9	高度急性期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	6階西病棟	高度急性期	高度急性期		42	42	急性期一般入院料 1	2.07								0.95	2.12			0.50	1.00	49.4	高度急性期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	7階西病棟	高度急性期	急性期	B	42	42	急性期一般入院料 1	0.33	0.05	0.10						1.50	0.50	0.05	0.12	0.98	1.57	30.5	急性期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	8階西病棟	高度急性期	急性期	B	42	42	急性期一般入院料 1	0.19		0.05			0.19			2.38	1.12			0.07	1.50	32.6	急性期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	9階西病棟	高度急性期	急性期	B	26	26	急性期一般入院料 1								0.12	0.15	0.19			5.58	0.35	37.1	急性期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	2階西病棟	高度急性期	高度急性期		42	42	急性期一般入院料 1	0.10	0.02	0.02				0.02		0.36	0.48	0.79	0.02		0.14	1.88	17.7	高度急性期	
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	2階東病棟	高度急性期	急性期	B	42	42	急性期一般入院料 1	0.86	0.02	0.33						3.14	1.57	0.02	0.05	0.60	1.12	32.2	急性期		
川越比企	川越市	病院	埼玉医科大学総合医療センター	中央病棟	高度急性期	回復期	A	50	20	急性期一般入院料 1								0.10		0.45				0.40	23.9	回復期		
川越比企	川越市	病院	西武川越病院	2E	慢性期	慢性期		28	28	療養病棟入院料 1																	慢性期	
川越比企	川越市	病院	西武川越病院	2W	慢性期	慢性期		60	56	療養病棟入院料 1										7.14							慢性期	
川越比企	川越市	病院	西武川越病院	3W	慢性期	慢性期		60	58	療養病棟入院料 1										4.07							慢性期	
川越比企	川越市	病院	西武川越病院	4W	慢性期	慢性期		60	57	療養病棟入院料 1										5.26							慢性期	
川越比企	川越市	病院	西武川越病院	5W	慢性期	慢性期		60	58	療養病棟入院料 1										3.10							慢性期	
川越比企	川越市	病院	医療法人社団哺育会笠幡病院	1病棟	慢性期	慢性期		60	55	療養病棟入院料 1											0.02						慢性期	
川越比企	川越市	病院	医療法人社団哺育会笠幡病院	2病棟	慢性期	慢性期		42	42	療養病棟入院料 1											0.05						慢性期	
川越比企	川越市	病院	医療法人社団哺育会笠幡病院	3病棟	慢性期	慢性期		34	34	療養病棟入院料 1								0.03		0.09							慢性期	
川越比企	川越市	病院	医療法人真正会霞ヶ関南病院	けやき病棟	回復期	回復期		37	37	回復期31歳以下20病棟入院料 1																	回復期	
川越比企	川越市	病院	医療法人真正会霞ヶ関南病院	さくら病棟	回復期	回復期		43	43	回復期31歳以下20病棟入院料 1													0.16				回復期	
川越比企	川越市	病院	医療法人真正会霞ヶ関南病院	やぶき病棟	回復期	回復期		43	43	回復期31歳以下20病棟入院料 1																	回復期	
川越比企	川越市	病院	医療法人真正会霞ヶ関南病院	すみれ病棟	慢性期	慢性期		37	37	療養病棟等10歳以下入院基本料									0.81								慢性期	
川越比企	川越市	病院	医療法人真正会霞ヶ関南病院	ふじ病棟	慢性期	慢性期		39	39	療養病棟入院料 1																	慢性期	
川越比企	川越市	病院	医療法人愛和病院	産科病棟	急性期	急性期		56	56	急性期一般入院料 6											3.66						急性期	
川越比企	川越市	病院	医療法人社団誠弘会池袋病院	A棟	急性期	急性期		60	58	急性期一般入院料 2	0.24	0.10						0.02	0.02	1.07	0.36	0.10		0.09	12.24	34.3	急性期	
川越比企	川越市	病院	医療法人社団誠弘会池袋病院	B棟	慢性期	慢性期		16	16	療養病棟入院料 1											0.13						慢性期	
川越比企	川越市	病院	医療法人社団関心会関本記念病院	一般病棟	回復期	回復期		60	50	地域一般入院料 3										1.70	0.28			0.16			回復期	
川越比企	川越市	病院	医療法人社団関心会関本記念病院	療養病棟	慢性期	慢性期		48	45	療養病棟入院料 2																	慢性期	
川越比企	川越市	病院	川越リハビリテーション病院	2階病棟	回復期	回復期		53	45	回復期31歳以下20病棟入院料 3																	回復期	

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年 7月 1日時点の機能 報告	定量基準 分析結果	差異の パターン ※	病床数 (一般＋ 療養)	最大使用 病床数	「埼玉方式」で用いる項目																		定量基準 分析結果 (再掲)
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線 1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線 2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔 下手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	悪性腫瘍 手術	超急性期 脳卒中加 算	脳血管内 手術	経皮的冠 動脈形成 術	救急搬送 診療料	救急医療 に係る諸 項目	重症患者 の対応に係 る諸項目	全身管理への 対応に係る諸 項目	手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	放射線治 療（レセ プト枚）	化学療法 （日数）	予定外の救 急医療入院 の人数	一般病棟用の重 症、重症、希 少必要度を満た す患者割合		
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%		
川越比企	川越市	病院	川越リハビリテーション病院	3階病棟	回復期	回復期		49	47	回復期3日"9"→0回復入院料 1														0.02			回復期	
川越比企	川越市	病院	川越リハビリテーション病院	4階病棟	回復期	回復期		49	48	回復期3日"9"→0回復入院料 3														0.02			回復期	
川越比企	川越市	病院	南古谷病院	2階個室病棟	急性期	急性期		31	31	急性期一般入院料 4	0.48	0.06	0.03				0.03		0.97	0.90	0.06		0.19	20.11	18.8	急性期		
川越比企	川越市	病院	南古谷病院	3階A病棟	急性期	不明/休床		54	54	地域包括ケア入院医療管理料 1														1.75			不明/休床	
川越比企	川越市	病院	南古谷病院	3階B病棟	慢性期	慢性期		52	52	療養看護施設等10対1入院基本料																	慢性期	
川越比企	川越市	病院	医療法人康正会病院	急性期機能病棟01	急性期	急性期		49	42	急性期一般入院料 4	0.50	0.40	0.10						2.00	1.02	0.40		0.48	3.23	28.1	急性期		
川越比企	川越市	病院	医療法人康正会病院	急性期機能病棟02	急性期	回復期	C	49	45	急性期一般入院料 4									0.02	0.13			0.71	2.22	21.6	回復期		
川越比企	川越市	病院	医療法人康正会病院	急性期機能病棟03	急性期	急性期		49	44	地域包括ケア入院医療管理料 2	0.52								0.70	0.59			0.02	0.75	36.0	急性期		
川越比企	川越市	病院	帯津三敬病院	2階病棟	急性期	回復期	C	35	35	地域包括ケア病棟入院料 1										0.03				2.65			回復期	
川越比企	川越市	病院	帯津三敬病院	3階病棟	急性期	回復期	C	34	34	急性期一般入院料 4	0.44									0.12	0.47			2.87			回復期	
川越比企	川越市	病院	帯津三敬病院	4階病棟	急性期	回復期	C	30	30	急性期一般入院料 4										0.23	0.03		0.23				回復期	
川越比企	川越市	病院	カルガモの家	病棟	慢性期	慢性期		44	40	療養看護施設等7対1入院基本料										15.43							慢性期	
川越比企	毛呂山町	病院	丸木記念福祉メディカルセンター	内科病棟	回復期	回復期		48	48	地域一般入院料 3										1.63				0.44			回復期	
川越比企	毛呂山町	病院	丸木記念福祉メディカルセンター	地域包括ケア病棟	回復期	回復期		50	50	地域包括ケア病棟入院料 2														0.74	15.2	回復期		
川越比企	毛呂山町	病院	丸木記念福祉メディカルセンター	回復期3日"9"→0回復入院料 5階	回復期	回復期		60	59	回復期3日"9"→0回復入院料 1																	回復期	
川越比企	毛呂山町	病院	丸木記念福祉メディカルセンター	回復期3日"9"→0回復入院料 6階	回復期	回復期		50	49	回復期3日"9"→0回復入院料 1																	回復期	
川越比企	毛呂山町	病院	丸木記念福祉メディカルセンター	緩和ケア病棟	慢性期	慢性期		20	20	緩和ケア病棟入院料 1																	慢性期	
川越比企	毛呂山町	病院	光の家療育センター	第1光の家2階	慢性期	慢性期		60	57	療養看護施設等10対1入院基本料										2.63							慢性期	
川越比企	毛呂山町	病院	光の家療育センター	第1光の家3階	慢性期	慢性期		60	60	療養看護施設等10対1入院基本料										2.50							慢性期	
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	本館7階	高度急性期	高度急性期		45	45	高度急性期一般病棟7対1入院基本料	1.84	0.69	0.07						4.71	2.60	0.69		0.13	5.16	44.1	高度急性期		
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	本館8階	高度急性期	急性期	B	55	55	高度急性期一般病棟7対1入院基本料	1.85								1.49	2.05			0.13	2.63	48.5	急性期		
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	本館9階	高度急性期	急性期	B	40	40	高度急性期一般病棟7対1入院基本料	0.40									8.00				5.09	9.4		急性期	
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	本館10階	高度急性期	高度急性期		52	52	高度急性期一般病棟7対1入院基本料	2.69		0.12					0.04	0.87	3.67		0.06	0.75	2.24	35.4	高度急性期		
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	本館11階	高度急性期	急性期	B	52	52	高度急性期一般病棟7対1入院基本料	0.79		0.10						1.02	1.48		0.02	0.02	1.04	29.5	急性期		
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	南館2階	高度急性期	急性期	B	25	25	高度急性期一般病棟7対1入院基本料										0.44				0.88	72.5	急性期		
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	南館4階	高度急性期	高度急性期		42	41	小児入院医療管理料 1	0.66	0.17							2.80	0.73	0.17			2.19			高度急性期	
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	南館5階	高度急性期	回復期	A	47	47	高度急性期一般病棟7対1入院基本料	0.04								0.26	0.13		0.09	0.21	3.29	20.9		回復期	
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	南館6階	高度急性期	高度急性期		43	43	高度急性期一般病棟7対1入院基本料	0.05						0.05	0.21	0.84	0.84			0.02	5.36	19.6	高度急性期		
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	南館7階	高度急性期	急性期	B	28	28	高度急性期一般病棟7対1入院基本料	2.04	1.00							0.64	2.75	1.00		0.04	1.92	46.2	急性期		
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	南館8階	高度急性期	急性期	B	47	47	高度急性期一般病棟7対1入院基本料			0.13						0.04	0.04	1.45			0.53	11.61	35.6	急性期	
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	南館9階	高度急性期	回復期	A	45	45	高度急性期一般病棟7対1入院基本料	0.02								0.09	0.84	0.04	0.02		7.03	24.0	回復期		
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	南館10階	高度急性期	急性期	B	42	41	高度急性期一般病棟7対1入院基本料	0.17									0.07	0.34			5.71	1.73	30.4	急性期	
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	南館11階	高度急性期	急性期	B	42	42	高度急性期一般病棟7対1入院基本料								0.10	2.48	0.05		0.07	1.55	5.25	33.6	急性期		
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	ICU	高度急性期	高度急性期		6	6	特定集中治療室管理料 3	1.33	0.50						0.67	4.33	30.33	1.50	0.50		17.45			高度急性期	
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	西館5階	高度急性期	急性期	B	34	32	高度急性期一般病棟7対1入院基本料			0.06						0.53	0.50			1.53	7.64	21.2	急性期		
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	東館4階	高度急性期	回復期	A	35	35	高度急性期一般病棟7対1入院基本料	0.06		0.06						0.89	1.11		0.03		6.18	26.3	回復期		
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	南館3階NICU	高度急性期	高度急性期		18	18	高度急性期集中治療室管理料（新生児）	0.06	0.06							9.39	0.44	0.06		1.50				高度急性期	
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	南館3階GCU	高度急性期	高度急性期		18	12	新生児治療回復入院医療管理料																	高度急性期	
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	南館2階MFICU	高度急性期	高度急性期		6	6	小児回復期集中治療室管理料（新生児）	0.17									0.33	6.00			2.33			高度急性期	
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院	東館4階HCU	高度急性期	高度急性期		8	8	ICU72時間以上入院医療管理料 1	2.13	0.38	0.25					0.38	1.13	26.63	2.88	0.38		27.18			高度急性期	
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院		休養中（今後再開）	不明/休床		14	0	無回答																	不明/休床	
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院		休養中（今後再開）	不明/休床		48	0	無回答																	不明/休床	
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院		休養中（今後再開）	不明/休床		41	0	無回答																	不明/休床	

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準分析結果（再掲）	
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚）	化学療法（日数）	予定外の救急医療入院の人数	一般診療用の重症度、医療・看護必要を満たす患者数		
2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I :31% II :29%													
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院		休学中（今後再開）	不明/休床			17	0	無回答																不明/休床	
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院		休学中（今後再開）	不明/休床			25	0	無回答																不明/休床	
川越比企	毛呂山町	病院	埼玉医科大学病院		休学中（今後再開）	不明/休床			2	0	無回答																不明/休床	
川越比企	小川町	病院	小川赤十字病院	7階病棟（HCU）	高度急性期	高度急性期			4	4	6ヶ月以上入院医療管理料1						0.50	0.25	13.00						31.91		高度急性期	
川越比企	小川町	病院	小川赤十字病院	4階病棟	急性期	急性期			42	42	急性期一般入院料1	1.05			0.17					0.64	1.62				0.10	6.41	42.9	急性期
川越比企	小川町	病院	小川赤十字病院	5階病棟	急性期	急性期			42	20	急性期一般入院料1										0.10					10.87	42.1	急性期
川越比企	小川町	病院	小川赤十字病院	6階病棟	急性期	急性期			42	42	急性期一般入院料1	0.33	0.05	0.17						1.33	1.45	0.05		0.10	10.09	37.4	急性期	
川越比企	小川町	病院	小川赤十字病院	7階病棟	急性期	急性期			38	37	急性期一般入院料1				0.22		0.03		1.92	1.11					14.15	37.1	急性期	
川越比企	小川町	病院	小川赤十字病院	9階病棟	回復期	回復期			42	42	地域包括ケア病棟入院料2									1.17							3.1	回復期
川越比企	小川町	病院	小川赤十字病院	8階病棟	慢性期	慢性期			42	41	療養看護等10時1入院基本料									0.05								慢性期
川越比企	嵐山町	病院	埼玉県立嵐山郷	療養介護棟	慢性期	慢性期			65	60	療養看護等13時1入院基本料																	慢性期
川越比企	鳩山町	病院	医療法人真美会麻見江ホスピタル	1号館	慢性期	慢性期			40	40	療養病棟入院料1								0.78	0.03								慢性期
川越比企	鳩山町	病院	医療法人真美会麻見江ホスピタル	2号館1階	慢性期	慢性期			41	39	療養病棟入院料1														0.26			慢性期
川越比企	鳩山町	病院	医療法人真美会麻見江ホスピタル	2号館2階	慢性期	慢性期			39	39	療養病棟入院料1															0.10		慢性期
川越比企	鳩山町	病院	医療法人真美会麻見江ホスピタル	3号館1期	慢性期	慢性期			54	54	療養病棟入院料1														0.07			慢性期
川越比企	鳩山町	病院	医療法人真美会麻見江ホスピタル	3号館2階	慢性期	慢性期			59	59	療養病棟入院料1														0.02			慢性期
川越比企	鳩山町	病院	医療法人真美会麻見江ホスピタル	3号館3階	慢性期	慢性期			59	59	療養病棟入院料1														0.08			慢性期
川越比企	鳩山町	病院	医療法人真美会麻見江ホスピタル	5号館	慢性期	慢性期			18	18	療養病棟入院料1														0.06			慢性期
川越比企	小川町	病院	宏仁会小川病院	病棟	回復期	回復期			34	19	地域一般入院料3								0.11						0.26			回復期
川越比企	川島町	病院	医療法人啓仁会平成の森・川島病院	1階病棟	回復期	回復期			58	58	回復期10時1付入院料1																	回復期
川越比企	川島町	病院	医療法人啓仁会平成の森・川島病院	2階病棟	慢性期	慢性期			60	60	療養病棟入院料1																	慢性期
川越比企	川島町	病院	医療法人啓仁会平成の森・川島病院	3階病棟	慢性期	慢性期			60	60	療養病棟入院料1														0.02			慢性期
川越比企	川島町	病院	医療法人啓仁会平成の森・川島病院	4階病棟	慢性期	慢性期			60	60	療養病棟入院料1									0.02								慢性期
川越比企	東松山市	病院	東松山医師会病院	2階病棟	急性期	急性期			23	23	急性期一般入院料4	1.43	0.43	0.39						4.61	1.83	0.43			10.06	44.5	急性期	
川越比企	東松山市	病院	東松山医師会病院	3階病棟	急性期	回復期	C		37	37	急性期一般入院料4									0.35	0.11				0.19	7.82	19.0	回復期
川越比企	東松山市	病院	東松山医師会病院	4階東病棟	急性期	回復期	C		58	58	急性期一般入院料4										0.02				0.07	4.23	18.2	回復期
川越比企	東松山市	病院	東松山医師会病院	3階南病棟	回復期	回復期			38	31	地域包括ケア病棟入院料2										0.16				0.39	0.06	2.6	回復期
川越比企	東松山市	病院	東松山医師会病院	4階南病棟	慢性期	慢性期			46	43	療養病棟入院料1									0.88								慢性期
川越比企	東松山市	病院	東松山市立市民病院	3A	急性期	急性期			49	45	急性期一般入院料1	0.31	0.07	0.18						1.40	0.67	0.07		0.42	9.91	36.2	急性期	
川越比企	東松山市	病院	東松山市立市民病院	4A	急性期	急性期			48	48	急性期一般入院料1	0.65								0.31	1.08			0.29	7.56	42.8	急性期	
川越比企	東松山市	病院	東松山市立市民病院	5A	急性期	高度急性期			49	42	急性期一般入院料1	0.02		0.02				0.02		0.43	0.21				1.38	34.6	高度急性期	
川越比企	東松山市	病院	医療法人埼玉成恵会病院	2階病棟	急性期	高度急性期			15	13	急性期一般入院料4	5.54						0.08		3.00	6.31				12.66	68.5	高度急性期	
川越比企	東松山市	病院	医療法人埼玉成恵会病院	3階病棟	急性期	回復期	C		60	46	急性期一般入院料4	0.07								0.67	0.67				3.10	23.1	回復期	
川越比企	東松山市	病院	医療法人埼玉成恵会病院	5階病棟	急性期	急性期			48	44	急性期一般入院料4									0.57	0.48		0.02		2.97	42.6	急性期	
川越比企	東松山市	病院	医療法人埼玉成恵会病院	4階病棟	回復期	回復期			47	44	地域包括ケア病棟入院料2														0.02	11.8	回復期	
川越比企	東松山市	病院	大谷整形外科病院	一般病棟	慢性期	回復期			50	41	地域一般入院料3	0.51									0.76							回復期
川越比企	東松山市	病院	シャローム病院	一般病棟	急性期	急性期			25	24	急性期一般入院料4									0.92	0.08			0.13	1.41	41.9	急性期	
川越比企	東松山市	病院	シャローム病院	緩和ケア病棟	急性期	慢性期			30	22	緩和ケア病棟入院料2														0.23			慢性期
川越比企	東松山市	病院	武蔵嵐山病院	3階病棟	急性期	回復期	C		43	43	地域包括ケア入院医療管理料1									0.51	0.37				4.66	14.9	回復期	
川越比企	東松山市	病院	武蔵嵐山病院	4階病棟	回復期	回復期			56	55	回復期10時1付入院料1										0.05				0.02			回復期
川越比企	東松山市	病院	武蔵嵐山病院	2階病棟	慢性期	慢性期			58	57	療養病棟入院料1									0.72	0.14			0.07				慢性期
川越比企	坂戸市	病院	明海大学歯学部付属明海大学病院	一般病棟	急性期	高度急性期			60	14	急性期一般入院料6	3.64		0.07						0.21	3.93			0.43	68.3		高度急性期	
川越比企	坂戸市	病院	坂戸中央病院	2 F 病棟	急性期	回復期	C		47	47	急性期一般入院料4							0.02		0.13	0.04				6.51	19.1		回復期

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準分析結果（再掲）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色											急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚）	化学療法（日数）	予定外の救急医療入院の人数	一般診療用の重症度、重症・軽症必要度を満たす患者割合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																定量基準分析結果（再掲）		
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線１】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線２】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O		P	
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚）	化学療法（日数）	予定外の救急医療入院の人数		一般病棟利用患者数、医療・看護の要する患者数、看護要員数	
2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%													
西部	所沢市	病院	医療法人社団明雄会北所沢病院	地域包括ケア病棟	急性期	回復期	C	35	35	地域包括ケア病棟入院料 2																回復期		
西部	所沢市	病院	医療法人社団明雄会北所沢病院	療養病棟 1	慢性期	慢性期		54	54	療養病棟入院料 1																慢性期		
西部	所沢市	病院	医療法人社団明雄会北所沢病院	療養病棟 2	慢性期	慢性期		42	42	療養病棟入院料 1																慢性期		
西部	所沢市	病院	医療法人社団秀栄会所沢第一病院	本館 2 階	急性期	回復期	C	40	39	地域一般入院料 1						0.03		0.08	0.05				0.05			回復期		
西部	所沢市	病院	医療法人社団秀栄会所沢第一病院	本館 3 階	急性期	回復期	C	43	42	地域一般入院料 1	1.00							0.40	1.02							回復期		
西部	所沢市	病院	医療法人社団秀栄会所沢第一病院	南館 3 階	回復期	回復期		36	36	地域包括ケア病棟入院料 1	0.06								0.11							回復期		
西部	所沢市	病院	医療法人社団秀栄会所沢第一病院	北館 2 階	慢性期	慢性期		40	40	療養病棟入院料 1									0.03	0.03						慢性期		
西部	所沢市	病院	医療法人社団秀栄会所沢第一病院	北館 3 階	慢性期	慢性期		40	40	療養病棟入院料 1																慢性期		
西部	所沢市	病院	医療法人啓仁会所沢ロイヤル病院	1階病棟	回復期	回復期		32	31	地域包括ケア病棟入院料 2															4.47	回復期		
西部	所沢市	病院	医療法人啓仁会所沢ロイヤル病院	2階病棟	回復期	回復期		60	60	回復期ⅡⅡ（Ⅱ→Ⅲ）病棟入院料 1															0.43	回復期		
西部	所沢市	病院	医療法人啓仁会所沢ロイヤル病院	3階病棟	慢性期	慢性期		60	60	療養病棟入院料 1															0.35	慢性期		
西部	所沢市	病院	医療法人啓仁会所沢ロイヤル病院	4階病棟	慢性期	慢性期		60	60	療養病棟入院料 1										0.50					0.15	慢性期		
西部	所沢市	病院	医療法人啓仁会所沢ロイヤル病院	5階病棟	慢性期	慢性期		60	60	療養病棟入院料 1															0.23	慢性期		
西部	所沢市	病院	医療法人啓仁会所沢ロイヤル病院	6階病棟	慢性期	慢性期		60	60	療養病棟入院料 1															0.37	慢性期		
西部	所沢市	病院	埼玉西協同病院	一般病棟	急性期	回復期	C	50	38	急性期一般入院料 4								0.29	0.97					8.92	21.1	回復期		
西部	所沢市	病院	埼玉西協同病院	地域包括ケア病棟	急性期	回復期	C	49	49	地域包括ケア病棟入院料 1																1.7	回復期	
西部	所沢市	病院	医療法人社団医風会並木病院	A3病棟	急性期	急性期		43	43	急性期一般入院料 4								0.09	0.02					0.05	1.11	32.6	急性期	
西部	所沢市	病院	医療法人社団医風会並木病院	A2病棟	慢性期	慢性期		22	22	療養病棟入院料 1															0.05		慢性期	
西部	所沢市	病院	医療法人社団医風会並木病院	B1病棟	慢性期	慢性期		60	60	療養病棟入院料 1								0.50							0.05		慢性期	
西部	所沢市	病院	医療法人社団医風会並木病院	B2病棟	慢性期	慢性期		58	58	特殊疾患病棟入院料 1																	慢性期	
西部	所沢市	病院	医療法人社団和風会所沢リハビリテーション病院	2階病棟	回復期	回復期		56	56	回復期ⅡⅡ（Ⅱ→Ⅲ）病棟入院料 2																	回復期	
西部	所沢市	病院	医療法人社団和風会所沢リハビリテーション病院	N病棟	回復期	回復期		30	30	回復期ⅡⅡ（Ⅱ→Ⅲ）病棟入院料 4																	回復期	
西部	所沢市	病院	医療法人社団和風会所沢リハビリテーション病院	3階病棟	慢性期	慢性期		56	56	療養病棟入院料 2															0.54		慢性期	
西部	所沢市	病院	社会医療法人至仁会圏央所沢病院	急性期一般入院料 1 4F	急性期	高度急性期		50	50	急性期一般入院料 1	0.26				0.10	0.28			0.70				0.50	8.38	35.3		高度急性期	
西部	所沢市	病院	社会医療法人至仁会圏央所沢病院	急性期一般入院料 1 5F	急性期	急性期		50	50	急性期一般入院料 1	1.14	0.02	0.02						0.10	1.18	0.02				15.82	53.3	急性期	
西部	所沢市	病院	医療法人社団桜友会所沢ハートセンター	病棟	高度急性期	高度急性期		30	27	急性期一般入院料 4						1.30			0.26	0.04					7.35	49.9	高度急性期	
西部	所沢市	病院	医療法人社団和風会所沢中央病院	本館 3 階SCU病棟	高度急性期	高度急性期		6	6	脳卒中ⅡⅡにⅢ入高度療養管理料	1.00				0.33	0.83						6.17	1.67			61.00	83.5	高度急性期
西部	所沢市	病院	医療法人社団和風会所沢中央病院	本館 3 階病棟	急性期	高度急性期		34	34	急性期一般入院料 1	0.15				0.03				0.85	0.62					10.62	40.0	高度急性期	
西部	所沢市	病院	医療法人社団和風会所沢中央病院	本館 4 階病棟	急性期	高度急性期		40	40	急性期一般入院料 1	1.13	0.83	0.05					3.38	1.73	0.83				0.40	5.21	35.2	高度急性期	
西部	所沢市	病院	医療法人社団和風会所沢中央病院	南館 3 階病棟	急性期	急性期		40	40	急性期一般入院料 1	1.43								0.45	1.95					3.76	39.4	急性期	
西部	所沢市	病院	医療法人社団和風会所沢中央病院	南館 4 階病棟	急性期	急性期		40	40	急性期一般入院料 1							0.05		1.13	0.13				0.05	7.78	41.9	急性期	
西部	所沢市	病院	所沢肛門病院	病棟	急性期	急性期		44	44	地域一般入院料 3									0.11	3.50							急性期	
西部	所沢市	病院	明生リハビリテーション病院	2階病棟	回復期	回復期		60	60	回復期ⅡⅡ（Ⅱ→Ⅲ）病棟入院料 1																	回復期	
西部	所沢市	病院	明生リハビリテーション病院	3階病棟	回復期	回復期		60	60	回復期ⅡⅡ（Ⅱ→Ⅲ）病棟入院料 1																	回復期	
西部	飯能市	病院	飯能中央病院	第二病棟	急性期	回復期	C	60	49	地域一般入院料 3							0.04		5.10	0.06					0.22		回復期	
西部	飯能市	病院	飯能中央病院	第一病棟	急性期	不明/休床		39	0	地域一般入院料 3																	不明/休床	
西部	飯能市	病院	佐瀬病院	急性期機能病棟00	急性期	不明/休床		48	30	地域包括ケア病棟入院料 3																	不明/休床	
西部	飯能市	病院	医療法人靖和会飯能靖和病院	本館 3 階東	急性期	回復期	C	34	28	地域一般入院料 3									0.21						0.64		回復期	
西部	飯能市	病院	医療法人靖和会飯能靖和病院	本館 2 階西	回復期	回復期		46	41	回復期ⅡⅡ（Ⅱ→Ⅲ）病棟入院料 2																	回復期	
西部	飯能市	病院	医療法人靖和会飯能靖和病院	本館 3 階西	慢性期	慢性期		54	51	療養病棟入院料 1																	慢性期	
西部	飯能市	病院	医療法人靖和会飯能靖和病院	南館 1 階・3 階	慢性期	慢性期		120	87	特殊疾患病棟入院料 1															0.02		慢性期	
西部	飯能市	病院	医療法人泰一会飯能整形外科病院	一般病棟	急性期	回復期	C	57	57	地域一般入院料 3	0.42								0.40	0.67					0.02	7.26	回復期	
西部	狭山市	病院	狭山厚生病院	地域包括ケア病棟	回復期	回復期		42	42	地域包括ケア病棟入院料 1															0.10		回復期	

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準分析結果（再掲）	
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色												急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色					
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（シエプト枚）	化学療法（日数）	予定外の救急医療入院人数	一般病棟用集中療養、医療・看護の必要を満たす患者数割合		
2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%													
西部	狭山市	病院	社会医療法人人間川病院	急性期機能病棟01	急性期	急性期		48	48	急性期一般入院料 4							0.33	0.35			0.04	13.86	23.8	急性期				
西部	狭山市	病院	社会医療法人人間川病院	急性期機能病棟02	急性期	急性期		44	44	急性期一般入院料 4	1.77	0.30	0.18			0.09		2.23	2.32	0.30		0.41	12.04	46.9	急性期			
西部	狭山市	病院	社会医療法人人間川病院	急性期機能病棟03	急性期	急性期		48	48	急性期一般入院料 4							0.10	0.02			0.04	13.46	24.1	急性期				
西部	狭山市	病院	社会医療法人人間川病院	慢性期機能病棟01	慢性期	慢性期		59	59	療養病棟入院料 1						0.02		1.02	0.25			0.02	4.6	慢性期				
西部	狭山市	病院	医療法人西狭山病院	3階病棟	慢性期	回復期		41	14	地域一般入院料 3						0.14								回復期				
西部	狭山市	病院	医療法人社団グリア会前田病院	2・3階病棟	慢性期	慢性期		66	66	療養病棟入院料 1														慢性期				
西部	狭山市	病院	医療法人尚寿会狭山尚寿会病院	1階東病棟	回復期	回復期		42	42	回復期1日（91～92）療養入院料 1												0.02		回復期				
西部	狭山市	病院	医療法人尚寿会狭山尚寿会病院	3階西病棟	回復期	回復期		50	0	地域包括ケア病棟入院料 2								0.02				0.38	0.14	1.9	回復期			
西部	狭山市	病院	医療法人尚寿会狭山尚寿会病院	2階西病棟	慢性期	慢性期		48	48	療養病棟入院料 1												0.63			慢性期			
西部	狭山市	病院	医療法人尚寿会狭山尚寿会病院	2階東病棟	慢性期	慢性期		55	55	特殊疾患病棟入院料 2															慢性期			
西部	狭山市	病院	医療法人尚寿会狭山尚寿会病院	3階東病棟	慢性期	慢性期		54	54	療養病棟入院料 1								0.56				0.56			慢性期			
西部	狭山市	病院	医療法人尚寿会狭山尚寿会病院	4階西病棟	慢性期	慢性期		50	50	療養病棟入院料 1								0.60							慢性期			
西部	狭山市	病院	医療法人尚寿会狭山尚寿会病院	4階東病棟	慢性期	慢性期		54	54	療養病棟入院料 1								0.56							慢性期			
西部	狭山市	病院	医療法人社団清心会至聖病院	急性期機能病棟20	急性期	急性期		49	32	急性期一般入院料 4					0.06		0.41	0.09					8.10	25.8	急性期			
西部	狭山市	病院	医療法人社団清心会至聖病院	急性期機能病棟30	急性期	急性期		46	27	急性期一般入院料 4	0.48	0.04	0.04				0.04	0.26	0.56	0.04			10.42	37.7	急性期			
西部	狭山市	病院	医療法人社団武蔵野会狭山神経内科病院	2階病棟	慢性期	慢性期		49	48	療養病棟等10日以下入院基本料								28.44							慢性期			
西部	狭山市	病院	医療法人社団武蔵野会狭山神経内科病院	3階病棟	慢性期	慢性期		49	49	療養病棟等10日以下入院基本料								30.63	0.02			0.04			慢性期			
西部	狭山市	病院	医療法人社団武蔵野会狭山神経内科病院	4階病棟	慢性期	慢性期		49	48	療養病棟等10日以下入院基本料						0.04		31.13							慢性期			
西部	狭山市	病院	社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院	ICU	高度急性期	高度急性期		12	12	特定集中治療室管理料 1	6.25	0.08	0.25		0.17	0.25	1.33	7.67	50.17	10.17	0.08			27.67		高度急性期		
西部	狭山市	病院	社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院	CCU	高度急性期	高度急性期		10	10	ICU・ICU・ICU入院医療管理料 1	0.70				1.90	0.20	0.20	0.30	23.40	3.20				56.45		高度急性期		
西部	狭山市	病院	社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院	HCU	高度急性期	高度急性期		17	17	ICU・ICU・ICU入院医療管理料 1	1.53			0.35	0.76			0.24		6.65	2.53				53.03		高度急性期	
西部	狭山市	病院	社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院	3A病棟	急性期	急性期		44	44	急性期一般入院料 1	0.89	0.20	0.32				0.07		2.09	1.57	0.20		0.50	11.38	30.6	急性期		
西部	狭山市	病院	社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院	3B病棟	急性期	高度急性期		37	37	急性期一般入院料 1	0.32	0.05			0.14	0.05	0.03		1.84	1.32	0.05			7.84	39.6	高度急性期		
西部	狭山市	病院	社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院	3C病棟	急性期	急性期		38	38	急性期一般入院料 1	0.08				0.32		0.03		0.66	1.84				12.10	42.4	急性期		
西部	狭山市	病院	社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院	4A病棟	急性期	急性期		44	44	急性期一般入院料 1	0.18		0.05						2.18	0.82		0.09	11.72	27.2	急性期			
西部	狭山市	病院	社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院	4B病棟	急性期	回復期	C	20	20	急性期一般入院料 1	0.05				0.10				0.05	0.25			2.29	21.3	回復期			
西部	狭山市	病院	社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院	4C病棟	急性期	回復期	C	33	33	急性期一般入院料 1									0.06	0.42			1.99	19.8	回復期			
西部	狭山市	病院	社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院	4D病棟	急性期	急性期		20	20	急性期一般入院料 1									2.50	0.30			0.15	7.78	33.2	急性期		
西部	狭山市	病院	社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院	5A病棟	急性期	急性期		44	44	急性期一般入院料 1	0.07	0.05	0.36					1.39	2.36	0.05		0.30	16.93	34.8	急性期			
西部	狭山市	病院	社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院	5B病棟	急性期	高度急性期		49	49	急性期一般入院料 1	1.80	1.14	0.47					6.98	2.00	1.14		0.08	8.87	48.9	高度急性期			
西部	狭山市	病院	社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院	5C病棟	急性期	急性期		42	42	急性期一般入院料 1	1.43				0.02				1.00	3.05		0.02	5.91	52.8	急性期			
西部	狭山市	病院	社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院	5D病棟（回復期1/1）	回復期	回復期		40	40	回復期1日（91～92）療養入院料 1															回復期			
西部	入間市	病院	原田病院	B2病棟	急性期	急性期		42	40	急性期一般入院料 4	0.08						0.03		1.38	0.30			5.39	28.0	急性期			
西部	入間市	病院	原田病院	B3病棟	急性期	急性期		58	46	急性期一般入院料 4	0.04	0.04						0.22	0.28	0.04			5.25	35.2	急性期			
西部	入間市	病院	原田病院	B4病棟	回復期	回復期		62	31	回復期1日（91～92）療養入院料 1															回復期			
西部	入間市	病院	原田病院	B5病棟	回復期	回復期		35	35	回復期1日（91～92）療養入院料 1															回復期			
西部	入間市	病院	原田病院	A4病棟	慢性期	回復期		23	22	地域包括ケア病棟入院料 1									0.05				1.63		回復期			
西部	入間市	病院	医療法人明晴会西武入間病院	一般病棟	急性期	回復期	C	53	36	地域一般入院料 1							0.03		0.83	0.03			0.58	20.9	回復期			
西部	入間市	病院	医療法人明晴会西武入間病院	療養病棟	慢性期	慢性期		37	37	療養病棟入院料 1									0.24						慢性期			
西部	入間市	病院	小林病院	一般病床	急性期	回復期	C	46	43	地域包括ケア入院医療管理料 1								0.53				0.02	5.08		回復期			
西部	入間市	病院	小林病院	療養病床	慢性期	慢性期		49	43	療養病棟入院料 1															慢性期			
西部	入間市	病院	医療法人永仁会入間ハート病院	一般病床	急性期	急性期		23	23	地域包括ケア入院医療管理料 1						0.09		0.22				0.09	1.39	34.7	急性期			
西部	入間市	病院	医療法人金子病院	2階	急性期	不明/休床		40	14	地域一般入院料 2													0.71		不明/休床			

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準分析結果（再掲）	
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線１】 ※基準を満たす項目を着色												急性期・回復期の区分指標【区分線２】 ※基準を満たす項目を着色					
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚）	化学療法（日数）	手術外の救急医療入院の人数	手術室稼働率		
										2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%			
西部	入間市	病院	豊岡第一病院	3F	急性期	回復期	C	40	38	急性期一般入院料 4	1.55		0.05						1.05	1.71				3.67		回復期		
西部	入間市	病院	豊岡第一病院	4F	急性期	回復期	C	38	37	急性期一般入院料 4	1.24	0.03							1.65	1.59				3.37		回復期		
西部	入間市	病院	医療法人豊岡整形外科病院	2階病棟（胸腔鏡・腹腔鏡下手術棟）	急性期	回復期	C	30	30	増設包括ケア病棟入院料 2	0.50								0.57				0.03		回復期			
西部	入間市	病院	医療法人豊岡整形外科病院	4階病棟（急性期一般入院基本棟）	急性期	急性期		48	48	急性期一般入院料 4	1.75								0.60	1.79			0.21	3.10	40.8	急性期		
西部	入間市	病院	自衛隊入間病院	一般病棟	急性期	不明/休床		60	10	一般病棟特別入院基本料														3.79		不明/休床		
西部	日高市	病院	旭ヶ丘病院	本2A病棟	急性期	回復期	C	45	45	増設包括ケア入院医療管理料 1	0.13								2.51	0.29			0.04	8.64	17.0	回復期		
西部	日高市	病院	旭ヶ丘病院	本3病棟	回復期	回復期		37	37	回復期11区（分）への病棟入院料 1														0.05		回復期		
西部	日高市	病院	旭ヶ丘病院	本2B病棟	慢性期	慢性期		60	60	療養病棟入院料 1									1.03				0.02	0.05		慢性期		
西部	日高市	病院	武蔵台病院	一般病棟	急性期	回復期	C	52	52	急性期一般入院料 4	0.35					0.08		0.25	0.50				3.59	18.9		回復期		
西部	日高市	病院	武蔵台病院	回復期11区（分）への病棟	回復期	回復期		47	47	回復期11区（分）への病棟入院料 3																回復期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	A棟1階救命病棟	高度急性期	高度急性期		14	14	救命救急入院料 1	0.36	0.07					0.50		7.21	1.07	0.07		0.21	43.10		高度急性期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	救命救急センター-ICU	高度急性期	高度急性期		12	12	特定集中治療室管理料 2	1.17			0.67		2.58	4.67	30.33	8.83					39.72		高度急性期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	A棟3階病棟	高度急性期	不明/休床		26	26	急性期一般入院料 1	0.08			0.15		0.04	0.04	1.73	0.92			0.92	2.72	30.3	不明/休床			
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	A棟3階CCU	高度急性期	高度急性期		12	12	救命救急入院料 1	0.17			1.00		1.00	4.25	25.58	3.33					47.20		高度急性期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	A棟4階病棟	高度急性期	急性期	B	22	22	急性期一般入院料 1	0.05						0.05	6.41	0.14				1.81	45.7		急性期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	A棟4階ICU	高度急性期	高度急性期		14	14	特定集中治療室管理料 3	8.71	0.07				0.36	14.93	59.00	11.43	0.07			3.85			高度急性期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	A棟5階病棟	高度急性期	高度急性期		46	46	急性期一般入院料 1	0.11			0.13		0.09	1.43	0.59	2.65				1.93	25.9		高度急性期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	A棟6階病棟	高度急性期	回復期	A	48	47	急性期一般入院料 1	0.43		0.21		0.11			1.57	0.83			0.19	2.10	23.6		回復期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	小児心臓ICU	高度急性期	高度急性期		12	10	特定集中治療室管理料 3	2.30					0.10	2.40	30.10	2.30				1.70			高度急性期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	B棟2階病棟	高度急性期	急性期	B	26	24	小児入院医療管理料 2	0.17						3.79	2.21	4.00				0.37			急性期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	B棟3階病棟	高度急性期	回復期	A	24	24	急性期一般入院料 1							0.13	0.25	0.04			0.42	2.37	14.6		回復期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	脳卒中センター-SCU	高度急性期	高度急性期		12	12	救命救急入院料 1	0.75		0.25	0.83		0.08	0.08	11.75	2.50				99.64			高度急性期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	B棟4階病棟	高度急性期	回復期	A	28	28	急性期一般入院料 1							0.04	0.25	0.04			0.07	1.50	15.6		回復期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	B棟4階HCU	高度急性期	高度急性期		10	10	6ヶ月以上入院医療管理料 1	2.70			0.90		0.10	3.10	18.30	3.20				2.69			高度急性期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	B棟5階病棟	高度急性期	高度急性期		46	46	急性期一般入院料 1	0.04		1.26				0.15	2.07				0.07	1.17	30.1		高度急性期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	B棟6階病棟	高度急性期	急性期	B	50	50	急性期一般入院料 1	0.12		0.06				1.80	0.12			0.30	4.68	0.98	35.3		急性期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	D棟3階病棟	高度急性期	高度急性期		38	38	急性期一般入院料 1	0.37	0.21	0.21					10.76	0.45	0.21		0.45	2.99	55.1		高度急性期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	D棟4階HCU	高度急性期	高度急性期		12	12	6ヶ月以上入院医療管理料 1	17.42	9.00	8.42			0.08	1.42	34.58	18.00	9.00	0.17	0.08	3.82			高度急性期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	D棟4階病棟	高度急性期	急性期	B	21	21	急性期一般入院料 1	0.48	0.05	0.10			0.05	0.14	7.05	0.62	0.05	0.05	0.10	3.80	48.0		急性期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	D棟5階病棟	高度急性期	高度急性期		38	38	急性期一般入院料 1	0.53	0.29	0.13			0.03	0.03	8.26	0.71	0.29	0.08		3.10	39.6		高度急性期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	D棟6階病棟	高度急性期	急性期	B	38	38	急性期一般入院料 1	0.24	0.24	0.13			0.03		7.50	0.24	0.24	0.05	3.34	2.07	35.0		急性期		
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	E棟3階病棟	高度急性期	高度急性期		38	38	急性期一般入院料 1	0.37	0.05	0.50				3.39	1.05	0.05	0.08	1.61	3.67	35.8		高度急性期			
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	E棟4階病棟	高度急性期	高度急性期		39	39	急性期一般入院料 1	0.87		0.51				5.49	1.38		0.28	1.21	1.56	43.7		高度急性期			
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	E棟5階病棟	高度急性期	急性期	B	40	40	急性期一般入院料 1	1.53	0.05	0.73				4.15	1.65	0.05	0.15	1.03	3.59	43.2		急性期			
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	E棟6階無菌室	高度急性期	急性期	B	36	36	急性期一般入院料 1							0.03	0.08			5.00	0.72	41.1		急性期			
西部	日高市	病院	埼玉医科大学国際医療センター	F棟4階病棟	高度急性期	急性期	B	56	56	急性期一般入院料 1		0.02					0.63	0.09		0.52	4.11	3.17	29.6		急性期			
西部	所沢市	病院	独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院		高度急性期	不明/休床		16	0	手術室稼働率（上記7の手術室稼働率）と上記1の手術室稼働率との差の絶対値																不明/休床		
西部	所沢市	病院	独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院	NICU	高度急性期	不明/休床		9	4	手術室稼働率（上記7の手術室稼働率）と上記1の手術室稼働率との差の絶対値						0.75		10.75	0.25				28.92		不明/休床			
西部	所沢市	病院	独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院	ハイケア	高度急性期	高度急性期		4	4	6ヶ月以上入院医療管理料 1	1.50		0.25		0.25	0.25	2.25	10.00	4.75				28.42			高度急性期		
西部	所沢市	病院	独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院	2階病棟	急性期	急性期		47	47	急性期一般入院料 1	0.32	0.06	0.02				0.62	0.81	0.06		0.26	7.45	42.3		急性期			
西部	所沢市	病院	独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院	3階病棟	急性期	回復期	C	50	48	急性期一般入院料 1	0.42						0.21	0.52			3.68	23.0			回復期			
西部	所沢市	病院	独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院	4階病棟	急性期	回復期	C	46	40	急性期一般入院料 1	0.25	0.03	0.13		0.13		0.23	0.65	0.03		0.35	8.70	25.7		回復期			
西部	所沢市	病院	独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院	5階病棟	急性期	高度急性期		50	41	急性期一般入院料 1	1.41					0.02	0.02		0.15	1.59		0.12	18.39	30.8		高度急性期		

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年 7月 1日時点の機能 報告	定量基準 分析結果	差異の パターン ※	病床数 (一般＋ 療養)	最大使用 病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準 分析結果 (再掲)	
										入院基本科・特定入院科	高度急性期・急性期の区分指標【区分線 1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線 2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔 下手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	悪性腫瘍 手術	超急性期 脳卒中加 算	脳血管内 手術	経皮的冠 動脈形成 術	救急搬送 診療料	救急医療 に係る諸 項目	重症患者 の対応に係 る諸項目	全身管理への 対応に係る諸 項目	手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	放射線治 療（レセ プト枚）	化学療法 （日数）	予定外の救 急医療入院 の人数	一般診療用の重 症度、重症・希 少症の割合		
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%		
西部	所沢市	病院	独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院	6階病棟	急性期	急性期		50	46	急性期一般入院科 1	0.72	0.43	0.13						2.22	1.52	0.43		0.57	7.24	33.0	急性期		
西部	所沢市	病院	独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院	7階病棟	休職中（今後再開）	不明/休床		50	9	小児入院医療管理科 4														1.11	25.9	不明/休床		
西部	所沢市	病院	防衛医科大学校病院	集中治療室	高度急性期	高度急性期		8	7	特定集中治療室管理科 3	10.86	2.43	1.86		0.57	0.29		0.71	4.71	31.86	12.71	2.43			1.85		高度急性期	
西部	所沢市	病院	防衛医科大学校病院	東 4 階	急性期	急性期		41	31	小児入院医療管理科 2	1.90	0.58	0.19				0.06		2.00	2.55	0.58				2.48		急性期	
西部	所沢市	病院	防衛医科大学校病院	東 6 階	急性期	急性期		26	18	小児入院医療管理科 2	0.33								0.06	0.33					0.55		急性期	
西部	所沢市	病院	防衛医科大学校病院	東 8 階	急性期	急性期		54	42	特定集中治療室一般病棟 7 対 1 入院基本科	1.10	0.14	0.29				0.02	0.10	3.24	1.64	0.14	0.05	1.02	6.60		急性期		
西部	所沢市	病院	防衛医科大学校病院	東 9 階	急性期	高度急性期		54	45	特定集中治療室一般病棟 7 対 1 入院基本科	1.20	0.51	0.49						8.02	1.62	0.51	0.11	1.16	2.68		高度急性期		
西部	所沢市	病院	防衛医科大学校病院	東 1 0 階	急性期	回復期	C	54	41	特定集中治療室一般病棟 7 対 1 入院基本科	0.10	0.02	0.02			0.15	0.02		3.32	0.76	0.02	0.02	0.17	2.53		回復期		
西部	所沢市	病院	防衛医科大学校病院	東 1 1 階	急性期	急性期		48	44	特定集中治療室一般病棟 7 対 1 入院基本科	0.18	0.02	0.41					0.02	2.95	2.20	0.02	0.02	0.55	2.54		急性期		
西部	所沢市	病院	防衛医科大学校病院	東 1 2 階	急性期	急性期		48	47	特定集中治療室一般病棟 7 対 1 入院基本科	1.81		0.34				0.02		3.96	2.30		0.04	1.19	0.95		急性期		
西部	所沢市	病院	防衛医科大学校病院	救急センター	高度急性期	高度急性期		4	4	救命救急入院科 2	2.00						5.25		35.50	5.00				37.65		高度急性期		
西部	所沢市	病院	防衛医科大学校病院	西 5 階	急性期	急性期		45	43	特定集中治療室一般病棟 7 対 1 入院基本科	1.51		0.16						1.14	3.88		0.21	0.51	1.30		急性期		
西部	所沢市	病院	防衛医科大学校病院	西 8 階	急性期	急性期		45	38	特定集中治療室一般病棟 7 対 1 入院基本科	0.18	0.03							1.71	0.29	0.03		3.29	1.42		急性期		
西部	所沢市	病院	防衛医科大学校病院		急性期	不明/休床		43	0	無回答																	不明/休床	
西部	所沢市	病院	国立障害者リハビリテーションセンター病院	3 階西病棟	回復期	慢性期		40	17	障害者施設等 10 対 1 入院基本科																	慢性期	
西部	所沢市	病院	国立障害者リハビリテーションセンター病院	3 階東病棟	回復期	慢性期		40	19	障害者施設等 10 対 1 入院基本科										0.05							慢性期	
西部	所沢市	病院	国立障害者リハビリテーションセンター病院	4 階東病棟	回復期	不明/休床		40	15	地域一般入院科 3																	不明/休床	
西部	所沢市	病院	国立障害者リハビリテーションセンター病院		休職中（今後再開）	不明/休床		40	0	地域一般入院科 3																	不明/休床	
西部	所沢市	病院	社会医療法人社団埼玉巨樹の会所沢美原総合病院	ICU	急性期	高度急性期		8	8	特定集中治療室管理科 3														43.38		高度急性期		
西部	所沢市	病院	社会医療法人社団埼玉巨樹の会所沢美原総合病院	HCU	急性期	高度急性期		16	16	47721 入院医療管理科 1														69.56		高度急性期		
西部	所沢市	病院	社会医療法人社団埼玉巨樹の会所沢美原総合病院	4階病棟	急性期	急性期		50	50	急性期一般入院科 1														10.53	34.0	急性期		
西部	所沢市	病院	社会医療法人社団埼玉巨樹の会所沢美原総合病院	5階病棟	急性期	急性期		50	50	急性期一般入院科 1														15.14	33.8	急性期		
西部	所沢市	病院	社会医療法人社団埼玉巨樹の会所沢美原総合病院	6階病棟	急性期	急性期		49	49	急性期一般入院科 1														14.78	38.1	急性期		
西部	所沢市	病院	社会医療法人社団埼玉巨樹の会所沢美原総合病院	7階病棟	急性期	急性期		48	48	急性期一般入院科 1														15.46	40.9	急性期		
西部	所沢市	診療所	峰の坂産婦人科		急性期	急性期		10	10	有床診療所入院基本科										1.50							急性期	
西部	所沢市	診療所	医療法人社団和栄会所沢腎クリニック		急性期	不明/休床		19	19	有床診療所入院基本科																	不明/休床	
西部	所沢市	診療所	所沢呼吸器科クリニック		急性期	不明/休床		8	8	有床診療所入院基本科																	不明/休床	
西部	所沢市	診療所	さくらレディースクリニック		急性期	急性期		5	5	有床診療所入院基本科											4.40						急性期	
西部	所沢市	診療所	松田母子クリニック		急性期	急性期		19	19	有床診療所入院基本科											2.11						急性期	
西部	飯能市	診療所	医療法人河井会 飯能クリニック		休職中（今後再開）	不明/休床		17	0	小児病棟 2 及び小児看護課 上の入院科の開設なし																	不明/休床	
西部	飯能市	診療所	飯能産婦人科医院		急性期	急性期		15	9	有床診療所入院基本科										1.11							急性期	
西部	飯能市	診療所	飯能市東吾野医療介護センター診療所		回復期	回復期		19	19	有床診療所入院基本科													0.32				回復期	
西部	狭山市	診療所	医療法人恵秀会奥平産婦人科		急性期	急性期		12	12	有床診療所入院基本科										0.58							急性期	
西部	狭山市	診療所	櫻澤医院		休職中（今後廃止）	不明/休床		11	0	小児病棟 2 及び小児看護課 上の入院科の開設なし																	不明/休床	
西部	狭山市	診療所	さやま産婦人科		急性期	急性期		19	19	有床診療所入院基本科										0.32							急性期	
西部	狭山市	診療所	医療法人社団東京石心会 さやま地域ケアクリニック		回復期	回復期		19	19	有床診療所入院基本科							0.05										回復期	
西部	狭山市	診療所	医療法人社団匡恕会 梶田医院狭山		急性期	回復期	C	19	19	有床診療所入院基本科									0.74	0.16							回復期	
西部	入間市	診療所	吉田産科婦人科医院		急性期	急性期		19	4	有床診療所入院基本科										1.50							急性期	
西部	入間市	診療所	医療法人社団仁友会入間台クリニック		休職中（今後廃止）	不明/休床		19	0	小児病棟 2 及び小児看護課 上の入院科の開設なし																	不明/休床	
西部	入間市	診療所	医療法人社団小室医院		休職中（今後再開）	不明/休床		11	0	小児病棟 2 及び小児看護課 上の入院科の開設なし																	不明/休床	
西部	入間市	診療所	メディカルパーク入間		急性期	急性期		15	15	有床診療所入院基本科																	急性期	
西部	日高市	診療所	医療法人社団輔正会岡村記念クリニック		急性期	不明/休床		19	19	有床診療所入院基本科																	不明/休床	
利根	白岡市	病院	医療法人社団哺育会白岡中央総合病院	2 A 病棟	急性期	高度急性期		53	53	急性期一般入院科 1	0.42	0.17	0.04				0.13		1.30	0.89	0.17		0.30	15.34	33.2	高度急性期		

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年 7月 1日時点の機能 報告	定量基準 分析結果	差異の パターン ※	病床数 (一般＋ 療養)	最大使用 病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準 分析結果 (再掲)	
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線 1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線 2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔 下手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	悪性腫瘍 手術	超急性期 脳卒中加 算	脳血管内 手術	経皮的冠 動脈形成 術	救急搬送 診療料	救急医療 に係る諸 項目	重症患者 の対応に係 る諸項目	全身管理への 対応に係る諸 項目	手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	放射線治 療（レセ プト枚）	化学療法 （日数）	予定外の救 急医療入院 の人数	一般病床中の重 症度、重症・希 少症を要した 患者割合		
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%		
利根	白岡市	病院	医療法人社団哺育会白岡中央総合病院	3 A病棟	急性期	高度急性期		56	56	急性期一般入院料 1						0.18			0.20	0.09			0.04	18.98	35.3	高度急性期		
利根	白岡市	病院	医療法人社団哺育会白岡中央総合病院	4 A病棟	急性期	高度急性期		39	39	急性期一般入院料 1	1.23					0.05			0.41	1.33				7.65	36.8	高度急性期		
利根	白岡市	病院	医療法人社団哺育会白岡中央総合病院	5 A病棟	回復期	回復期		41	41	回復期別注「9」-②病棟入院料 1													0.02	0.10		回復期		
利根	白岡市	病院	医療法人社団哺育会白岡中央総合病院	2 B病棟	回復期	回復期		14	14	地域包括ケア病棟入院料 2										1.07				0.07		回復期		
利根	白岡市	病院	医療法人社団哺育会白岡中央総合病院	3 B病棟	慢性期	慢性期		53	53	療養病棟等10対 1 入院基本料 6									1.17	0.11						慢性期		
利根	白岡市	病院	医療法人双鳳会山王クリニック	第一病棟	急性期	急性期		60	41	急性期一般入院料 6										1.93				0.15		急性期		
利根	白岡市	病院	医療法人ひかり会パーク病院	2 病棟	回復期	回復期		30	30	地域一般入院料 3										0.97						回復期		
利根	白岡市	病院	医療法人ひかり会パーク病院	3 病棟	慢性期	慢性期		40	40	療養病棟入院料 1																慢性期		
利根	久喜市	病院	蓮江病院	2階病棟	急性期	回復期	C	65	53	急性期一般入院料 6	0.13								0.02	0.28				1.03	15.0	回復期		
利根	久喜市	病院	新井病院	3 階病棟	急性期	急性期		55	47	急性期一般入院料 4	0.15	0.13	0.02						0.70	0.34	0.13		0.51	2.78	19.6	急性期		
利根	久喜市	病院	新井病院	4 階病棟	急性期	回復期	C	44	39	急性期一般入院料 4	0.05	0.03							0.26	0.13	0.03		0.33	1.51	14.7	回復期		
利根	久喜市	病院	医療法人土屋小児病院	一般病棟	急性期	急性期		40	35	小児入院医療管理料 2														3.93		急性期		
利根	久喜市	病院	新久喜総合病院	3東HCU	高度急性期	高度急性期		4	4	小付72:24入院医療管理料 1														11.47		高度急性期		
利根	久喜市	病院	新久喜総合病院	3階東病棟	高度急性期	急性期	B	49	49	急性期一般入院料 1	0.02	0.02			0.39		0.10	0.02	1.00	0.98	0.02		0.18	13.09	30.7	急性期		
利根	久喜市	病院	新久喜総合病院	3階西病棟	高度急性期	急性期	B	55	55	急性期一般入院料 1	0.49	0.16	0.25					0.05	0.15	0.65	0.16	0.02	0.02	13.07	30.9	急性期		
利根	久喜市	病院	新久喜総合病院	4階東病棟	高度急性期	急性期	B	57	57	急性期一般入院料 1	0.58	0.46	0.04						3.26	1.70	0.46	0.02	0.19	18.37	37.0	急性期		
利根	久喜市	病院	新久喜総合病院	4階西病棟	高度急性期	急性期	B	56	56	急性期一般入院料 1	0.80		0.04						0.21	1.71		0.02	0.05	16.03	41.7	急性期		
利根	久喜市	病院	新久喜総合病院	ICU	高度急性期	高度急性期		16	16	特定集中治療室管理料 2	4.19	0.19	0.25		0.19	0.38		1.00	5.00	20.94	5.88	0.19		33.41		高度急性期		
利根	久喜市	病院	新久喜総合病院	HCU	高度急性期	高度急性期		16	16	小付72:24入院医療管理料 1	1.69	0.69	0.38	0.06				0.19	7.88	2.81	0.69			49.49		高度急性期		
利根	久喜市	病院	新久喜総合病院	3階N病棟	高度急性期	急性期	B	40	40	急性期一般入院料 1	0.85	0.20	0.25						2.95	0.95	0.20		0.38	17.15	37.5	急性期		
利根	久喜市	病院	新久喜総合病院	5階東病棟	回復期	回復期		49	49	回復期別注「9」-②病棟入院料 1																回復期		
利根	久喜市	病院	新久喜総合病院	5階西病棟	回復期	回復期		49	49	回復期別注「9」-②病棟入院料 1																回復期		
利根	久喜市	病院	東鷲宮病院	3階南病棟（一般病棟）	急性期	急性期		48	48	地域包括医療病棟入院料	0.44	0.02						0.04		0.50	0.92	0.02		0.08	6.40	34.5	急性期	
利根	久喜市	病院	東鷲宮病院	3階北病棟（一般病棟）	急性期	急性期		47	47	急性期一般入院料 6									0.26	0.38				4.43	30.1	急性期		
利根	久喜市	病院	東鷲宮病院	4階東病棟（地域包括ケア病棟）	回復期	回復期		32	32	回復期別注「9」-②病棟入院料 4													0.03			回復期		
利根	久喜市	病院	東鷲宮病院	4階北病棟（地域包括ケア病棟）	慢性期	慢性期		72	36	地域包括ケア病棟入院料 1										0.03			0.03	0.06	1.3	回復期		
利根	久喜市	病院	栗橋病院	3階東病棟	慢性期	慢性期		60	53	療養病棟入院料 1														23.76		慢性期		
利根	久喜市	病院	栗橋病院	4階東病棟	慢性期	慢性期		60	0	療養病棟入院料 1																慢性期		
利根	久喜市	病院	栗橋病院	本館3・4階病棟	慢性期	慢性期		54	0	療養病棟入院料 1																慢性期		
利根	久喜市	病院	栗橋病院	一般病棟	回復期	不明/休床		20	0	無回答																不明/休床		
利根	杉戸町	病院	医療法人今井病院	療養病棟	慢性期	慢性期		37	33	療養病棟入院料 1																慢性期		
利根	加須市	病院	駒西病院	病棟	急性期	回復期	C	80	55	地域一般入院料 2	0.11	0.02							0.62	0.33	0.02		0.22			回復期		
利根	行田市	病院	社会医療法人社幸会行田総合病院	H C U	高度急性期	高度急性期		10	10	小付72:24入院医療管理料 1	4.60	2.30	1.70		0.30	0.70	0.10	0.60	2.50	12.70	8.70	2.30		0.10	38.00		高度急性期	
利根	行田市	病院	社会医療法人社幸会行田総合病院	2 階南病棟	急性期	急性期		50	40	急性期一般入院料 1	0.45	0.08	0.30						0.93	1.88	0.08		0.43	2.12	40.6	急性期		
利根	行田市	病院	社会医療法人社幸会行田総合病院	3 階南病棟	急性期	高度急性期		48	40	急性期一般入院料 1	0.78	0.63	0.25						1.90	2.13	0.63		0.10	5.88	42.4	高度急性期		
利根	行田市	病院	社会医療法人社幸会行田総合病院	4 階南病棟	急性期	急性期		60	40	急性期一般入院料 1									0.03	0.08				5.48	32.8	急性期		
利根	行田市	病院	社会医療法人社幸会行田総合病院	2 階新南病棟	急性期	高度急性期		49	40	急性期一般入院料 1	0.18				0.03				1.33	0.33			0.03	5.29	32.6	高度急性期		
利根	行田市	病院	社会医療法人社幸会行田総合病院	3 階新南病棟	急性期	急性期		48	40	急性期一般入院料 1						0.40		0.03	0.25	0.80			0.10	8.48	35.3	急性期		
利根	行田市	病院	社会医療法人社幸会行田総合病院	救急病棟	急性期	急性期		45	36	急性期一般入院料 1	0.64								1.14	1.00			0.17	10.86	50.8	急性期		
利根	行田市	病院	社会医療法人社幸会行田総合病院	3 階東病棟	回復期	回復期		45	45	回復期別注「9」-②病棟入院料 1																回復期		
利根	行田市	病院	社会医療法人社幸会行田総合病院	2 階西病棟	回復期	回復期		51	51	地域包括ケア病棟入院料 2													0.02		0.9	回復期		
利根	行田市	病院	社会医療法人社幸会行田総合病院	3 階新西病棟	回復期	回復期		44	44	回復期別注「9」-②病棟入院料 1																回復期		
利根	行田市	病院	社会医療法人社幸会行田総合病院	2 階東病棟	慢性期	慢性期		54	54	療養病棟入院料 1									0.22							慢性期		

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年 7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準分析結果（再掲）	
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚）	化学療法（日数）	予定外の救急医療入院の人数	一般病棟用の療養室、病棟、看護必要度を満たす看護割合		
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%		
利根	行田市	病院	行田中央総合病院	第一病棟	急性期	急性期		54	42	急性期一般入院料 4	0.60	0.10							2.00	1.36	0.10		0.26	9.62	29.8	急性期		
利根	行田市	病院	行田中央総合病院	第二病棟	急性期	回復期	C	46	40	急性期一般入院料 4									0.18					5.93	25.7	回復期		
利根	行田市	病院	行田中央総合病院	療養病棟	慢性期	慢性期		60	60	療養病棟入院料 1										0.05					4.0	慢性期		
利根	加須市	病院	医療法人社団弘人会中田病院	2階病棟	急性期	急性期		57	53	急性期一般入院料 4	1.15								0.45	1.25				8.00	33.0	急性期		
利根	加須市	病院	医療法人社団弘人会中田病院	3階病棟	回復期	回復期		60	58	回復期Ⅱ（Ⅱ→Ⅲ）病棟入院料 1																回復期		
利根	加須市	病院	医療法人十善病院	2階一般病棟	急性期	回復期	C	36	34	地域一般入院料 1									0.26	0.03			0.03	9.74	17.3	回復期		
利根	加須市	病院	医療法人社団生彩会加須東病院	2階病棟	慢性期	慢性期		46	46	療養病棟入院料 1																慢性期		
利根	加須市	病院	医療法人社団生彩会加須東病院	3階病棟	慢性期	慢性期		43	43	療養病棟入院料 1									0.14					0.02		慢性期		
利根	加須市	病院	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会加須病院	ICU	高度急性期	高度急性期		8	8	救命救急入院料 1	0.75		0.13	0.25	0.63		3.25	0.88	18.25	3.75				80.53		高度急性期		
利根	加須市	病院	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会加須病院	HCU	高度急性期	高度急性期		12	12	救命救急入院医療管理料 1	1.50	0.42	0.25	0.25	0.67	0.17		0.58		10.00	3.08	0.42			61.91		高度急性期	
利根	加須市	病院	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会加須病院	4 階西病棟	急性期	回復期	C	48	48	急性期一般入院料 1	0.02								0.83	0.10				5.17	20.0	回復期		
利根	加須市	病院	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会加須病院	4 階東病棟	急性期	急性期		48	48	急性期一般入院料 1	0.54						0.02		0.58	0.77			0.02	9.74	31.8	急性期		
利根	加須市	病院	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会加須病院	5 階西病棟	急性期	急性期		47	47	急性期一般入院料 1									0.34	0.23			0.17	11.18	32.2	急性期		
利根	加須市	病院	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会加須病院	5 階東病棟	急性期	急性期		48	48	急性期一般入院料 1					0.31		0.02		0.56	1.29				11.24	36.4	急性期		
利根	加須市	病院	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会加須病院	6 階西病棟	急性期	高度急性期		46	46	急性期一般入院料 1	1.33	0.52	0.33						5.70	1.80	0.52		0.54	8.89	44.1	高度急性期		
利根	加須市	病院	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会加須病院	6 階東病棟	急性期	急性期		47	47	急性期一般入院料 1			0.02						1.77	0.91			0.81	15.07	35.1	急性期		
利根	羽生市	病院	栗原眼科病院	眼科	急性期	急性期		45	26	地域一般入院料 3										7.92						急性期		
利根	羽生市	病院	医療法人徳洲会 羽生総合病院	ICU	高度急性期	高度急性期		12	12	特定集中治療室管理料 3	4.75	0.92	0.58			0.08		1.58	0.08	20.75	6.42	0.92		0.17	0.33		高度急性期	
利根	羽生市	病院	医療法人徳洲会 羽生総合病院	HCU	高度急性期	高度急性期		24	24	救命救急入院医療管理料 1	0.04					0.04			0.50	0.17				2.29		高度急性期		
利根	羽生市	病院	医療法人徳洲会 羽生総合病院	4階北病棟	急性期	急性期		60	60	急性期一般入院料 1	0.57		0.10						5.05	0.92		0.05	0.18	0.61	34.4	急性期		
利根	羽生市	病院	医療法人徳洲会 羽生総合病院	4階南病棟	急性期	急性期		33	33	急性期一般入院料 1	0.48								1.48	0.94		0.03	0.06	6.07	37.5	急性期		
利根	羽生市	病院	医療法人徳洲会 羽生総合病院	5階北病棟	急性期	急性期		60	60	急性期一般入院料 1	0.03				0.03		0.02		1.08	0.17			0.43	29.3	急性期			
利根	羽生市	病院	医療法人徳洲会 羽生総合病院	5階南病棟	急性期	回復期	C	60	60	急性期一般入院料 1	0.02								0.05	0.18			0.20	0.38	23.8	回復期		
利根	羽生市	病院	医療法人徳洲会 羽生総合病院	6階北病棟	急性期	急性期		60	60	急性期一般入院料 1	0.48								0.32	0.85		0.02	0.03	0.43	40.3	急性期		
利根	羽生市	病院	医療法人徳洲会 羽生総合病院	感染症棟 1	休職中（今後廃止）	不明/休床		14	14	無回答																不明/休床		
利根	羽生市	病院	医療法人徳洲会 羽生総合病院		回復期	高度急性期		40	0	特定集中治療室管理料 5																高度急性期		
利根	羽生市	病院	医療法人徳洲会 羽生総合病院	3階西病棟	慢性期	慢性期		40	0	療養看護等10時1入院基本料																慢性期		
利根	羽生市	病院	医療法人徳洲会 羽生総合病院	3階南病棟	慢性期	慢性期		14	14	緩和ケア病棟入院料 1														0.93		慢性期		
利根	蓮田市	病院	蓮田病院	2 階病棟	急性期	回復期	C	57	28	急性期一般入院料 4									0.04	0.50			0.14	9.05	15.9	回復期		
利根	蓮田市	病院	蓮田病院	B 3 病棟	急性期	回復期	C	56	37	急性期一般入院料 4										0.65			0.22	6.66	15.3	回復期		
利根	蓮田市	病院	蓮田病院	B 4 病棟	急性期	急性期		56	38	急性期一般入院料 4	1.47								0.47	1.87				3.28	37.3	急性期		
利根	蓮田市	病院	蓮田病院	C 4 病棟	急性期	急性期		42	26	急性期一般入院料 4	0.92	0.31	0.12						3.46	1.46	0.31		0.85	7.71	29.3	急性期		
利根	蓮田市	病院	蓮田病院	C 6 病棟	回復期	回復期		31	30	地域包括ケア入院医療管理料 2										0.27			0.10		3.8	回復期		
利根	蓮田市	病院	蓮田病院	C 3 病棟	回復期	回復期		39	30	地域包括ケア病棟入院料 2	0.17	0.07							0.10	0.37	0.07		0.10	0.17	7.5	回復期		
利根	蓮田市	病院	蓮田病院	A 3 病棟	慢性期	慢性期		40	40	療養病棟入院料 1										0.25						慢性期		
利根	蓮田市	病院	蓮田病院	C 5 病棟	慢性期	慢性期		32	29	療養病棟入院料 1									0.14			0.07				慢性期		
利根	蓮田市	病院	医療法人社団愛友会蓮田一心会病院	A病棟	慢性期	慢性期		50	50	療養看護等10時1入院基本料									0.14					0.20		慢性期		
利根	幸手市	病院	牛村病院	一般病棟	急性期	不明/休床		25	0	一般病棟特別入院基本料																不明/休床		
利根	幸手市	病院	医療法人幸仁会堀中病院	3階病棟	回復期	回復期		48	48	地域一般入院料 3									0.85				0.17			回復期		
利根	幸手市	病院	医療法人幸仁会堀中病院	4階病棟	慢性期	不明/休床		47	47	無回答																不明/休床		
利根	幸手市	病院	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス東埼玉総合病院	3東病棟脳卒中ケアユニット	高度急性期	高度急性期		6	6	脳卒中ケア入院医療管理料	0.33		0.17	0.33			0.17		0.33	1.00				7.48	47.5	高度急性期		
利根	幸手市	病院	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス東埼玉総合病院	2西病棟	急性期	回復期	C	33	33	急性期一般入院料 1					0.27				0.09	0.61				3.87	22.3	回復期		
利根	幸手市	病院	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス東埼玉総合病院	3東病棟	急性期	回復期	C	34	34	急性期一般入院料 1	0.09						0.03		0.15	0.32				3.34	20.7	回復期		

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																		定量基準分析結果（再掲）
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚）	化学療法（日数）	予定外の救急医療入院の人数	一般診療用の費用（医療・看護必要費を減した差額割合）		
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%		
利根	幸手市	病院	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス東埼玉総合病院	3西病棟	急性期	高度急性期		39	39	急性期一般入院料 1	1.00	0.51	0.36						1.90	2.41	0.51		0.18	3.50	41.2	高度急性期		
利根	幸手市	病院	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス東埼玉総合病院	4西病棟	急性期	急性期		35	35	急性期一般入院料 1	0.86								0.77	1.77				1.31	33.2	急性期		
利根	幸手市	病院	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス東埼玉総合病院	4東病棟	回復期	回復期		42	42	地域包括ケア病棟入院料 1										0.40			0.10	0.57	2.8	回復期		
利根	蓮田市	病院	独立行政法人国立病院機構東埼玉病院	5 階病棟	急性期	回復期	C	50	31	急性期一般入院料 5	0.10	0.10	0.03						1.00	0.10	0.10		0.32	1.00	15.1	回復期		
利根	蓮田市	病院	独立行政法人国立病院機構東埼玉病院	4 階病棟	回復期	回復期		50	43	回復期I（1）「リ→リ」病棟入院料 2																回復期		
利根	蓮田市	病院	独立行政法人国立病院機構東埼玉病院	1 階病棟	慢性期	慢性期		50	35	療養病棟等 7 対 1 入院基本料									9.29	0.03				0.46		慢性期		
利根	蓮田市	病院	独立行政法人国立病院機構東埼玉病院	2 階南病棟	慢性期	慢性期		60	53	療養病棟等 7 対 1 入院基本料									18.11							慢性期		
利根	蓮田市	病院	独立行政法人国立病院機構東埼玉病院	2 階北病棟	慢性期	慢性期		60	52	療養病棟等 7 対 1 入院基本料									22.87							慢性期		
利根	蓮田市	病院	独立行政法人国立病院機構東埼玉病院	3 階南病棟	慢性期	慢性期		50	43	療養病棟等 7 対 1 入院基本料																慢性期		
利根	蓮田市	病院	独立行政法人国立病院機構東埼玉病院	3 階北病棟	慢性期	慢性期		50	35	療養病棟等 7 対 1 入院基本料																慢性期		
利根	蓮田市	病院	独立行政法人国立病院機構東埼玉病院		休職中（今後再開）	不明/休床		52	0	無回答																不明/休床		
利根	蓮田市	病院	独立行政法人国立病院機構東埼玉病院		休職中（今後再開）	不明/休床		30	0	無回答																不明/休床		
利根	宮代町	診療所	医療法人社団寛芳会土屋眼科		急性期	不明/休床		5	1	有床診療所入院基本料																不明/休床		
利根	宮代町	診療所	公設宮代福祉医療センター診療所六花		慢性期	回復期		19	9	有床診療所入院基本料									0.33							回復期		
利根	久喜市	診療所	宮嶋整形外科		休職中（今後再開）	不明/休床		0	0	有床診療所入院基本料																不明/休床		
利根	久喜市	診療所	久喜メディカルクリニック		急性期	不明/休床		19	19	有床診療所入院基本料																不明/休床		
利根	久喜市	診療所	しらさきクリニック		高度急性期	高度急性期		19	19	有床診療所入院基本料				2.37					0.05	4.00						高度急性期		
利根	杉戸町	診療所	医療法人社団廣和会埼玉杉戸診療所		急性期	不明/休床		19	19	有床診療所入院基本料																不明/休床		
利根	行田市	診療所	石井クリニック		回復期	回復期		19	15	有床診療所入院基本料	0.93								0.33	0.93						回復期		
利根	加須市	診療所	医療法人社団スピカレディスクリニック		急性期	急性期		10	10	有床診療所入院基本料										0.80						急性期		
利根	加須市	診療所	医療法人 E M S 西山救急クリニック		急性期	不明/休床		10	0	有床診療所入院基本料																不明/休床		
利根	羽生市	診療所	医療法人櫻橋会富田脳外科クリニック		急性期	不明/休床		19	0	有床診療所入院基本料																不明/休床		
利根	羽生市	診療所	医療法人神山クリニック		休職中（今後廃止）	不明/休床		5	0	療養病棟 2 対 1 看護職員以上の医師の配置なし																不明/休床		
利根	羽生市	診療所	中村レディスクリニック		急性期	急性期		19	19	有床診療所入院基本料									0.05	0.47						急性期		
利根	蓮田市	診療所	医療法人心喜会蓮田外科		急性期	回復期	C	19	8	有床診療所入院基本料									1.00	0.25						回復期		
利根	蓮田市	診療所	成田レディスクリニック		急性期	不明/休床		19	19	療養病棟 2 対 1 看護職員以上の医師の配置なし										1.26						不明/休床		
利根	蓮田市	診療所	蓮田整形外科		急性期	回復期	C	5	5	有床診療所入院基本料	1.20									1.60						回復期		
利根	幸手市	診療所	石塚医院		休職中（今後廃止）	不明/休床		19	0	療養病棟 2 対 1 看護職員以上の医師の配置なし																不明/休床		
利根	幸手市	診療所	医療法人社団ワイズレディスクリニック		急性期	急性期		19	15	有床診療所入院基本料										1.13						急性期		
北部	熊谷市	病院	埼玉慈恵病院	3階病棟	急性期	急性期		50	50	急性期一般入院料 1	1.22	0.30	0.18						0.60	2.10	0.30		0.14	3.89	44.8	急性期		
北部	熊谷市	病院	埼玉慈恵病院	5階病棟	急性期	回復期	C	60	60	急性期一般入院料 1	0.20								0.65	0.78				6.67	20.5	回復期		
北部	熊谷市	病院	埼玉慈恵病院	4階病棟	回復期	回復期		50	50	地域包括ケア病棟入院料 1			0.02							0.12				0.62		回復期		
北部	熊谷市	病院	藤間病院	第 1 病棟	急性期	急性期		55	38	急性期一般入院料 6	0.34		0.08					0.03	0.05	1.00			0.39		59.5	急性期		
北部	熊谷市	病院	藤間病院	第 2 病棟	休職中（今後再開）	不明/休床		51	0	急性期一般入院料 6																不明/休床		
北部	熊谷市	病院	医療法人啓清会関東脳神経外科病院	3病棟	急性期	回復期	C	50	50	急性期一般入院料 4	0.32							0.04		0.72	0.60		0.06	0.04	2.73	26.6	回復期	
北部	熊谷市	病院	医療法人啓清会関東脳神経外科病院	2病棟	急性期	回復期	C	51	51	急性期一般入院料 4										0.45	0.06		0.06	0.04	3.44	3.4	回復期	
北部	熊谷市	病院	医療法人啓清会関東脳神経外科病院	5病棟	回復期	回復期		48	48	回復期I（1）「リ→リ」病棟入院料 3																回復期		
北部	熊谷市	病院	熊谷福島病院	第一病棟	慢性期	慢性期		34	34	療養病棟入院料 1																慢性期		
北部	熊谷市	病院	熊谷福島病院	第二病棟	慢性期	慢性期		59	59	療養病棟入院料 1																慢性期		
北部	熊谷市	病院	熊谷外科病院	5階病棟	急性期	急性期		48	48	地域包括医療病棟入院料	0.23	0.10	0.02					0.17		1.60	0.92	0.10		0.27	6.88	32.8	急性期	
北部	熊谷市	病院	熊谷外科病院	3階病棟	急性期	回復期	C	58	58	地域包括ケア病棟入院料 1	0.10										0.28				2.51		回復期	
北部	熊谷市	病院	熊谷外科病院	4階病棟	急性期	回復期	C	48	48	地域包括ケア病棟入院料 1	0.06		0.04								0.58				2.76		回復期	
北部	熊谷市	病院	熊谷生協病院	3階病棟	回復期	回復期		50	49	地域包括ケア市民医療管理科 1										0.20				0.04	1.02	13.8	回復期	

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																		定量基準分析結果（再掲）
										入院基本科・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚）	化学療法（日数）	予定外の救急医療入院の人数	一般病棟用の療養室、病棟、看護必要度を満たす患者割合		
	2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%												
北部	熊谷市	病院	熊谷生協病院	2階病棟	慢性期	慢性期		55	54	療養病棟入院料1															0.04			慢性期
北部	熊谷市	病院	福祉医療センター 太陽の園	療養病棟等10対1入院基本科	慢性期	慢性期		59	59	療養病棟等10対1入院基本科																		慢性期
北部	熊谷市	病院	福祉医療センター 太陽の園	特殊疾患病棟入院料2	慢性期	慢性期		20	20	特殊疾患病棟入院料2																		慢性期
北部	熊谷市	病院	龍原病院	一般病棟	急性期	回復期	C	37	33	急性期一般入院料4										0.88	0.24					2.63	17.8	回復期
北部	熊谷市	病院	社会医療法人熊谷総合病院	HCU	高度急性期	高度急性期		10	10	ICU等1対1入院医療管理料1	9.20	1.50	1.60	0.10	0.40	0.30				3.10	10.30	1.50				60.04		高度急性期
北部	熊谷市	病院	社会医療法人熊谷総合病院	本館6階病棟	急性期	急性期		55	55	急性期一般入院料1			0.07							0.56	1.31		0.02	0.04		13.71	25.0	急性期
北部	熊谷市	病院	社会医療法人熊谷総合病院	本館7階病棟	急性期	急性期		53	53	急性期一般入院料1	0.30									0.74	1.09				0.08	11.93	38.0	急性期
北部	熊谷市	病院	社会医療法人熊谷総合病院	新館4階病棟	急性期	高度急性期		42	42	急性期一般入院料1	1.38	0.74								0.76	2.55	0.74	0.07			13.51	35.9	高度急性期
北部	熊谷市	病院	社会医療法人熊谷総合病院	新館3階病棟	急性期	急性期		42	42	急性期一般入院料1	0.74	0.31	0.07							4.60	1.40	0.31	0.14	0.19		19.68	53.6	急性期
北部	熊谷市	病院	社会医療法人熊谷総合病院	本館5階病棟	急性期	急性期		51	51	急性期一般入院料1	0.02					0.39		0.04		0.20	0.73		0.04	0.12		16.78	30.1	急性期
北部	熊谷市	病院	社会医療法人熊谷総合病院	本館4階病棟	回復期	回復期		57	57	回復期ICU等1対1病棟入院料1																		回復期
北部	熊谷市	病院	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	I C U	高度急性期	高度急性期		12	12	特定集中治療室管理料1	8.83	0.83	1.00		0.42			0.33	4.42	20.08	9.58	0.83				8.39		高度急性期
北部	熊谷市	病院	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	C C U	高度急性期	高度急性期		11	11	ICU等1対1入院医療管理料1	0.55			0.09	0.45	1.82			0.91	10.27	25.09	5.82			0.09	28.38		高度急性期
北部	熊谷市	病院	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	3階東	高度急性期	高度急性期		39	37	急性期一般入院料1						0.65		0.19	0.05	0.41	1.30				0.05	9.11	38.3	高度急性期
北部	熊谷市	病院	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	3階西	高度急性期	回復期	A	39	37	急性期一般入院料1						0.03				1.49	0.05					9.38	23.0	回復期
北部	熊谷市	病院	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	4階東	高度急性期	急性期	B	38	37	急性期一般入院料1						0.49		0.14	0.05	0.19	1.38					8.14	36.0	急性期
北部	熊谷市	病院	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	4階西	高度急性期	急性期	B	37	35	急性期一般入院料1	0.17					0.03		0.06	0.09	3.34	0.69					4.22	33.4	急性期
北部	熊谷市	病院	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	R C U	高度急性期	高度急性期		8	8	ICU等1対1入院医療管理料1	0.25							0.13	0.13	17.25	0.50					26.05		高度急性期
北部	熊谷市	病院	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	3階C	高度急性期	急性期	B	28	28	急性期一般入院料1	0.18	0.18								6.68	0.32	0.18	0.07	0.68	6.34	34.9	急性期	
北部	熊谷市	病院	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	4階B	高度急性期	急性期	B	28	28	急性期一般入院料1										1.64			0.14	2.18	8.23	28.2	急性期	
北部	熊谷市	病院	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	4階C	高度急性期	急性期	B	28	28	急性期一般入院料1								0.04		0.46			0.18	1.07	9.97	27.7	急性期	
北部	熊谷市	病院	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	3階B	急性期	慢性期		24	6	緩和ケア病棟入院料2																2.99		慢性期
北部	本庄市	病院	医療法人彩北病院	内科病棟	慢性期	慢性期		30	30	療養病棟入院料2																		慢性期
北部	本庄市	病院	医療法人本庄福島病院	2階療養病棟	慢性期	慢性期		48	48	療養病棟入院料1																		慢性期
北部	本庄市	病院	医療法人本庄福島病院	3階療養病棟	慢性期	慢性期		48	48	療養病棟入院料1																		慢性期
北部	本庄市	病院	本庄総合病院	3階病棟	急性期	回復期	C	58	55	急性期一般入院料4							0.09		0.91	0.02				0.16	9.28	26.9	回復期	
北部	本庄市	病院	本庄総合病院	4階東病棟	急性期	急性期		42	42	急性期一般入院料4	0.29	0.10	0.12							2.05	0.55	0.10		0.33	13.01	47.2	急性期	
北部	本庄市	病院	本庄総合病院	4階西病棟	急性期	急性期		35	35	急性期一般入院料4	0.86							0.03		0.71	1.11				4.87	34.4	急性期	
北部	本庄市	病院	本庄総合病院	2階病棟	回復期	回復期		48	48	地域包括ケア病棟入院料2											0.40			0.63	0.23			回復期
北部	本庄市	病院	本庄総合病院	2階北病棟	慢性期	慢性期		51	51	療養病棟入院料1										0.59								慢性期
北部	本庄市	病院	本庄総合病院	3階北病棟	慢性期	慢性期		51	51	療養病棟入院料1								0.02										慢性期
北部	本庄市	病院	医療法人三光会そのべ病院	一般病棟	急性期	回復期	C	22	22	地域一般入院料2											0.14					1.59		回復期
北部	本庄市	病院	医療法人三光会そのべ病院	療養病棟	慢性期	慢性期		29	29	療養病棟入院料1										1.03								慢性期
北部	本庄市	病院	医療法人柏成会青木病院	病棟	急性期	回復期	C	47	45	地域包括ケア入院医療管理料1	0.60									0.16	0.64				3.59	7.6	回復期	
北部	本庄市	病院	医療法人鈴木外科病院	病棟A	急性期	回復期	C	42	42	地域包括ケア入院医療管理料1	0.07		0.02							0.31	0.60				1.42	3.6	回復期	
北部	本庄市	病院	医療法人益子会（社団）児玉中央病院	一般病棟	急性期	回復期	C	46	18	地域一般入院料3	0.06									1.56	0.61							回復期
北部	本庄市	病院	医療法人桂水会岡病院	3階病棟	急性期	回復期	C	32	30	地域包括ケア入院医療管理料1										0.07	0.40					2.76	7.5	回復期
北部	本庄市	病院	医療法人桂水会岡病院	4階病棟	急性期	急性期		32	32	急性期一般入院料2			0.03				0.06		0.72	0.66			0.09	15.11	35.2	急性期		
北部	本庄市	病院	医療法人桂水会岡病院	2階病棟	慢性期	慢性期		45	32	療養病棟入院料1											0.06							慢性期
北部	本庄市	病院	医療法人社団寿会吉沢病院	医療療養病棟2階	慢性期	慢性期		112	56	療養病棟入院料1										2.20								慢性期
北部	本庄市	病院	医療法人社団寿会吉沢病院		慢性期	慢性期		70	35	療養病棟入院料1																		慢性期
北部	本庄市	病院	本庄駅前病院	一般病棟	急性期	回復期	C	39	39	地域一般入院料2	0.08									0.51	0.13				2.48			回復期
北部	本庄市	病院	本庄駅前病院	療養病棟	慢性期	慢性期		36	36	療養病棟入院料1										2.50	0.11				0.08			慢性期

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年 7月 1日時点の機能 報告	定量基準 分析結果	差異の パターン ※	病床数 (一般＋ 療養)	最大使用 病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準 分析結果 (再掲)	
										入院基本科・特定入院科	高度急性期・急性期の区分指標【区分線 1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線 2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔 下手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	悪性腫瘍 手術	超急性期 脳卒中加 算	脳血管内 手術	経皮的冠 動脈形成 術	救急搬送 診療料	救急医療 に係る諸 項目	重症患者 の対応に係 る諸項目	全身管理への 対応に係る諸 項目	手術	胸腔鏡・ 腹腔鏡下 手術	放射線治 療（レセ プト枚）	化学療法 （日数）	予定外の救 急医療入院 の人数	一般病棟用の重 症度、医療・特 殊必要医療を要した 手術患者数		
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%		
北部	寄居町	病院	埼玉療育園	本館病棟	慢性期	慢性期		48	44	療養病棟入院科 1									0.36								慢性期	
北部	寄居町	病院	埼玉療育園	新館病棟	慢性期	慢性期		42	39	療養病棟等10時 1 入院基本科									2.31								慢性期	
北部	寄居町	病院	埼玉よりい病院	2階病棟	急性期	急性期		47	47	急性期一般入院科 4	0.55									0.04	0.60				15.34	27.8	急性期	
北部	寄居町	病院	埼玉よりい病院	4階病棟	回復期	回復期		50	50	回復期10時 9時→10時病棟入院科 1																	回復期	
北部	寄居町	病院	埼玉よりい病院	3階病棟	慢性期	慢性期		96	48	療養病棟入院科 1										0.63								慢性期
北部	深谷市	病院	深谷赤十字病院	2SA病棟	高度急性期	高度急性期		10	10	救命救急入院科 3	4.00	0.60	0.60	0.30	0.40	0.80		3.80	2.50	24.50	6.80	0.60			0.10	69.21		高度急性期
北部	深谷市	病院	深谷赤十字病院	2SB病棟	高度急性期	高度急性期		40	20	救命救急入院科 3	0.45	0.10						0.30		6.00	1.40	0.10				78.58		高度急性期
北部	深谷市	病院	深谷赤十字病院	5S病棟	高度急性期	急性期	B	46	46	急性期一般入院科 1	1.09	0.35	0.28						0.02	6.91	1.39	0.35	0.04	0.43	4.81	42.5	急性期	
北部	深谷市	病院	深谷赤十字病院	6S病棟	高度急性期	高度急性期		46	46	急性期一般入院科 1	0.13		0.02			0.67		0.02		1.02	1.48		0.02	0.07	4.47	31.1	高度急性期	
北部	深谷市	病院	深谷赤十字病院	3N病棟	急性期	急性期		42	26	小児入院医療管理科 3	0.27	0.04								0.15	0.31	0.04				5.64		急性期
北部	深谷市	病院	深谷赤十字病院	4N病棟	急性期	急性期		45	45	急性期一般入院科 1			0.33					0.02		2.20	0.98			0.22	6.23	31.7	急性期	
北部	深谷市	病院	深谷赤十字病院	5N病棟	急性期	回復期	C	45	41	急性期一般入院科 1	0.02							0.02		0.56	0.73		0.02		2.55	26.5	回復期	
北部	深谷市	病院	深谷赤十字病院	6N病棟	急性期	急性期		46	46	急性期一般入院科 1	0.67	0.22	0.33					0.02		1.98	0.89	0.22	0.07	0.30	4.81	29.7	急性期	
北部	深谷市	病院	深谷赤十字病院	緩和ケア病棟	急性期	急性期		14	12	緩和ケア病棟入院科 1												0.08			3.66		急性期	
北部	深谷市	病院	深谷赤十字病院	3S病棟	急性期	急性期		41	33	急性期一般入院科 1	0.82		0.18							0.48	1.48			0.33	4.44	41.2	急性期	
北部	深谷市	病院	深谷赤十字病院	4S病棟	急性期	回復期	C	46	46	急性期一般入院科 1	0.61		0.04							1.54	1.11				2.02	24.5	回復期	
北部	深谷市	病院	深谷赤十字病院	7S病棟	急性期	急性期		47	45	急性期一般入院科 1												0.07	3.71	3.06	28.7		急性期	
北部	深谷市	病院	北深谷病院	第 1 病棟	急性期	不明/休床		5	5	無回答																	不明/休床	
北部	深谷市	病院	医療法人信彌会菊地病院	入院病棟	急性期	回復期	C	60	40	小児入院医療管理科 5											0.85						回復期	
北部	深谷市	病院	あねとす病院	地域包括ケア病棟	回復期	回復期		33	33	地域包括ケア病棟入院科 1																0.0	回復期	
北部	深谷市	病院	あねとす病院	2 階東療養病棟	慢性期	慢性期		58	58	療養病棟入院科 1																	慢性期	
北部	深谷市	病院	あねとす病院	3階東療養病棟	慢性期	慢性期		36	36	療養病棟入院科 1										3.58							慢性期	
北部	深谷市	病院	あねとす病院	4階東療養病棟	慢性期	慢性期		60	60	療養病棟入院科 1										0.07				0.50			慢性期	
北部	深谷市	病院	皆成病院	一般病棟	回復期	不明/休床		60	21	急性期一般入院科 6																1.4	不明/休床	
北部	深谷市	病院	医療法人社団優慈会佐々木病院	3階病棟	急性期	急性期		79	59	急性期一般入院科 4	0.34	0.27	0.05							0.58	0.75	0.27			1.29	11.65	22.7	急性期
北部	深谷市	病院	医療法人社団優慈会佐々木病院	5階病棟	慢性期	慢性期		50	45	療養病棟入院科 1														0.67			慢性期	
北部	深谷市	病院	医療法人葵深谷中央病院	急性期機能病床 0 1	急性期	回復期	C	72	47	急性期一般入院科 4	0.64									0.34	1.00					5.33	25.0	回復期
北部	深谷市	病院	医療法人良仁会桜ヶ丘病院	一般病棟	急性期	不明/休床		60	26	無回答											0.73				3.45		不明/休床	
北部	熊谷市	診療所	熊谷ロイヤルクリニック		慢性期	不明/休床		13	12	有床診療所入院基本科																	不明/休床	
北部	熊谷市	診療所	たかの眼科		急性期	回復期	C	2	2	有床診療所入院基本科											1.50						回復期	
北部	熊谷市	診療所	くぼしまクリニック		回復期	回復期		15	15	有床診療所入院基本科											0.13						回復期	
北部	熊谷市	診療所	いのクリニック		回復期	不明/休床		19	13	有床診療所入院基本科																	不明/休床	
北部	熊谷市	診療所	平田クリニック		急性期	回復期	C	15	15	有床診療所入院基本科											1.27						回復期	
北部	熊谷市	診療所	医療法人きずな会さめじまボンディングクリニック		急性期	急性期		19	19	有床診療所入院基本科	0.37	0.32								0.37	4.11	0.32					急性期	
北部	熊谷市	診療所	医療法人安和会石丸安世記念熊谷チャペルクリニック		休職中（今後再開）	不明/休床		0	0	有床診療所入院基本科																	不明/休床	
北部	熊谷市	診療所	あけとクリニック		休職中（今後再開）	不明/休床		19	0	休職中（今後再開）上記の休職中以上の期間の経過なし																	不明/休床	
北部	熊谷市	診療所	医療法人社団尽徳会県西在宅クリニック熊谷		急性期	不明/休床		2	0	休職中（今後再開）上記の休職中以上の期間の経過なし																	不明/休床	
北部	本庄市	診療所	医療法人中村会中村外科医院		急性期	回復期	C	19	18	有床診療所入院基本科											0.22						回復期	
北部	本庄市	診療所	医療法人博明会飯塚内科小児科		急性期	慢性期		19	19	有床診療所療養病棟入院基本科								0.16									慢性期	
北部	本庄市	診療所	池田レディースクリニック		急性期	急性期		12	12	有床診療所入院基本科												0.83					急性期	
北部	本庄市	診療所	本庄脳神経外科・脊椎外科		急性期	高度急性期		19	19	有床診療所入院基本科	2.16			0.37	0.32					3.16	2.68						高度急性期	
北部	深谷市	診療所	深谷肛門科		急性期	急性期		19	14	有床診療所入院基本科												6.50					急性期	
北部	深谷市	診療所	台坂クリニック		休職中（今後再開）	不明/休床		19	0	休職中（今後再開）上記の休職中以上の期間の経過なし																	不明/休床	

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和6年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般＋療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																		定量基準分析結果（再掲）	
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色												急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色						
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P			
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚）	化学療法（日数）	予定外の救急医療入院の人数	一般診療用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者割合			
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%			
北部	深谷市	診療所	医療法人社団 勝医会 ふかやクリニック		休床中（今後再開）	不明/休床		19	0	有床診療所入院基本料																	不明/休床		
北部	深谷市	診療所	医療法人康曜会ブルーナクリニック		回復期	不明/休床		14	4	診療継続上及び介護施設上での入院料の算出なし																	不明/休床		
北部	深谷市	診療所	正田眼科		急性期	高度急性期		4	4	有床診療所入院基本料	3.75									14.75							高度急性期		
秩父	皆野町	病院	医療法人彩清会清水病院	清水病院	慢性期	慢性期		60	59	療養病棟入院料1										0.02							慢性期		
秩父	小鹿野町	病院	国民健康保険町立小鹿野中央病院	急性期一般入院料5	急性期	回復期	C	45	28	急性期一般入院料5							0.07		0.21	0.50				0.25	0.96	25.2	回復期		
秩父	小鹿野町	病院	国民健康保険町立小鹿野中央病院	地域包括ケア入院医療療養管理科1	回復期	回復期		50	30	地域包括ケア入院医療療養管理科1										0.03					0.53	0.03		回復期	
秩父	皆野町	病院	医療法人徳洲会皆野病院	急性期機能病棟01	急性期	急性期		60	60	急性期一般入院料4	0.62	0.07	0.02				0.07		2.32	0.75	0.07			0.03	11.04	37.5	急性期		
秩父	皆野町	病院	医療法人徳洲会皆野病院	慢性期機能病棟01	慢性期	慢性期		60	32	療養病棟入院料1									2.19	0.16							慢性期		
秩父	皆野町	病院	医療法人徳洲会皆野病院	慢性期機能病棟02	休床中（今後再開）	不明/休床		30	6	497121入院医療療養管理科1															5.98		不明/休床		
秩父	秩父市	病院	秩父第一病院	1階病棟	慢性期	慢性期		60	58	療養看護施設等10対1入院基本料									0.05	0.02					0.22		慢性期		
秩父	秩父市	病院	秩父第一病院	2階病棟	慢性期	慢性期		40	40	療養病棟入院料1									0.15								慢性期		
秩父	秩父市	病院	秩父生協病院	回復期リハビリテーション病棟	回復期	回復期		40	40	回復期10対1リハビリ療養入院料2														0.03			回復期		
秩父	秩父市	病院	秩父生協病院	療養病棟	慢性期	慢性期		70	35	療養病棟入院料1									0.43								慢性期		
秩父	秩父市	病院	秩父市立病院	本館4階	急性期	急性期		50	48	急性期一般入院料1	0.65	0.13	0.06					0.79	1.00	0.13				0.15	10.60	34.8	急性期		
秩父	秩父市	病院	秩父市立病院	南館4階	急性期	急性期		50	32	急性期一般入院料1								0.59	0.22					0.09	17.08	32.6	急性期		
秩父	秩父市	病院	秩父市立病院		休床中（今後再開）	不明/休床		29	0	無回答																	不明/休床		
秩父	秩父市	病院	秩父市立病院	南館3階	回復期	回復期		36	36	地域包括ケア病棟入院料2										0.03					0.08	2.9	回復期		
秩父	秩父市	病院	医療法人花仁会秩父病院	一般病棟	急性期	不明/休床		52	49	急性期一般入院料4														4.76	24.6		不明/休床		
秩父	長瀬町	診療所	落合眼科医院		急性期	急性期		7	5	有床診療所入院基本料									3.20								急性期		
秩父	長瀬町	診療所	長瀬医新クリニック		急性期	不明/休床		19	19	有床診療所入院基本料																	不明/休床		

令和7年度 外来機能報告結果

資料 6

1 報告状況

【様式1】

区分	報告数	対象数	報告率
病院	294	294	100.0%
有床診療所	161	162	99.4%
無床診療所*	5	5	100.0%
計	460	461	99.8%

【様式2】

区分	報告数	対象数	報告率
病院	294	294	100.0%
有床診療所	161	162	99.4%
無床診療所*	5	5	100.0%
計	460	461	99.8%

* 無床診療所の報告は任意

(外来機能報告を行う意向を表明した場合に限り報告対象)

2 紹介受診重点医療機関の協議結果

圏域	協議実施医療機関数			【結果】 紹介受診重点医療機 関数 (R8.4.1公表)
	①基準満たす・ 意向あり	②基準満たす・ 意向なし	③基準満たさな い・意向あり	
南部	5	0	0	5
南西部	1	1	0	1
東部	3	3	1	4
さいたま	5	2	0	5
県央	3	0	0	3
川越比企	2	1	1	3
西部	5	1	0	5
利根	3	0	1	4
北部	4	1	0	4
秩父	0	0	0	0
計	31	9	3	34

※紹介受診重点医療機関の基準：

初診に占める紹介受診重点外来（医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来、高額等の医療機器・設備を必要とする外来、特定の領域に特化した機能を有する外来）の割合が40%以上かつ再診に占める紹介受診重点外来の割合が25%以上

なお、③の医療機関については、紹介率・逆紹介率（国ガイドラインの参考水準：紹介率50%以上かつ逆紹介率40%以上）を活用しつつ、当該医療機関の意向を踏まえた協議を行った。

○紹介受診重点医療機関一覧（令和８年４月１日現在）

	区分	圏域	市町村	医療機関名	備考
1	病院	南部	川口市	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会川口総合病院	
2	病院	南部	川口市	埼玉協同病院	新規
3	病院	南部	川口市	川口市立医療センター	
4	病院	南部	川口市	かわぐち心臓呼吸器病院	
5	病院	南部	戸田市	医療法人社団東光会 戸田中央総合病院	
6	病院	南西部	和光市	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	
7	病院	東部	春日部市	春日部市立医療センター	
8	病院	東部	越谷市	越谷市立病院	
9	病院	東部	越谷市	獨協医科大学埼玉医療センター	
10	病院	東部	草加市	草加市立病院	
11	病院	さいたま	さいたま市	自治医科大学附属さいたま医療センター	
12	病院	さいたま	さいたま市	さいたま市立病院	
13	病院	さいたま	さいたま市	さいたま市民医療センター	
14	病院	さいたま	さいたま市	医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカル センター	
15	病院	さいたま	さいたま市	さいたま赤十字病院	
16	病院	県央	伊奈町	埼玉県立がんセンター	
17	病院	県央	上尾市	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	
18	病院	県央	北本市	北里大学メディカルセンター	

○紹介受診重点医療機関一覧（令和８年４月１日現在）

	区分	圏域	市町村	医療機関名	備考
19	病院	川越比企	川越市	埼玉医科大学総合医療センター	
20	病院	川越比企	毛呂山町	埼玉医科大学病院	
21	病院	川越比企	鶴ヶ島市	医療法人関越病院	
22	病院	西部	所沢市	社会医療法人社団埼玉巨樹の会所沢美原総合病院	
23	病院	西部	狭山市	社会医療法人財団石 心会埼玉石心会病院	
24	病院	西部	日高市	埼玉医科大学国際医療センター	
25	病院	西部	所沢市	独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院	
26	病院	西部	所沢市	防衛医科大学校病院	
27	病院	利根	久喜市	社会医療法人社団埼玉巨樹の会新久喜総合病院	
28	病院	利根	行田市	社会医療法人壮幸会 行田総合病院	
29	病院	利根	加須市	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会加須病院	
30	病院	利根	羽生市	医療法人徳洲会羽生総合病院	
31	病院	北部	熊谷市	社会医療法人熊谷総合病院	
32	病院	北部	熊谷市	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	
33	有床診療所	北部	本庄市	本庄脳神経外科・脊椎外科	新規
34	病院	北部	深谷市	深谷赤十字病院	

※ 既に紹介受診重点医療機関として公表されていた医療機関のうち、令和７年度外来機能報告を基にした協議を経て公表されなくなった医療機関はない。

かかりつけ医機能報告制度について

資料 7 - 1

令和7年度 かかりつけ医機能 定期報告率について (令和8年6月1日時点)

※ 報告状況が「報告済」「確認完了済」である医療機関を報告済医療機関としてG-MISから集計

圏域	対象医療機関数	報告済医療機関数	未報告医療機関数	報告率
南部	539	434	105	80.5%
南西部	435	322	113	74.0%
東部	714	579	135	81.1%
さいたま	1,125	944	181	83.9%
県央	324	250	74	77.2%
川越比企	537	468	69	87.2%
西部	502	434	68	86.5%
利根	379	291	88	76.8%
北部	374	305	69	81.6%
秩父	93	88	5	94.6%
合計	5,022	4,115	907	81.9%
病院	339	316	23	93.22%
診療所	4,683	3,799	884	81.12%
(参考)全国	114,138	90,574	23,564	79.35%

かかりつけ医機能報告制度について（全県・圏域）

			全県		南部		南西部		東部		さいたま		県央	
報告状況（再掲）			4,116	81.9%	434	80.5%	322	74.0%	579	81.1%	944	83.9%	250	77.2%
1号機能 あり			2,145	52.1%	201	46.3%	166	51.6%	321	55.4%	467	49.5%	147	58.8%
2号機能	(イ)通常の診療時間外の診療	あり	1,844	44.8%	173	39.9%	147	45.7%	282	48.7%	394	41.7%	134	53.6%
	(ロ)入退院時の支援	あり	1,562	38.0%	145	33.4%	127	39.4%	228	39.4%	332	35.2%	115	46.0%
	(ハ)在宅医療の提供	あり	1,395	33.9%	131	30.2%	96	29.8%	201	34.7%	302	32.0%	104	41.6%
	(ニ)介護サービス等と連携した医療提供	あり	1,758	42.7%	158	36.4%	132	41.0%	259	44.7%	358	37.9%	131	52.4%
1号機能 なし			1,970	47.9%	233	53.7%	156	48.4%	258	44.6%	477	50.5%	103	41.2%

1号機能 なし の報告内容

1号機能 なし の報告内容			全県		南部		南西部		東部		さいたま		県央	
「具体的な機能」の有無及び「報告事項」の院内掲示による公表*		なし(意向なし)	1,426	34.6%	164	37.8%	102	31.7%	186	32.1%	346	36.7%	78	31.2%
		なし(意向あり)	485	11.8%	62	14.3%	49	15.2%	63	10.9%	117	12.4%	21	8.4%
		【参考】1号機能要件(*)のうち、院内掲示のみなし	771	18.7%	89	20.5%	58	18.0%	91	15.7%	201	21.3%	40	16.0%
17の診療領域ごとの一次診療の対応可能な有無、いずれかの診療領域について一次診療を行うことができること*		該当なし	774	18.8%	85	19.6%	61	18.9%	100	17.3%	187	19.8%	44	17.6%
医療に関する患者からの相談に応じることができること*		不可(意向なし)	957	23.3%	107	24.7%	77	23.9%	131	22.6%	224	23.7%	52	20.8%
		不可(意向あり)	153	3.7%	29	6.7%	11	3.4%	24	4.1%	28	3.0%	8	3.2%
【参考】 1号機能要件に影響しない質問項目	かかりつけ医機能に関する研修の修了者・総合診療専門医の有無	なし(研修)	1894	46.0%	226	52.1%	150	46.6%	245	42.3%	461	48.8%	99	39.6%
		あり(研修)	76	1.8%	7	1.6%	6	1.9%	13	2.2%	16	1.7%	4	1.6%
		なし(専門医)	1924	46.7%	226	52.1%	149	46.3%	254	43.9%	472	50.0%	99	39.6%
		あり(専門医)	46	1.1%	7	1.6%	7	2.2%	4	0.7%	5	0.5%	4	1.6%
	一次診療を行うことができる発生頻度が高い疾患		該当なし	766	18.6%	86	19.8%	58	18.0%	103	17.8%	184	19.5%	45

※赤字:割合上位3圏域

かかりつけ医機能報告制度について（全県・圏域）

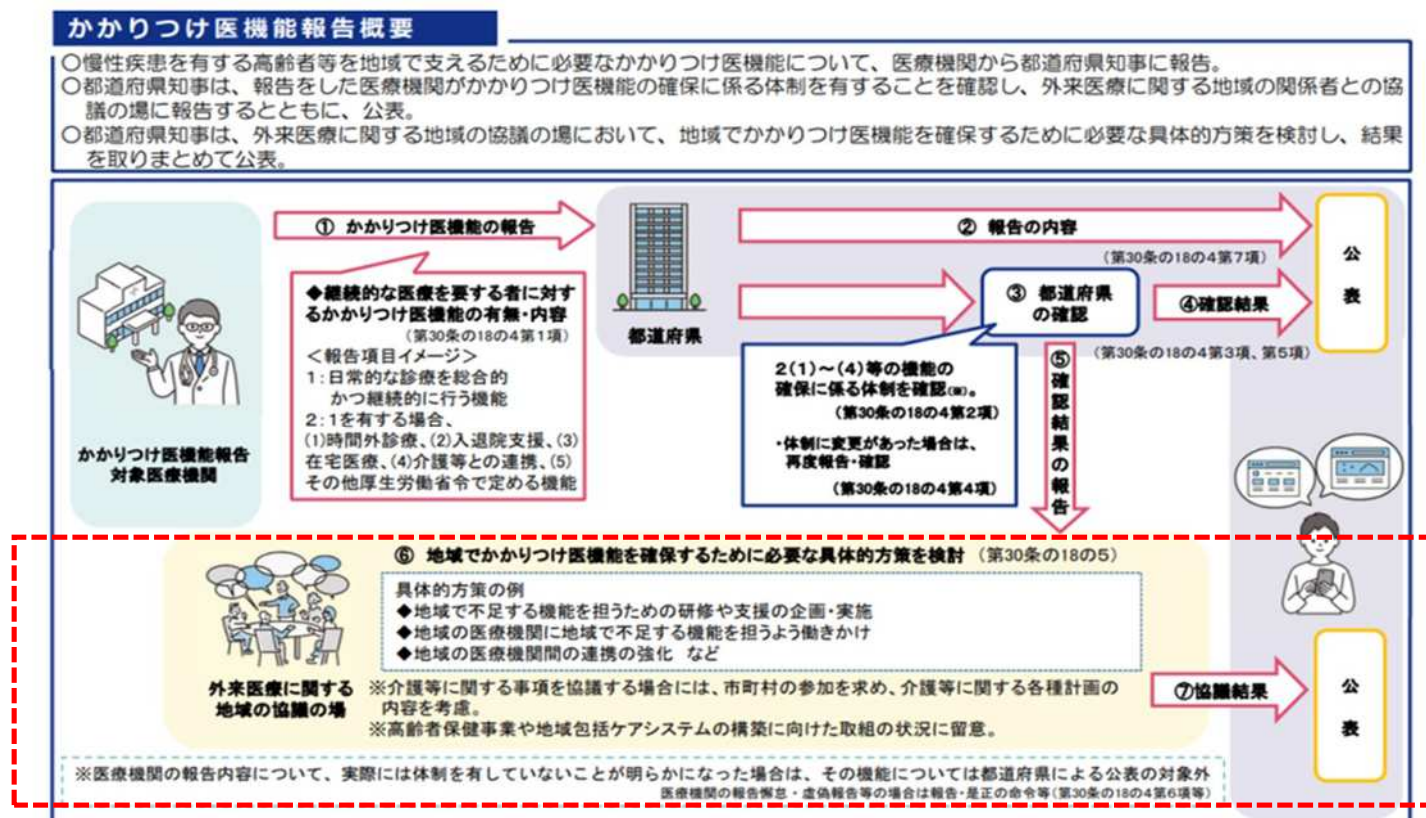
			全県		川越比企		西部		利根		北部		秩父	
報告状況（再掲）			4,116	81.9%	468	87.2%	434	86.5%	291	76.8%	305	81.6%	88	94.6%
1号機能 あり			2,145	52.1%	249	53.2%	243	56.0%	156	53.6%	157	51.5%	38	43.2%
2号機能	(イ)通常の診療時間外の診療	あり	1,844	44.8%	204	43.6%	210	48.4%	122	41.9%	143	46.9%	35	39.8%
	(ロ)入退院時の支援	あり	1,562	38.0%	181	38.7%	173	39.9%	115	39.5%	116	38.0%	30	34.1%
	(ハ)在宅医療の提供	あり	1,395	33.9%	165	35.3%	157	36.2%	102	35.1%	108	35.4%	29	33.0%
	(ニ)介護サービス等と連携した医療提供	あり	1,758	42.7%	213	45.5%	200	46.1%	133	45.7%	139	45.6%	35	39.8%
1号機能 なし			1,970	47.9%	219	46.8%	191	44.0%	135	46.4%	148	48.5%	50	56.8%

1号機能 なし の報告内容			全県		川越比企		西部		利根		北部		秩父	
「具体的な機能」の有無及び「報告事項」の院内掲示による公表*		なし(意向なし)	1,426	34.6%	166	35.5%	140	32.3%	99	34.0%	104	34.1%	41	46.6%
		なし(意向あり)	485	11.8%	49	10.5%	45	10.4%	32	11.0%	39	12.8%	8	9.1%
【参考】1号機能要件(*)のうち、院内掲示のみなし			771	18.7%	88	18.8%	69	15.9%	54	18.6%	60	19.7%	21	23.9%
17の診療領域ごとの一次診療の対応可能な有無、いずれかの診療領域について一次診療を行うことができること*		該当なし	774	18.8%	86	18.4%	76	17.5%	55	18.9%	61	20.0%	19	21.6%
医療に関する患者からの相談に応じることができること*		不可(意向なし)	957	23.3%	112	23.9%	98	22.6%	69	23.7%	66	21.6%	21	23.9%
		不可(意向あり)	153	3.7%	15	3.2%	14	3.2%	5	1.7%	15	4.9%	4	4.5%
【参考】1号機能要件に影響しない質問項目	かかりつけ医機能に関する研修の修了者・総合診療専門医の有無	なし(研修)	1894	46.0%	212	45.3%	185	42.6%	131	45.0%	139	45.6%	46	52.3%
		あり(研修)	76	1.8%	7	1.5%	6	1.4%	4	1.4%	9	3.0%	4	4.5%
		なし(専門医)	1924	46.7%	216	46.2%	183	42.2%	131	45.0%	146	47.9%	48	54.5%
		あり(専門医)	46	1.1%	3	0.6%	8	1.8%	4	1.4%	2	0.7%	2	2.3%
	一次診療を行うことができる発生頻度が高い疾患		該当なし	766	18.6%	87	18.6%	73	16.8%	55	18.9%	55	18.0%	20

※赤字:割合上位3圏域

かかりつけ医機能の協議について

○ 令和7年度第2回本会議において、かかりつけ医機能の協議の場については、地域医療構想調整会議にかかりつけ医機能報告の集計結果を報告し、その後、各構想区域の実情に応じて、①調整会議の部会、②地域保健医療協議会の在宅部会、③都市医師会(地区医師会)などの場を活用して地域での議論を深め、調整会議にフィードバックする案を御了承いただいた。

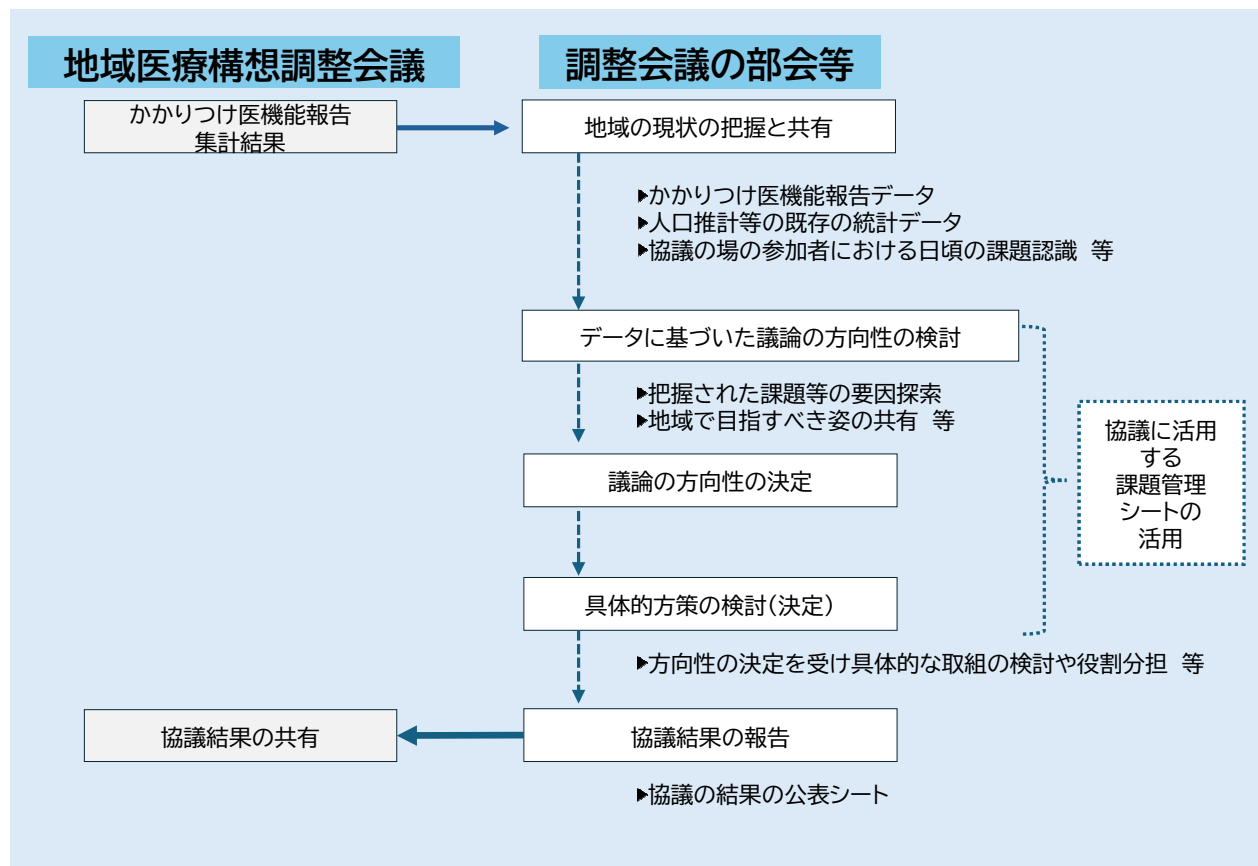


出典：第102回社会保障審議会医療部会 令和5年9月29日資料

かかりつけ医機能の協議について

- かかりつけ医機能の確保に関するガイドラインに基づき、各地域において協議を進めていく予定である。
- 協議テーマは地域の実情に応じ、協議内容を決定していただく。

<協議の進め方の例>



<協議のテーマと方策の一例>

	具体的な機能	具体的な方策
1号	日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能	・各医療機関が有する機能や役割を医療関係者間で共有したうえで、患者・家族からの相談に円滑に対応できるよう、医療機関間で必要に応じて患者情報を共有する。
2号	(イ) 通常の診療時間外の診療	・時間外診療を行うための連携体制を見える化し、地域の輪番体制の構築や診療所・病院の時間外の対応に関して検討の機会を設ける。
	(ロ) 入退院時の支援	・かかりつけ医機能報告の結果を踏まえて、後方支援病床を確保する意向のある医療機関を整理し、十分な病診連携につなげる。
	(ハ) 在宅医療の提供	・かかりつけ医機能報告の結果を踏まえて、在宅医療を担う意向のある医療機関を対象とした在宅医療の実地研修を実施する。
	(ニ) 介護サービス等と連携した医療提供	・地域の医療機関や介護施設等の担当者が集まって意見交換を行う場の設定を行う。

(例) XXX地域におけるかかりつけ医機能の課題について（1号機能）

協議に活用する
課題管理シート

（１）地域の具体的な課題

継続的な医療を要する方が、新たな症状を呈した場合に、どの医療機関に相談すればよいかわからず、対応が遅れるケースがある。

（２）様々な視点から考えられる原因

【原因①】総合的な診療を行う意向を有する医師もいるが、地域の医療機関同士の連携が行われておらず、自己の専門性を超えて対応ができない場合に、地域で活用できる医療機関を把握しておらず、安易に中核病院等に紹介してしまう。

【原因②】各医療機関が有する機能や役割が周知されておらず、どの医療機関に相談すればよいかわからない。

（３）地域で目指すべき姿

慢性疾患を有する高齢者その他の継続的に医療を必要とする方に対し、患者の生活背景を把握した上で日常診療を行うとともに、地域の医師、医療機関と協力して医療に関する相談に応じることができる体制が確保され、周知・運用されている。

（４）方策 ※地域の実情に応じて役割分担も検討されたい

【方策①】各医療機関が有する機能や役割を医療関係者間で共有したうえで、患者・家族からの相談に円滑に対応できるよう、医療機関間で必要に応じて患者情報を共有する。

- ✓ 医療機関同士が連携できる機会（意見交換の場）を設定する。
- ✓ 自院が持つかかりつけ医機能を患者・家族に説明する。
- ✓ 地域の医療機関が担う機能や役割を住民向けに周知する・かかりつけ医を持つことを推奨する。
- ✓ 健康状態不明者をリストアップし、対象者の状態に応じて、かかりつけ医への相談・紹介を行う。

【方策②】医療機関が担うかかりつけ医機能を強化し、総合的な診療を行う医師の機能を強化するため、医師の教育や研修会を開催する。

（５）方策により期待できる効果

患者に体調悪化が生じた場合に、必要に応じて地域の医師、医療機関等と協力して、生活背景等も踏まえた相談対応や診療を行うことができる。

※「地域の具体的な課題」や「地域で目指すべき姿」等の記載はいずれも例示としての内容であり、実際に協議を行う際は事例集も参考にしながら、各地域の実情に応じて対応を検討されたい。

かかりつけ医機能報告制度の周知について

1 埼玉県ホームページによる周知 ①

「かかりつけ医機能報告制度」ページに県民向けの案内を掲載（令和8年5月19日～）

埼玉県ホームページ「かかりつけ医機能報告制度」より（<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/kakaritsukei.html>）

県民の皆さまへ

あなたの地域の“かかりつけ医機能”を確認してみませんか？
各医療機関から報告されたかかりつけ医機能の情報が、厚生労働省が運用する医療情報ネット（ナビイ）
（別ウィンドウで開きます）を通じてご覧いただけます。
医療機関の特徴や取り組みが確認しやすくなったことで、県民の皆さまが自らのニーズに応じた医療機関をさらに選択しやすくなりました。是非ご活用ください。

※本制度は、一部の医療機関を特別なものとして認定したり、県民の皆さまの医療機関への受診に制限を加えるといったものではありません。（患者の受診の仕方が変わることや、特定の医療機関しか受診できないようにすることはありません。）

全国の医療機関を医療情報ネット（ナビイ）で検索できます。（別ウィンドウで開きます）



どこに相談？がわかる！
地域の“かかりつけ医機能”

医療情報ネット
ナビイ

医療情報ネット（ナビイ）

全国の病院・診療所・歯科診療所・助産所/薬局を探す

医療機関を探す

キーワードで探す

フリーワード 市町村別、内科

検索

検索オプション

① 急いで探す 受付時間や場所などの情報から検索

現在診療中の医療機関 休日夜間対応医療機関

② じっくり探す 診療科目や対応などの医療機能情報から検索

基本項目 診療科目 場所 外国語

利用者属性 高齢者 小児 障害児・者、医療的ケア児

女性 難病

③ かかりつけ医機能

かかりつけ医機能

他の項目

都道府県別の機能から探す

全国共通の検索項目に加えて都道府県独自の検索項目でも検索ができます。

北海道 北海道

東北 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県

福島県

関東 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県

東京都 神奈川県

中部 新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県

長野県 岐阜県 静岡県 愛知県

近畿 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県

奈良県 和歌山県

中国・四国 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県

徳島県 香川県 愛媛県 高知県

九州 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県

宮崎県 鹿児島県

沖縄県

参考_厚生労働省「医療情報ネット（ナビイ）」トップページより
（<https://www.iryuu.teikyouseido.mhlw.go.jp/znk-web/juminkanja/S2300/initialize>）

<かかりつけ医機能>
かかりつけ医機能 >

かかりつけ医機能報告制度の周知について

1 埼玉県ホームページによる周知 ②

「いのち 百彩 彩の国 健康」 ページに県民向けの案内を掲載（令和8年5月1日～6月30日）

「かかりつけ医機能報告制度」
ページのリンクを設置

かかりつけ医機能



あなたの地域の“かかりつけ医機能”を確認してみませんか？

彩の国 埼玉県
Saitama Prefecture

Foreign Language 文字サイズ・色合い変更 音声読み上げ ふりがなON Google 検索 組織から探す

トップページ | くらし・環境 | 健康・福祉 | しごと・産業 | 文化・教育 | 県政情報・統計 緊急・防災

トップページ > 健康

いのち 百彩 彩の国 健康

彩の国 健康コンテンツ

かかりつけ医機能  あなたの地域の“かかりつけ医機能”を確認してみませんか？	禁煙に挑戦しましょう  5月31日からは禁煙週間です。禁煙にチャレンジしてみましょう！	5月14～20日はギャンブル等依存症問題啓発週間です  ギャンブル等依存症は、適切な治療と支援により回復が十分に可能です。	食中毒予防  中までしっかり焼きましょう！～お肉を安全に食べるために～	不正大麻・けし撲滅運動  法律で禁止されている大麻やけしの不正栽培を撲滅しましょう！
---	---	---	---	--

埼玉県ホームページ「いのち 百彩 彩の国 健康」より
(<https://www.pref.saitama.lg.jp/theme/kenkou/index.html>)

かかりつけ医機能報告制度の周知について

2 埼玉県広報紙「彩の国だより」による周知

県が毎月1日に発行する広報紙「彩の国だより」7月号の情報コーナーに掲載予定（令和8年7月1日）

令和8(2026)年5月1日発行
令和8(2026)年5月1日発行

彩の国だより
2026
5
No.664

「対象」は原則、県内在住、在勤または在学の人、県内の企業・団体などとしています。
「費用」は、有料の場合のみ、1人分の最高額(大人料金など)を記載しています。
「開庁」の郵便物は「〒330-9301(県庁)」で届きます(所在地記入不要)。

催しなどの名称、郵便番号・住所、氏名(ふりがな)、電話番号
イベントカレンダーが県ホームページなど

埼玉県のソーシャルメディア
LINE X Instagram
Facebook YouTube

イベントカレンダー
「彩の国だより」に掲載できなかった情報も多
あります。ぜひご利用ください。

クイズ? プレゼント

今月号の記事を読んで、下の問いの○に入る言葉や数字をお答えください。

Q 日本三大銘茶の一つ、○○茶

応募方法
5月15日(日)までに、県ホームページの「広報紙の国だより」から応募する。はがきに「姓・名・住所・年齢・電話番号・希望するプレゼントの品名」を記入し、封筒に入れて、県庁宛(〒330-9301)無印郵便(はがき)で届ける。応募は1人1通まで。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
また、いただいたご意見は今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。

※当選者には、希望するプレゼントの品名を知らせる封筒を郵送いたします。※抽選(当選者)は、抽選機で抽選します。

●広報番組のお知らせ●

テレビ 地デジ3ch 準時あり

いまだキッ! 埼玉 (いまたま)
毎週土曜 8:30~9:00
※内容は変更になる場合があります

今月の放送予定
2日 いまたまと巡る秩父礼拝 一第1弾~
16日 「香ばしい」でスタミナと疲労回復
23日 秩父で「活機」体験
30日 秩父大 松井孝子さんがピンポイントの演技を披露!
※9日の放送は休止です

こんにちは県議会です
不定期・日曜 10:00~
詳細は県議会ホームページへ

NACK5

朝情報★埼玉 (あさ★たま)
月~金曜 8:15~8:25
県からのお知らせやイベント情報をお伝えします。
★日曜・祝日・長期休暇は休止です

6 企画展「植物たちの生き残り術 ~こころで植物たちは身を守る~」
期間・6月14日まで 費用・200円 場所・問合せ・県立自然の博物館(長瀬町) ☎0494-66-0404

7 トピック展「古秩父国天然記念物 指定10年のあゆみ」
期間・6月14日まで 費用・200円 場所・問合せ・県立自然の博物館(長瀬町) ☎0494-66-0404

8 けやきひろば春のビール祭り
日時・5月13日(土)16:00~21:00、14日(日)~16日(出)11:00~21:00、17日(火)11:00~20:00 場所・けやきひろば(さいたま市中央区) 費用・一部有料(予約席あり(入場は無料) 問合せ・GMOアリーナさいたま ☎048-601-1122

9 里山の森の生き物調査隊
対象・3歳以上(小学3年以下は保護者同伴) 日時・6月6日(土)10:00~12:00 場所・カネバ緑の森博物館(入間市) 費用・500円(保険代込み(保護者も必要)) 申込・5月12日(火)~29日(金)に電話で同席 ☎04-2934-4396 ★申込順

講座・講演

14 技術講習(スキルアップ講習) (6月開講)
対象・在職者 日時・講座により異なる 場所・県立中央高等技術専門学校(上尾市) ☎048-781-3241、県立川口高等技術専門学校(川口) ☎048-251-4481、県立川越高等技術専門学校(川越) ☎049-235-7070、県立熊谷高等技術専門学校(熊谷) ☎048-532-6559、県立高崎高等技術専門学校秋分分校(☎0494-22-1948)、県立春日部高等技術専門学校(☎048-737-3511)、県立職業能力開発センター(☎048-651-3408) 費用・講座により異なる 申込・5月10日(日)までに☎で各校 問合せ・各校が県産業人材育成課(☎048-830-4598)

日本の仏像 鎌倉時代前期の仏像
15 講師・山田義夫氏 (元早稲田大学文学部教授)
日時・6月5日~7月3日の(金)5日(土)10:00~11:30 場所・県民活動総合センター(伊奈町) 費用・8,400円(教材費込) 申込・6月4日(木)までに電話、直接か☎でお願いいたします(埼玉(同センター内) ☎048-728-7113)

16 古文書講座・入門編(春季)
日時・5月28日(土)、6月4日(日)、11日(火)18:00~11:30、14日(水)~15:30(全3回、午

試験

20 登録販売者試験
試験日・9月6日(日) 試験会場・県立大学(草加市)
18日(月)~
(☎048-830-2418) ★申

21 育児
受験資格・令和8年4月1日現在16歳以上 試験日・☎で随時 願書受付・登録案内(☎で入手)を参照の上、随時☎で受付中 問合せ・県人事課(☎048-830-2418)

22 調理師試験
試験日・10月31日(出) 試験会場・受験票を参照 願書配布・県内各保健所が県保健医療政策課(県庁内) 費用・6,400円 願書受付・5月7日(日)~6月3日(日)(消印有効)に郵送(公印)調理技術センター(〒103-0013東京都中央区日本橋人形町1-4-1山内ビル2階 ☎03-3667-1815) ★受験資格あり

23 ふく処理者試験
試験日・①(学科)10月20日(火)②(実技)11月18日(火)~19日(水)の2日(各1日) 試験会場

26 埼玉未来大学公開学習(卒業生の活動発表、精神科医の和田秀樹氏講演)
日時・7月15日(日)12:45~15:30 場所・埼玉会館(さいたま市浦和区) 費用・1,500円 申込・6月18日(日)までに電話か☎048-830-5525 ★申込順

34 民間建築物のアスベスト対策補助[上限:分析調査25万円、除去などの工事800万円(規模により400万円)]
対象・民間建築物(さいたま市、川越市、桐谷市 など12市にあるものを除く)の所有者 申込・☎を確認の上、県建築安全課(☎048-830-5525) ★申込順

35 光化学スモッグ注意報の発令時にはご注意ください
光化学スモッグ注意報の発令時には、このように注意してください。①屋外での激しい運動は避ける ②目などに刺激を感じたらすぐ屋内に入る ③高齢者や子供は被害を受けやすいので特に注意を 問合せ・県大気環境課(☎048-830-3051)

(特別)児童扶養手当に係る手当額の増額改定について
(特別)児童扶養手当の月額が4月分から増額改定されました。詳しくは、お住まいの市町村の窓口へお尋ねください。対象・児童扶養手当受給者・特別児童扶養手当受給者 問合せ・県子ども政策課(☎048-830-3337)

28 埼玉県医療提供施設等光熱費等高騰対策支援金
対象・①病院、有床診療所、助産所(分設あり) ②無床診療所(内科・歯科)、保険薬局、助産所(分設なし) ③施設所(あん摩、はり・きゅう、柔道整復、歯科工務所(医療保険適用) ★助産所、施設所、歯科工務所 制度を設けています。低金利と低金利は原

43 「伊奈バラまつりフリーきっぷ」発売!
ニューシャトル1日フリー乗車券とバラ園の入場券がセットになったお得な切符です。
発売期間・5月上旬~6月上旬予定(バラ園の有料期間中) 発売場所・大宮駅、鉄道博物館、加茂駅、東武東上線、大宮駅、大宮駅、大宮駅、大宮駅 費用・1,100円 問合せ・埼玉新都市交通㈱(☎048-722-1279) ★2,000枚限定

44 働くあなたのために、がんワンストップ相談
対象・就労中のがん患者(休職中の人も含む) 日時・月2回 各18:15~20:15 相談方法・対面、電話かオンライン(Teams) 申込・☎で県疾病対策課(☎048-830-3651)

45 自転車も のれば車の なかまいい
自転車は「軽車両」です。道路交通法で定められた交通ルールやマナーを守り、安全運転を心掛けましょう。問合せ・県警察本部交通総務課(☎048-832-0110)

51 川越都市計画事業(仮称)川島インターチェンジ南側地区土地区画整理事業環境影響評価書の縦覧
期間・5月7日(月)~21日(木) 場所・県環境政策課(県庁内)、県西部環境管理事務所(川越市)、県東松山環境管理事務所のほか、川越市、川越市、東松山市の各担当部署 問合せ・同課(☎048-830-3039)

52 (仮称)上尾伊奈ごみ広域処理施設整備事業環境影響評価書の縦覧

埼玉県広報紙「彩の国だより」令和8年5月号より

かかりつけ医機能報告制度の周知について

3 埼玉県公式LINEによる周知

埼玉県LINE公式アカウント「埼玉県庁」により配信予定（配信日未定）



〈公式LINEの概要〉

- 埼玉県LINE公式アカウント「埼玉県庁」では、県内のニュースやイベント情報、暮らしに役立つ旬の話題などを発信しています。
- また、いざという時に役立つ「防災情報」や非常時の「緊急情報・避難情報・警報」などを自動配信しています。

埼玉県ホームページ「埼玉県LINE公式アカウント「埼玉県庁」のご紹介」より引用

医療機関名	県全体
医療機関数	5022
(うち病院)	339
(うち診療所)	4683

令和7年度 かかりつけ医機能報告 報告状況（県全体）

※データ抽出日：R8.6.1
※報告状況：「確認完了済」「報告済」

医療機関数	報告済み	報告率
医療機関数	4115	81.9%
(うち病院)	316	93.2%
(うち診療所)	3799	81.1%

参考資料 2

機能	報告事項	回答	件数	割合 (分母：報告数)	割合 (分母：該当回答)
1号機能	院内掲示	無し（意図無し）	1426	34.7%	
		無し（意図有り）	485	11.8%	
		有り	2204	53.6%	
	研修修了者	無し	3210	78.0%	
		有り	905	22.0%	
			3878	94.2%	
	総合診療専門医	無し	237	5.8%	
		有り	774	18.8%	
	一次診療可能な診療領域	有り	3341	81.2%	
		皮膚・形成外科領域	1110	27.0%	33.2%
		神経・脳血管領域	902	21.9%	27.0%
		精神科・神経科領域	610	14.8%	18.3%
		眼科領域	540	13.1%	16.2%
		耳鼻咽喉科領域	630	15.3%	18.9%
		呼吸器領域	1527	37.1%	45.7%
		消化器系領域	1687	41.0%	50.5%
		肝・胆道・膵臓領域	1273	30.9%	38.1%
		循環器系領域	1586	38.5%	47.5%
		腎・泌尿器系領域	1378	33.5%	41.2%
		産科領域	97	2.4%	2.9%
		婦人科領域	253	6.1%	7.6%
		乳腺領域	347	8.4%	10.4%
		内分泌・代謝・栄養領域	1455	35.4%	43.5%
		血液・免疫系領域	927	22.5%	27.7%
		筋・骨格系及び外傷領域	920	22.4%	27.5%
		小児領域	892	21.7%	26.7%
		無し	773	18.8%	
	一次診療可能な疾患	有り	3342	81.2%	
		貧血	1678	40.8%	50.2%
		糖尿病	1882	45.7%	56.3%
		脂質異常症	1931	46.9%	57.8%
		統合失調症	279	6.8%	8.3%
		うつ（気分障害、躁うつ病）	552	13.4%	16.5%
		不安、ストレス（神経症）	901	21.9%	27.0%
		睡眠障害	1306	31.7%	39.1%
		認知症	1174	28.5%	35.1%
		頭痛（片頭痛）	1389	33.8%	41.6%
		脳梗塞	788	19.1%	23.6%
		末梢神経障害	946	23.0%	28.3%
		結膜炎、角膜炎、涙腺炎	606	14.7%	18.1%
		白内障	354	8.6%	10.6%
		緑内障	340	8.3%	10.2%
		近視・遠視・老眼（屈折及び調節の異常）	344	8.4%	10.3%
		中耳炎・外耳炎	539	13.1%	16.1%
		難聴	311	7.6%	9.3%
		高血圧	2034	49.4%	60.9%
		狭心症	1246	30.3%	37.3%
		不整脈	1349	32.8%	40.4%
		心不全	1367	33.2%	40.9%
		喘息・COPD	1527	37.1%	45.7%
		かぜ、感冒	2249	54.7%	67.3%
		アレルギー性鼻炎	1956	47.5%	58.5%
		下痢、胃腸炎	1915	46.5%	57.3%
		便秘	1963	47.7%	58.7%
		慢性肝炎（肝硬変、ウイルス性肝炎）	952	23.1%	28.5%
		皮膚の疾患	1290	31.3%	38.6%
		関節症（関節リウマチ、脱臼）	813	19.8%	24.3%
		骨粗しょう症	1304	31.7%	39.0%
		腰痛症	1304	31.7%	39.0%
		頸腕症候群	894	21.7%	26.8%
		外傷	898	21.8%	26.9%
		骨折	630	15.3%	18.9%
		前立腺肥大症	904	22.0%	27.0%
		慢性腎臓病	1123	27.3%	33.6%
		更年期障害	590	14.3%	17.7%
		乳房の疾患	282	6.9%	8.4%
		正常妊娠・産じょくの管理	81	2.0%	2.4%
		がん	571	13.9%	17.1%
		その他の疾患	138	3.4%	4.1%
	患者からの相談	不可（意図無し）	957	23.3%	
		不可（意図有り）	153	3.7%	
		可能	3005	73.0%	
	1号機能（機能判別）	無し	1970	47.9%	
		有り	2145	52.1%	
	一括報告	無し（全て無し）	396	9.6%	

分母：一次診療可能な診療領域「有り」

分母：一次診療可能な疾患「有り」

医療圏名	県全体
医療機関数	5022
(うち病院)	339
(うち診療所)	4683

令和7年度 かかりつけ機能能報告 報告状況(県全体)

※データ抽出日：R8.6.1
※報告状況：「確認完了済」「報告済」

医療機関数	報告済み	報告率
(うち病院)	4115	61.9%
(うち診療所)	316	6.7%
	3799	61.1%

参考資料 2

機能	報告事項	回答		件数	割合 (分母：報告数)	割合 (分母：該当回答)			
2号機能 (1号機能有り)	時間外診療	有り	自院における時間外対応加算の届出	届出無し	1844	44.8%			
				時間外対応加算 1	919	22.3%			
				時間外対応加算 2	313	7.6%			
				時間外対応加算 3	74	1.8%			
				時間外対応加算 4	205	5.0%			
					25	0.6%			
					308	7.5%			
	入退院支援	有り	自院又は連携による後方支援病床の確保	無し（意向無し）	1562	38.0%			
				無し（意向有り（自院による確保））	733	17.8%			
				無し（意向有り（自院による確保））	39	0.9%			
				無し（意向有り（自院による確保））	208	5.1%			
				無し（意向有り（自院及び連携による確保））	28	0.7%			
				有り（自院による確保）	134	3.3%			
				有り（連携による確保）	366	8.9%			
				有り（自院及び連携による確保）	35	0.9%			
					19	0.5%			
						1.2%			
			地域の入退院支援ルールや地域連携クリティカルパスへの参加状況	無し（意向無し）	837	20.3%			
				無し（意向有り（入退院支援ルール））	122	3.0%			
				無し（意向有り（地域連携クリティカルパス））	163	4.0%			
				無し（意向有り（入退院支援ルール及び地域連携クリティカルパス））	149	3.6%			
				有り（入退院支援ルール）	93	2.3%			
				有り（地域連携クリティカルパス）	107	2.6%			
				有り（入退院支援ルール及び地域連携クリティカルパス）	36	0.9%			
					55	1.3%			
						3.5%			
				在宅医療	有り	訪問診療の実施	無し（意向無し）	1395	33.9%
	無し（意向有り）	542	13.2%						
	有り	162	3.9%						
		649	15.8%						
		42	1.0%						
	自院において主治医として管理している在宅患者数	0人	53				1.3%		
		1～10人	243				5.9%		
		11～30人	96				2.3%		
		31～60人	74				1.8%		
		61～100人	42				1.0%		
		101～150人	30			0.7%			
		151～200人	16			0.4%			
		201～300人	26			0.6%			
		301人以上	46			1.1%			
			769			18.7%			
	在宅患者に対する連絡体制の確保状況	無し（意向無し）	424			10.3%			
		無し（意向有り）	107			2.6%			
		有り（自院で日中のみ）	260			6.3%			
		有り（自院で24時間）	356			8.7%			
		有り（自院での一定の対応に加えて他医療機関等と連携して日中のみ対応）	26			0.6%			
		有り（自院での一定の対応に加えて他医療機関等と連携して24時間対応）	144			3.5%			
			78			1.9%			
			505			12.3%			
		在宅患者に対する住診体制の確保状況	無し（意向有り）			125	3.0%		
			有り（自院で日中のみ）			284	6.9%		
	有り（自院で24時間）		277			6.7%			
	有り（自院での一定の対応に加えて他医療機関等と連携して日中のみ対応）		14			0.3%			
	有り（自院での一定の対応に加えて他医療機関等と連携して24時間対応）		98			2.4%			
			92			2.2%			
	在宅患者に対する訪問看護体制の確保状況		無し（意向無し）			669	16.3%		
			無し（意向有り）			118	2.9%		
			有り（自院で日中のみ）			103	2.5%		
			有り（自院で24時間）			57	1.4%		
		有り（自院での一定の対応に加えて他医療機関等と連携して日中のみ対応）	75			1.8%			
		有り（自院での一定の対応に加えて他医療機関等と連携して24時間対応）	258			6.3%			
			115			2.8%			
			1758			42.7%			
		介護連携	有り			主治医意見書の作成	無し（意向無し）	14	0.3%
							無し（意向有り）	18	0.4%
	有り						1722	41.8%	
				4	0.1%				
					0.2%				
	介護支援専門員や相談支援専門員と相談機会の設定・サービス担当者会議等への参加			無し（意向無し）	536	13.0%			
				無し（意向有り）	473	11.5%			
				有り	726	17.6%			
					23	0.6%			
						1.3%			
	地域ケア会議・市町村の在宅医療介護連携推進事業による協議の場への参加			無し（意向無し）	662	16.1%			
				無し（意向有り）	512	12.4%			
				有り	561	13.6%			
					23	0.6%			
						1.3%			
	居宅療養管理指導の対応			無し（意向無し）	871	21.2%			
				無し（意向有り）	403	9.8%			
				有り	452	11.0%			
					32	0.8%			
						1.8%			
	ACPIに関する指針策定の状況			未策定	1230	29.9%			
				策定済	437	10.6%			
					91	2.2%			
						5.2%			
	ACPIに関する情報等を介護支援専門員や相談支援専門員へ提供			無し（意向無し）	742	18.0%			
				無し（意向有り）	522	12.7%			
				有り	396	9.6%			
					98	2.4%			
						5.6%			

分母：時間外診療「有り」

分母：入退院支援「有り」

分母：在宅診療「有り」

分母：介護連携「有り」

	報告済み	報告率
医療機関数	4115	81.9%
(うち病院)	316	93.2%
(うち診療所)	3799	81.1%

分母：
1号機能
「無し」

— 152 —

医療機関名	川越比企
医療機関数	537
(うち病院)	47
(うち診療所)	490

※データ抽出日：R8.6.1
※報告状況：「確認完了済」「報告済」

令和7年度 かかりつけ医機能報告 報告状況（県内圏域別）

	報告済み	報告率
医療機関数	468	87.2%
(うち病院)	46	97.9%
(うち診療所)	422	86.1%

参考資料 2

機能	報告事項	回答	件数	割合 (分母：報告数)	割合 (分母：項目数)
1号機能	院内掲示	無し（意図無し）	166	35.5%	
		無し（意図有り）	49	10.5%	
		有り	253	54.1%	
	研修修了者	無し	379	81.0%	
		有り	89	19.0%	
	総合診療専門医	無し	450	96.2%	
		有り	18	3.8%	
	一次診療可能な診療領域	無し	86	18.4%	
		有り	382	81.6%	
		皮膚・形成外科領域	137	29.3%	35.9%
		神経・脳血管領域	109	23.3%	28.5%
		精神科・神経科領域	74	15.8%	19.4%
		泌尿領域	66	14.1%	17.3%
		耳鼻咽喉領域	69	14.7%	18.1%
		呼吸器領域	180	38.5%	47.1%
		消化器系領域	198	42.3%	51.8%
		肝・胆道・脾臓領域	148	31.6%	38.7%
		循環器系領域	182	38.9%	47.6%
		腎・泌尿器系領域	164	35.0%	42.9%
		産科領域	13	2.8%	3.4%
		婦人科領域	28	6.0%	7.3%
		乳腺領域	43	9.2%	11.3%
		内分泌・代謝・栄養領域	172	36.8%	45.0%
		血液・免疫系領域	109	23.3%	28.5%
		筋・骨格系及び外傷領域	111	23.7%	29.1%
		小児領域	104	22.2%	27.2%
		無し	88	18.8%	
		有り	380	81.2%	
		貧血	189	40.4%	49.7%
		糖尿病	223	47.6%	58.7%
		脂質異常症	228	48.7%	60.0%
		統合失調症	25	5.3%	6.6%
		うつ（気分障害、躁うつ病）	55	11.8%	14.5%
		不安、ストレス（神経症）	94	20.1%	24.7%
		睡眠障害	137	29.3%	36.1%
		認知症	126	26.9%	33.2%
		頭痛（片頭痛）	155	33.1%	40.8%
		脳梗塞	86	18.4%	22.6%
		末梢神経障害	100	21.4%	26.3%
		結膜炎、角膜炎、涙腺炎	70	15.0%	18.4%
		白内障	41	8.8%	10.8%
		緑内障	38	8.1%	10.0%
		近視・遠視・老眼（屈折及び調節の異常）	39	8.3%	10.3%
		中耳炎・外耳炎	67	14.3%	17.6%
		難聴	39	8.3%	10.3%
		高血圧	245	52.4%	64.5%
		狭心症	136	29.1%	35.8%
		不整脈	158	33.8%	41.6%
		心不全	154	32.9%	40.5%
		喘息・COPD	170	36.3%	44.7%
		かぜ、感冒	259	55.3%	68.2%
		アレルギー性鼻炎	224	47.9%	58.9%
		下痢、胃腸炎	219	46.8%	57.6%
		便秘	228	48.7%	60.0%
		慢性肝炎（肝硬変、ウイルス性肝炎）	102	21.8%	26.8%
		皮膚の疾患	150	32.1%	39.5%
		関節症（関節リウマチ、脱臼）	84	17.9%	22.1%
		骨粗しょう症	142	30.3%	37.4%
		腰痛症	150	32.1%	39.5%
		頸胸症候群	92	19.7%	24.2%
		外傷	103	22.0%	27.1%
		骨折	67	14.3%	17.6%
		前立腺肥大症	89	19.0%	23.4%
		慢性腎臓病	118	25.2%	31.1%
		更年期障害	66	14.1%	17.4%
		乳房の疾患	29	6.2%	7.6%
		正常妊娠・産じょくの管理	9	1.9%	2.4%
		がん	59	12.6%	15.5%
		その他の疾患	11	2.4%	2.9%
	患者からの相談	不可（意図無し）	112	23.9%	
		不可（意図有り）	15	3.2%	
		可能	341	72.9%	
	1号機能（機能判別）	無し	219	46.8%	
		有り	249	53.2%	
	一括報告	無し（全て無し）	44	9.4%	

分母：一次診療可能な診療領域「有り」

分母：一次診療可能な疾患「有り」

医療圏名	川越比企
医療機関数	537
(うち病院)	47
(うち診療所)	490

令和7年度 かかりつけ医機能報告 報告状況(県内圏域別)

※データ抽出日：R8.6.1
※報告状況：「確認完了済」「報告済」

	報告済み	報告率
医療機関数	468	87.2%
(うち病院)	46	97.9%
(うち診療所)	422	86.1%

参考資料 2

機能	報告事項	回答		件数	割合 (分母：報告済)	割合 (分母：項目別)
2号機能 (1号機能有り)	時間外診療	有り	自院における時間外対応加算の届出	届出無し	204	43.6%
				時間外対応加算1	99	21.2%
				時間外対応加算2	30	6.4%
				時間外対応加算3	6	1.3%
				時間外対応加算4	21	4.5%
	入退院支援	有り	自院又は連携による後方支援病床の確保	回答無し	46	9.8%
				無し(意向無し)	181	38.7%
				無し(意向有り(自院による確保))	90	19.2%
				無し(意向有り(自院及び連携による確保))	2	0.4%
				有り(自院による確保)	21	4.5%
				有り(連携による確保)	0	0.0%
				有り(自院及び連携による確保)	24	5.1%
				回答無し	41	8.8%
				無し(意向無し)	1	0.2%
				無し(意向有り(入退院支援ルール))	2	0.4%
			地域の入退院支援ルールや地域連携クリティカルパスへの参加状況	無し(意向有り(地域連携クリティカルパス))	105	22.4%
				無し(意向有り(入退院支援ルール及び地域連携クリティカルパス))	15	3.2%
				有り(入退院支援ルール)	18	3.8%
				有り(地域連携クリティカルパス)	10	2.1%
				有り(入退院支援ルール及び地域連携クリティカルパス)	12	2.6%
2号機能 (1号機能有り)	在宅医療	有り	訪問診療の実施	回答無し	8	1.7%
				0人	4	0.9%
				1～10人	22	4.7%
				11～30人	9	1.9%
				31～60人	10	2.1%
			自院において主治医として管理している在宅患者数	61～100人	5	1.1%
				101～150人	3	0.6%
				151～200人	2	0.4%
				201～300人	5	1.1%
				301人以上	3	0.6%
				回答無し	102	21.8%
			在宅患者に対する連絡体制の確保状況	無し(意向無し)	59	12.6%
				無し(意向有り)	10	2.1%
				有り(自院で日中のみ)	28	6.0%
				有り(自院で24時間)	34	7.3%
				有り(自院での一定の対応に加えて他医療機関等と連携して日中のみ対応)	5	1.1%
			在宅患者に対する往診体制の確保状況	有り(自院での一定の対応に加えて他医療機関等と連携して24時間対応)	19	4.1%
				回答無し	10	2.1%
				無し(意向無し)	73	15.6%
				無し(意向有り)	10	2.1%
				有り(自院で日中のみ)	31	6.6%
			在宅患者に対する訪問看護体制の確保状況	有り(自院で24時間)	29	6.2%
				有り(自院での一定の対応に加えて他医療機関等と連携して日中のみ対応)	0	0.0%
				有り(自院での一定の対応に加えて他医療機関等と連携して24時間対応)	9	1.9%
				回答無し	13	2.8%
				無し(意向無し)	81	17.3%
2号機能 (1号機能有り)	介護連携	有り	主治医意見書の作成	無し(意向有り)	13	2.8%
				有り(自院で日中のみ)	16	3.4%
				有り(自院で24時間)	4	0.9%
				有り(自院での一定の対応に加えて他医療機関等と連携して日中のみ対応)	5	1.1%
				有り(自院での一定の対応に加えて他医療機関等と連携して24時間対応)	30	6.4%
			介護支援専門員や相談支援専門員と相談機会の設定・サービス担当者会議等への参加	回答無し	16	3.4%
				無し(意向無し)	213	45.5%
				無し(意向有り)	1	0.2%
				有り	3	0.6%
				回答無し	209	44.7%
			地域ケア会議・市町村の在宅医療介護連携推進事業による協議の場への参加	無し(意向無し)	0	0.0%
				無し(意向有り)	82	17.5%
				有り	47	10.0%
				回答無し	81	17.3%
				無し(意向無し)	3	0.6%
			居宅療養管理指導の対応	無し(意向有り)	96	20.5%
				有り	46	9.8%
				回答無し	68	14.5%
				無し(意向無し)	3	0.6%
				有り	129	27.6%
			ACPIに関する指針策定の状況	無し(意向有り)	40	8.5%
				有り	42	9.0%
				回答無し	2	0.4%
				未策定	150	32.1%
				策定済	47	10.0%
			ACPIに関する情報等を介護支援専門員や相談支援専門員へ提供	回答無し	16	3.4%
				無し(意向無し)	106	22.6%
				有り	45	9.6%
				回答無し	45	9.6%
				有り	17	3.6%

分母：時間外診療「有り」

分母：入退院支援「有り」

分母：在宅診療「有り」

分母：介護連携「有り」

医療圏名	川越比企
医療機関数	537
（うち病院）	47
（うち診療所）	490

令和7年度 かかりつけ医機能報告 報告状況（県内圏域別）

※データ抽出日：R8.6.1
※報告状況：「確認完了済」「報告済」

報告済み	報告率
医療機関数	468
（うち病院）	46
（うち診療所）	422

参考資料 2

機能	報告事項	回答			件数	割合 （分母：報告数）	割合 （分母：項目数）
1号機能	1号機能（機能判別）	無し	院内提示*	無し（意向無し）	166	35.5%	75.8%
				無し（意向有り）	49	10.5%	22.4%
				有り	4	0.9%	1.8%
			研修終了者	無し	212	45.3%	96.8%
				有り	7	1.5%	3.2%
				総合診療専門医	無し	216	46.2%
			有り	3	0.6%	1.4%	
			一次診療可能な診療領域*	無し	86	18.4%	39.3%
				有り	133	28.4%	60.7%
				一次診療可能な疾患	無し	87	18.6%
			有り		132	28.2%	60.3%
			患者からの相談*		不可（意向無し）	112	23.9%
				不可（意向有り）	15	3.2%	6.8%
				可能	92	19.7%	42.0%
【参考】1号機能要件（*）のうち、院内提示のみ無し				88	18.8%	40.2%	

分母：1号機能「無し」

かかりつけ医機能の協議の場について（川越比企圏域）

資料 7 - 2

川越比企圏域における協議の場（案）

- 川越比企圏域においては、本調整会議のもとに実務者レベルのワーキンググループを設置し地域での議論を深め、本調整会議に協議結果を報告することとする。

かかりつけ医機能について、①日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能、②その他機能（通常の診療時間外の診療、口入退院時の支援、在宅医療の提供、介護サービス等と連携した医療提供）の項目について、現状と課題、目指すべき姿、方策等について検討することとなる。

そのため、本調整会議の構成員等から以下のワーキンググループを設置し検討を進めていきたい。

令和 8 年度ワーキンググループ（案）

区分	所属	メンバー
医師会	坂戸鶴ヶ島医師会	所属から推薦を受けた者 （実務者レベルを想定）
	川越市医師会	
	比企医師会	
	入間地区医師会（毛呂山・越生ブロック）	
市町村	川越市保健医療部	
	坂戸市こども健康部	
	鶴ヶ島市健康部	
	東松山市健康福祉部	
	越生町健康福祉課	
	嵐山町健康いきいき課	
	小川町健康福祉課	
保健所	川越市保健所	
	東松山保健所	
	坂戸保健所	

重点医師偏在対策支援区域の概要について

資料 8

(1) 重点医師偏在対策支援区域について

- 令和6年12月、国が「医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージ」を公表。当パッケージでは、各都道府県が策定する「医師確保計画」に「重点医師偏在対策支援区域」を指定することとなっている。
- 当該区域は、『今後も一定の定住人口が見込まれるものの、人口減少より医療機関の減少スピードが早い地域等』と定義されている。区域の指定を行うことにより、各都道府県は、国が実施する経済的インセンティブに関する事業の実施が可能となる。
- 区域の指定に当たっては、都道府県が地域の実情を考慮し、地域医療対策協議会及び保険者協議会で協議の上、選定することとなっている。

経済的インセンティブに関する事業について

- ① 医師の勤務・生活環境改善のための施設整備事業
 - 重点区域の医療機関に、宿直室等の施設整備に対する補助を行う
- ② 医師の勤務・生活環境改善のための代替医師確保支援事業
 - 重点区域の医療機関に、土日祝日の代替医師確保への支援を行う
- ③ 医療機関に医師派遣する派遣元医療機関支援事業
 - 重点区域内の医療機関に医師を派遣する医療機関に、医師派遣に要する費用の支援を行う
- ④ 診療所の承継・開業支援事業
 - 重点区域において診療所を承継又は開業する場合に、当該診療所に対して施設整備、設備整備等の支援を行う